

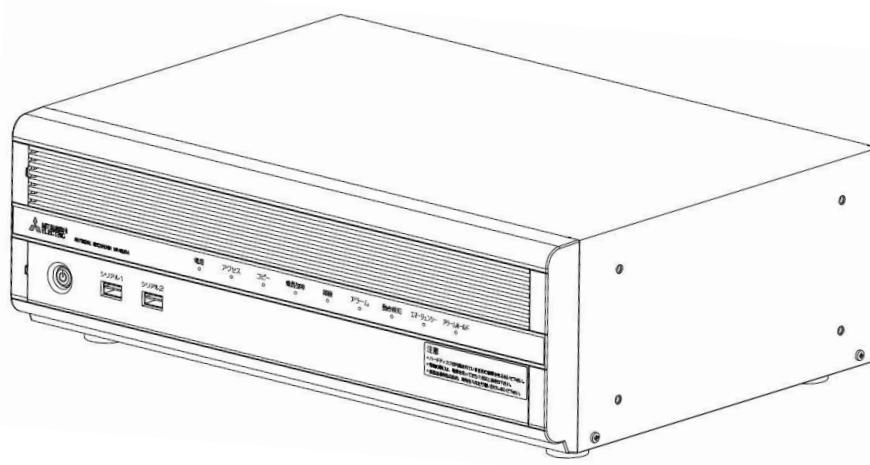


ネットワークレコーダー

形名

NR-8100A

取扱説明書/保証書



このたびは三菱ネットワークレコーダーをお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、正しく安全にお使い頂くため、この取扱説明書を必ずお読みください。
お読みになった後も、大切に保管し、必要なときにお使いください。
保証書は、この取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ販売店の記入をお受けください。

本書に記載の内容は、予告なく仕様の変更、改廃を行う場合があります。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

MR626P915C01

SM-Y8317C

©2014-2016 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED

2016年8月作成

[もくじ]

1. 安全のために必ずお守りください	6
2. ご注意	11
3. 特長	12
4. 製品構成	14
5. 仕様	15
6. 使用許諾	18
6.1. ソフトウェア使用許諾契約書	18
6.2. マイクロソフト・エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)	19
7. 各部の名称と働き	23
7.1. 据付のしかた	25
8. 接続のしかた	26
8.1. 全体構成	26
8.2. 各機器の接続のしかた	27
8.2.1. 付属の LAN ケーブルの接続	27
8.2.2. MELOOK μ ⁺ カメラのケーブル接続	28
8.2.3. MELOOK μ II、旋回、アナログカメラのケーブル接続、延長アダプタのケーブル接続	28
8.2.4. モニタケーブルの接続	28
8.2.5. マウスの接続	29
8.2.6. LAN ケーブルの接続(遠隔監視機能を使用するとき)	29
8.2.7. 音声用ミニジャック(AUDIO OUT)の接続(音声を使用するとき)	30
8.2.8. アラーム端子または I/O 端子の接続(アラーム機能を使用するとき)	30
8.2.9. USB 機器の接続(コピー用 USB メモリ、コピー用 DVD ドライブ)	30
8.2.10. 増設 HDD の接続	30
9. 基本操作	31
9.1. 初めてお使いになる場合	31
9.2. 基本的な操作	36
9.2.1. 電源の ON/OFF について	36
9.2.2. ユーザーレベルを切替える	37
9.2.3. 画面の表示を変更する	38
9.2.4. 記録映像を再生する	40
9.2.5. 記録映像を外部保存(コピー)する	43
9.3. ユーザーレベル	46
9.4. 画面説明	47
9.4.1. 通常(メイン)画面について	47
9.4.2. 映像表示パネル	48
9.4.3. 設定とその他の操作パネル	49
9.4.4. 情報表示パネル	61
9.4.5. リスト表示パネル	62
9.4.6. 画面制御パネル	70
9.4.7. 音量制御・時刻表示パネル	72
9.4.8. カメラ制御パネル	73
9.4.9. 映像再生パネル	76

10. 應用操作	79
10.1. 各種設定について	79
10.1.1. 情報表示	81
10.1.2. システム設定	83
10.1.3. ネットワーク設定	86
10.1.4. カメラ設定	88
10.1.5. 映像表示設定	90
10.1.6. 記録設定	94
10.1.7. スケジュール設定	97
10.1.8. レート設定	99
10.1.9. アラーム設定	101
10.1.10. デバイス設定	104
10.1.11. パスワード設定	106
10.1.12. 時刻設定	108
10.1.13. 簡単設定	109
10.1.14. 管理設定	112
10.1.14.1. バージョンアップ	114
10.1.15. 接続状態監視	119
10.2. 拡張用機器の接続	120
10.2.1. ネットワークカメラの接続	120
10.2.2. 増設 HDD ユニットの接続	120
10.2.3. 増設 HDD の取り外し	123
10.2.4. 延長アダプタとの接続構成	126
10.2.5. 狹帯域配信の設定・操作について	127
10.3. センサーなどアラーム機器	128
10.3.1. アラーム端子と I/O 端子	128
10.3.2. LAN カメラリンク LED	130
10.4. 記録時間表	130
11. 簡易ビューワについて	131
11.1. ご使用前に	131
11.1.1. コンピュータ要件	131
11.1.2. 制約条件	131
11.2. 各種操作	138
11.2.1. 映像表示画面について	138
11.2.2. 起動する	140
11.2.3. コピー画像を再生する	142
11.2.4. 表示サイズを変更する	143
11.2.5. 再生画像を静止画保存する	144
11.2.6. 終了する	145
12. 遠隔監視機能	146
12.1. ご使用前に	146
12.1.1. コンピュータ要件	146

12.1.2. その他の機器の要件	146
12.1.3. ご注意事項	147
12.1.4. 遠隔配信構成図	148
12.2. インストールする	148
12.3. 起動する	159
12.3.1. レコーダーの登録	159
12.3.2. グループの登録	161
12.3.3. 起動する	163
12.3.4. 画面分割数を切り替える	164
12.3.5. カメラ名称を表示する	165
12.3.6. カメラを切り替える	166
12.3.7. カメラを動かす	167
12.3.8. 記録映像・音声を再生する	168
12.3.9. アラームの発生状況を確認する	170
12.3.10. 機器故障の状況を確認する	173
12.3.11. 接続先レコーダーの状態を確認する	174
12.3.12. 受信音量を調整する	176
12.3.13. 各種設定(受信データ量やアラーム音)を行う	177
12.3.14. ユーザレベルを切り替える	178
12.3.15. 静止画保存する	179
12.3.16. 受信画像を保存する	180
12.3.17. レコーダーに記録されている映像をダウンロードする	181
12.3.18. 遠隔監視アプリケーションを終了する	183
12.4. 複数台のレコーダーを遠隔監視する	184
12.4.1. 画面分割数を切り替える	185
12.4.2. カメラ名称を表示する	185
12.4.3. 記録映像・音声を再生する	185
12.4.4. アラームの発生状況を確認する	185
12.4.5. 機器故障の状況を確認する	185
12.4.6. 各種設定(受信データ量やアラーム音)を行う	185
12.4.7. ユーザレベルを切り替える	185
12.4.8. 遠隔監視アプリケーションを終了する	185
12.5. 4 クライアントモード	186
12.5.1. 4 クライアントモードとは	186
12.5.2. 4 クライアントモードの制約事項	186
13. 確認メッセージ	187
14. エラー発生時の対応について	191
14.1. エラーメッセージ	191
14.2. SSD、HDD の取扱いに関する注意	195
14.2.1. SSD が未接続で起動しない	195
14.2.2. ハードディスク故障時のレコーダー起動/終了動作	196
14.2.3. 運用中のハードディスク故障	197

15. 故障かなと思ったら	198
16. 外形図	199
17. お手入れのしかた	200
18. 用語集	201
19. アフターサービス	202
【索引】	203

☞ :操作上の参考にしてください。

操作上、参考にしていただきたい情報を記載しています。

(!) :お気をつけください。

操作上、気をつけていただきたい情報を記載しています。

参考 ☞ :参照ページをご覧ください。

参照項目とページ数を記載しています。

1. 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく使用してください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に保管してください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■ 図記号の意味は次の通りです。



絶対に行なわないで
ください



絶対に分解・修理はしないで
ください



絶対に触れないで
ください



必ず指示に従い、行って
ください



必ず電源プラグをコンセント
から抜いてください



絶対に水にぬらさないで
ください



絶対にぬれた手で
触れないでください



プラグを抜く

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



工事・修理

工事・修理は販売店に依頼する

工事・修理には技術と経験が必要であり、お客様自身で行うと、火災、感電、けが、故障の原因になります。
必ず販売店にご依頼ください。



禁止

不安定な場所には置かない

ソファーや椅子、ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。



プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常が生じたときは、電源プラグをすぐ抜く

異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



禁止

落としたり、キャビネット(天板)を破損したりした場合は使わない

火災や感電の原因になります。

 電源プラグが、 すぐ抜ける場所	電源プラグを、コンセントからすぐに抜く ことができる場所に設置する 異常発生時、電源プラグをコンセントから すぐに抜くことができないと、火災の原因に なります。	 水ぬれ禁止	水で濡らさない 火災や感電の原因となります。雨天、 降雪中、水辺、窓辺での使用は特に注意 してください。
 禁止	内部に異物を入れない 通風口や排気口から金属や燃えやすい ものなどが入ると、火災や感電の原因と なります。	 禁止	通風口、排気口をふさがない ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●じゅうたんや布団の上に置かない ●テーブルクロスなどをかけない 通風口、排気口をふさぐと、故障の原因 となったり、正常に動作しないことがあります。
 付属の電源 コード	付属の AC 電源コードを使用し、アース 端子つきのコンセントにつなぐ 性能低下や火災の原因となりますので、 かならず付属の AC 電源コードを使用して ください。アース端子は安全のための接地 アースです。コンセントにアース端子がない 場合は、アース工事を販売店にご依頼くだ さい。電源プラグのアース端子をガス管・ 水道管・避雷針などに絶対に取り付けない でください。	 交流 100V	正しい電源電圧(交流 100V)で使う また、配線器具の定格電流を超えない 交流 100V 以外の電圧で使用した場合や 配線器具の定格電流を超えて使用すると、 火災や感電の原因となります。 また、たこ足配線はしないでください。
 禁止	AC 電源コードを傷つけない ●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない ●束ねない コードに傷がつくと、火災や感電、故障の 原因となります。AC 電源コードの芯線が 露出したり断線したりするなど、コードが 痛んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼 ください。	 接触禁止	雷が鳴り出したら本体および電源プラグ には触れない 感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物 などを上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の 原因となります。	 禁止	ポリ袋で遊ばない 幼児の手の届くところに置くと、頭から かぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ、 窒息し死亡する恐れがあります。
 分解禁止	キャビネット(天板)をはずしたり、改造 しない 内部には電圧の高い部品があり、触ると 感電の原因となります。 また、改造するとショートや発熱により、 火災や感電の原因となります。内部の点検・ 調整・修理は、販売店にご依頼ください。		

⚠ 注意

 設置禁止	<p>設置場所は、次のような場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気やほこりの多い場所 ●油煙や湯気などが当たる場所 ●直射日光の当たる場所 ●熱器具の近く ●閉め切った自動車内など、高温になるところ ●製氷倉庫など、低温になるところ ●自動車内など振動が多いところ ●温泉地など、硫化水素などのガスが発生するところ ●海岸近くなど、塩分の多いところ <p>このような場所に置くと、ショートや発熱、AC電源コードの皮膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。</p>	 禁止	<p>接続したまま本レコーダーを移動させない</p> <p>AC電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源が入った状態で移動させると内蔵HDDを破損させる恐れがあります。AC電源コードや接続コードをはずしたことを確認し、1分以上経過したあとで移動させてください。</p>
 禁止	<p>本レコーダーの上に重いものを置かない、本レコーダーの上にのらない</p> <p>バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止	<p>強い磁気を持っているものを近づけない</p> <p>映像に悪い影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。</p>
 内部清掃	<p>定期的に内部の掃除を依頼する</p> <p>内部にほこりがたまつたまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となる場合があります。内部清掃については、販売店にご相談ください。</p>	 プラグを抜く	<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う</p> <p>感電の原因となる場合があります。</p>
 ぬれ手禁止	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	 日本専用	<p>本レコーダーは国内専用です</p> <p>放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。</p>
 プラグを持つ	<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>AC電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 吸排気口の掃除	<p>定期的な吸排気口のお掃除を</p> <p>吸排気口の目詰まりを定期的に点検、掃除してください。目詰まりにより装置が正常に作動しないことがあります。</p>
 ほこりを取る	<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差込みの具合を点検する</p> <p>ほこりがつくななどで、コンセントへの差込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 すきまをあける	<p>まわりに15cm以上隙間をあける(特に背面)</p> <p>内部に熱がこもり、火災の原因となります。放熱をよくするために、他の機器から離して設置してください。</p>
 禁止	<p>段積みはしない</p> <p>本レコーダーやその他の接続機器を、複数台段積みしないでください。故障の原因となることがあります。</p>	 禁止	<p>国外での使用禁止</p> <p>本レコーダーを使用できるのは日本国内のみです。外国では使えません。</p> <p>This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.</p>
 禁止	<p>ゴム足を取外さない</p> <p>ゴム足を取り外さないでください。故障の原因となることがあります。</p>		

安全上のご注意

動作電源の確認

装置後面の AC 電源コード差込み口に AC100V を入力してください。

電源コードを外部の AC コンセントに接続する場合には電圧の確認をしてください。

接地

電気ショックから人体を守るために、必ず付属の電源コードをアース端子つきコンセントに差込み、ケーブルを通して接地してください。

設置上の注意

高温、多湿の場所や、ごみ、ほこり等の多い場所は避けてください。

また、水は絶対かからないようにしてください。

このネットワークレコーダーはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。

使用上のご注意

配線時に本体内部に配線くずなどの異物が入らないように注意してください。

キャビネット(天板)等をはずして、ユニット内のプリント基板、部品は触らないようにしてください。

故障の原因となります。

マウス操作について

- 高速でマウスボタンを押した場合、押したように見えても入力されない、又は、画面表示が乱れる場合があります。
マウスボタンはゆっくりと押してください。

ハードディスク(HDD)について

- 本レコーダーは、精密機器である HDD を搭載しております。故障の原因となる振動や衝撃を与えないよう、本レコーダーの取扱いには、十分ご注意ください。特に、通電しながらの設置や移設はしないでください。
- 記録・再生の動作中に、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーを切らないでください。
- 電源オフ直後は HDD が動作しています。電源を切ってから少なくとも 1 分間は移動させないでください。
- HDD は消耗劣化する部品のため、ご使用時間が 20,000 時間(*1)を超えると読出し/書き込みエラーなどが発生し始め、30,000 時間(*1)を超えると可動部品の劣化の影響などで故障が発生しやすくなります。故障の早期発見のため、1 年ごとに点検、3 年を目安に交換依頼されることをお勧めします(但し、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません)。
(*1)レコーダーの周辺温度を+25°C 以下で使用した場合
- 本レコーダーの使用周囲温度は 5°C~40°C ですが、HDD 寿命は周囲温度に大きく左右されます。高温を避けてできる限り涼しい場所に設置されることをお勧めします。
- HDD に異常が発生した場合、HDD ユニットを交換してください。HDD ユニットは別売品です。HDD ユニットの購入、交換は販売店にご相談ください。
- 万一、何らかの故障や障害により、録画や再生が出来なかつたことによる直接、間接の損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

設置場所の移動

- 移動させるときは、必ず装置前面にある電源ボタンを押して電源を OFF にし、完全に停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いてください。通電中に過度な衝撃を与えると、機器内部の電子部品や HDD を傷めることができます。特に電源ランプまたはアクセスランプの点滅中は、衝撃を与えないようにご注意ください。
- 移動させるときは、内部に衝撃を与えないように緩衝材などで包んでください。

大切な記録の場合

- 必ず事前にテスト記録を行い、正常に記録されていることを確認してください。
- 本レコーダーを使用中、本レコーダーもしくは接続機器等の不具合により、記録されなかつたり正常に再生できなくなったりした場合、その内容の補償について責任は負えません。
- 万一の故障や事故に備えて、大切な記録の場合は定期的にバックアップをとられることをお勧めします。

記録が継続できない場合の動作について

- 本レコーダーでは、記録が継続できない場合に(※)、自動でアプリケーションまたはレコーダー本体の再起動を行い、復旧を試みる場合がありますが、故障ではありません。
なお、復旧処理を行い、通常動作するまでの間は、記録が停止しておりますのでご注意ください。
※接続中の全カメラを取り外した場合、接続中の全カメラとの通信異常時、アプリケーションの動作異常時等。

映像記録の外部保存(コピー)について

[動作確認済み DVD ドライブ]

- DVD ドライブは、Pioneer 製 DVR-XD10J を動作確認しておりますので、ご購入ならびにご使用の参考にしてください。
- DVD ドライブを接続する場合には、CD-R/DVD-R を使用してください。

[動作確認済み記録媒体]

動作確認済みのディスクおよびUSBメモリについて

弊社では、以下のディスクおよびUSBメモリについて動作確認をしておりますので、ご購入ならびにご使用の参考にしてください。

[ディスク(DVD-R)]

メーカー名	型番	倍速
太陽誘電株式会社	DR-47AWWY50BN	16 倍速
日立マクセル株式会社	DR120PLWPC	16 倍速
	DRD120ES	8 倍速

[USB メモリ]

メーカー名	型番	容量
IODATA	TB-XT8G/K	8GB
	TB-OC16G/K	16GB
	TB-XT32G/S	32GB
BUFFALO	RUF3-K8G-WH	8GB
	RUF3-C32G-BL	32GB
	RUF3-C64G-BK	64GB
Kingston	DTHX30/256GB	256GB

注意点

- 上記の情報は2014年3月時点のものです。製造元の都合により、予告なく生産中止になる場合があります。最新の情報や上記以外のディスクによる動作状況につきましては、販売店にご確認ください。
- 上記の動作確認済みディスクおよびUSBメモリは、本機の動作やコピーしたデータの保証をするものではありません。
なお、DVD ドライブを接続する場合、使用するディスクによっては、ドライブとの相性により、データのコピーに失敗することがあります。

2. ご注意

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本書に記載した内容は、商品性や特定の目的に対する適合性を保証するものではなく、当社はそれらに関して責任を負いません。また、本書の記載の誤り、あるいは本書の配布、内容、利用にともなって生じる偶発的、結果的損害に関して責任を負いません。

本書の内容は、著作権によって保護されています。本書の一部または全部を書面により事前の許可なくして複写、転載、翻訳することは禁止されています。

お買い求めいただいた機種と本書に記載されているイラストが異なる場合がありますので、ご了承ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Microsoft Windows 95、Microsoft Windows 98、Microsoft windows NT、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8.1 および Microsoft Windows 10 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他引用された会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

3. 特長

- ・MELOOK μ^+ システムは、高解像度(SXVGA)の映像を高圧縮記録し配信できます。
- ・MELOOK μ^+ カメラはNR-8100Aレコーダー(以下、本レコーダーと記載します)に直結され、三菱独自の技術により、既設アナログシステムの同軸ケーブルをそのままデジタルシステムに有効活用でき、アナログシステムからのリプレース時に、配線工事が不要なことが最大の特長です。
- ・最大 8 台のカメラへの電源供給も同軸ケーブルにより行われるため、カメラ電源工事も不要です。
- ・カメラ・レコーダーの最大伝送距離は、アナログ方式と同じ 500mを実現しています。
(同軸ケーブル規格 5C2V 使用時)
- ・カメラ駆動電源やカメラ制御機能は本レコーダーに内蔵し、簡単な設置作業や操作が可能となり、システム全体は、本レコーダーと MELOOK μ^+ カメラのみで極めてシンプルにシステムを構築することができます。さらに MELOOK μ IIカメラも接続することができます。
- ・ネットワークを介し専用 S/W をインストールした遠隔監視用 PC と接続して、遠隔地に監視情報を提供することができます。

(1) 高解像度(H.264 SXVGA)映像の記録、再生

1chあたり最大 15fps のメガピクセル映像の記録、再生が可能です。

(2) 高解像度(H.264 SXVGA)ライブ映像の表示

H.264 符号化の採用により、単画/4 分割時で最大 15fps、9 分割時に最大 10fps の高解像度ライブ映像の表示が可能です。

(3) IP設定不要の簡単設定、マウス1つで操作可能

MELOOK μ^+ カメラをレコーダーに直結し、簡単設定機能を使用することで、容易にカメラを動作させることができます。

(4) カメラ駆動電源、カメラ制御機能

カメラ駆動電源やカメラ制御機能は、レコーダーに内蔵されています。

(5) 省エネ・省スペース・低騒音

当社既存品と比較し半分の消費電力による省エネ、奥行き 20%の小型化と縦置きも可能とすることで、省スペースを実現しました。また FAN ノイズを軽減し、低騒音化も実現しています。

(6) 外部記録媒体への保存

USB メモリ、CD や DVD メディア(USB 外付け DVD ドライブを使用)への記録映像の保存が可能です。

(7) 音声記録

MELOOK μ^+ カメラ搭載のマイクからの音声を記録可能です。(最大 8ch)

(8) 暗号秘匿

暗号化技術「Brouillard」を搭載し、外部保存や簡易ビューワの再生などに使用しています。

➡ Brouillard(ブルイヤール): 三菱電機が開発した、機器組込み用高性能暗号化アルゴリズムで映像データの暗号化などをリアルタイムに高速処理することができます。

(9) 遠隔監視機能

ネットワークを介し専用 S/W をインストールした遠隔監視用 PC と接続して、遠隔地に監視情報を提供することが可能です。

(10) 大音量検知

カメラからのマイク音声が閾値を超えた音量の場合、その音声を大音量音声としてレコーダーに記録します。記録映像を検索する時、大音量音声の映像として検索する事が可能です。

参考 ➔ (「10.1.4 カメラ設定」88 ページを参照して下さい。)

(11) 一万円検知

一万円検知ボタンが押下されたフラグを、映像と共にレコーダーに記録します。記録映像を検索する時、一万円検知の映像として検索する事が可能です。

(12) 同軸ケーブル

既に敷設された同軸ケーブル(5C-2V で最大約 500m の接続距離)を用いて本体レコーダーとカメラのみで構成が可能です。

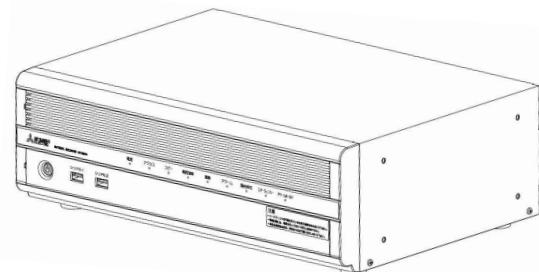
4. 製品構成

同梱

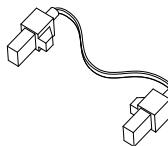
- | | |
|-------------------------|-----|
| 1. ネットワークレコーダー(本体)..... | 1 台 |
| 2. 取扱説明書/保証書(本書)..... | 1 冊 |
| 3. 設置注意シート..... | 1 枚 |
| 4. LAN ケーブル..... | 1 本 |

オプション

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 縦置き用スタンド | 1 個 |
| 2. 縦置き用スタンド固定ネジ | 4 個 |



ネットワークレコーダー(本体)



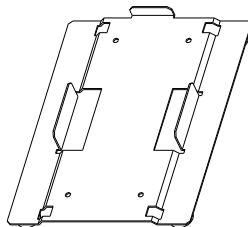
LAN ケーブル(約 9cm)



取扱説明書/保証書(本書)



設置注意シート



縦置き用スタンド(オプション)



縦置き用スタンド固定ネジ(オプション)

- ①マウス、モニタは同梱されていません。市販の USB 対応マウスおよびフル HD 対応モニタを購入の上、
使用してください。USB 対応マウスは「マイクロソフト製:Compact Optical Mouse 500 v2.0」、フル HD モニタは
「三菱電機製:RDT233WLM」、「iiyama 製:E2282HS-GB1」を動作確認しています。
- ②同梱されている LAN ケーブルは、接続忘れないようご注意ください。
(「8.2.1.付属の LAN ケーブルの接続」27 ページ参照)

5. 仕様

映像	入力 1 (BNC 端子)	MELOOK μ ⁺ カメラ × 最大 6~8ch(*1) A) SXVGA(1280×960) 最大 3Mbps, 最大 15fps/1ch B) VGA(640×480) 最大 3Mbps, 最大 15fps/1ch
	入力 2 (LAN 端子)	MELOOK μ II カメラ、旋回カメラ(*2)、アナログアダプタ(*3) から最大 2ch(*4) A) SXVGA(1280×960) 最大 3Mbps, 最大 15fps/1ch B) VGA(640×480) 最大 3Mbps, 最大 15fps/1ch
	出力	ローカルモニタ用(デジタル) : DVI-I 出力(フル HD:1920×1080) × 1 系統(*5) DVI-D ケーブルはそのまま接続可能(出力はデジタル)。 外部モニタ用(デジタル/アナログ) : DP 出力(SXVGA: 1280×960 もしくは WXGA: 1280×768)(出力はデジタル) × 1 系統(*5) アナログモニタ利用時は DP→RGB 変換ケーブルが必要。
音声	入力	MELOOK μ ⁺ カメラ × 8ch、MELOOK μ II カメラ × 2ch A) G.711(μ-Law) 64Kbps /1ch
記録	出力 記録媒体	アナログ出力(ミニジャック) × 1 系統 内蔵 HDD(SATA、3.5inch) × 1 台
	記録容量	オプション: USB 外付 HDD(最大 7 台利用可能。7 台目は 6 台目に USB で接続。) 内蔵 HDD 約 1TB(約 1TB × 1 台)
	記録符号化方式	オプション: USB 外付 HDD 最大 14TB(2TB/台 × 最大 7 台) A) 映像 通常記録: H.264 (SXVGA/VGA) 間欠記録: H.264 IDR フレーム (SXVGA/VGA) 静止画記録: JPEG (SXVGA/VGA)(外部保存のみ) G.711(μ-Law) B) 音声
	記録レート	増設 HDD 非接続時: トータルの記録レートは、最大 24Mbps/全 8ch 増設 HDD 接続時: トータルの記録レートは、最大 16Mbps/全 8ch a) SXVGA: 最大 3Mbps、最大 15fps /1ch b) VGA : 最大 3Mbps、最大 15fps /1ch B) 音声 トータルの記録レートは、最大 512Kbps/全 8ch a) G.711(μ-Law) 64Kbps /1ch
	記録モード	A) 通常記録 カメラからの映像をすべて記録 B) 間欠記録 カメラからの映像のうち H.264 IDR フレームのみ記録 C) アラーム記録 アラーム入力およびカメラでの動き検出時に記録 D) プリアラーム記録 アラーム入力およびカメラでの動き検出時に、設定した『プリアラーム時間(5/10/15/30 秒)』だけ前から記録
	プログラム記録	独立 8 プログラム × 1 セット 日時設定: 毎日・任意曜日・特定日指定、動作指定: カメラ毎の設定が可能
	リピート記録	記録容量が最大になった場合、古い記録部分から上書き記録を実行
	スナップショット(静止画)	単画表示時に、ライブまたは再生映像を静止画として外部保存を実施
	記録時間	約 7 日間(通常記録、8ch、全力メラ 1.5Mbps、10fps、音声記録あり)(*6) 約 14 日間(通常記録、8ch、全力メラ 768Kbps、10fps、音声記録あり)(*6)
再生	ミラーリング	非対応
	再生モード	通常再生、シームレス再生、ちょっと前再生、ライブ中再生
	特殊再生	早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻し、一時停止
表示	検索機能	アラーム検索(スライドバー併用)、タイムデータ検索(スライドバー併用)
	画面分割数	単画面、4 画面、9 画面 (*7)
	表示モード	ライブ表示、再生表示、ライブ中再生表示、シーケンス表示、全画面表示(ライブ映像表示のみ)
	メニュー	GUI
	言語表示	日本語
	情報表示	現在時刻、再生時刻、カメラ名称、故障履歴、操作履歴、記録先頭/終端の時刻表示、記録可能日数表示
	部分拡大	単画面ライブ又は単画面再生表示を ×2(面積比 4 倍)、×4(面積比 16 倍)で拡大表示
	表示レート	A) ライブ (a) SXVGA 最大 15fps/1~4 画面、最大 10fps/9 画面(*8) (b) VGA 最大 5fps(JPEG) B) 再生 (a) SXVGA 最大 15fps/1~4 画面、最大 10fps/9 画面(*9) (b) VGA 最大 15fps/1~4 画面、最大 10fps/9 画面(*9)
	外部モニタ	単画面、4 画面 (ライブ表示、シーケンス表示) (*7)
音声出力	ライブ出力	ライブ表示画面で選択した任意のカメラからの音声を出力
	再生出力	音声記録がある場合、再生表示画面で選択した任意の再生映像に対応する音声を出力

外部保存	記録媒体	当社動作確認済 USB メモリ(USB2.0)もしくは当社動作確認済 DVD メディア(USB 外付ドライブ利用時)
	記録方式	A) 指定区間の記録(映像・音声)を独自方式で最大8系統を記録媒体に保存 B) スナップショットの記録(静止画)を独自方式で記録媒体に保存
	再生方式	本体および Microsoft Windows PC(Microsoft Windows XP(SP3)、Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 10)での再生が可能、Microsoft Windows PC 専用再生 S/W を記録と同時に外部記録媒体へ保存
セキュリティ	パスワード	操作範囲に対して、ログイン時のパスワードにより、3段階で管理
	暗号化	外部保存時に記録データ(映像・音声)に対して暗号化
遠隔配信機能	必要ネットワーク	100Mbps 以上(VPN 回線) (*10)
	同時接続数	1 ユーザー(4 画面) / 4 ユーザー(単画面)選択
	同時配信数	ライブ 映像・音声ともに最大 4ch/レコーダー 記録再生 映像・音声ともに最大 1ch/レコーダー
	映像配信レート	A) SXVGA 最大 3Mbps、4 分割画面時で最大 15fps /1ch B) VGA 最大 3Mbps、4 分割画面時で最大 15fps /1ch
	音声配信レート	G.711(μ-Law) 64Kbps /1ch
	対応 OS	Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、 Microsoft Windows 7、Microsoft Windows 8.1、Microsoft Windows 10
	対応モニタ	フル HD(1920×1080)サイズが表示可能なモニタ
	再生制御	通常再生、シームレス再生、ちょっと前再生、ライブ中再生
	特殊再生	早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻し、一時停止
	検索機能	アラーム検索(スライドバー併用)、タイムデータ検索(スライドバー併用)
	セキュリティ	A) パスワード 操作範囲に対して、ログイン時のパスワードにより、3段階で管理 B) 画像符号化 レコーダーで暗号化された映像・音声を配信し、遠隔 PC にて復号再生
その他	簡単設定	操作ガイドによる簡単なシステム設定(MELOOK μ+ カメラ設定を含む)が可能
	簡単操作	運用時はマウスによる簡単操作が可能
	故障通知	各種故障の発生状況を画面表示および接点出力
	省エネ機能	Windows 標準の省電力機能(表示 OFF/ON 制御)に対応
接点端子	ALARM IN 端子	8 点
	I/O 端子	CLOCK ADJ、REC、REC STOP、EMERGENCY、MODE OUT(1~4)、 CALL OUT+/CALL OUT-、GND、DC12V OUT(定格 350mA、ピーク電流 700mA)
USB 端子	マウス/外部保存端子	前面 2 系統
	外付増設 HDD 用端子	背面 6 系統 (*11)
ネットワーク		10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 1 ポート
最大伝送距離		入力 1(BNC 端子): 最大 500m (5C-2V、給電あり時) 入力 2(LAN 端子): 最大 100m (Cat-5e、PoE あり時)
内蔵ストレージ	HDD	SATA HDD(1TB) × 1 台
	SSD	SATA SSD(2GB) × 1 台
メインメモリ		DDR3-SDRAM 2GB × 2 枚
電源電圧/周波数		AC100V±10V 50Hz/60Hz±2Hz
定格電流		2A 以下(200W 以下)(最大カメラ 8 台接続時)
カメラ電源		BNC 端子: 48V 給電(IEEE802.3af 相当) LAN 端子: PoE(IEEE802.3af 準拠): class2
動作温度範囲		5°C~40°C
動作湿度範囲		20%RH~80%RH(結露なきこと)
保管温度範囲		-20°C~60°C
塗装色		オフホワイト
外形寸法		W420mm × D298mm × H132mm 以下(ゴム足及び突起物除く)(*12)
質量		10kg 以下

① 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

*1) 入力1と入力2をあわせて最大8chの入力が可能です。入力1の接続条件を以下に示します。

条件		入力1
入力2	未使用	最大8ch(ch1～ch8)
	1ch使用	最大7ch(ch1～ch7)
	2ch使用	最大6ch(ch1～ch6)

*2) 旋回カメラ(NC-6500、SONY製SNC-ER550)が接続可能です。

*3) アナログアダプタ(SONY製SNT-EX101E)が接続可能です。

*4) PoE(IEEE802.3af)による電源供給が可能です。

*5) 映像出力は、ローカルモニタは操作画面・ライブ・再生表示が可能です。外部モニタはライブ画面のみ表示が可能です。

*6) 接続されたカメラの条件が、すべて同じ場合の記録時間の目安です。

*7) 外部モニタで単画を出力する場合のローカルモニタ表示は9画まで、外部モニタで4画を出力する場合のローカルモニタ表示は4画まで表示が可能です。

*8) カメラ設定および記録設定がSXVGA・5fpsのとき、最大5fps(JPEG)でライブ表示を行います。

9画のライブ出力では、カメラ設定および記録設定で、各chのフレーム数の合計が90fpsを超える場合に、最大5fps(JPEG)でライブ表示を行います。

JPEG表示は「カメラ設定」における「ライブ画質設定」に従ったフレーム数で表示します。

参考 ▶ 「10.1.4 カメラ設定」を参照してください。

*9) 9画の再生出力では、カメラ設定および記録設定で、各chのフレーム数の合計が90fpsを超える場合に、記録からH.264 IDRフレームのみを抽出して再生する間引き再生を行います。

*10) ネットワーク品質により、配信される映像および音声の再生時に乱れが生じる場合があります。低品質ネットワークでの利用を目的として、H.264 IDRフレームのみ送出するモードがあります。

*11) 背面6系統のUSB端子に接続可能な外付増設HDDは、三菱電機製DX-ZD6-1022、BIOS社製TM102B3-2T02(HDD 2TB(1TB×2台))を想定。

増設HDDは最大7台利用可能。増設HDDを7台接続する場合は、6台目の増設HDDに、7台目の増設HDDをUSBケーブルにて直接接続(カスケード接続)。

*12) 縦置きの設置が可能です(別途、縦置きスタンドが必要になります)。

(本仕様は予告なしに変更することがあります。)

6. 使用許諾

6.1. ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書は、ネットワークレコーダー「NR-8100A」(以下、「本レコーダー」といいます)にインストールされているソフトウェア(以下、「本プログラム」といいます)の使用許諾条件を規定するものです。本プログラムには、停電対策のため本機と合わせて使用する弊社製 UPS「FW-A10L-0.7K」、又は「FW-A10H-0.7K」を駆動する自動シャットダウンソフト「SNMP デーモン FreqShutd(Windows 版)」も含まれます。

お客様が本使用許諾契約のすべての条項を十分ご理解の上、すべての条項に同意される場合にのみ使用が可能です。

第 1 条(使用)

- (1)お客様は、本使用許諾契約書に従って本製品を使用するためにのみ、本プログラムを使用することができます。
- (2)お客様は、本製品の使用を含め、本プログラムを何らかの形でご使用された場合には、お客様は本使用許諾契約書に同意されたことになります。

第 2 条(制限)

- (1)お客様は、本プログラムを複製、変更、解析、サブライセンス及び/又は領布することはできません。本使用許諾契約書に従わずには本プログラムを使用、複製、変更、解析、サブライセンス、領布する行為は、それ自体が無効であり、且つ、本使用許諾契約書がお客様に許諾している一切の権利を自動的に消滅させます。

第 3 条(非独占・譲渡不能)

- (1)お客様に本使用許諾条件に基づき許諾される権利は、非独占的な権利です。また、お客様は、第三者に対し、本使用許諾条件に基づき許諾された権利を譲渡もしくは担保に供することなど他人の権利の目的とすることはできません。

第 4 条(保証及び免責)

- (1)三菱電機は、仕様書に定めた指定環境にて使用された本プログラムが、仕様どおりに動作することを保証します。
- (2)三菱電機は、本プログラムが、使用者の特定の使用目的に適合すること及び/又は有用であることについての保証はしません。
- (3)三菱電機は、上記に加え、法律上の請求原因の如何を問わず、本プログラムの瑕疵、本プログラムの性能・品質・安全性及び技術上、経済上その他一切の事項(製造物責任を含みますが、これに限定されません。)について、責任を負いません。
- (4)三菱電機はお客様が本契約に基づき許諾された権利を行使することにより生じたお客様及び/又は第三者の損害及び/又は第三者からお客様に対する請求に対して、法律上の請求原因の如何を問わず、一切の責任を負いません。
- (5)三菱電機は、上記に加え、法律上の請求原因如何に拘わらず、本プログラムに関連する及び/又は起因する一切の直接、間接、特別損害その他一切の損害に関し、三菱電機の予見の有無を問わず、一切の責任を負いません。
- (6)三菱電機は、本使用許諾契約書第 4 条規定が適法に認められることを前提として、お客様に権利を許諾しています。従いまして、本使用許諾契約書第 4 条規定の全部又は一部が認められない場合(例えば、ある国又は地域において法律によって三菱電機が保証範囲を制限することが認められない場合。但し、これに限定されません。)においては、直ちに且つ自動的に本使用許諾契約書は終了し、お客様に許諾された一切の権利は自動的に消滅します。この場合、本契約は締結時に遡り解除され、三菱電機はいかなる責任も負わず、また、かかる条件の下でのみ本契約終了までの期間に限り三菱電機が所有する著作権の使用者による侵害行為は免責されます。

第 5 条(著作権)

本プログラムの著作権は、三菱電機に帰属します。

- (1)本使用許諾契約書に明示的にお客様に与えられていない権利は、すべて三菱電機に留保されます。

第 7 条(準拠法及び雑則)

本使用許諾契約書の準拠法は、日本法とします。

- (1)お客様は、本プログラムを輸出し又は日本国外に持出す場合、又は日本国内で非住居者に開示もしくは提供する場合には、外国為替及び外国貿易法(以下「外為法」という)及びその関連法令、安全保障輸出管理に関する国際合意、国連決議及び武器輸出三原則を尊守するものとします。本プログラムが外為法に規制されない貨物・技術であっても、お客様は、大量破壊兵器等(核兵器、生物・化学兵器又はこれらを運搬するミサイル等)、通常兵器、または原子炉、原子力用タービン・発電機等の原子力に関連する用途には、いかなる態様であっても使用しないものとし、さらに、かかる用途に流用されることが予測されるまたはそのおそれがある場合には、間接、直接を問わず、本プログラムの提供を行わないものとします。

- (2)本使用許諾契約書は、三菱電機の権限のある事業所長以上の者が署名した文書による場合を除き、変更することはできません。

6.2. マイクロソフト・エンドユーザー使用許諾契約書(EULA)

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 :

Windows® XP Embedded Runtime

本ライセンス条項は、お客様と三菱電機株式会社（「三菱電機」）との契約を構成します。以下のライセンス条項を注意してお読みください。これらのライセンス条項は本デバイスに含まれる本ソフトウェアに適用されます。本ソフトウェアには、本ソフトウェアが記録された別の媒体も含まれます。

本デバイスの本ソフトウェアには、マイクロソフトまたはその子会社からライセンス許諾されたソフトウェアが含まれています。

また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア
- インターネットベースのサービス
- サポート サービス

ただし、これらの製品に別途ライセンス条項が付属している場合は、当該ライセンス条項が適用されるものとします。お客様がマイクロソフトから更新プログラムまたは追加ソフトウェアを直接入手された場合、三菱電機ではなく、マイクロソフトが当該更新プログラムまたは追加ソフトウェアを許諾します。

以下に説明するように、一部の機能を使用することにより、インターネットベースのサービスのために特定のコンピュータ情報を送信することにお客様が同意されたものとします。

本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本ライセンス条項に同意されたものとします。本ライセンス条項に同意されない場合、本ソフトウェアを使用または複製することはできません。この場合、三菱電機に問い合わせて、お支払いいただいた金額の返戻しに関する方針を確認してください。

お客様が本ライセンス条項を遵守することを条件として、お客様には以下が許諾されます。

1. 使用に関する権利。

お客様は、本ソフトウェアを取得した本デバイスで本ソフトウェアを使用できます。

2. 追加のライセンス条件および追加の使用権。

a. 固有の使用。三菱電機は、本デバイスを特定の目的で使用するように設計しています。お客様は当該使用目的に限り本ソフトウェアを使用できます。

b. その他のソフトウェア。お客様は、他のプログラムが以下の条件を満たす場合に限り、本ソフトウェアで他のプログラムを使用できます。

- ・ 製造業者の固有のデバイス使用目的を直接サポートする。
- ・ システム ユーティリティ、リソース管理、またはウイルス対策や類似する保護対策を提供する。

コンシューマまたはビジネス タスクやプロセスを提供するソフトウェアを本デバイスで実行することはできません。該当するソフトウェアには、電子メール、ワード プロセッサ、表計算、データベース、スケジュール作成、および家計簿ソフトウェアが含まれています。本デバイスは、ターミナル サービス プロトコルを使用して、サーバーで実行されるこれらのソフトウェアにアクセスできます。

c. デバイス接続。

- ・ お客様は、ターミナル サービス プロトコルを使用して、電子メール、ワード プロセッサ、スケジュール作成や表計算などのビジネス タスクやプロセス ソフトウェアを実行する別のデバイスに本デバイスを接続することができます。
- ・ お客様は、最大 10 台のデバイスに本ソフトウェアへのアクセスを許可し、以下を利用することができます。
 - ・ ファイル サービス
 - ・ プリント サービス
 - ・ インターネットの情報サービス
 - ・ インターネット接続共有サービスおよびテレフォニー サービス

この 10 台という制限は、「マルチプレキシング」または接続数をプールするその他のソフトウェアもしくはハードウェアを介し本ソフトウェアに間接的にアクセスするデバイスにも適用されます。お客様は TCP/IP を介していくても無制限に受信できます。

3. 使用許諾の適用範囲。

本ソフトウェアは使用許諾されるものであり、販売されるものではありません。本契約は、お客様に本ソフトウェアを使用する限定的な権利を付与します。三菱電機およびマイクロソフトはその他の権利をすべて留保します。適用法によりこの権利を超越した権利が与えられる場合を除き、お客様は本契約で明示的に許可された方法でのみ本ソフトウェアを使用することができます。お客様は、本ソフトウェアに組み込まれた使用方法を制限する技術的制限に従うものとします。詳細については、本ソフトウェアのマニュアルを参照するか、三菱電機にお問い合わせください。上記の制限にもかかわらず、法律上許容される範囲において、以下の行為は一切禁止されています。

- ・ 本ソフトウェアの技術的な制限を回避する方法で利用すること
- ・ 本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすること
- ・ 本契約に指定される数を超えて本ソフトウェアの複製を作成すること
- ・ 第三者が複製できるように本ソフトウェアを公開すること
- ・ 本ソフトウェアをレンタル、リース、または貸与すること
- ・ 本ソフトウェアを商用ホスティング サービスで使用すること

本契約で定められている場合を除き、任意のデバイス上で本ソフトウェアにアクセスする権利は、当該デバイスにアクセスする本ソフトウェアまたは本デバイスに関する三菱電機またはマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。

お客様は、リモート デスクトップなどのリモート アクセス技術を使用して、別のデバイスから本ソフトウェアにリモート アクセスすることができます。他のソフトウェアにアクセスするプロトコルの使用に必要なライセンスの取得にはお客様が責任を負うものとします。

- ・ リモート ブート機能。三菱電機が本デバイスにおいて本ソフトウェアのリモート ブート機能を有効にしている場合、お客様は以下の操作ができます。
 - (i) 本ソフトウェアの複製 1 部をお客様のサーバーにインストールして、ライセンス取得済みデバイスにリモート ブート プロセスの一環として展開するためのみに Remote Boot Installation Service (RBIS) ツールを使用する。
 - (ii) リモート ブート プロセスの一環として本ソフトウェアをデバイスに展開するためのみに Remote Boot Installation Service を使用する。
 - (iii) 本ソフトウェアをライセンス取得済みデバイスにダウンロードして、ライセンス取得済みデバイスで使用する。
- ・ 詳細については、本ソフトウェアのマニュアルを参照するか、三菱電機にお問い合わせください。
- ・ インターネットベースのサービス。マイクロソフトは、本ソフトウェアと共にインターネットベースのサービスを提供します。マイクロソフトは隨時このサービスを変更または中止できるものとします。

このサービスの変更または中止に関する詳細については、マイクロソフトにお問い合わせください。

- a. **インターネットベースのサービスに関する同意。** 本ソフトウェアには、以下に説明するインターネットを経由してマイクロソフトのコンピュータ システムに接続する機能が含まれます。接続が行われる際、通知が行われない場合があります。これらの機能を解除したり、使用しないことも選択できます。これらの機能に関する詳細については、以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.microsoft.com/windowsxp/downloads/updates/sp2/docs/privacy.mspx>

これらの機能を利用することで、お客様はマイクロソフトがこれらの情報を収集することに同意されたものとします。マイクロソフトはこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。

- b. **コンピュータ情報。** 以下の機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様の IP アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、ならびに本ソフトウェアをインストールした本デバイスの言語コードなどのコンピュータ情報を適切なシステムに送信します。マイクロソフトは、お客様にインターネットベースの複数のサービスを提供するためにこれらの情報を利用します。

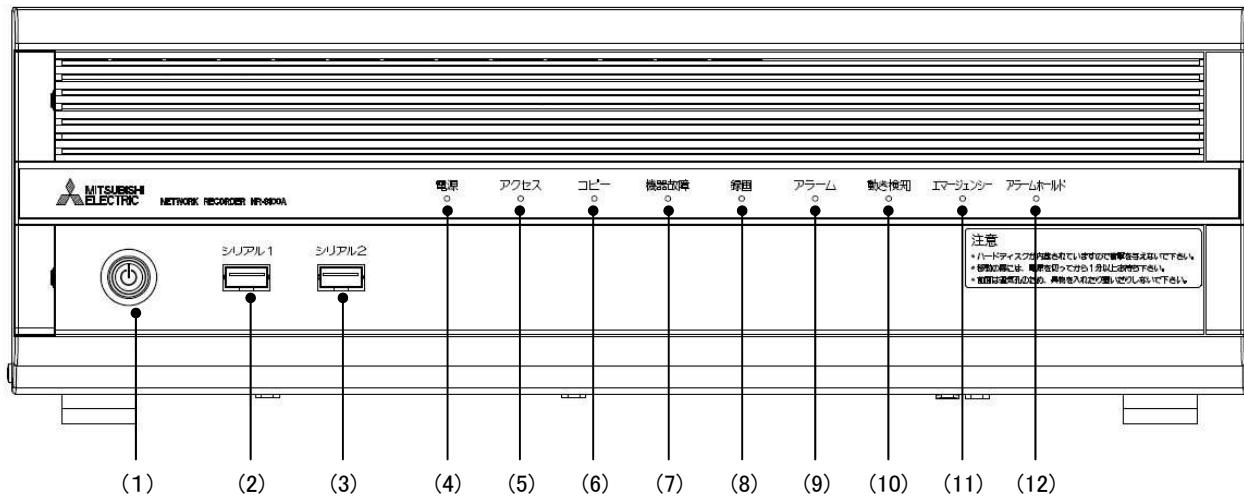
- ・ **Web コンテンツ機能。** 本ソフトウェアには、関連するコンテンツをマイクロソフトから取得し、お客様に提供する機能が含まれます。コンテンツを提供するために、これらの機能は、お客様が使用しているオペレーティング システムの種類、本ソフトウェアの名称およびバージョン、本ソフトウェアをインストールした本デバイスのブラウザの種類および言語コードをマイクロソフトに送信します。この機能の例として、クリップ アート、テンプレート、オンライン レーニング、オンライン アシスタンス、および Appshell が含まれます。これらの機能は、起動しない限り動作せず、お客様は、これらの機能を解除することも、使用しないことも選択できます。
- ・ **電子認証。** 本ソフトウェアはデジタル証明書を使用します。これらの電子認証は、X.509 標準暗号化情報を使用し、インターネット ユーザーを特定します。本ソフトウェアは証明書を取得し、証明書失効リストを更新します。このセキュリティ機能は、お客様がインターネットに接続した場合にのみ作動します。
- ・ **Auto Root Update。** Auto Root Update 機能は信頼できる認証機関のリストを更新します。Auto Root Update 機能は解除することができます。
- ・ **Windows Media Player。** お客様が Windows Media Player を使用すると、マイクロソフトに対して以下が確認されます。

- お客様の地域において利用可能なオンライン音楽サービス
 - Windows Media Player の最新バージョン
 - Codec (コンテンツの再生に必要な Codec が本デバイスにない場合)。
お客様は、この機能を解除することができます。詳細については、
<http://microsoft.com/windows/windowsmedia/mp10/privacy.aspx> をご参照ください。
- Windows Media Digital Rights Management。**コンテンツ所有者は、著作権を含む知的財産権を保護する目的で、Windows Media Digital Rights Management (WMDRM) 技術を使用しています。本ソフトウェアおよび第三者のソフトウェアは、WMDRM で保護されたコンテンツを再生、複製する際に WMDRM を使用します。本ソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、コンテンツ所有者がマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツを WMDRM を使用して再生または複製する本ソフトウェアの機能を無効にするよう要請することができます。無効にされた場合も、その他のコンテンツは影響を受けません。保護されたコンテンツのライセンスをダウンロードする際、お客様はマイクロソフトがライセンスに失効リストを含めることに同意したものとします。コンテンツ所有者は、お客様がこれらのコンテンツにアクセスする前に、WMDRM のアップグレードを要請することができます。WMDRM を含むマイクロソフト ソフトウェアは、アップグレードに先立ってお客様の同意を求めます。アップグレードを行わない場合、お客様はアップグレードが必要なコンテンツにアクセスできません。インターネットに接続する WMDRM 機能は解除することができます。この機能が解除されている場合、正規のライセンスを取得している限り、コンテンツを再生することは可能です。
- c. インターネットベース サービスの不正使用。お客様は、これらのサービスにダメージを及ぼす可能性のある方法、または第三者によるサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁じられています。
4. **Windows Update Agent (Software Update Services とも呼ばれます)。**本デバイスにインストールされた本ソフトウェアには、必要なサーバー コンポーネントがインストールされたサーバーに本デバイスを接続して更新プログラム (「Windows Update」) にアクセスできるようにした Windows Update Agent (「WUA」) 機能が含まれています。Windows Update が付属するマイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項または他の EULA の免責に限らず、お客様は、本デバイスにインストールする Windows Update について、三菱電機、マイクロソフトおよびその子会社は保証を行わないことを認め、同意するものとします。
5. **製品サポート。**サポート方法については、三菱電機にお問い合わせください。サポートの連絡先については本デバイス付属の文書をご参照ください。
6. **バックアップ用の複製。**お客様は、本ソフトウェアのバックアップ用の複製を 1 部作成することができます。バックアップ用の複製は、お客様が本ソフトウェアを本デバイスに再インストールする場合に限り使用することができます。
7. **ライセンス証明書 (『Proof of License』または『POL』)。**お客様が本ソフトウェアを本デバイスにインストールされた状態、CD-ROM またはその他の媒体で入手された場合、本ソフトウェアが正当に許諾されたものであることは、正規のマイクロソフト「Certificate of Authenticity」ラベルが正規の本ソフトウェアに付属していることをもって識別することができます。正規のラベルは本デバイス上もしくは 三菱電機のソフトウェア梱包に貼付されている必要があります。ラベルが別途付属する場合は、無効とみなされます。お客様が本ソフトウェアの使用許諾を受けていることを証明するため、ラベルが貼付された本デバイスもしくは梱包材を保管してください。正規のマイクロソフト ソフトウェアを識別する方法については、<http://www.howtotell.com> をご参照ください。
8. **第三者への譲渡。**お客様は、本ソフトウェアを、本デバイス、Certificate of Authenticity ラベル、および本契約書と一緒にのみ、第三者に直接譲渡することができます。譲渡の前に、本ソフトウェアの譲受人は本ライセンス条項が、譲渡および本ソフトウェアの使用に適用されることに同意しなければなりません。お客様は、バックアップ用の複製を含む本ソフトウェアの複製を一切保持することができます。
9. **非フォールトレント。**本ソフトウェアは、フォールトレントではありません。
10. **使用の制限。**マイクロソフト ソフトウェアは不具合に対して自動的に対応できる機能または性能を持たないシステムを対象にしています。お客様は、万一誤作動した場合に人身傷害もしくは死亡につながる可能性のあるデバイスまたはシステムでマイクロソフト ソフトウェアを使用することはできません。使用の制限には、原子力施設の操業、航空機の航行、通信システム、および航空管制が含まれます。

11. **本ソフトウェアの保証なし。** 本ソフトウェアは、何ら保証のない現状有姿のまま瑕疵を問わない条件で提供されます。本ソフトウェアの使用から生じるリスクは、お客様が負うものとします。他の明示的な保証または条件は規定いたしません。本デバイスもしくは本ソフトウェアに関する保証は、三菱電機、マイクロソフトまたはその子会社が負うことはなく拘束されるものではありません。法律上許容される最大限において、商品性、特定目的に対する適合性、非侵害性に関する默示の保証について三菱電機およびマイクロソフトは一切責任を負いません。
12. **責任の制限。** 三菱電機、マイクロソフトおよびその子会社の責任は、250 米ドル (US\$250.00) を上限とする直接損害に限定されます。その他の損害（派生的損害、逸失利益、特別損害、間接損害、または付隨的損害を含みますがこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。
この制限は、以下に適用されるものとします。
 - ・ 本ソフトウェア、サービス、第三者のインターネットのサイト上のコンテンツ（コードを含みます）または第三者のプログラムに関連した事項
 - ・ 契約違反、保証違反、無過失責任、または該当法で許可されている範囲の過失に関する主張三菱電機またはマイクロソフトがこのような損害の可能性について知らされていた場合も制限が適用されるものとします。上記の制限は、一部の国では付隨的、派生的、およびその他の損害の免責、または責任の制限が認められないため、適用されない場合があります。
13. **輸出規制。** 本ソフトウェアは米国および日本国の輸出に関する規制の対象となります。お客様は、本ソフトウェアに適用されるすべての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。これらの法律には、輸出対象国、エンドユーザーおよびエンドユーザーによる使用に関する制限が含まれます。詳細については www.microsoft.com/japan/exporting をご参照ください。

7. 各部の名称と働き

■本体前面部



(1)電源ボタン

電源 ON/OFF 用です。OFF 時には画面上のパスワードの入力が必要となります。

電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。

(2)(3)シリアル端子

高速シリアルインターフェース(USB2.0)

マウス、USB メモリ、外付け DVD ドライブ用の USB ポートです。

(4)電源ランプ

電源 ON 時に点灯します。

(5)アクセスランプ

HDD/SSD アクセス時に点灯します。

(6)コピーランプ

記録データを外部メディアにコピーする時に点灯します。

(7)機器故障ランプ

機器が故障したことを検知して点灯します。

(8)録画ランプ

映像記録中に点灯します。

(9)アラームランプ

ALARM IN 端子に入力されたアラーム信号を検知すると点灯します。

(10)動き検知ランプ

カメラのモーションディテクト機能により、動きを検知すると点灯します。

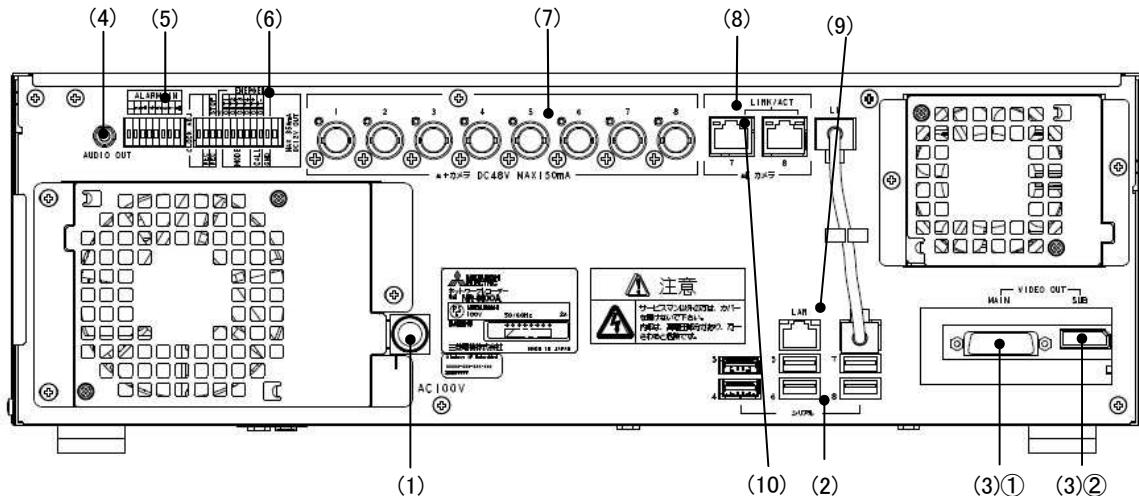
(11)エマージェンシーランプ

緊急記録中に点灯します。

(12)アラームホールドランプ

このランプは未サポートです。

■ 本体後面部



(1) AC 電源コード

- アース端子は、安全のための接地アースです。
本レコーダーの AC 電源コードは必ずアース付きの AC100V のコンセントに差込んでください。
- 電源プラグのコンセントへの挿抜は、30 秒以上の間隔をおいて実施してください。

(2)シリアル端子

増設 HDD を接続するための端子です。

(3)モニタ OUT 端子

①ローカルモニタ端子

フル HD 対応モニタに接続してください。

②外部モニタ端子

SXVGA または WXGA 対応モニタに接続してください。

(4)音声用ミニジャック(AUDIO OUT)端子

ミニジャックピンの音声出力端子です。

(5)ALARM IN 端子

アラーム信号を入力するための端子です。

(6)I/O 端子

①CLOCK ADJ 端子

時刻表示の時刻を合わせるための入力端子です。

この端子に信号が入力されると「システム設定」の設定時刻で設定した時刻にリセットされます。

参考 ▶

「10.1.2 システム設定」83 ページを参照ください。

参考 ▶

「10.3.1.2. I/O 端子(1)CLOCK ADJ」129 ページを参照ください。

②REC 端子

記録を開始させるための入力端子です。

③REC STOP 端子

記録を停止させるための入力端子です。

④EMERGENCY 端子

強制的に緊急記録モードへ移行させるための入力端子です。

⑤MODE OUT 端子(1~4)

本レコーダーの状態を外部に伝えるための出力端子です。

⑥CALL OUT+/CALL OUT-端子

本レコーダーの障害を外部に知らせるための端子(アイソレーション端子)です。

⑦GND端子

共有のグランド端子です。

⑧DC 12V OUT 端子

直流電圧出力のための端子で、電源プラグがコンセント挿入状態で電源ボタンが ON の場合にのみ出力します。定格最大電流は 350mA です。

(7)カメラ接続端子(1)

MELOOK μ⁺カメラを接続するための端子です。

(8)カメラ接続端子(2)

MELOOK μ^{II}カメラ、旋回カメラ、アナログカメラを接続する端子です。

(9)LAN 接続端子

ネットワーク(遠隔監視 PC)と接続するための端子です。

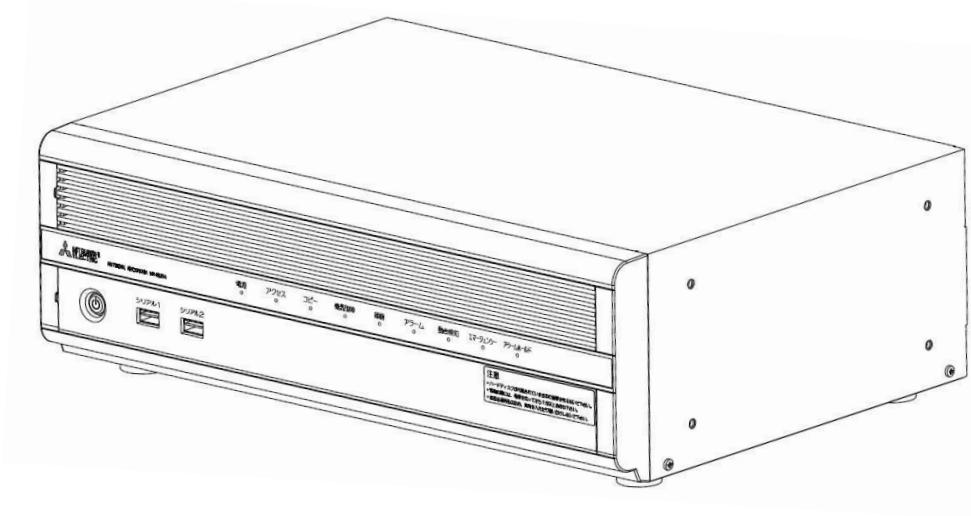
(10)LAN カメラリンク LED

LAN カメラとのデータ送受信時に点滅します。

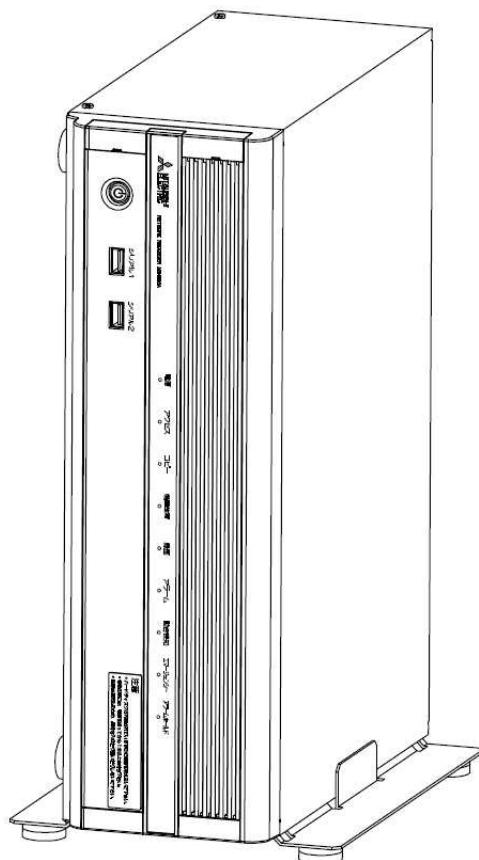
7.1. 据付のしかた

横置きまたは、縦置き用スタンド(オプション)を用いて縦置きに据付できます。

1.横置き

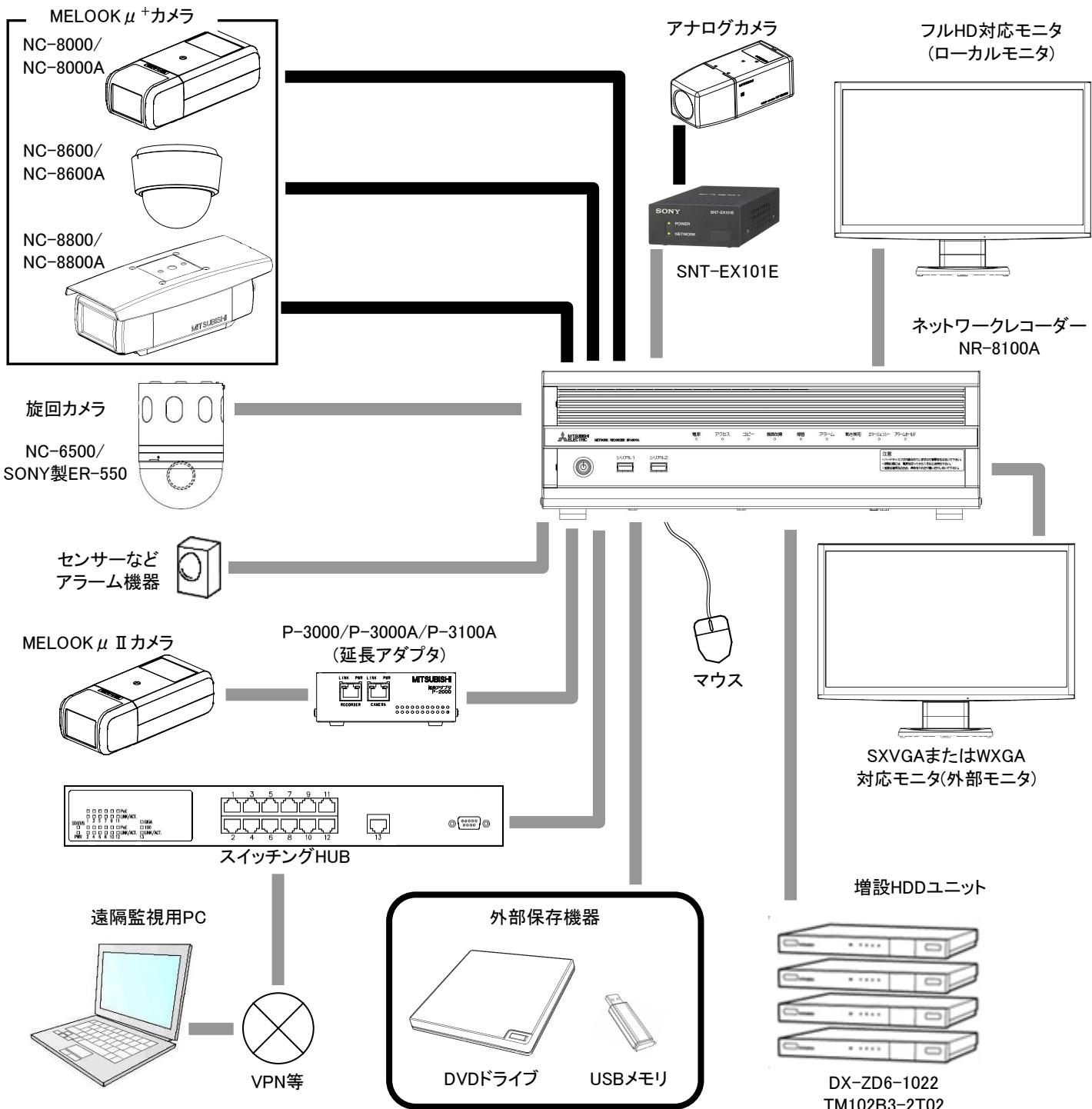


2.縦置き



8. 接続のしかた

8.1. 全体構成

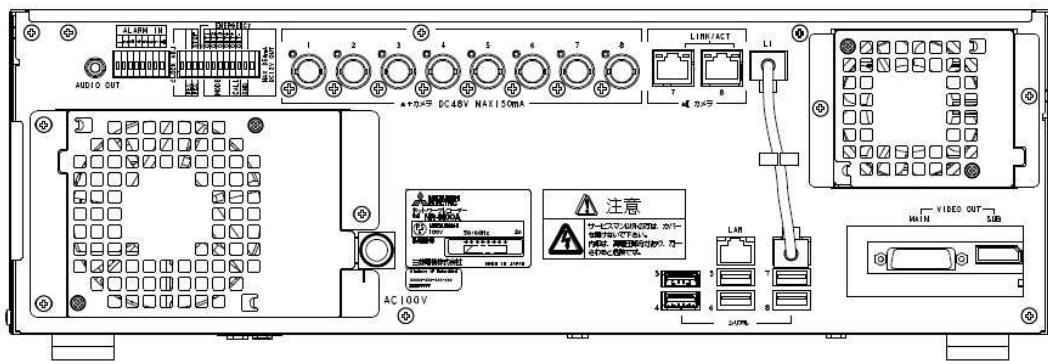
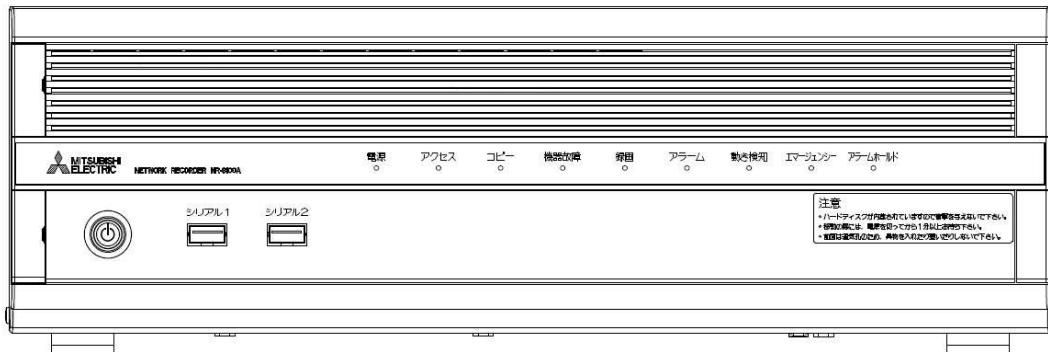


- ① LAN ケーブルは、ギガビットイーサネット対応エンハンストカテゴリ5e相当のケーブル、マウスは、USB 対応マウス、モニタは、フル HD 対応モニタをそれぞれお使いください。また、上図で指定した以外の機器は接続しないでください。
- ② 本レコーダーやその他の接続機器を、複数台段積みしないでください。故障の原因となることがあります。

8.2. 各機器の接続のしかた

本レコーダーの電源を入れる前に接続をしてください。

下図は、NR-8100A の前面部と後面部です。

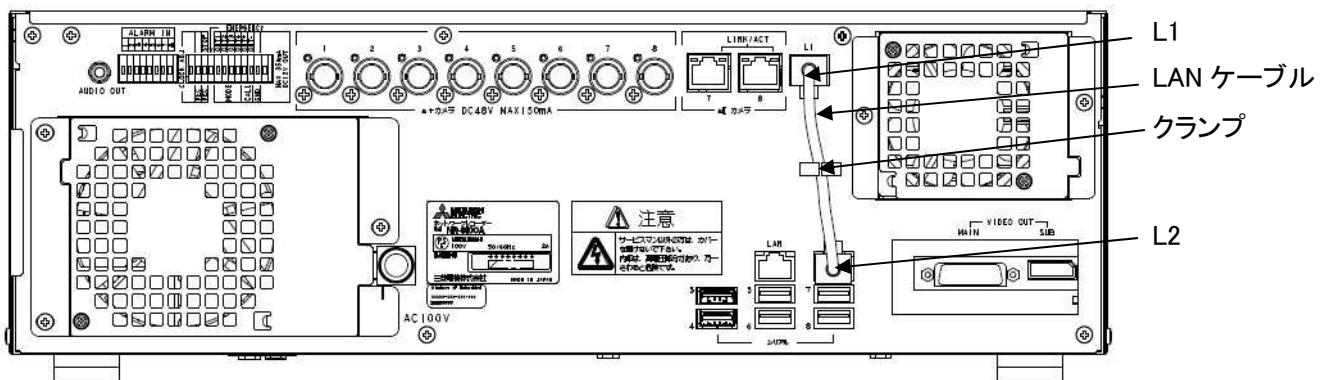


8.2.1. 付属の LAN ケーブルの接続

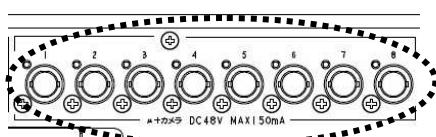
(1) 本レコーダーに付属の LAN ケーブルを図のように「L1」と「L2」とを接続します。

(2) 「カチッ」と音がするまで、しっかりと奥まで差込みます。

(3) ケーブルをクランプで固定します。



8.2.2. MELOOK μ + カメラのケーブル接続

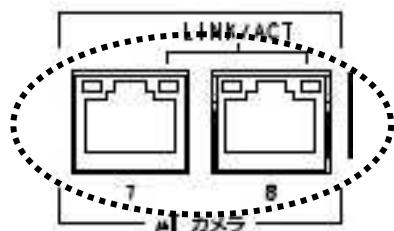


(1) MELOOK μ + カメラからのケーブルを接続します。

① MELOOK μ II カメラ、MELOOK μ カメラ、MELOOK-DGII カメラには対応しておりませんので、接続しないでください。

(2) コネクタを溝に合わせて差込み後、回してしっかりと取り付けます。

8.2.3. MELOOK μ II、旋回、アナログカメラのケーブル接続、延長アダプタのケーブル接続

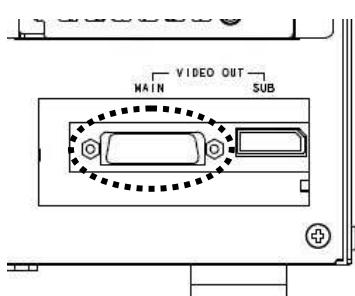


(1) MELOOK μ II カメラ、旋回カメラ、アナログアダプタ、延長アダプタからのケーブルを接続します。

① MELOOK μ カメラ、MELOOK-DGII カメラには対応しておりませんので、接続しないでください。

(2) 「カチッ」と音がするまで、しっかりと奥まで差込みます。

8.2.4. モニタケーブルの接続

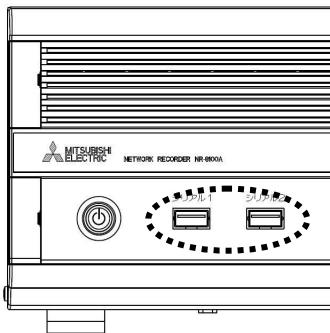


(1) ローカルモニタ(MAIN)からのケーブルを接続します。(差込みの上下を確認します)

(2) 抜けないように、しっかりと奥まで差込み、ネジを締め付けてください。

- ① フルHD対応モニタを使用してください。フルHDに対応していないモニタを接続した場合、正常に表示ができません。
- ① モニタケーブルを接続してから本レコーダーの電源を入れてください。
- ① モニタケーブルを接続する前に本レコーダーの電源を入れるとモニタの表示が乱れる場合があります。
そのようなときは、前面の電源ボタンを押して電源を入れなおしてください。
- ① MAIN側は DVI-I コネクタ です。
- ① 電源ON中にコネクタを抜き差ししないでください。
- ① 外部(SUB)モニタのみを接続した場合、ローカルモニタの表示内容が外部(SUB)モニタに表示されます。
- ① 「EDID保持機能無し」映像分配器を接続した場合、正常に画面出力しないことがあります。EDID保持機能機器を接続してください。
- ① 外部モニタ接続時に、外部モニタのメイン電源をOFFにすると再ONしても外部モニタから画像が出なくなるモニタがあります。
- ① 本レコーダーには、ローカルモニタ(MAIN)、外部モニタ(SUB)の 2 系統を接続可能ですが、本レコーダー動作中にモニタケーブルの抜き差しは行わないでください。本レコーダー動作中にモニタケーブルの抜き差しを行うと、規定の解像度がモニタに表示されない場合があります。
その際はレコーダー本体の再起動を行ってください。
なお、レコーダー本体の再起動中は、記録が停止しておりますのでご注意ください。

8.2.5. マウスの接続



(1)マウスの USB ケーブルを接続します。

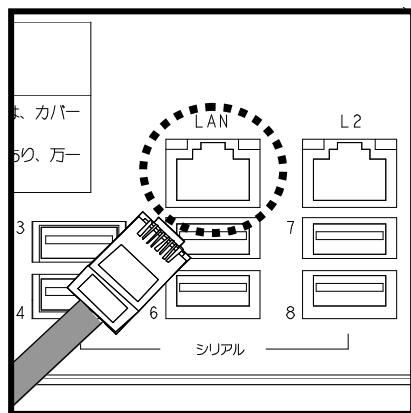
(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。

!
マウスを抜き差しする際は、10 秒以上の間隔をおいて実施してください。
認識できなくなる場合があります。

!
本機は、マウスのみで操作する設計となっております。
キーボードは使用しないため、接続しないでください。

➡
マウスは、マイクロソフト製:Compact Optical Mouse 500 v2.0 を動作確認
しています。それ以外は、販売店にご相談ください。

8.2.6. LAN ケーブルの接続(遠隔監視機能を使用するとき)

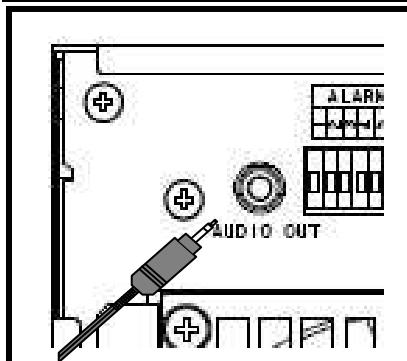


(1)LAN ケーブルを「LAN」に接続します。

(2)「カチッ」と音がするまで、しっかりと差込みます。

➡
レコーダー動作中に LAN ケーブルを抜き差しした場合、画面下に OS の
タスクバーが表示されることがあります。
画面のボタンをクリックすることで通常画面に戻ります。

8.2.7. 音声用ミニジャック(AUDIO OUT)の接続(音声を使用するとき)

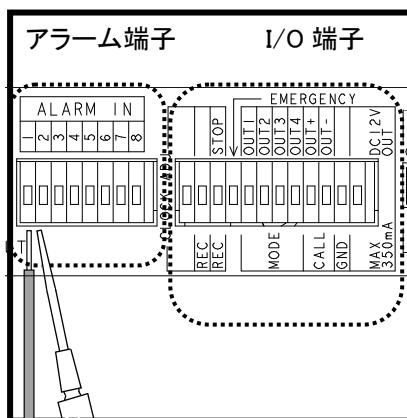


(1)音声用ミニジャックを接続します。

(2)抜けないようにしっかりと奥まで差込みます。

!
外部モニタとローカルモニタが接続されている場合、ミニジャックが接続されていない側のモニタでは音声出力できません。

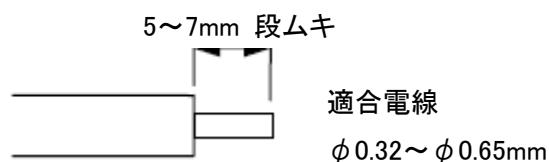
8.2.8. アラーム端子またはI/O端子の接続(アラーム機能を使用するとき)



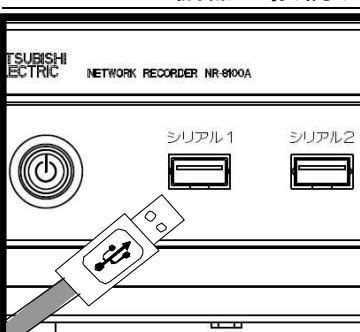
(1)アラーム機器接続のリード線を接続します。

(2)接続する端子部のボタンをマイナスドライブなどで押しながらリード線を差込みます。

(3)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。



8.2.9. USB機器の接続(コピー用USBメモリ、コピー用DVDドライブ)



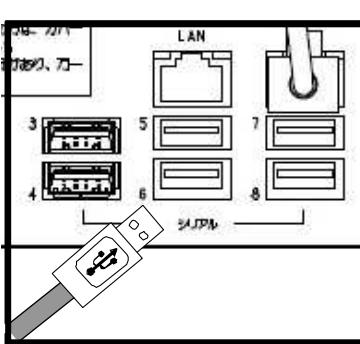
本体前面部

(1)機器のUSBケーブルもしくはコネクタを接続します。

(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。

!
動作確認済みのUSBメモリは、「コピーについて」10頁を参照してください。
それ以外は、販売店にご相談ください。
なお、セキュリティー対応のUSBメモリは、動作致しませんのでご注意ください。
!
本体後面部のシリアル端子には接続しないでください。
!
レコーダー立ち上げ中にUSB機器の接続を行わないでください。

8.2.10. 増設HDDの接続



本体後面部

(1)機器のUSBケーブルもしくはコネクタを接続します。

(2)抜けないように、しっかりと奥まで差込みます。

9. 基本操作

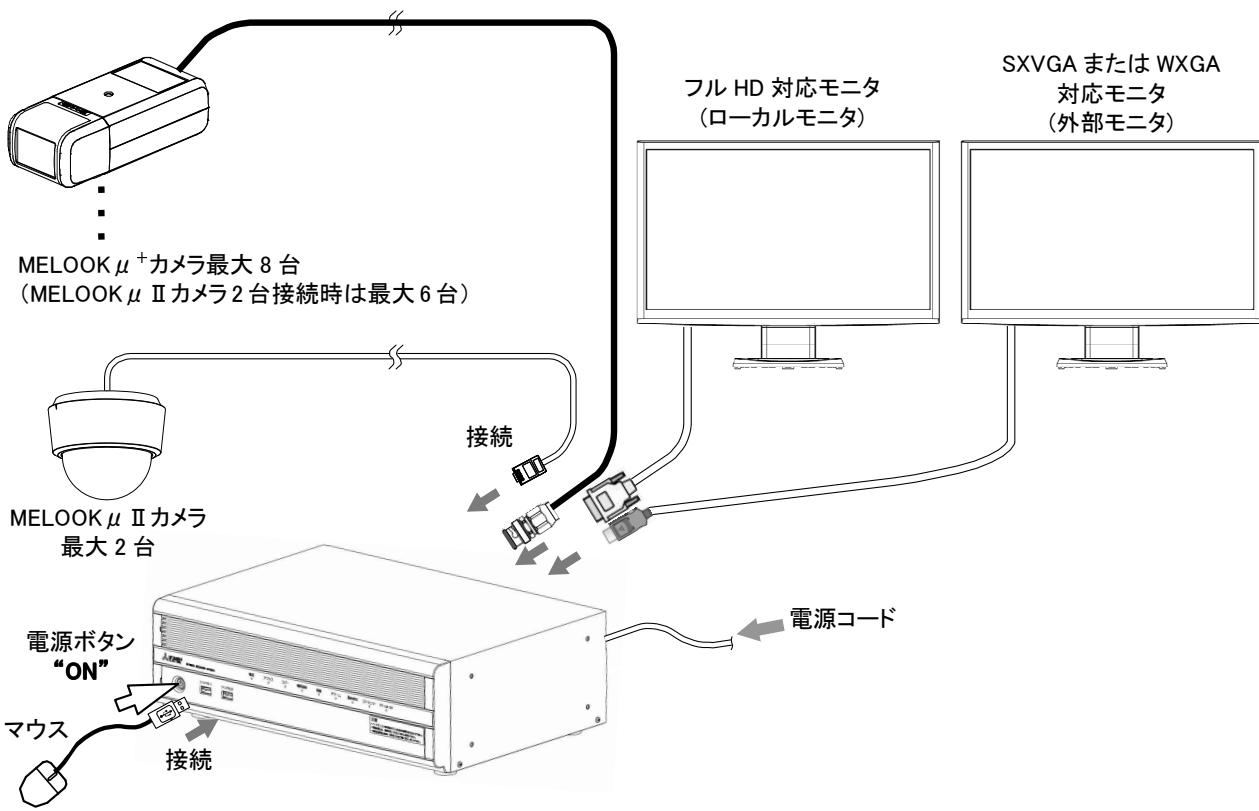
9.1. 初めてお使いになる場合

本レコーダーは、MELOOK μ +カメラ、モニタ、及びマウスを接続し、電源を入れるだけで動作します。初めてお使いになる場合には、下記の手順に従い操作してください。

○ 接続と配線

接続する機器は下図のとおりです。 (①) 「8.接続のしかた」26 ページを参照してください。

※接続例



① ユーザーレベルについては「9.3 ユーザーレベル」46 ページを参照してください。

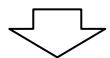
○ 電源をONし、本レコーダーを起動する。

参考 ▶ 「9.2.基本的な操作」36 ページを参照してください。

本体前面部の電源ボタンを押すと本レコーダーが起動します。

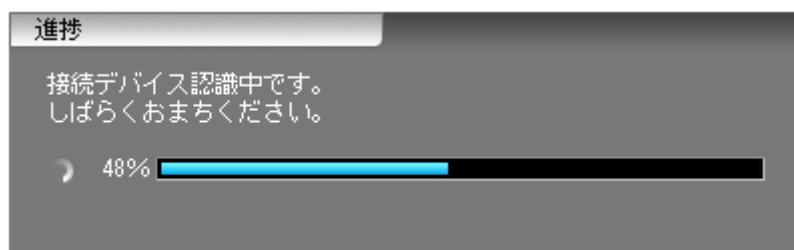
(コンセント挿し込み時は、毎回、自動で起動します)

① 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。



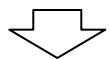
○ 接続デバイスの認識

本レコーダーを初めて起動する場合に、起動後に図のような接続デバイス認識中画面を表示します。



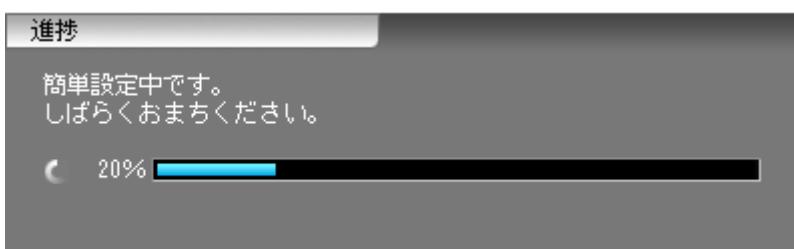
接続デバイス認識中画面

① 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。



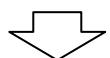
○ 簡単設定中画面の表示

接続デバイス認識後に図のような簡単設定中画面を表示します。



簡単設定中画面

① 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。



○ システム運用方針の選択

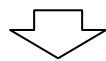
次にシステムの運用方針の選択画面を表示します。



システム運用方針の選択画面

① 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。

参考 ⇨ 「10.1.13.簡単設定」【手順 3】(2)109 ページを参照してください。



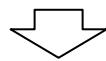
○ 設定内容の確認



(1) LAN カメラエリア

- ① 「LAN カメラ 1」、「LAN カメラ 2」にカメラ接続時、自動的にチェックが入ります。
② 「LAN カメラ 1」、「LAN カメラ 2」のチェックボックスは初回起動簡単設定ではボタンが有効になりません。

参考 ⇨ 「10.1.13.簡単設定」109 ページを参照してください。

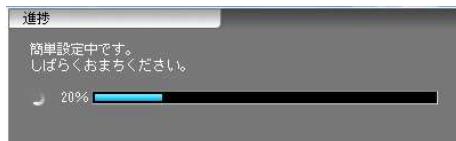


① 設定したビットレートの合計が 24Mbps を超過した場合、下記確認メッセージが表示されます。

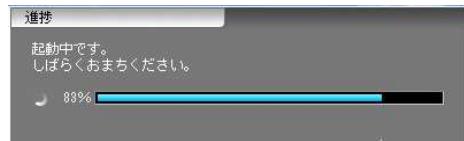


○ 起動画面の表示

システム運用方針選択後に簡単設定の継続を行い、起動します。

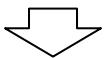


簡単設定中画面



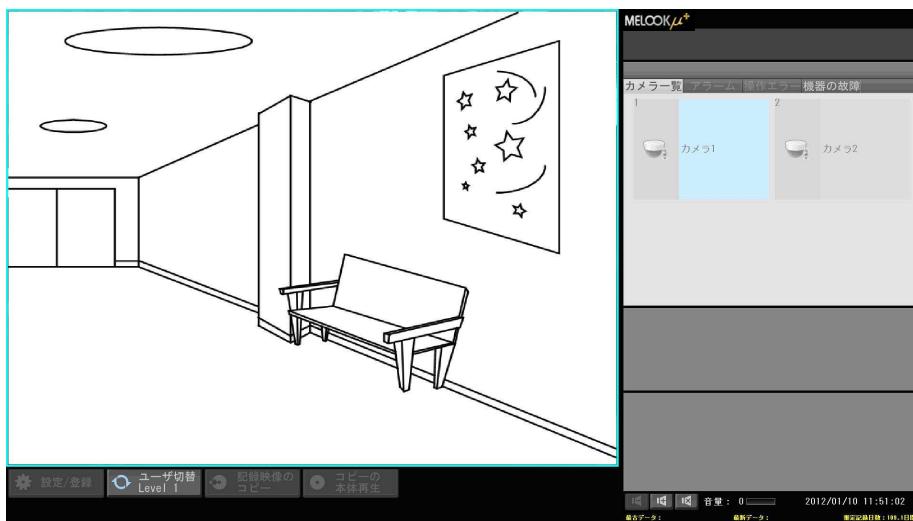
起動中画面

① 起動中・設定中には、電源の操作などは行わないでください。故障の原因となります。



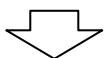
○ 初期画面の表示

起動画面に続き、「カメラ 1」に接続された映像を表示します。



① カメラ未接続で起動した場合には、カメラ未登録となります。

また、起動に時間がかかる場合がありますのでご注意ください。

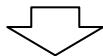


○ 時刻設定

本レコーダーの時刻を設定します。

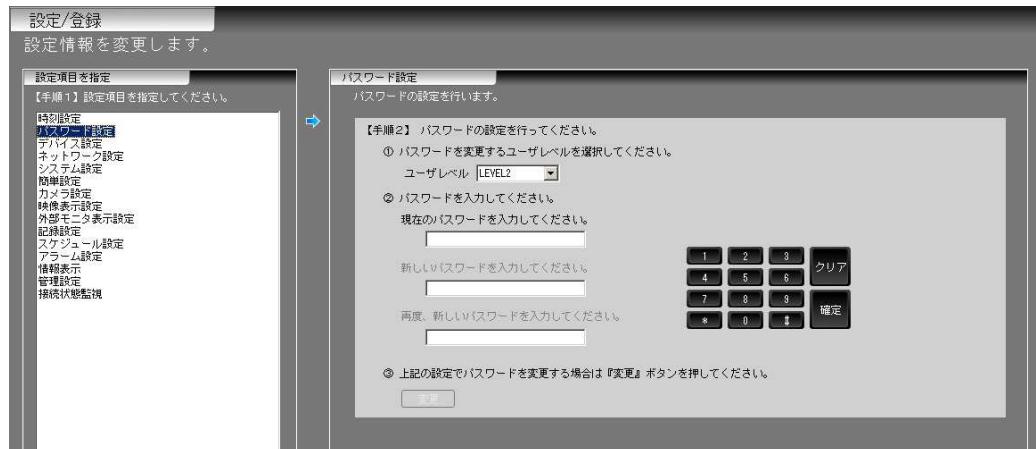


参考 ⇨ 「10.1.12.時刻設定」108 ページを参照してください。



○ パスワードを変更する

各種操作・設定を実施するためにユーザー切替えを行うパスワードを、工場出荷時の設定から変更してください。



参考 ⇨ 「10.1.11.パスワード設定」106 ページを参照してください。

参考 ⇨ その他の操作方法や各種設定項目については

「9.2.基本的な操作」36 ページ、「10.応用操作」79 ページを参照してください。

① カメラのケーブル配線などは、販売店にご相談ください。

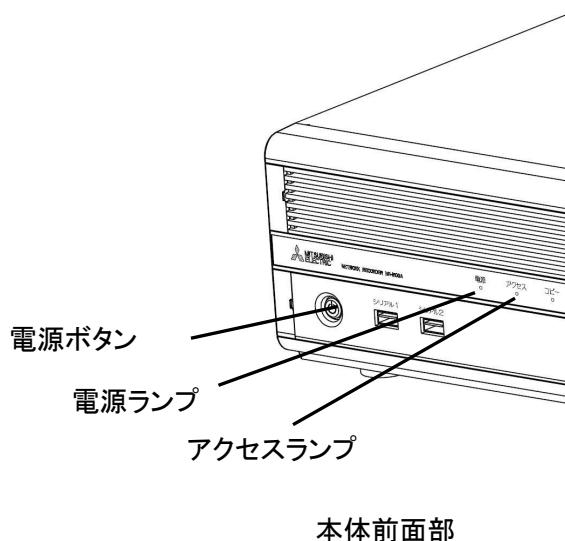
9.2. 基本的な操作

本レコーダーの基本的な操作について説明します。

④ 本レコーダーの操作は、すべてマウスを使って行います。画面をタッチして操作はできません。

9.2.1. 電源の ON/OFF について

- (1) 本レコーダーの電源を ON するには、本体前面部の電源ボタンを押してください(電源 ON)。
(コンセント挿し込み時は、毎回、自動で起動します)
 - (2) 本体前面部の電源ランプが点灯しているとき、本レコーダーの電源が入っています。
 - (3) 電源 ON 状態で電源ボタンを押すと、パスワード要求画面が表示されます。正しいパスワードを入力すると電源 OFF 処理を行います。
 - (4) 本レコーダーの終了処理が完了すると、電源ランプが消灯し自動的に電源 OFF します。

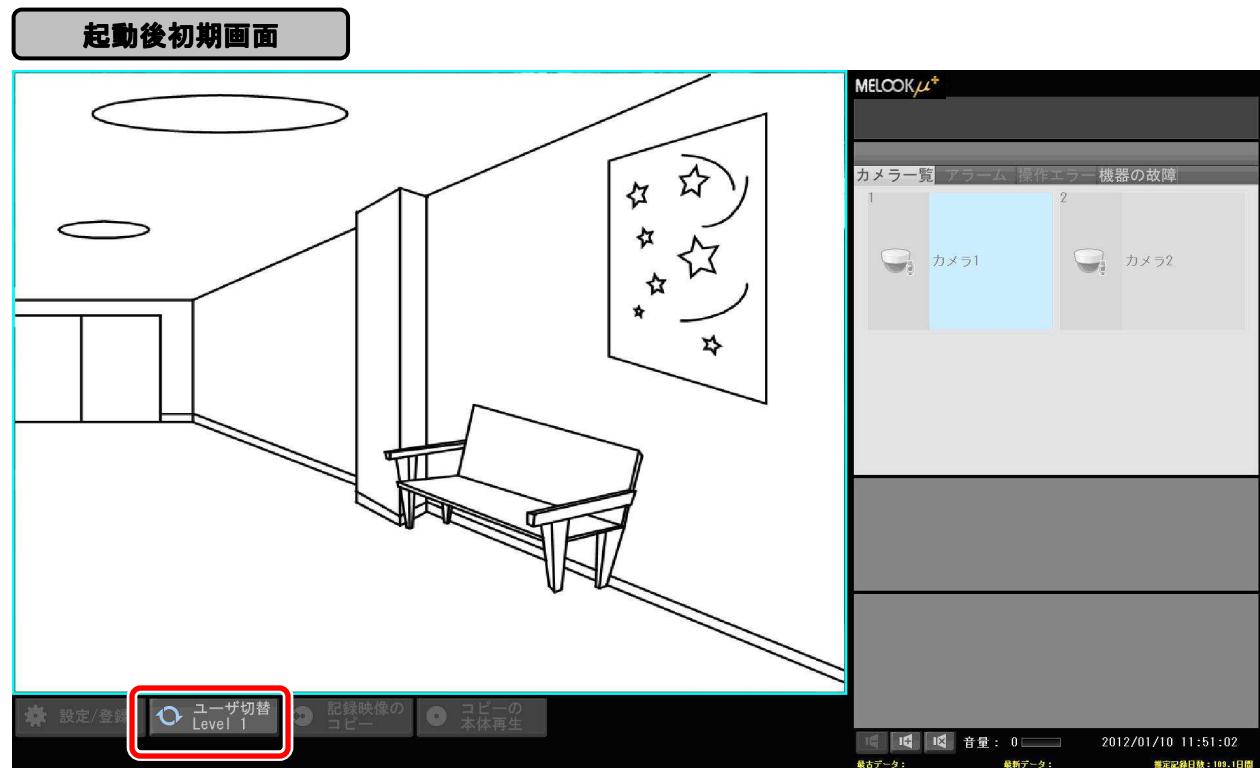


- ① 電源プラグのコンセントへの挿抜は、30秒以上の間隔をおいて実施してください。
 - ① 電源投入後は、電源プラグで電源 OFF 操作をしないでください。故障の原因になります。
 - ① 本体前面部の電源ボタンを押して電源 OFF 操作をしてください。電源ランプが消灯してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、「設定/登録」画面では電源 OFF できませんのでご注意ください。
 - ① 電源を強制的に OFF にするとHDD故障等の原因になります。止むを得ず、本レコーダーの電源を強制的に OFF にするときは、本体前面部の電源ボタンを長押し(10秒)してください。
 - ① 電源投入直後のユーザーレベルは、レベル1になります。
 - ① 部分拡大(ズーム)のポップアップメニュー「9.4.2 映像表示パネル 48 ページ参照」表示中に、電源ボタンを押さないでください。

参考 ⇨ ユーザーレベルの詳細は「9.3 ユーザーレベル」46 ページを参照してください。

9.2.2. ユーザーレベルを切替える

記録・再生の設定や映像データのコピーなどを実施する場合には、ユーザーレベル 2 または 3 に変更する必要があります。次の手順でユーザーレベルを切替えて下さい。



「設定とその他の操作」パネル

☞ 工場出荷時のユーザーレベルの切替え時のパスワードは下記の通りです。

ユーザーレベル 2:*****

ユーザーレベル 3:04140502

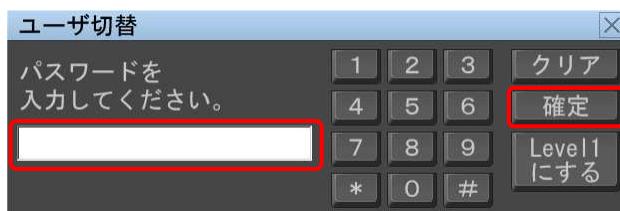
参考 ☞ ユーザーレベルの詳細は「9.3 ユーザーレベル」46 ページを参照してください。

(1) 画面左下の『ユーザ切替』ボタンを押します。



「設定とその他の操作」パネル

(2)「ユーザ切替」パネルにパスワードを右側のテンキーで入力し、『確定』ボタンを押してユーザーレベルの切替えを実施します。

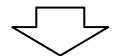
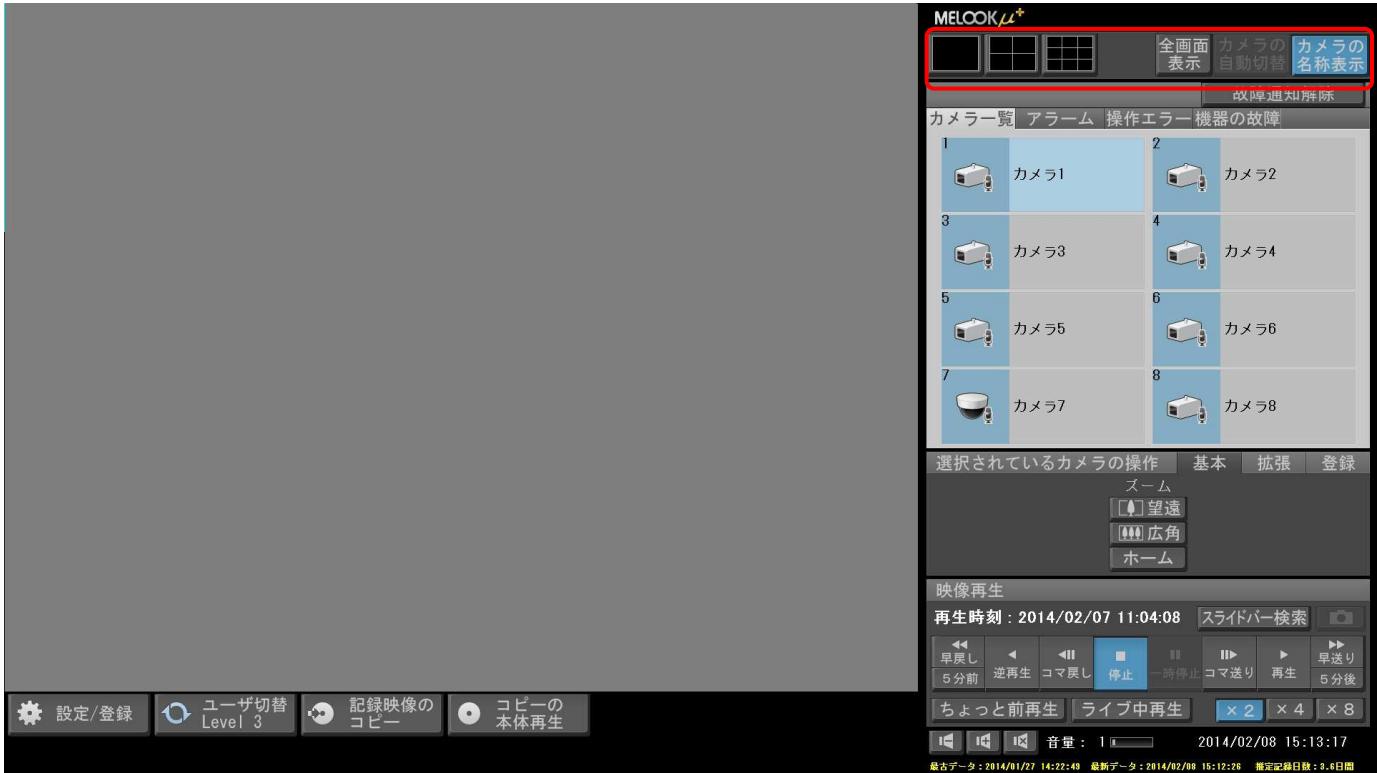


ユーザ切替パネル

9.2.3. 画面の表示を変更する

画面制御パネルを使って、画面の表示方法を変更します。

ライブ映像表示画面



画面制御パネル

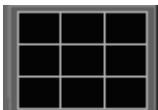
- (1) 『単画切替』ボタンで画面を単画表示します。

例:  ボタンを押すと単画表示に切替わります。

- (2) 『4分割切替』ボタンで画面を4分割表示します。

例:  ボタンを押すと4分割表示に切替わります。

(3) 『9分割切替』ボタンで画面を9分割表示します。

例:  ボタンを押すと9分割表示に切替わります。

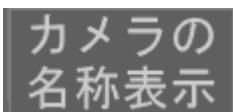
(4) 『全画面表示』ボタンで画面を全画面表示します。

例:  ボタンを押すと全画面表示に切り替わります。

(5) 『カメラの自動切替』ボタンで自動切替えを行います。

例:  ボタンを押すと自動スキャン(インターバル毎に画面頁が切り替わる機能)を開始します。

(6) 『カメラの名称表示』ボタンでカメラ名称を表示します。

例:  ボタンを押すと映像表示領域にカメラ名称を表示します。

① 本レコーダーに接続されたカメラのみ表示します。

① 分割画面表示中は選択されている画面が水色の枠で表示されます。

① 分割画面表示中に映像を割付けていない表示位置も選択することができます。この場合、映像は表示されませんが異常ではありません。

① 音声は映像と多少ずれて出力しますが異常ではありません。

① 分割画面を直接マウスでダブルクリックすると、ダブルクリックしたカメラの単画表示に切替わりますが、高速に操作した場合、稀にダブルクリックしたカメラと異なるカメラの単画表示となる場合があります。その場合は、再度ゆっくりと操作し直して下さい。

9.2.4. 記録映像を再生する

記録映像を再生します。

この操作を実施するには、ユーザーレベルをレベル 2 もしくはレベル 3 に変更してください。

参考  ユーザーlevelの詳細は「9.3 ユーザーlevel」46 ページを参照してください。

ライブ映像表示画面



(1)「映像表示」パネルから再生したいカメラを選択したあと、「画面制御」パネルの『単画切替』ボタンを押します。

(2)「映像再生」パネルの『スライドバー検索』ボタンを押します。



⇨ 『スライドバー検索』ボタンを押下すると、スライドバー検索(タイムライン)」画面が開きます。

(3)「スライドバー検索(タイムライン)」画面で再生時刻を指定します。

記録されている時間帯は、水色でタイムライン表示されます。



(4)アイコンを選択することによっても、再生時刻を指定することができます。



(5)「映像再生」パネルの『再生』ボタンを押します。

再生を停止するときやコマ送りなどをする場合には、それぞれのボタンを押して操作します。



映像再生パネル

↙ 『再生』ボタンで再生を開始します。

(6)タイムライン画面で指定された、年月日・時刻・分秒から、記録されている映像を再生します。

- ① 低温環境において、内蔵HDDの性能により再生が開始するまでしばらく時間がかかることがあります、異常ではありません。
- ① 記録データの最古時刻よりも古い時刻を指定して再生した場合は、最古データを再生します。
また、未来の時刻を指定して再生した場合は最新映像で一時停止します。

再生中は「映像再生」パネルは再生中表示に切替わります。再生中はボタンの色が水色に変わり、再生中であることを示します。



↙ 再生中はボタンの色が水色に変わり、
再生中であることを示します。

映像再生パネル(再生中)

- ① 音声は映像と多少ずれて再生しますが異常ではありません。
- ① 再生中はカメラの自動切替え機能は使用できません。(無効表示になります)
- ① 再生中・特殊再生中にもスライダーの操作で再生時刻を変更することができます。
特殊再生中にスライダー操作で再生時刻を変更した場合は、一時停止状態になります。
- ① 再生、ちょっと前再生で、再生箇所が最新記録箇所に近づいた場合、再生が一時停止する場合があります。
一時停止した場合は、暫くしてから再生してください。

9.2.5. 記録映像を外部保存(コピー)する

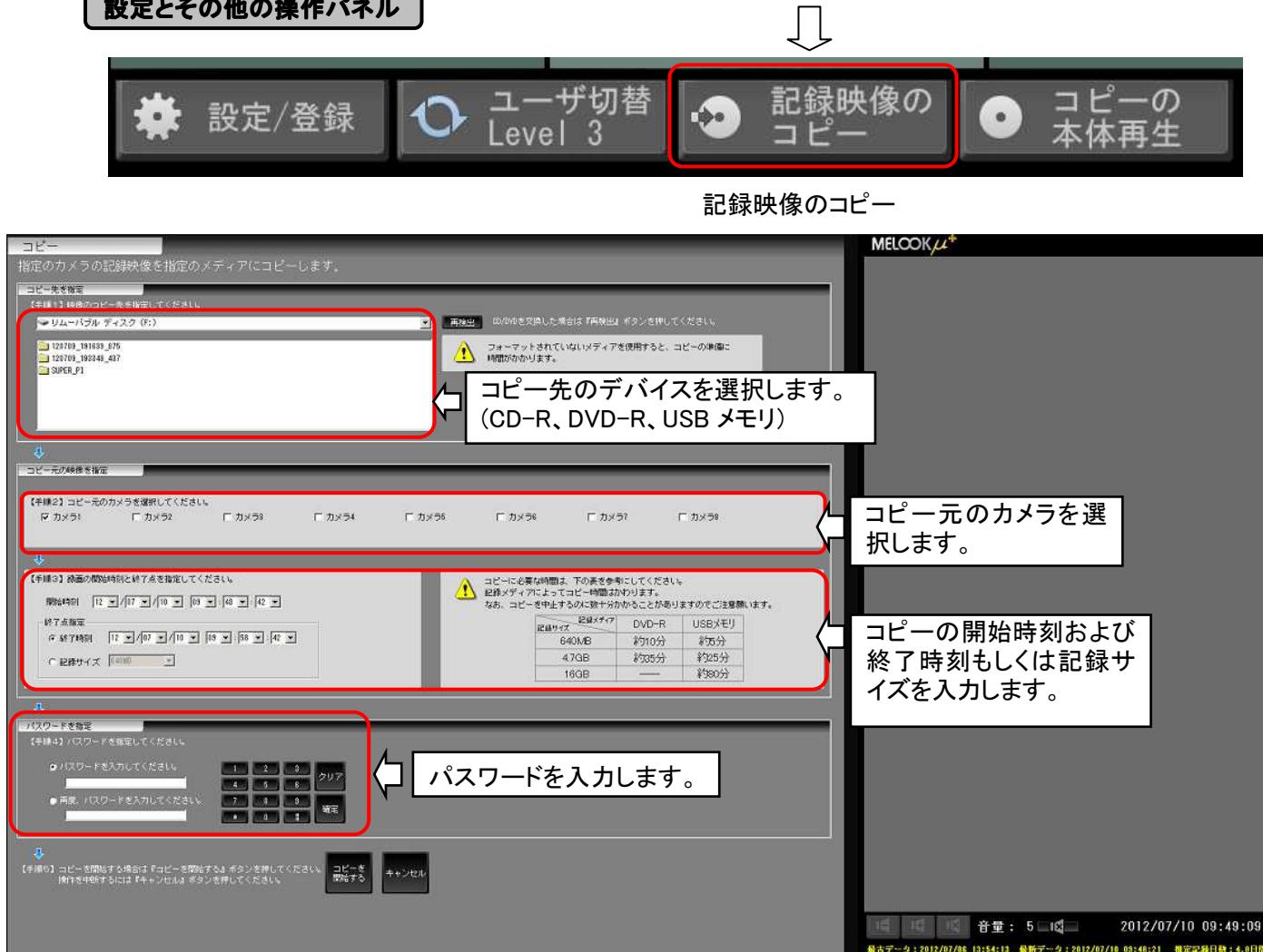
記録映像を、外部記録媒体(CD-R/DVD-R/USBメモリ)にコピーします。画面に示される【手順】に従って操作してください。この操作を実施するには、ユーザーレベルをレベル3に変更してください。

参考 ▶ ユーザーレベルの詳細は「9.3 ユーザーレベル」46ページを参照してください。

(1)USBメモリ、DVDドライブ(CD-R/DVD-Rにコピーする場合)のいずれかを接続します。

➡ USBメモリ、DVDドライブを接続する際は、「10.1.10. デバイス設定」104ページを参照しデバイス登録を実施してください。

「設定とその他の操作」パネルで『記録映像のコピー』ボタンを押します。



(2)次に、『記録映像のコピー』ボタンを押し、「コピー」画面を表示させます。

(3)【手順 1】「映像のコピー先を指定してください。」のコピー先フォルダ表示エリアに表示される、コピー先のデバイスを選択します。

(4)【手順 2】「コピー元のカメラを選択してください。」内にあるボタンからコピー元の映像を指定します。

① コピー元のカメラは複数選択が可能です。

(5)【手順 3】「録画の開始時刻と終了点を指定してください。」内の「開始時刻」、「終了時刻」または「記録サイズ」の容量を選択してください。

(終了点指定はコピー先の記録サイズを選択することにより、終了時刻を選択しなくてもコピーが可能です)

(6)【手順 4】「パスワードを指定してください。」内にある「パスワードを入力してください。」に最大 8 文字までのパスワードを右側のテンキーで入力してください。

パスワードを入力後、『確定』ボタンをマウスでクリックすると「再度、パスワードを入力してください。」にチェックマークが自動的に移り、再度同じパスワードを入力します。

① 本パスワードはコピー画像を再生する際に使用するパスワードとなります。

ここで設定したパスワードは忘れないようにしてください。

(7)「コピーを開始する」場合は『コピーを開始する』ボタンを押してください。

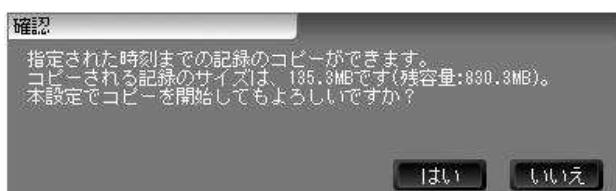
また、操作を中断するには『キャンセル』ボタンを押してください。設定画面から抜けます。

(8)【手順 1】で指定したコピー先デバイスの空き容量で、【手順 3】で指定した時間・サイズのコピーが可能か見積もりを行い、結果を以下の(a)～(c)のいずれかのダイアログで表示します。

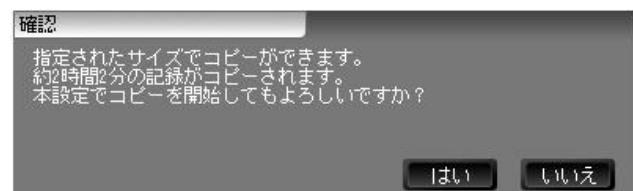
①【手順 3】で録画の開始・終了時刻を指定しており、コピー先デバイスの空き容量が十分あると判断した場合。

②【手順 3】で録画の記録サイズを指定しており、コピー先デバイスの空き容量が十分あると判断した場合。

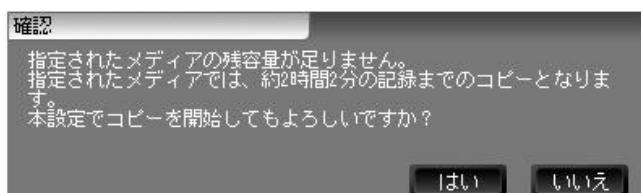
③ コピー先デバイスの空き容量が不足していると判断した場合。



① 時刻指定・空き容量あり



② サイズ指定・空き容量あり



③ 空き容量不足

「コピーを開始する」場合は『はい』を押してください。

また、操作を中断するには『いいえ』ボタンを押してください。

- ① コピー先デバイスへの記録可能時間は目安であり、実際の時間とは一致しません。

(9)コピーが開始されると表示画面が前画面に戻り、画面左下に①のようなインジケーターを表示します。



コピー実行中は、①「コピー中」インジケーターにより、コピーの進捗状況を表示します。コピー実行中に、②『記録映像のコピー中止』ボタンを押下すると、実行中のコピーをキャンセルするためのメッセージが表示されます。『はい』を選択した場合、コピーを中止し、『いいえ』を選択した場合には、コピーが続行されます。コピーを中止した場合には、中止した時刻までの記録映像のデータがコピーされます。

- ① フォーマットされていないメディアを使用すると自動でフォーマットを行います。
- ① DVD ドライブを使用する場合、コピー可能なメディアは、CD-R/DVD-R のみとなります。
- ① CD-R/DVD-R メディアへの追加書込みはできません。
- ① DVD ドライブを使用する場合、CD-R/DVD-R メディアについては、メディア、ドライブの相性により正常に書込みできないことがあります。その場合は、別のメディアで再度書込みを行ってください。
- ①大切なデータは書込み後、本機またはお手持ちの PC で、記録されていることを確認してください。
- ① USB メモリは同時に複数接続しないでください。複数接続した場合、識別ができません。
- ① コピー完了後、USB デバイスを取外すかどうかのメッセージを表示します。『はい』を選択後は、デバイスを取外すことが可能となります。
『いいえ』を選択した場合はデバイスの取外しを行わず、コピーを終了します。
参考 ⇨ USB デバイスを取外す際には、デバイスの取外しを行う必要があります。
デバイス取外しについては、「10.1.10 デバイス設定」104 ページを参照ください。
コピーデバイスが、CD-R、DVD-R の場合にはコピー完了後自動で排出されます。
- ① データのコピーと同時に専用の簡易ビューワがコピーされます。コピーしたデータを再生する場合、専用の簡易ビューワを使用してください。
なお、再生するPC にパケットライティングソフトウェアがインストールされている場合、正常にメディアが認識できないことがあります。ご注意ください。
パケットライティングソフトウェアがインストールされていないPC で再生してください。
- ① コピー終了時刻は書込んだ最後のデータの時刻を表示しています。指定された終了時刻とは一致しない場合があります。
- ① CD-R、DVD-R については、90%以降のクローズ進捗が表示されないことがありますが動作異常ではありませんのでクローズするまでお待ちください。
- ① USB メモリへのコピー中は、USB メモリを取外さないでください。取外した場合、コピーが失敗します。

9.3. ユーザーレベル

本レコーダーは、パスワードによって使用できる範囲を3段階で管理します。

使用者に合わせたユーザーレベルを設定することにより、本レコーダーの取扱いに関する制限を設けることができます。

本レコーダーを起動した状態では「ユーザーレベル1」が自動的に設定されます。

- | | | |
|---------------|----------|------------------|
| (1) ユーザーレベル1: | 一般ユーザー | 映像閲覧のみ可能 |
| (2) ユーザーレベル2: | 高レベルユーザー | カメラ一覧表示・記録映像再生可能 |
| (3) ユーザーレベル3: | 管理者レベル | 記録映像のコピー・各種設定が可能 |

参考 ユーザーレベル変更のためのパスワードは、安全のためお客様で下記の工場出荷時の設定から変更することをお勧めします。「10.1.11.パスワード設定」106ページを参照してください。

工場出荷時のパスワードは以下のとおりです。

ユーザーレベル1: 無し(空白)

ユーザーレベル2:***** (保守員にて、初期設定します)

ユーザーレベル3:04140502 (保守員にて、初期設定します)

ユーザーレベルと対応する機能

機能		レベル1	レベル2	レベル3
映像表示		○	○	○
アラーム表示		○	○	○
リスト表示	カメラ一覧	×	○	○
	アラーム	×	×	○
	操作エラー	×	×	○
	機器の故障	○	○	○
カメラ制御		×	×	○
再生制御		×	○	○
画面制御		×	○	○
音量制御・時刻表示		○	○	○
設定とその他の操作	設定/登録	×	×	○
	ユーザ切替	○	○	○
	コピー	×	○(※)	○
	本体再生	×	○(※)	○
電源 OFF		×	×	○

※レベル2にてコピーを許可する設定とした場合に可能。

- ① パスワード変更後、パスワードを忘れる 경우、ユーザーレベルの切替えができないことがあります。
パスワードを忘れた場合には、販売店にご相談ください。

9.4. 画面説明

本項では、本レコーダーの各画面と基本的な操作方法を記載します。

9.4.1. 通常(メイン)画面について

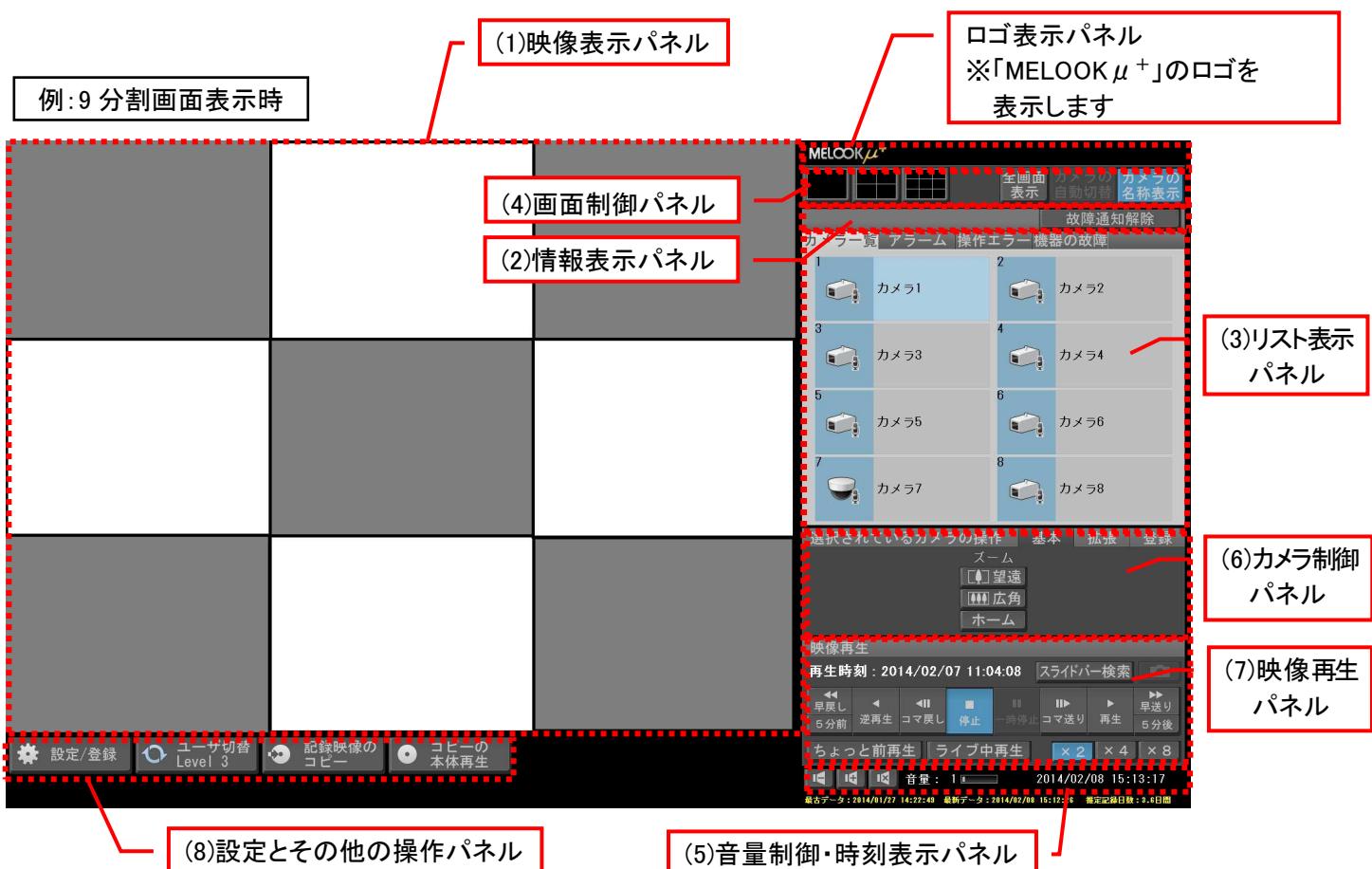
本レコーダーの電源を入れると、以下のような画面を表示します。

- 初回電源投入時は、工場出荷時設定の表示となるため、単画面表示になります。
本項では 9 分割画面を例にして説明します。

画面右側および下側の各制御パネルを使って本レコーダーの操作を行います。
各制御パネルの使い方は次項以降で説明します。

- (1)映像表示パネル
- (2)情報表示パネル
- (3)リスト表示パネル
- (4)画面制御パネル
- (5)音量制御・時刻表示パネル
- (6)カメラ制御パネル
- (7)映像再生パネル
- (8)設定とその他の操作パネル

○ カメラ制御パネルは、接続されているMELOOK μ⁺カメラに合わせて制御可能な部分が表示されます。



9.4.2. 映像表示パネル

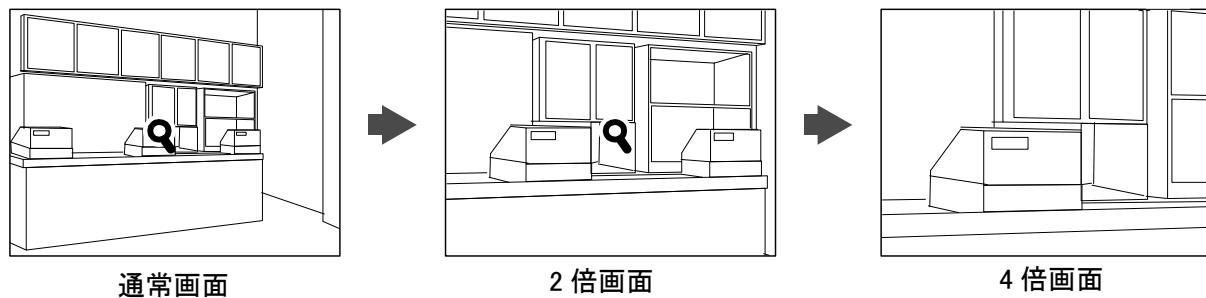
ライブまたは記録した映像を表示します。

参考 □ 「映像表示パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。

- 単画面、4 画面、9 画面を表示します。
- 選択中の映像には、周りに枠(ライブ中:水色/再生中:緑色)を表示します。
- 単画面表示中に、表示パネルを右クリックすると、部分拡大(ズーム)のポップアップメニューを表示します。
- 部分拡大(ズーム)のポップアップメニューで、「ズーム」を選択すると、マウスのポインタが虫眼鏡に変わります。
- 部分拡大(ズーム)状態で、表示パネル上をクリックすると、クリックしたその地点を中心拡大表示を行います。



- ① ズーム機能は単画面表示のみ有効となります。
- ① ズームしたい所でマウスをクリックすると、通常画面が 2 倍、4 倍と変化します。4 倍画面の状態で、再度クリックすると通常画面に戻ります。
- ① ズーム状態で画面切替えをすると、ズーム状態が解除されます。
また、ズーム状態で、表示パネル上を右クリックし「ズーム解除」を選択することでズーム状態が解除されます。
- ① 画像サイズ VGA 時、ズーム機能は映像表示部分のみ有効となります。黒画面部分は無効です。



9.4.3. 設定とその他の操作パネル

設定/登録、ユーザ一切替え、記録映像のコピー、コピーの本体再生への動作モード切替え制御を行うパネルです。

参考 ▷「設定とその他の操作パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。



(1)『設定/登録』ボタン

設定/登録モードに切替えを行うボタンです。

① ユーザーレベル 3 のみ使用可能な機能です。

(2)『ユーザ切替』ボタン

ユーザーレベルの切替えを行うボタンです。

(3)『記録映像のコピー』
ボタン

記録映像のコピーを行うボタンです。

① ユーザーレベル 3 またはユーザーレベル 2(ユーザーレベル 2 にて
コピーを許可する設定とした場合)で使用可能な機能です。

(4)『コピーの本体再生』
ボタン

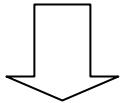
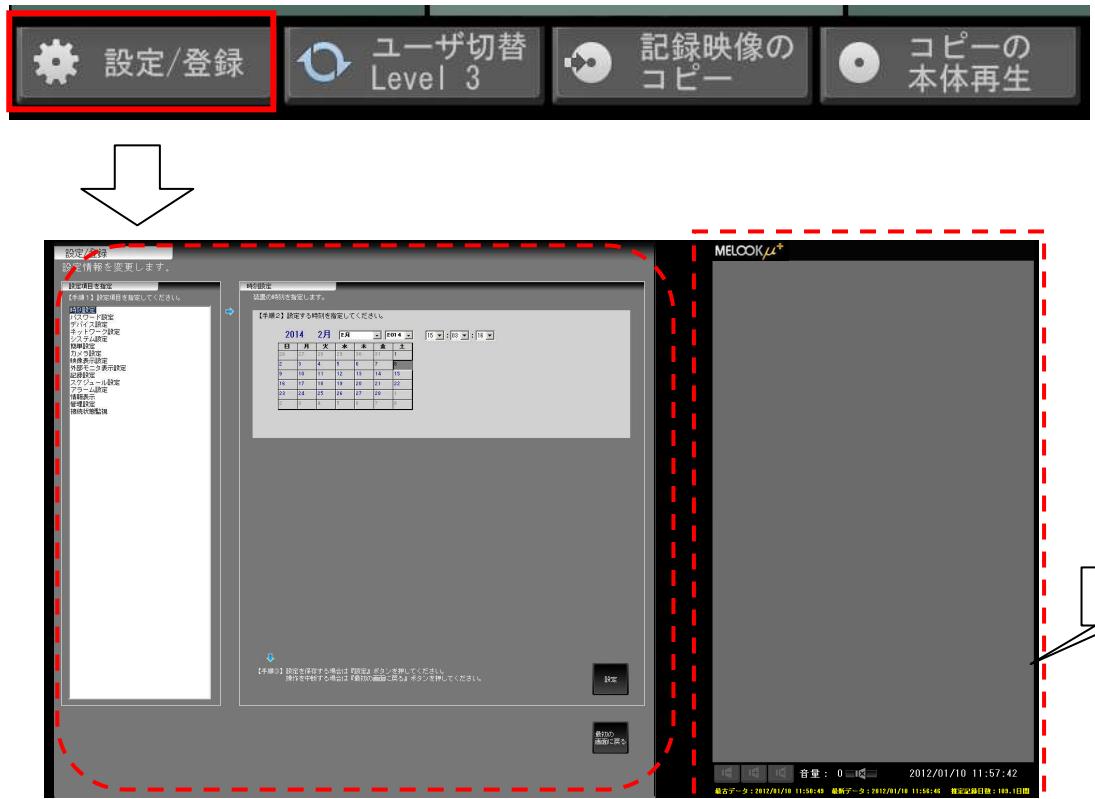
記録映像のコピーで外部記録媒体にコピーした映像を本体で再生するボタンです。

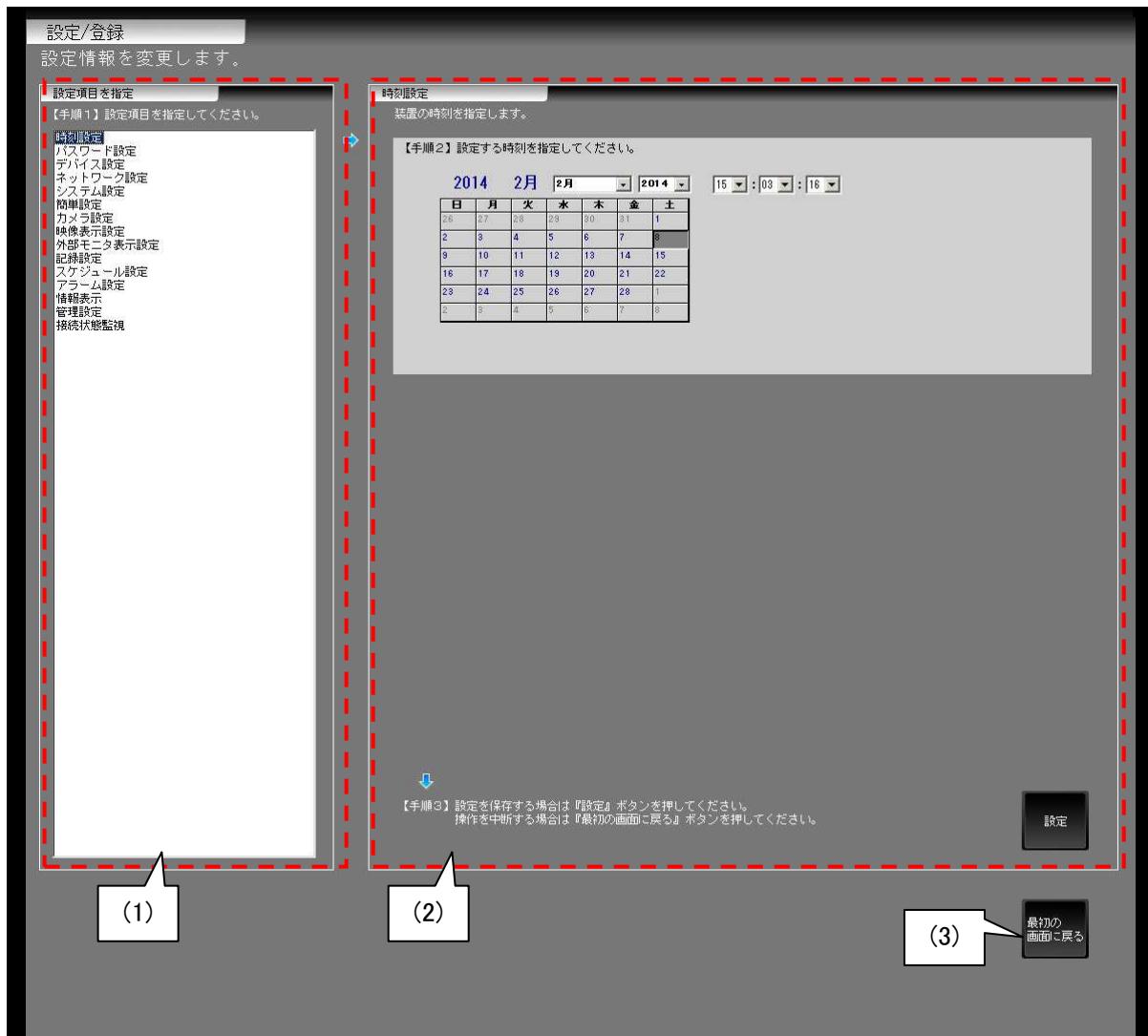
① レベル 3 またはレベル 3 に許可されたレベル 2 が使用可能な機能です。

9.4.3.1. 設定/登録

本レコーダーの各種設定および登録を行います。

① レベル3のみ使用可能な機能です。





(1)項目選択エリア

設定できる各項目を表示します。

(2)項目別設定エリア

「項目選択エリア」で選択した項目に対応する設定画面を表示します。

(3)『最初の画面に戻る』ボタン

設定を変更した場合は本ボタン押下時、アプリケーションが再起動し、設定変更が完了します。変更がない場合は、設定画面から最初の画面に戻ります。

① アプリケーション再起動後は、ユーザーレベル 1 に設定されます。

(4)常時表示エリア

音声制御・時刻表示パネルの表示を行います。

9.4.3.2. ユーザーレベルの切替え

パスワードを入力し、ユーザーレベルの切替えを行います。

① 工場出荷時のユーザーレベルの切替え用パスワードは下記の通りです。

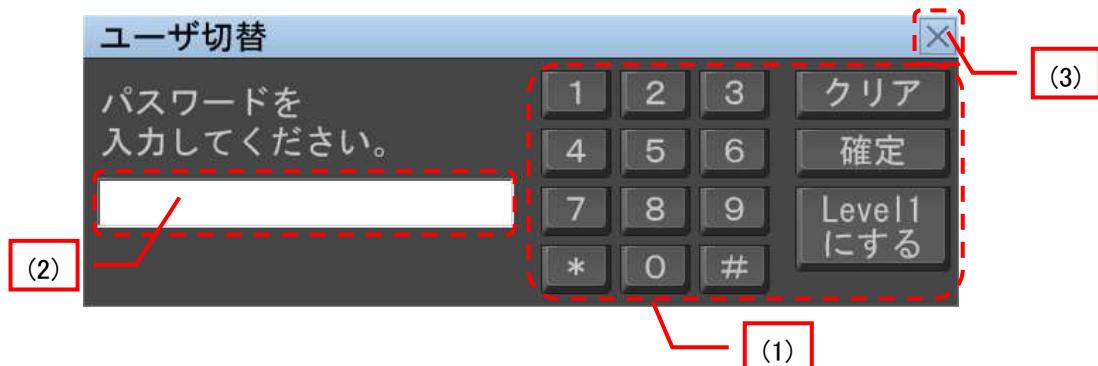
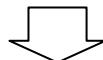
ユーザーレベル 2:*****

ユーザーレベル 3:04140502

初めて、本レコーダーを起動した場合、上記パスワードを使用してユーザーレベルを切替えてください。

参考 ▶ パスワードの設定は「10.1.11.パスワード設定」106 ページを参照してください。

パスワード入力画面



(1) テンキー パスワードを入力します。

【『0~9、*、#』ボタン】 ボタンを押すと「入力領域」に文字が入力されます。
(入力した文字は”*”で表示されます。)

【『クリア』ボタン】 入力した全ての文字列をクリアします。

【『確定』ボタン】 入力した文字列をパスワードとして確定します。
入力したパスワードが登録されているパスワードと一致した場合は、
ユーザーレベルを変更後、「パスワード入力」画面が非表示になります。
入力したパスワードが登録されているパスワードと一致しない場合は、
入力した全ての文字列がクリアされます。

① ユーザーレベル変更後、『ユーザ切替』ボタン上にユーザー
レベルが表示されます。

【『Level 1 にする』ボタン】 パスワード入力の有無に関わらず、ユーザーレベルを 1 に変更します。
ユーザーレベル 1 に変更後、パスワード入力画面は非表示となります。

(2) 入力領域 テンキーで入力した入力文字は全て「*(半角アスタリスク)」で表示されます。
最大 8 文字まで入力可能で、9 文字以上は入力できません。

(3) 『×』ボタン 「パスワード入力」画面を非表示にします。

- ① 本レコーダー起動時は、ユーザーレベル 1 に自動設定されます。
- ② パスワードを入力せずに『確定』ボタンを押すと、ユーザーレベルを 1 に変更します。
また、操作の途中で『×』ボタンを押すと、ユーザーレベルは変更されません。

9.4.3.3. 記録映像のコピー

記録映像を、外部記録媒体へコピーします。

『記録映像のコピー』ボタンは、ユーザーレベル3またはユーザーレベル2(ユーザーレベル2にてコピーを許可する設定とした場合)のときのみ有効になります。

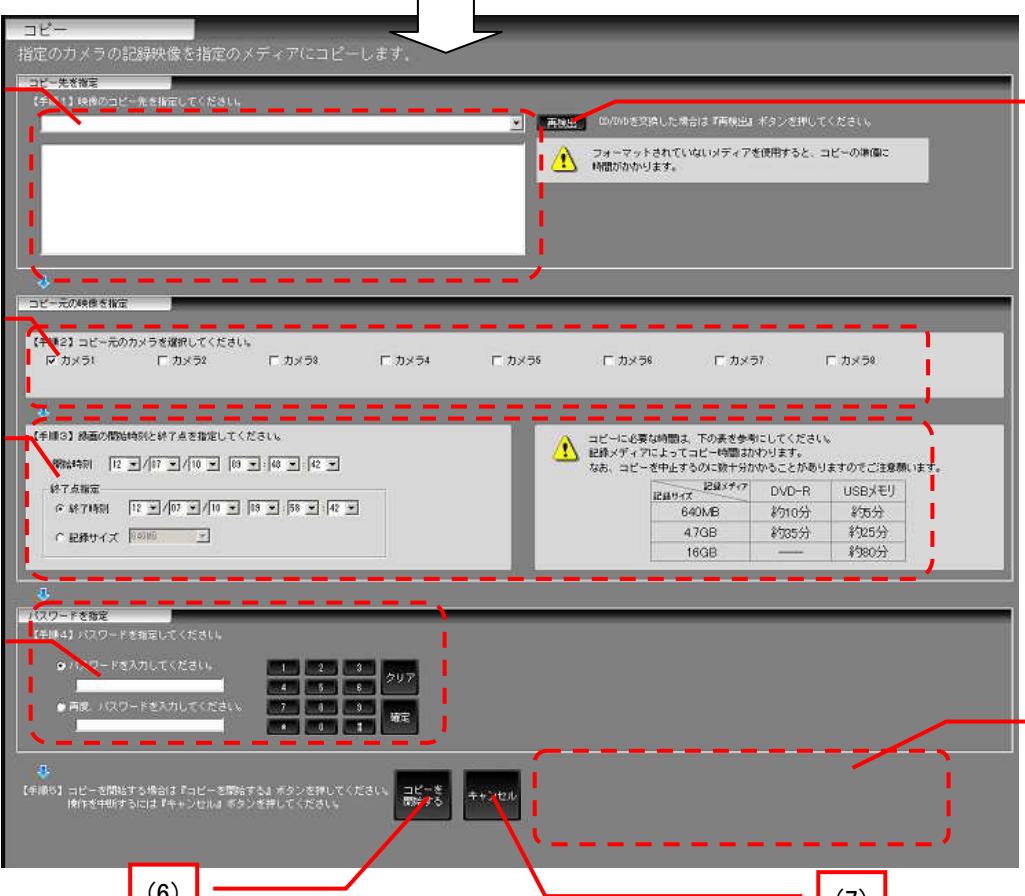
コピー画面

設定/登録

ユーザ切替
Level 3

記録映像の
コピー

コピーの
本体再生



【手順 1】コピー先の記録媒体を選択します。

- (1)コピー先フォルダ情報 コピー先のデバイスを選択します。
- (2)『再検出』ボタン CD-R、DVD-R および USB メモリを交換した場合などに、使用できる記録媒体を再検出するボタンです。

【手順 2】コピー元のカメラを選択します。

- (3)『カメラ選択』ボタン コピー元のカメラを選択します。
- ① アラームリストから遷移した場合は、連動したカメラが選択されています。

【手順 3】開始時刻と、終了時刻または記録サイズを設定し、コピーする範囲を設定します。

- (4)コピー範囲指定エリア コピーする範囲の開始点を「開始時刻」で指定します。
コピーする範囲の終了点を、「終了点時刻」または「記録サイズ」で指定します。

【開始時刻】 表示形式: YY(年)/MM(月)/DD(日) hh(時):mm(分):ss(秒)

① YY(年):西暦下 2 衔

アラームリストから遷移した場合は、アラーム発生時刻が表示されています
(プリアラーム記録を使用している場合は、アラーム発生時刻からプリアラーム
時間遡った時刻が表示されています)。アラームリスト以外から遷移した場合は、
現在時刻が表示されています。

【終了時刻】 表示形式: YY(年)/MM(月)/DD(日) hh(時):mm(分):ss(秒)

① YY(年):西暦下 2 衔

アラームリストから遷移した場合は、アラーム復旧時刻が表示されています。
アラームリスト以外から遷移した場合は、開始時刻に表示されている時刻に
10分加算されて表示されます。

【記録サイズ】 コピーサイズを指定します。

記録サイズは、3 パターンの選択が可能です。

- ①640MB:640MB までコピー可能です。
②4.7GB:4.7GB までコピー可能です。
③16GB:16GB までコピー可能です。
④256GB:256GB までコピー可能です。

① デバイスが FULL になるとコピーを終了します。

この場合の FULL とは、データ単位での書き込みサイズとなります。

従って、FULL と表示されても容量が少し残っている場合があります。

① 選択したデバイスにコピー可能な容量がない場合、『コピーを開始する』ボタン
を押下時に、エラーメッセージが表示されます。その場合は、他のデバイスに
変更の上、再度コピーを実施ください。

① 『記録映像のコピー中止』ボタンを押下し(「9.4.3.4.記録映像のコピー中止」56 頁
を参照)、コピーを途中で終了した場合には、コピー終了時刻で記録されたデータ
を確認し、再度コピーする場合の開始時刻の参考とします。

① 256GB のコピーには 10 時間以上の時間が掛かります。

【手順4】簡易ビューワの起動に使用するパスワードを設定できます。

(5)パスワード登録エリア 入力文字は全て「* (半角アスタリスク)」で表示し、最大8文字まで入力できます。

【手順5】コピーを開始するか、中断するかを選択します。

(6)『コピーを開始する』ボタン コピーを開始するボタンです。

① コピー中は音声が途切れことがあります。

(7)『キャンセル』ボタン 設定内容をキャンセルし、元の画面に戻るボタンです。

(8)確認メッセージ表示領域 『コピーを開始する』ボタンを押下時に、未入力や入力間違いがあると、メッセージが表示される領域です。

① 簡易ビューワとはコピーした映像を再生するための専用アプリケーションです。

① 16GBを超える記録映像のコピーは、簡易ビューワでのみ再生可能です。

参考 ▶ 「11.簡易ビューワについて」131ページを参照してください。

① コピー終了時刻は書込んだ最後のデータの時刻を表示しています。指定された終了時刻とは一致しない場合があります。

① コピー先の記録媒体に関する注意事項があります。

参考 ▶ 「9.2.5.記録映像を外部保存(コピー)する」43ページを参照してください。

9.4.3.4. 記録映像のコピー中止

コピー実行中は、以下のインジケーターを表示します。この状態で再度、『記録映像のコピー中止』ボタンを押すと、確認メッセージが表示され実行中のコピーがキャンセルされます。

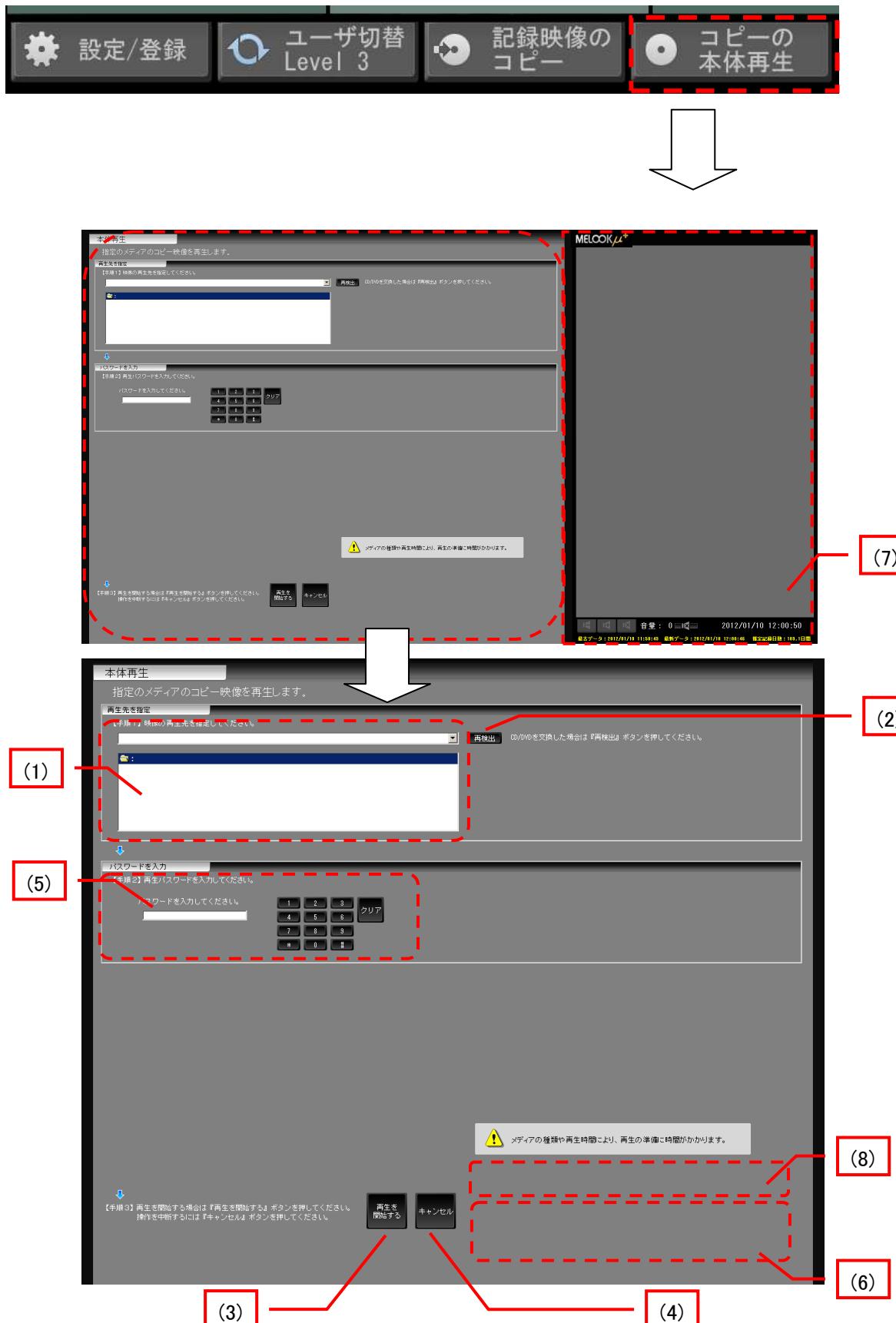


(1)コピー進捗状況表示 コピーの進捗状況を表示します。

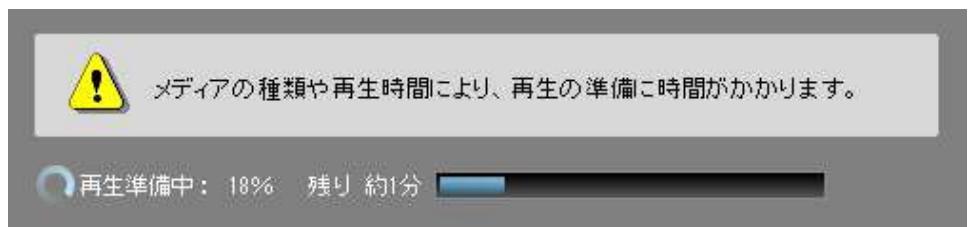
(2)『記録映像のコピー中止』ボタン 記録映像のコピーを中止するボタンです。中止した時刻までのデータが保存されます。

① DVDメディアにコピーする際、コピー中の進捗率が90%の状態で長く続く場合がありますが、問題ありません。

9.4.3.5. 本体再生画面



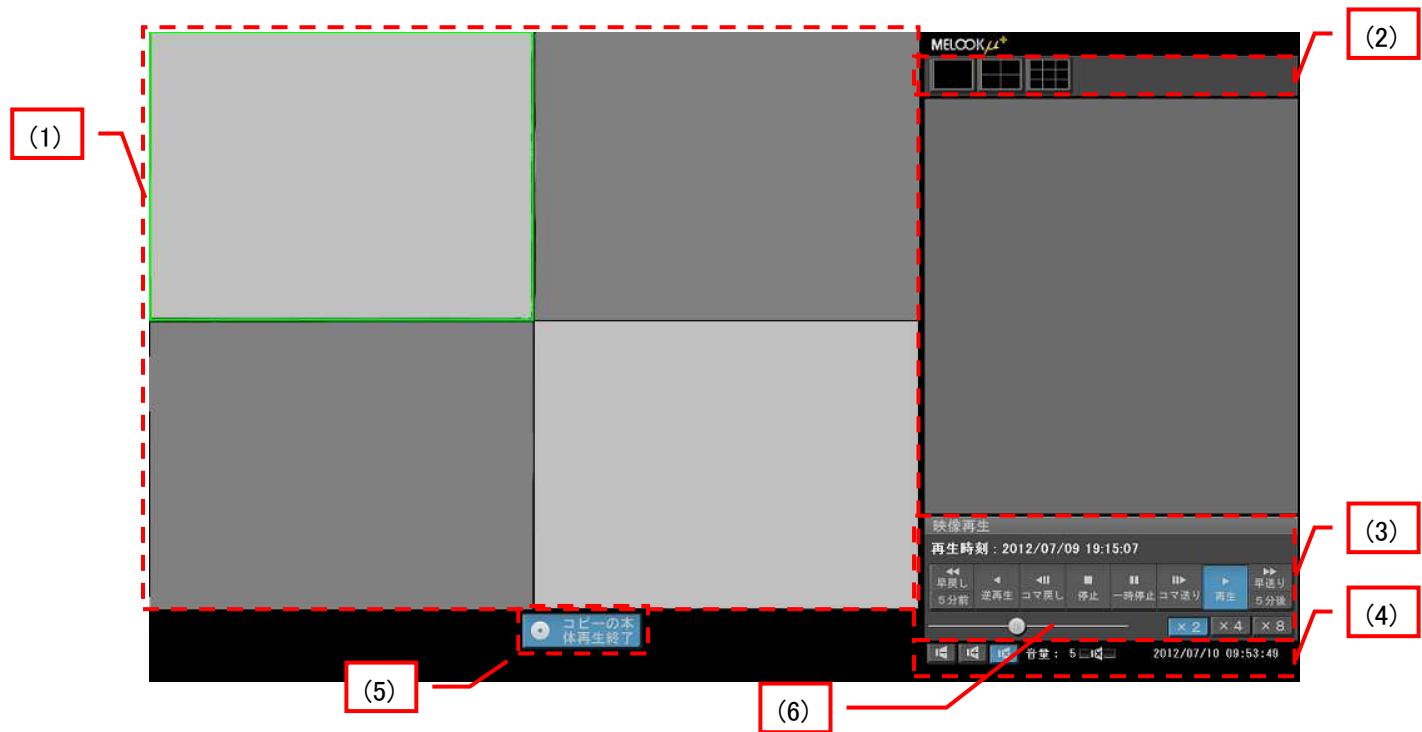
- (1)再生先フォルダ情報
再生先の記録媒体の内容を確認します。
再生先のフォルダを選択してください。
- (2)『再検出』ボタン
CD-R、DVD-R および USB メモリを交換した場合などに、使用できる記録媒体を再検出するボタンです。
- (3)『再生を開始する』ボタン
再生処理を開始します。
- (4)『キャンセル』ボタン
本体の再生処理、または再生準備中処理を中断して元の画面に戻ります。
(!) 再生準備中の中断は、中断が完了するまで時間がかかる場合があります。
- (5)パスワード登録エリア
再生に使用するパスワードを入力します。
入力文字はすべて「*」(半角アスタリスク)で表示されます。
パスワードは最大 8 文字まで入力可能です。
- (6)確認メッセージ表示領域
『再生を開始する』ボタンを押下した時に未入力や入力間違いがあったときにメッセージを表示する領域です。
- (7)常時表示エリア
音声制御パネルなどを表示する領域です。
- (8)進捗表示エリア
再生準備中の進捗を表示します。
再生元データの進捗状態と完了目安時間の表示を行います。



コピーが完了すると、以下のダイアログが表示されます。
『はい』を選択すると、コピー元デバイスの取外しを行います。また、『はい』『いいえ』のどちらを押下しても、映像表示画面に戻ります。



映像表示画面



(1)ビューワ映像表示パネル

記録映像を表示します。

⌚ サイズ: 1280 × 960

⚠ カメラ名称は、本体再生に使用するレコーダーの設定に従います。従って、記録映像のコピーを行ったものと異なるレコーダー、あるいは、同じレコーダーでも記録時からカメラ設定を変更している場合は、カメラ名称は記録時と一致しません。

(2)ビューワ画面制御パネル

ビューワ映像表示パネルの動作を制御します。

各ボタンを押すことにより、ビューワ映像表示パネルを各カメラの単画面、4、9 分割画面に切替えることができます。

(3)ビューワ再生制御パネル

記録映像の再生制御を行います。

- ・ 5 分前…現在再生中の時刻から 5 分前の再生動作を行う
- ・ 早戻し再生…指定速度で逆方向再生を行う
- ・ 逆再生…逆方向再生を行う
- ・ コマ戻し…逆方向に 1 IDR フレームのみ進む
- ・ 停止…記録映像の先頭に戻る
- ・ 一時停止…再生を一時停止する
- ・ コマ送り…順方向に 1 フレームのみ進む
- ・ 再生…順方向再生を行う
- ・ 早送り再生…指定速度で順方向再生を行う
- ・ 5 分後…現在再生中の時刻から 5 分後の再生動作を行う

① 記録映像の先頭に追いついた場合、再生を停止します。

記録映像の最後尾に到達した場合、再生を停止します。

(4)ビューワ音声制御・時刻表示パネル

音量制御、現在時刻情報を表示します。

(5)コピーの本体再生終了ボタン

本体再生を終了します。

(6)再生開始位置スケーラ

再生開始位置の指定に用います。

- ・ マウス左ボタンクリック…指定位置にポインタが移動し、一時停止する。
- ・ ドラッグ&ドロップ…指定位置にポインタが移動し、一時停止する。

9.4.4. 情報表示パネル

遠隔の接続状態を表示するパネルです。

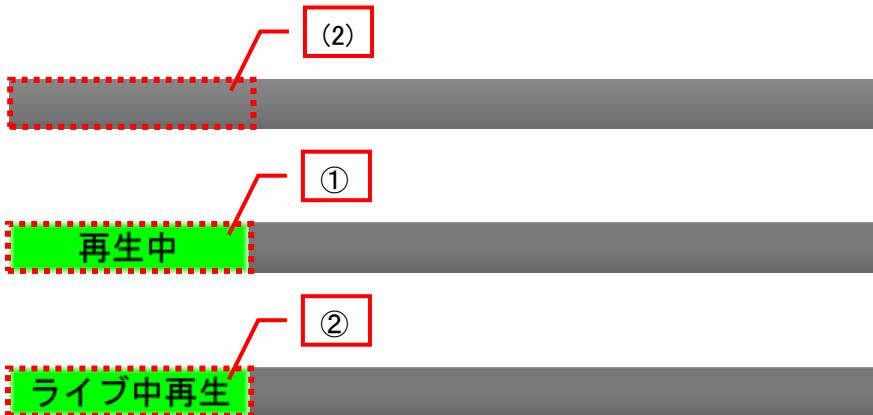
参考 ▷ 「情報表示パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。

情報表示パネル

(1)遠隔の状態表示



(2)再生中の状態表示



(1)遠隔の状態表示

①遠隔接続時は「遠隔接続中」と表示されます。

②遠隔再生中は「遠隔再生中」と表示されます。

遠隔が接続されていない場合には何も表示されません。

!
システム設定により状態表示を行わないことが可能です。

(2)再生中の状態表示

①本レコーダーで再生中は「再生中」と表示されます。

②本レコーダーでライブ中再生中は「ライブ中再生」と表示されます。

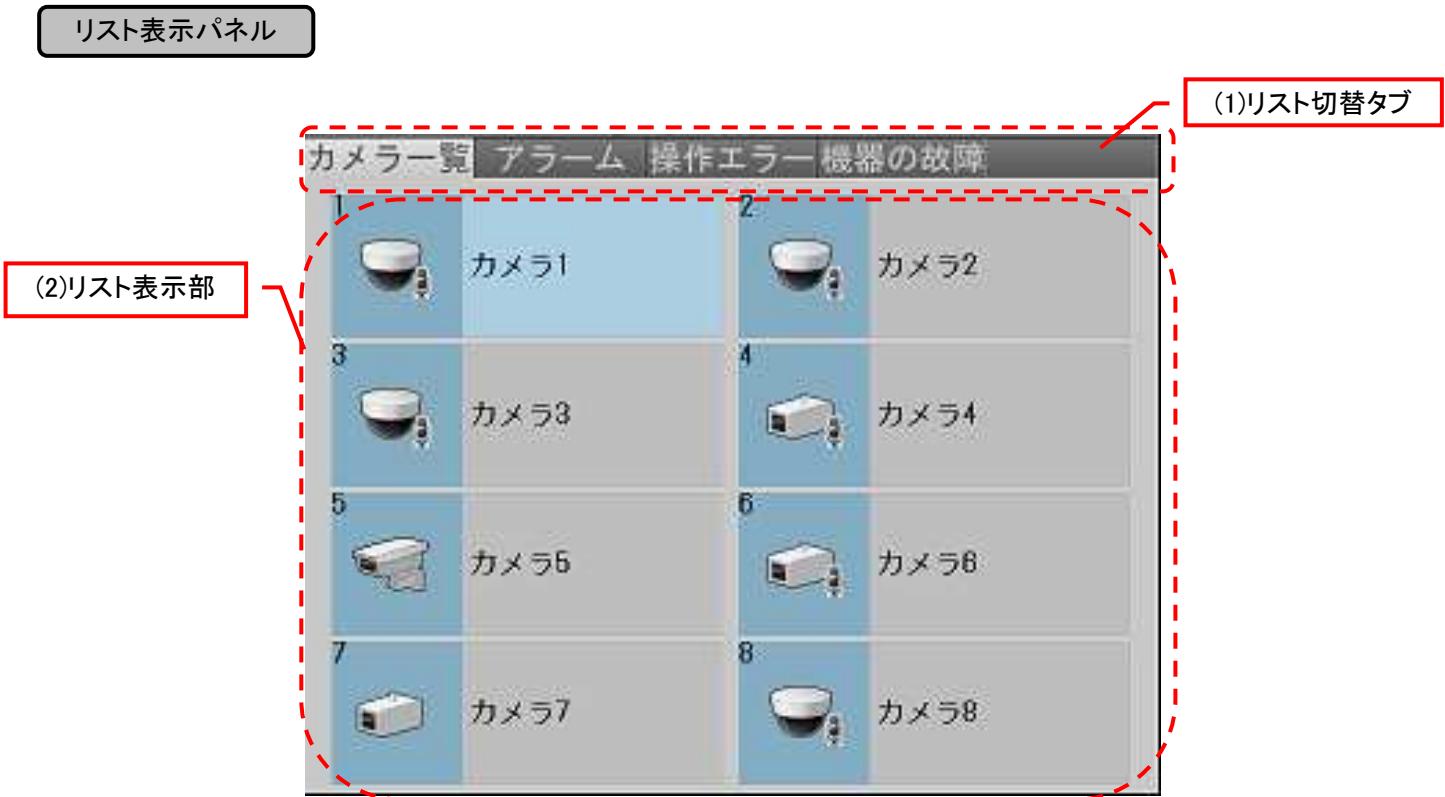
ライブ中、コピー中、保守中、本体再生中は何も表示されません。

9.4.5. リスト表示パネル

カメラ一覧表示、アラーム発生通知、操作エラー通知、機器の故障通知を行うパネルです。

リスト表示パネルは、ユーザーレベル 3 のときのみ全て有効になります。

参考 ▷「リスト表示パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。



(1) リスト切替タブ 「カメラ一覧」、「アラーム」、「操作エラー」、「機器の故障」の表示を切り替えます。

(2) リスト表示部 それぞれの内容がリスト表示されます。

9.4.5.1. カメラ一覧リスト

リスト切替タブから、『カメラ一覧』タブを押すと、以下のリストが表示されます。



- | | |
|----------|---|
| (1)カメラ番号 | カメラ番号を表示します。 |
| (2)記録停止 | 以下の要因で記録が停止していることをアイコン(REC STOP)で表示します。
①記録停止の接点入力
②スケジュールの記録停止 |
| (3)カメラ種別 | カメラ種別(固定/屋外固定/ドーム/旋回)をアイコンで表示します。 |
| (4)音声記録 | 音声記録ありの場合は、アイコンを表示します。 |
| (5)カメラ名称 | カメラ名称を表示します。 |

① リピート記録が無効で、記録容量の残容量がなくなり記録停止となった場合は、記録停止アイコン(REC STOP)は表示されません。

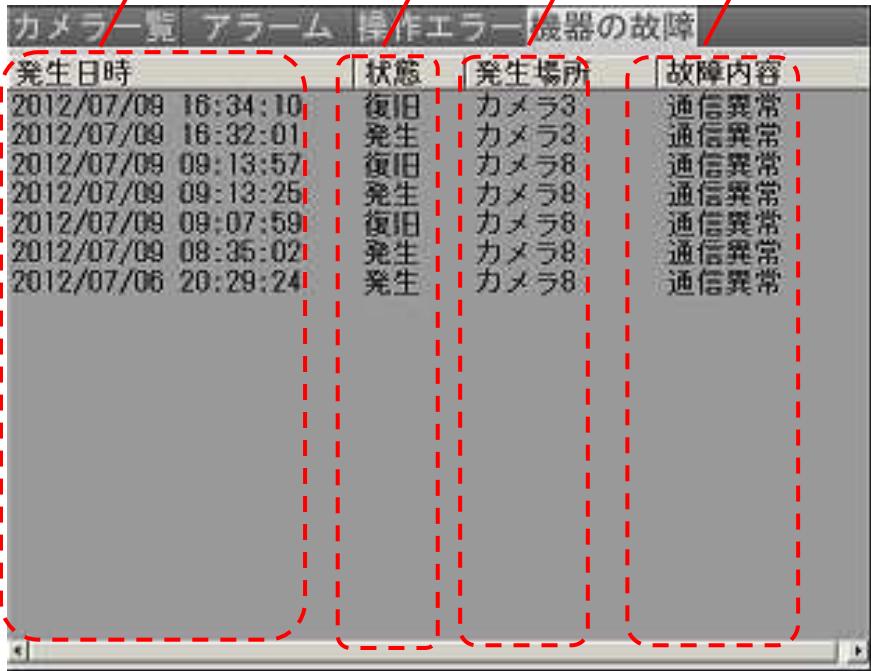
参考 リピート記録、音声記録の設定については、「10.1.6 記録設定」94 ページを参照してください。

9.4.5.2. 機器の故障リスト

リスト切替タブから、『機器の故障』タブを押すと、以下のリストが表示されます。

表示される詳細は最大 1000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報からリスト上段に表示します。

機器の故障リスト表示



発生日時	状態	発生場所	故障内容
2012/07/09 16:34:10	復旧	カメラ3	通信異常
2012/07/09 16:32:01	発生	カメラ3	通信異常
2012/07/09 09:13:57	復旧	カメラ8	通信異常
2012/07/09 09:13:25	発生	カメラ8	通信異常
2012/07/09 09:07:59	復旧	カメラ8	通信異常
2012/07/09 08:35:02	発生	カメラ8	通信異常
2012/07/06 20:29:24	発生	カメラ8	通信異常

(1)発生日時リスト

機器故障が発生、または復旧した日時を表示します。

(2)状態リスト

故障の状態(「発生」/「復旧」)を表示します。

(3)発生場所リスト

故障機器の名称を表示します。

(4)故障内容リスト

機器の故障内容を表示します。

(5)『故障通知解除』ボタン

機器故障発生時の警告信号出力を停止します。

☞ 故障通知解除ボタンの押下により、CALL OUT 端子に接続されているデバイスに対して、機器故障発生時の警告信号出力を停止します。

参考 詳細は「10.3.1.2. I/O 端子」129 ページを参照してください。

機器の故障例

発生場所	故障内容	備考
カメラ XX (XX は番号)	通信異常	カメラ、アダプタとの接続異常が考えられます。
HDD	ハードディスク異常	HDD の故障が考えられます。
M/B	M/B 異常	FAN 故障が考えられます。
プロセス	ステータスチェック異常	本レコーダーの動作異常が発生した可能性があります。
システム	前回異常終了	正常な手順でシステムが終了していない。

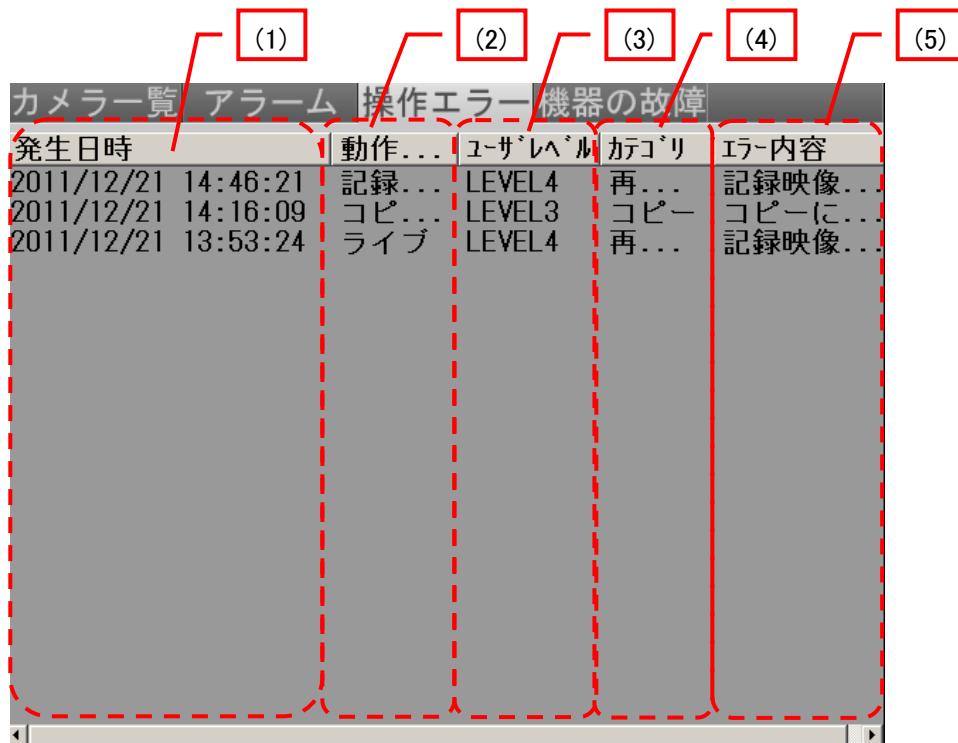
- ➡ 各項目名をクリックすると表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- ➡ 機器の故障リストのセルの幅は自由に変更できます。
- ❗ リスト表示が 1000 件を超えると最古のリストから順に上書きされます。
- ❗ 接続カメラから本レコーダーへの信号入力断を検出した場合は「通信異常」として扱います。
- ❗ 旋回カメラを使用中に、まれに「通信異常」が表示されることがあります。
カメラからの映像表示、制御が正常な場合は、問題ありません。
- ❗ 停電等正常な手順で電源が落とせなかった場合、稀に『HDD 登録外れ』が発生することがあります。『HDD 登録外れ』が発生した場合、「10.1.10 デバイス設定」104 ページを参考に HDD の再登録をお願いします。

9.4.5.3. 操作エラーリスト

リスト切替タブから、『操作エラー』タブを押すと、以下のリストが表示されます。

表示される詳細は最大 1000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報がリスト上段に表示されます。

操作エラーリスト表示



発生日時	動作モード	ユーザレベル	カテゴリ	エラー内容
2011/12/21 14:46:21	記録...	LEVEL4	再...	記録映像...
2011/12/21 14:16:09	コピー...	LEVEL3	コピー...	コピーに...
2011/12/21 13:53:24	ライブ	LEVEL4	再...	記録映像...

- | | |
|--------------|---------------------------|
| (1)発生日時リスト | 操作エラーが発生した日時を表示します。 |
| (2)動作モードリスト | 操作エラー発生時の本レコーダーの状態を表示します。 |
| (3)ユーザレベルリスト | 操作エラー発生時のユーザーレベルを表示します。 |
| (4)カテゴリリスト | 発生した操作エラーの種別を表示します。 |
| (5)エラー内容リスト | 操作エラーの内容を表示します。 |

☞ 各項目名をクリックすると表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。

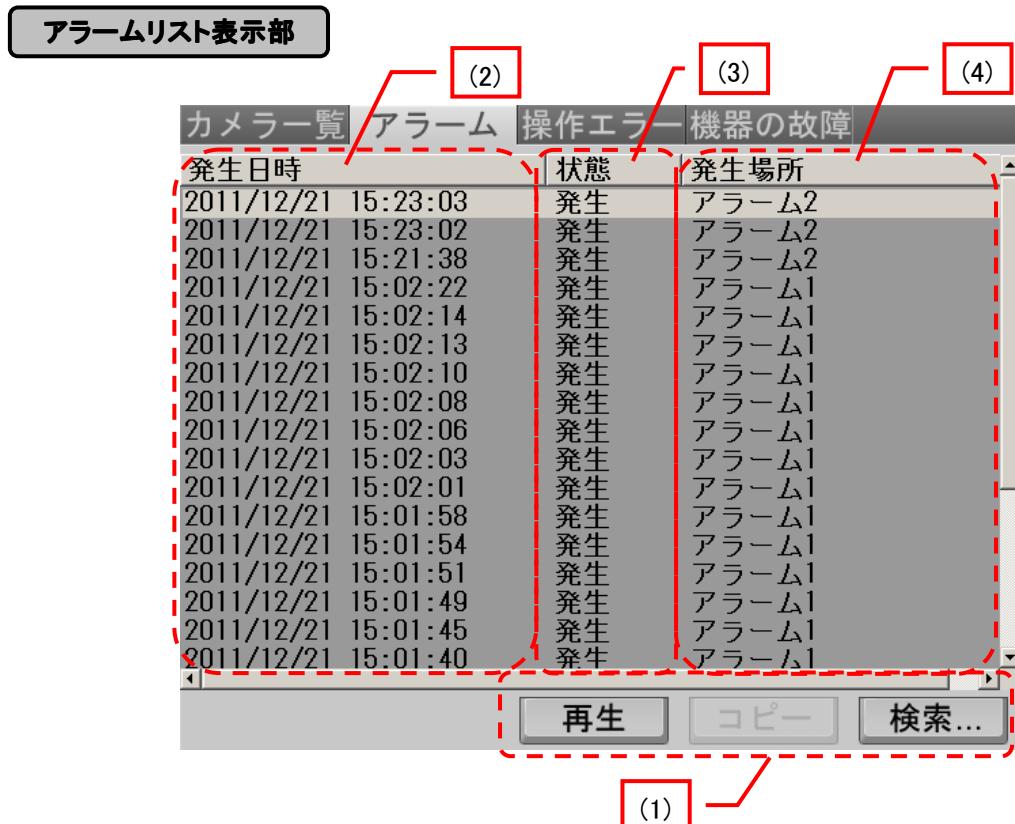
☞ 操作エラーリストのセルの幅は自由に変更できます。

① リスト表示が 1000 件を超えると最古のリストから順に消去されます。

9.4.5.4. アラームリスト

リスト切替タブから、『アラーム』タブを押すと、以下のリストが表示されます。

表示される詳細は最大 10000 件です。リスト更新時は発生日時の降順で、最新の情報からリスト上段に表示します。



(1)アラームリスト制御

アラームリスト上からの操作を指示するボタン群です。

【『再生』ボタン】 アラームリストが選択されている状態で押下すると、アラーム発生した時刻から再生が開始されます。

プリアラーム記録を使用している場合は、アラームが発生した時刻より、設定した『プリアラーム時間』だけ遡った時刻から再生開始されます。

アラームリストの項目が 0 件の場合、本ボタンは無効表示となります。

- ⌚ リスト上で任意のレコードをダブルクリックすることでも再生を開始できます。
- ❗ リストからの再生操作を高速で繰り返すと、レコーダーが高負荷となり、しばらく時計停止、音声再生されない等の事象が発生することがあります。

【『コピー』ボタン】 アラームリストが選択されている状態で押下すると、選択されたアラーム発生時刻からの映像をコピーする画面に遷移します。プリアラーム記録を使用している場合は、選択されたアラーム発生時刻よりプリアラーム時間遡った時刻からの映像をコピーする画面に遷移します。

アラームリストの項目が 0 件の場合、本ボタンは無効表示となります。

【『検索』ボタン】 アラームリストの選択・非選択に関わらず、アラームリスト全体がアラームリスト検索画面に切替わります。

参考  「9.4.5.5.アラーム検索」69 ページを参照してください。

(2)発生日時リスト アラーム、緊急記録の発生・解除日時を表示します。

(3)状態リスト 「発生」か「解除」であるかを表示します。

(4)発生場所リスト アラーム、緊急記録が発生、または解除したアラーム名称を表示します。

● 各項目名をクリックすると各表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。

● アラームリストのセルの幅は自由に変更できます。

● リスト表示が 10000 件を超えると、最古のリストから順に消去されます。

● アラームリストから再生した場合、アラームの解除時間以降は、ノーマル記録が再生されます。

● 記録停止中に発生したアラーム記録と緊急記録の再生時の動作は以下となります。

・アラーム記録:操作エラーを出力し、アラーム連動カメラへ画面切替えを行い、ライブ表示します。

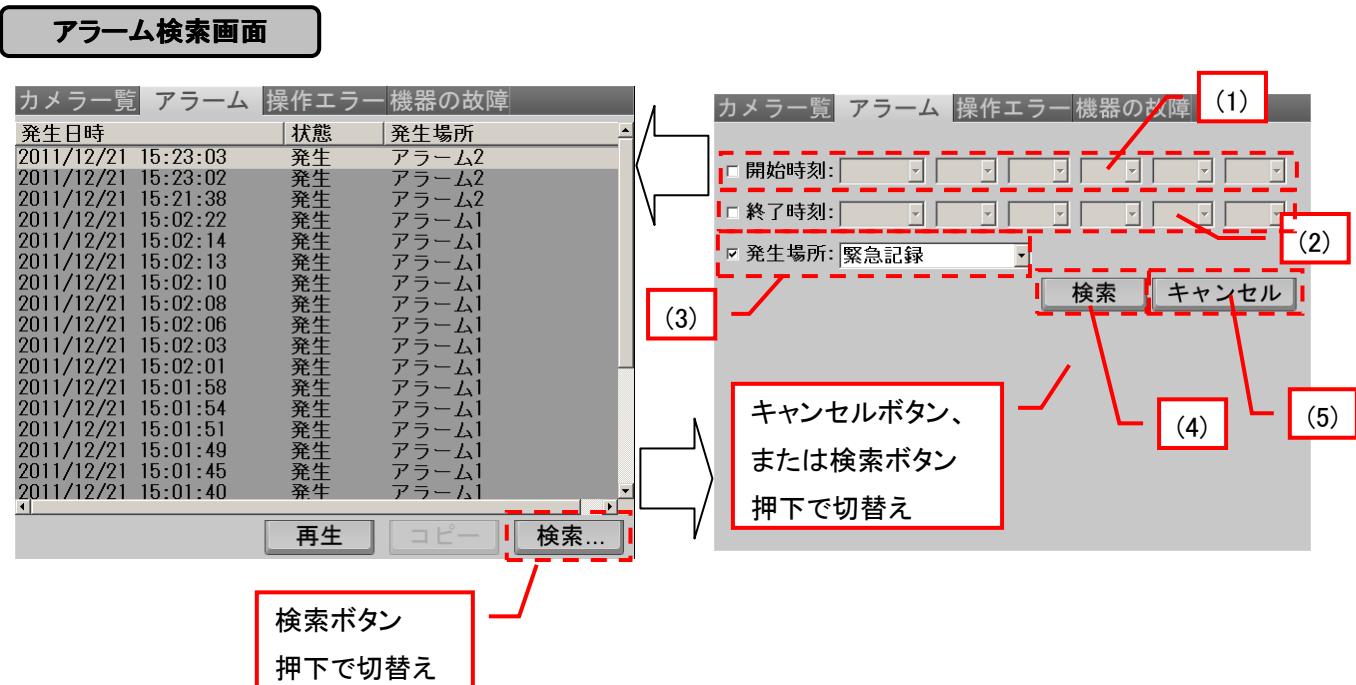
・緊急記録:最新時刻にて一時停止します。

● アラームと緊急記録が同時に発生した場合、緊急記録が優先されます。

● アラームリスト表示中に発生したアラームについては、『アラーム』タブを再押下することで表示します。

9.4.5.5. アラーム検索

検索結果は、常に発生日時の降順となり最新の情報がリスト上段に表示されます。



(1)開始時刻

「開始時刻」左側チェックボックスをマウスでクリックすると、プルダウンが選択可能になります。

をマウスでクリックし、検索を開始する時刻を指定します。

(2)終了時刻

「終了時刻」左側チェックボックスをマウスでクリックすると、プルダウンが選択可能になります。

をマウスでクリックし時刻を選択します。

(3)発生場所

「発生場所」左側チェックボックスをマウスでクリックすると、プルダウンが選択可能になります。

発生場所(アラーム名称)で検索を指定します。

(4)『検索』ボタン

「開始時刻」、「終了時刻」、「発生場所」で設定した全ての選択条件で検索を行い、検索結果がアラームリストに表示されます。

(5)『キャンセル』ボタン

「アラーム検索」画面が非表示になり、「アラーム一覧」を表示します。

① アラーム検索パネルに表示が切替わった直後は、「発生場所」のみに“✓”が入っています。

② “✓”を入力せずに(各指定をせずに)、『検索』ボタンを押した場合には、記録されているすべてのアラームを検索します。

9.4.6. 画面制御パネル

映像表示パネルの動作を制御します。その他、全画面表示、カメラの自動切替 ON/OFF、カメラの名称表示 ON/OFF を制御します。各ボタンを押すことにより、映像表示パネルを各カメラの単画面、4分割画面などに切替えることができます。

参考 ▶ 「画面制御パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。

参考 ▶ 「10.1.5. 映像表示設定」90 ページを参照してください。



画面制御パネル

(1)『単画面切替』ボタン 指定した番号に割当てられているカメラの映像を単画で表示します。

(2)『4画面切替』ボタン 画面を4分割で表示します。

本ボタンを押すと、4分割の先頭頁を表示します。

4分割画面表示中に本ボタンを押すと、ページ切替えを行います。

(3)『9画面切替』ボタン 画面を9分割で表示します。

本ボタンを押すと、9分割の先頭頁を表示します。

9分割画面表示中に本ボタンを押すと、ページ切替えを行います。

(4)『全画面表示』ボタン 画面を全画面で表示します。

ダブルクリックにより元に戻ります。

(5)『カメラの自動切替』ボタン 自動でページが切替わります。

本ボタンを押す毎に、カメラ自動切替えが ON/OFF されます。

9分割表示中は本ボタンが無効表示になります。

【カメラの自動切替 ON】

ボタン色が水色に変化し、単画または分割画面のページが自動で切替わります。

【カメラの自動切替 OFF】

ボタン色が黒色に変化し、カメラ自動切替えを停止します。

(6)『カメラの名称表示』ボタン 映像表示領域にカメラ名称を表示します。本ボタンを

押す毎にカメラ名称表示が ON/OFF されます。

【表示 ON】

ボタン色が水色に変化し、単画または分割画面のカメラ名称表示が ON されます。

【表示 OFF】

ボタン色が黒色に変化し、カメラ名称表示が OFF されます。

参考 ▷ 「10.1.5.映像表示設定」90 ページを参照してください。

- ① 分割画面表示中に映像を割付けていない表示位置も選択することができます。この場合、映像は表示されません(黒画面になります)が異常ではありません。
- ① 画面制御パネル操作では、秒単位の精度で検索表示するため、一時停止直後の映像と画面制御操作後の映像は異なる場合があります。
- ① 単画面表示状態で「単画切替」を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがあります、異常ではありません。
- ① 分割画面表示中に分割画面数を変更する場合や、画像サイズが異なる映像を表示させる場合に、一瞬黒画面になることがあります異常ではありません。
- ① 全画面表示時には省電力モードを無効にします。
- ① 記録映像の再生中、コピー中は、『全画面表示』ボタンが無効になります。

9.4.7. 音量制御・時刻表示パネル

音声出力時の音量を制御し、ボリューム調整及び出力ミュートを行うパネルです。

音声は、映像表示パネルで選択しているカメラ(水色の枠に囲まれた)の音声を出力します。

また、カレンダーの表示と記録情報の表示も行います。

参考 「音量制御・時刻表示パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。

音量制御・時刻表示パネル



(1)『音量+』ボタン 音量が上がります。

(2)『音量-』ボタン 音量が下がります。

(3)音量数字表示 『音量+』ボタンと『音量-』ボタンにより音量が変化します。
(最大 11、最小 0)

(4)音量イメージ表示 『音量+』ボタンと『音量-』ボタンにより音量が変化します。

(5)『消音』ボタン 消音機能を ON/OFF にするボタンです。
【消音 ON】 消音を実行し、ボタン色が水色に変化します。

(!) 消音 ON とした場合には(4)音量イメージ表示が  となります。

【消音 OFF】 消音を解除し、ボタン色が黒色に変化します。

(!) カメラからの音声入力がない場合には音声は出力されません。

(6)カレンダー表示 本レコーダーのシステム時刻を表示します。

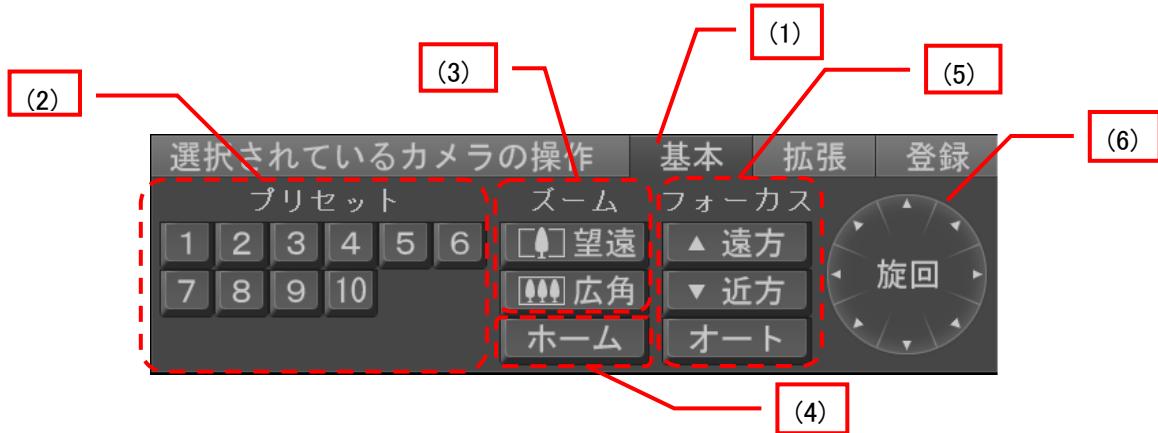
(7)記録情報表示 最新記録時間、最古記録時間、推定記録日数を表示します。

9.4.8. カメラ制御パネル

カメラ制御を行うパネルです。選択されているカメラの保有している機能を表示し、制御不可のボタンは非表示となります。また、ライブ中再生/記録再生モード時/全機能無効カメラ選択時には本パネルは表示されません。

参考 ▷「カメラ制御パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。

カメラ制御(基本)パネル



(1)基本/拡張/登録 切替

カメラ制御パネルの切替えを行います。

【基本】 プリセット・ズーム・フォーカス・旋回の動作を指示します。

【拡張】 オートパン・オートチルト・回転台速度指定の動作を指示します。

【登録】 プリセット・ズーム・フォーカス・オートパンの設定を登録します。

(2)『プリセット』ボタン

選択されているカメラに対しプリセット動作を指示します。

プリセット位置を登録していない場合でも、ボタンは表示されています。

① SONY 製 ER-550 に対するプリセット設定は、本パネル上ではできません。販売店にご相談ください。

② SONY 製 ER-550 に対するプリセットは動作しない場合があります。再動作を指示してください。

(3)『ズーム』ボタン

選択中カメラに対しズーム動作を指示します。

【望遠】 望遠ズームを行います。

【広角】 広角ズームを行います。

(4)『ホーム』ボタン

プリセット1の状態に戻します。

① プリセットは、カメラ制御(登録パネル)で行います。

(5)『フォーカス』ボタン

選択中、旋回カメラに対しフォーカス動作を指示します。

【遠方】 遠方フォーカスを行います。

【近方】 近方フォーカスを行います。

【オート】 オートフォーカスを行います。

(6)『旋回』ボタン

旋回カメラに対する旋回動作を指示します。

各操作とも、連続クリックを有効とし押している間は指定旋回動作を続けます。

動作指示は、以下に示す 8 通りです。

【上】 表示位置に対し、カメラを上方向にリミット位置まで旋回します。

【下】 表示位置に対し、カメラを下方向にリミット位置まで旋回します。

【右】 表示位置に対し、カメラを右方向に旋回します。

【左】 表示位置に対し、カメラを左方向に旋回します。

【右上】 表示位置に対し、カメラを右上方向にリミット位置まで旋回します。

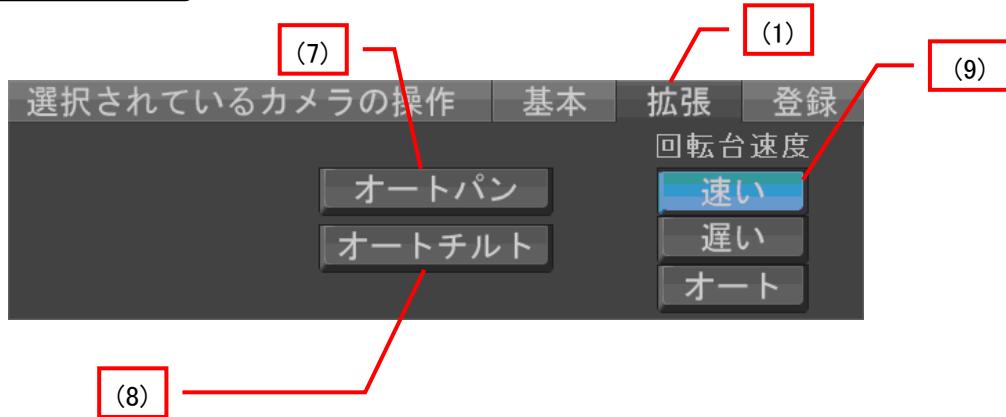
【左上】 表示位置に対し、カメラを左上方向にリミット位置まで旋回します。

【右下】 表示位置に対し、カメラを右下方向にリミット位置まで旋回します。

【左下】 表示位置に対し、カメラを左下方向にリミット位置まで旋回します。

① 旋回カメラで、上記(1)～(6)の操作が利かない場合は、再度、同じ操作を実施してください。

カメラ制御(拡張)パネル



(7)『オートパン』ボタン

旋回カメラに対するオートパン動作を指示します。

あらかじめ設定した内容で、水平方向に繰返し監視します。

停止の指示は、再度『オートパン』ボタンを押します。

① SONY 製 ER-550 にてオートパン動作を行う場合は、あらかじめ旋回カメラへ設定を行う必要があります。販売店にご相談ください。

② NC-6500 ではカメラ制御(登録)パネルで設定を行います。

(8)『オートチルト』ボタン

旋回カメラに対するオートチルト動作を指示します。

あらかじめ設定した内容で、垂直方向に繰返し監視します。

停止の指示は、再度『オートチルト』ボタンを押します。

① SONY 製 ER-550 にてオートチルト動作を行う場合は、あらかじめ旋回カメラへ設定を行う必要があります。販売店にご相談ください。

② NC-6500 ではオートチルト動作は未サポートです。

(9)回転台速度

旋回カメラに対する旋回動作速度を指示します。

【速い】 回転台の速度を高速に設定します。

【遅い】 回転台の速度を低速に設定します。

【オート】 回転台の速度を自動で設定します。

③ 各ボタン選択時にはボタンの色が水色に変化します。

④ 上記(6)～(8)の操作時、旋回カメラが反応せず動作しない場合があります。

カメラ制御(登録)パネル



(10)『プリセット』ボタン

選択されているカメラに対し、『ズーム』ボタン、『フォーカス』ボタン、『旋回』ボタンを使ってカメラの撮影条件を決定し、最後にプリセット番号ボタンを押すと、現在の状態をそのプリセット番号へ登録します。
プリセット1がホームになります。

(11)『始点・終点設定』

旋回カメラのプリセット、オートパン、オートチルトの始点、終点を設定します。始点位置で A ボタン、終点位置で B ボタンを押してください。

9.4.9. 映像再生パネル

記録した映像の再生を行うパネルです。動作中のボタンは、水色で表示します。

参考 ▷ 「映像再生パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。



(1)『スライドバー検索』ボタン 「9.2.4 記録映像を再生する」40 ページを参照してください。

① 起動直後は現在時刻が表示されています。一度再生を実施した後は、前回の再生停止時刻が表示されます。

(2)再生速度指定ボタン 『早送り』ボタンと『早戻し』ボタンにのみ有効となる再生速度指定ボックスです。
2 倍速、4 倍速、8 倍速が有効です。

(3)再生ボタン 記録した映像・音声を再生するボタンです。

【5 分前】 ライブ中は再生指定時刻の 5 分前から再生を行います。

再生モード時は現在再生している時刻から 5 分前の再生を行います。

コマ送りや早送りなどの再生モードも継続します。

【早戻し】 再生速度指定ボックスに従った再生速度で逆再生を行います。

【逆再生】 1 倍速逆再生を行います。

【コマ戻し】 1 IDR フレーム逆再生を行い、一時停止状態となります。

【一時停止】 再生中、一時停止となります。

停止中(ライブ中)は無効表示となります。

【停止】 再生を停止(このときライブ表示に切替わります)します。

【コマ送り】 1 フレーム順再生を行い、一時停止状態となります。

【再生】 1 倍速順再生を行います。

【早送り】 再生速度指定に従った速度で順再生を行います。

【5 分後】 ライブ中は再生指定時刻の 5 分後から再生を行います。

再生モード時は現在再生している時刻から 5 分後の再生を行います。

コマ送りや早送りなどの再生モードも継続します。

① 音声の再生は通常再生のみとなります。

- (4)『ライブ中再生』ボタン ライブ中再生モードへ切替えるボタンです。
単画表示時は使用できません(『ライブ中再生』ボタンは無効表示となります)。
分割画面(4,9)において、ライブ中再生モードに遷移します。
選択カメラのみ再生映像を表示(選択枠が水色から緑色に変化)し、それ以外の
カメラ映像はライブ表示となります。
① ライブ中再生モードから単画表示へ切替えた場合は、記録再生中へ遷移します。
- (5)『ちょっと前再生』ボタン プリアラーム記録を使用していない場合、ライブ画像表示中は現在時刻の
8秒前、再生中は再生時刻の8秒前から再生(1倍速順再生)開始します。
普リアラーム記録を使用している場合、ライブ画像表示中は現在時刻から
普リアラーム時間遡った時刻の8秒前、再生中は再生時刻の8秒前から
再生(1倍速順再生)開始します。
- 参考  プリアラーム記録は「10.1.6 記録設定」94ページを参照してください。
- (6)『静止画保存』ボタン 表示中の映像を静止画で保存します。
単画面の再生モードで、一時停止中の場合のみ有効となります。
分割画面が表示されている場合は、本ボタンは無効表示となります
① 『静止画保存』ボタンを押した後、確認メッセージ「メディアを選択してください。」で
「はい」を選択した時点の静止画が保存されます。
② ユーザーレベル3のみ使用可能な機能です。
- (7)再生時刻表示 再生されている映像の記録の年月日と時間を表示します。

- ① 最新の記録映像に追いついた場合や、最古の映像に追いついた場合は自動的に一時停止します。
- ① 記録の最古、最新部分以外でも再生が一時停止することがあります、その場合は再生ボタンを押して再生を継続してください。
- ① 直近の記録映像に対して「ちょっと前再生」を実施した場合、8秒前からの再生ができないことがあります。この場合は、記録映像の最新時刻から再生されます。
- ① 分割画面再生時、再生時刻は映像が表示されているいずれかのカメラの時刻を表示します。また、すべてのカメラの時刻は同期していないため、以下の現象が発生することがあります。
 - ・コマ送り時に再生時刻が若返ることがある。
 - ・コマ送りを繰り返したとき、再生時刻の秒数が更新されるコマ数がフレームレート設定と一致しない。
- ① 分割画面再生時、再生時刻が同期して更新されないことがありますが異常ではありません。
- ① 再生速度指定は、早送り/早戻しボタンを押下することにより有効になります。
早送り/早戻し再生中に変更しても再生速度は変わりませんが異常ではありません。
- ① 分割画面表示状態で再生を一時停止した場合、静止画が表示されない(黒画面表示)場合がありますが、異常ではありません。単画に切替えて確認してください。
- ① 単画面表示で、ライブ表示や再生を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがありますが、異常ではありません。
- ① ライブ中再生では、記録していないカメラを選択した場合、再生されません。
- ① 遠隔監視 PC からの再生中に、レコーダー本体で再生操作を行うと、操作エラーが表示されます。
情報表示パネル(「9.4.4 情報表示パネル」61 ページ参照)に「遠隔再生中」表示が出ていないことを確認してから再生操作を行ってください。
- ① コマ戻しは、カメラのリフレッシュ間隔ごとに挿入される IDR フレーム単位で表示されます。
コマ送りは、記録されている全てのフレームを表示します。

10.応用操作

10.1. 各種設定について

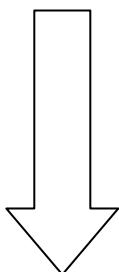
本レコーダーで設定できる項目について説明します。

本項目の操作は、あらかじめユーザーレベル 3 に設定してください。

参考 ▷ ユーザレベルの設定は「9.4.3.2 ユーザーレベルの切替え」52 ページを参照してください。

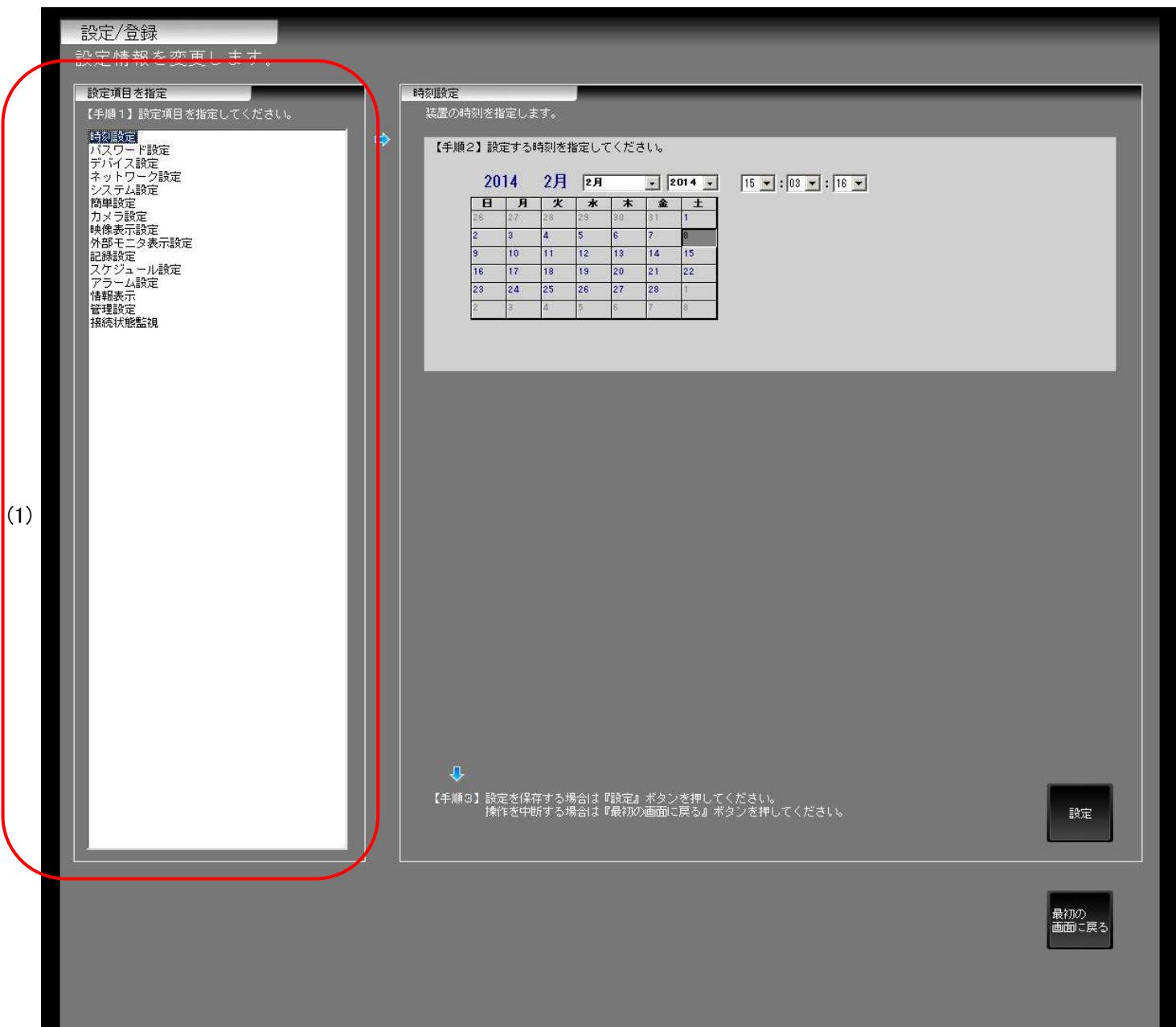
「設定とその他の操作パネル」の『設定/登録』ボタンを押すと「設定/登録」画面を表示します。

参考 ▷ 「設定とその他の操作パネル」の画面位置は「9.4.1 通常(メイン)画面について」47 ページを参照してください。



「設定項目を指定」のウィンドウに設定可能な項目(次ページ(1))が表示されます。

- ① ユーザーレベルによって設定できる項目が異なります。
詳細は「9.3 ユーザーレベル」46 ページを参照してください。
- ② 設定画面表示中は、電源ボタンによる電源 OFF 処理が行えません。
電源 OFF する場合は、設定画面を一旦終了してから実施ください。
- ③ 簡単設定を実施前にすべてのカメラの電子ズームを解除してください。



【手順 1】変更したい設定項目を選択し、表示画面を切り替えます。

- ① 設定変更した場合は、変更内容を反映するため、アプリケーションが自動的に再起動します。
再起動後は、ユーザーレベル 1 となります。
また、一部の機能に関しては即時更新(再起動しないで設定が更新される場合)の設定もあります。
- ② 簡単設定を実施した場合は、運用に入る前に一度本機の電源を落とし、再起動してください。

10.1.1. 情報表示

現在のデバイスの稼動状況、カメラ接続状態を示します。

情報表示画面

情報表示

情報表示を行います。

『デバイス稼動状況』

デバイス接続状況

デバイス	状態
内蔵HDD(E)	稼動中

(1)

マスターデバイス情報

名称	記録状態	全容量	最古時刻	最新時刻
マスターデバイス	記録中	813(GB)	2011/11/09 18:57:05	2012/07/11 15:29:48

(2)

リピート記録が無効で残容量がなくなった場合は『記録再開』ボタンを押してください。
記録が再開され、最古データから上書きされます。

『カメラ接続状態』

カメラ名称	状態	画像サイズ	ピットレート	フレーム	反転	フレーム	シーン(撮影場所)	その他
カメラ1	未接続							
HEL00K ムチ-1	未接続							
HEL00K ムチ-3	未接続							
HEL00K ムチ-4	未接続							
HEL00K ムチ-5	未接続							
HEL00K ムチ-6	未接続							
カメラ2	接続中	SXGA	3Mbps	15fps	OFF	50Hz	通常店内	
HEL00K ムチ-8	未接続							

(4)

登録カメラ

本体とカメラ設定が一致

未登録カメラ

本体とカメラ設定が一致

(5)

最新の状態を表示する場合は『更新』ボタンを押してください。

(6)

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「情報表示」を選択します。

(1)デバイス稼動状況 内蔵 HDD、USB メモリ、DVD ドライブの接続情報を表示します。

(2)マスターデバイス情報 マスターデバイスとして登録されている HDD の情報を表示します。

デバイス情報表示される情報は、「名称」「記録状態」「全容量」「最古時刻」「最新時刻」です。

(3)『記録再開』ボタン リピート記録が無効で残容量がなくなった場合に記録を再開します。再開時には記録データは最古データから上書きされます。

① 記録が停止している場合は、モードにかかわらず 10 分間隔で確認メッセージが表示され、記録を再開することを促します。

(4)カメラ接続状態 MELOOK μ^+ の接続状態や設定情報を表示します。

接続状態

『登録カメラ』

名称名: 登録されているカメラ名称

接続時: 背景色=白、文字色=黒

未接続時: 背景色=赤、文字色=白

『未登録カメラ』

表示名: 「MELOOK μ^{+-} 」+ 番号

接続時: 背景色=ライトグレー、文字色=ダークグレー

未接続時: 背景色=薄い赤、文字色=ダークグレー

設定情報

カメラ名称、状態、画像サイズ、ビットレート、フレーム(フレームレート)、反転、フリッカ、シーン(撮像場所)、その他を表示します。

① リストタイトル(名称、状態など)のセル幅の操作を行うと、本エリアの右側と下部にスクロールバーが表示されるため、全カメラのリスト表示はスクロールバー操作を行う必要があります。

(5)『本体設定に合わせる』ボタン 不整合のあるカメラ(複数の場合もあり)について、レコーダーで保持する設定(H.264 設定、JPEG 設定)を反映し、不整合を解消する。

(6)『更新』ボタン 表示している情報を更新します。

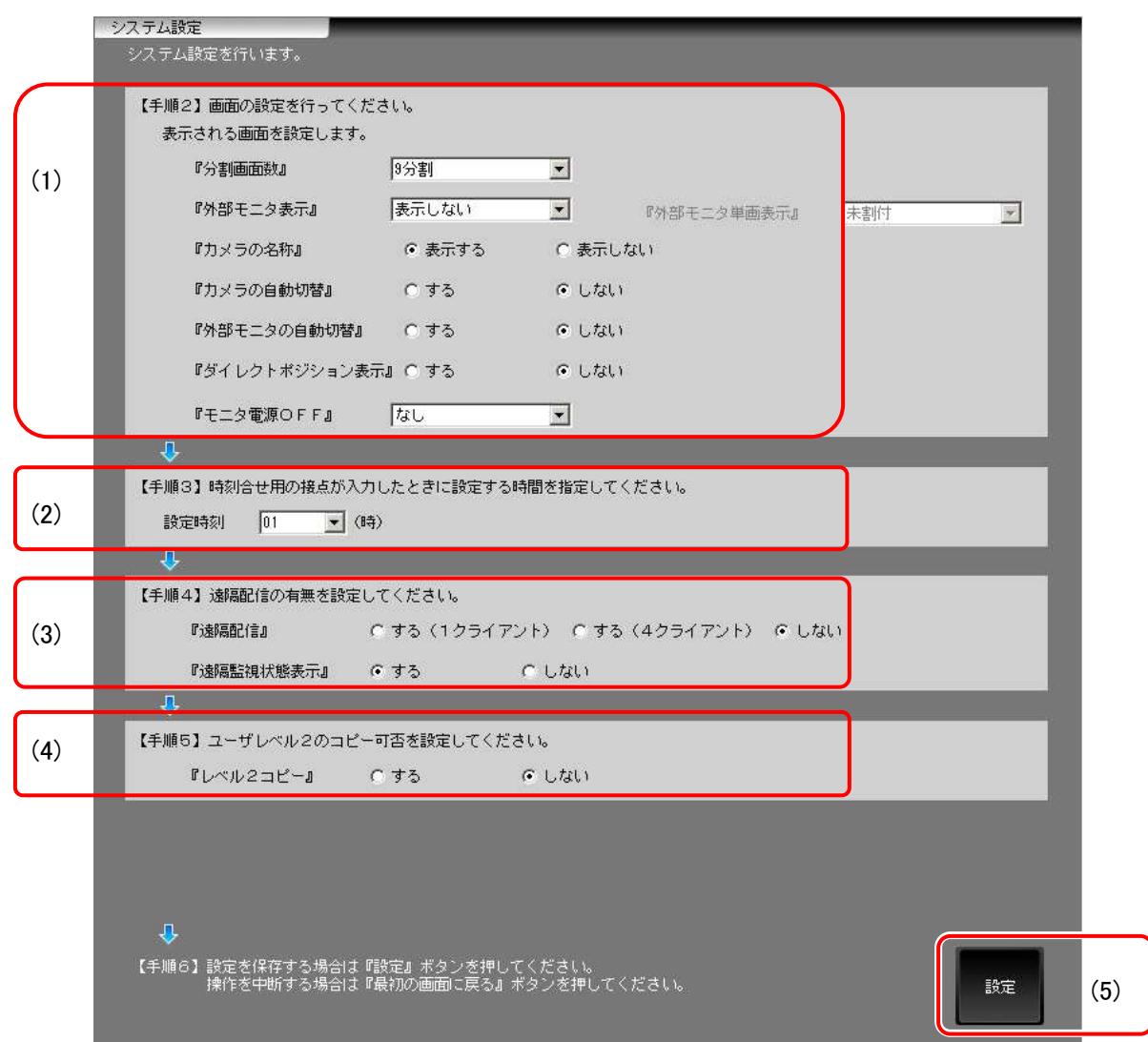
① 接続状態によっては、画面が表示(更新)されるまでに 10 秒程度かかる場合がありますが、異常ではありません。

10.1.2. システム設定

画面の設定を変更する場合に使用します。以下に示す設定が可能です。

- (1)「分割画面数」、「外部モニタ表示」の有無、「カメラ名称」の表示の有無、「カメラの自動切替」の有無、「外部モニタの自動切替」の有無、「ダイレクトポジション表示」の有無、「モニタ電源 OFF」の有無
- (2)時刻合せ用の時刻指定の設定
- (3)「遠隔配信」の有無
- (4)ユーザーレベル 2 のコピー可否

システム設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「システム設定」を選択します。

【手順 2】電源投入時に表示される画面の設定をします。

(1) 起動開始画面設定

画面表示時には現在設定されている値を表示します。

【分割画面数】

画面の分割数を設定します。

「単画」「4 分割」「9 分割」から選択できます。

参考  「9.4.6.画面制御パネル」70 ページを参照してください。

【外部モニタ表示】

外部モニタの画面の分割数を設定します。

「表示しない」、「単画(SXVGA)」、「単画(WXGA)」、「4 分割(SXVGA)」、「4 分割(WXGA)」から選択します。

『分割画面数』が単画・4 分割の場合: 「単画(SXVGA)」、「単画(WXGA)」、「4 分割(SXVGA)」、「4 分割(WXGA)」から選択できます。

『分割画面数』が 9 分割の場合: 「単画(SXVGA)」、「単画(WXGA)」から選択できます。

参考  「9.4.6.画面制御パネル」70 ページを参照してください。

【外部モニタ単画表示】

外部モニタで単画表示するカメラを設定します。

『外部モニタ表示』で「単画(SXVGA)」、「単画(WXGA)」が選択されている場合、『外部モニタ単画表示』を「未割付」、「カメラ 1」～「カメラ 8」から選択できます。

① 「未割付」とは指定の表示位置にカメラが割り付けられていない事を示します。「カメラ未登録」とは、カメラが登録されていない事を示します。

参考  「10.1.5.1 外部モニタ表示設定」92 ページを参照してください。

【カメラの名称】

画面にカメラ名称の表示有無を設定します。

「表示する」 : カメラ名称を表示します。

「表示しない」 : カメラ名称を表示しません。

参考  「9.4.6.画面制御パネル」70 ページを参照してください。

【カメラの自動切替】

カメラの自動切替えの有無を設定します。

「する」 : カメラの自動切替えを実行します。

「しない」 : 固定画面を表示します。

参考  「9.4.6.画面制御パネル」70 ページを参照してください。

① 「10.1.5.映像表示設定」の設定にて、分割画面指定の頁設定を「表示しない」に設定した場合、本設定は無効となります。この後に映像表示の設定にて、分割画面指定の頁設定を「表示する」に設定すると、本設定は有効になります。

【外部モニタの自動切替】

外部モニタの自動切替えを設定します。

「する」 : 自動スキャンを実行します。

「しない」 : 固定画面を表示します。

参考  「10.1.5.1 外部モニタ表示設定」92 ページを参照してください。

【ダイレクトポジション表示】

ダイレクトポジションが使用可能であるか、
映像表示エリア右下へのアイコン表示有無を設定します。
「する」 : ダイレクトポジションが可能であることを
示すアイコンを表示します。
「しない」 : ダイレクトポジションが可能であることを
示すアイコンを表示しません。

① ダイレクトポジションとは、旋回カメラで撮影方向を
画面上で指示する機能です。

【モニタ電源 OFF】

無操作の場合、モニタの電源を自動で OFF するまでの時間を
設定します。
「なし」、「15 分」、「30 分」、「1 時間」、「3 時間」
から選択できます。

① 本設定を有効にした場合、ローカルモニタと外部
モニタともに電源が OFF となります。

【手順 3】時刻合わせ用の接点が入力したときに設定する時間を選択します。

(2)時刻合わせ時間設定

1 時～23 時の範囲で 1 時間単位の設定が可能です。

① 本設定は、CLOCK ADJ 端子を使用した場合のみ有効です。

参考 ▶ 「10.3.1.アラーム端子と I/O 端子」128 ページ、

「10.3.1.1. アラーム端子」129 ページを参照してください。

【手順 4】遠隔配信の有無を選択します。

(3)『遠隔配信』

「する(1 クライアントモード)」: 遠隔配信接続可(1 クライアント)。

「する(4 クライアントモード)」: 遠隔配信接続可(4 クライアント)。

「しない」: 遠隔配信接続不可。

『遠隔監視状態表示』

「する」: 遠隔接続中、遠隔再生中の表示を行う。

「しない」: 遠隔接続中、遠隔再生中の表示を行わない。

① 本設定は、遠隔接続中にあることを、本体側で意識させたくない
場合に「しない」を設定します。VPN/インターネットに接続されている場
合のみ有効です。

【手順 5】ユーザーレベル 2 のコピーの可否を選択します。

(4)レベル 2 コピー

ユーザーレベル 2 において、コピー機能の可否を選択します。

「する」 : ユーザーレベル 2 において、コピーボタンを有効表示します。

「しない」 : ユーザーレベル 2 において、コピーボタンを無効表示します。

【手順 6】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

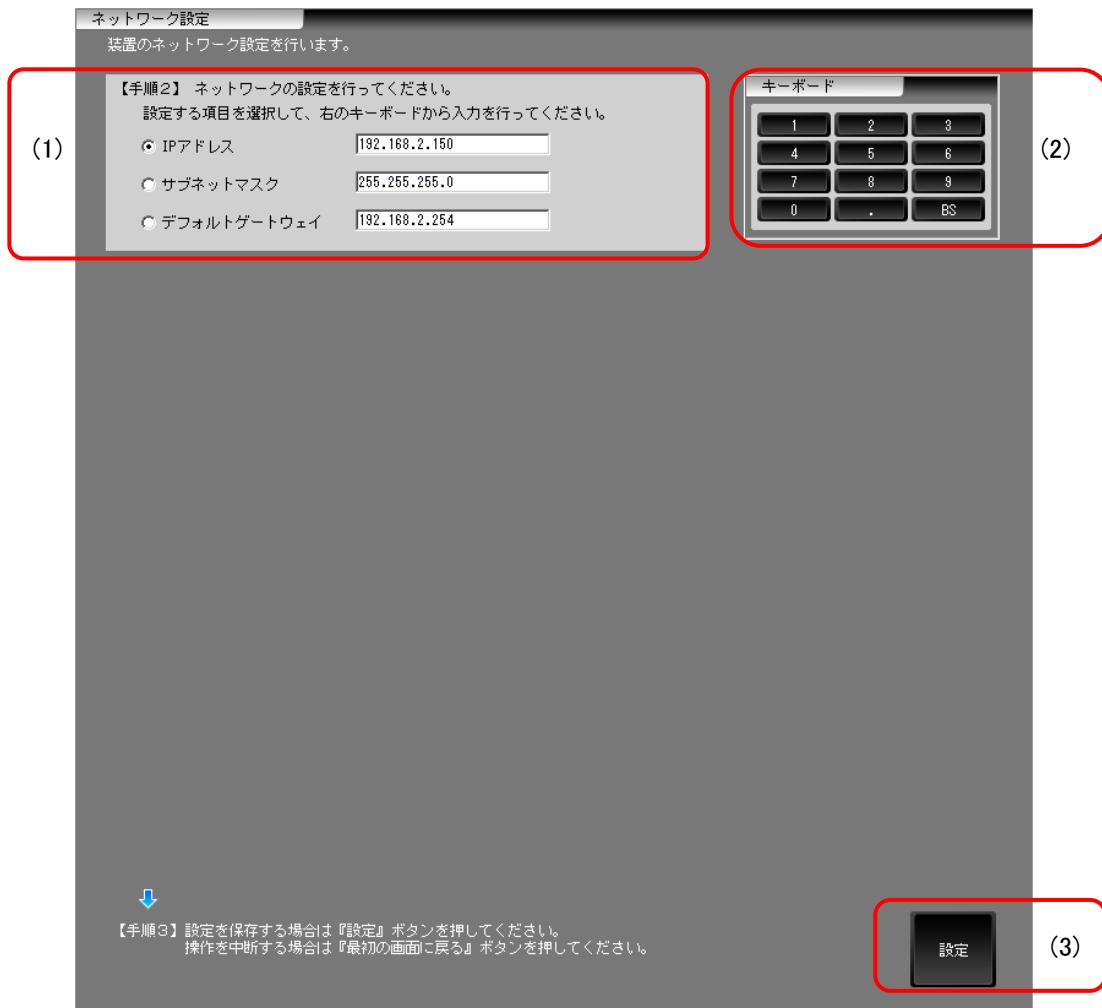
(5)『設定』ボタン

設定を保存します。

10.1.3. ネットワーク設定

本レコーダーのネットワーク設定を行います。

ネットワーク設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「ネットワーク設定」を選択します。

【手順 2】本レコーダーのネットワーク設定を行います。

(1) ネットワーク設定

本レコーダーの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。

画面表示時に現在設定されている値を表示します。

【IP アドレス】 本レコーダーの IP アドレスを入力します。

【サブネットマスク】 本レコーダーのサブネットマスクを入力します。

【デフォルトゲートウェイ】 本レコーダーのデフォルトゲートウェイを入力します。

① 本レコーダーの IP アドレスに「192.168.1.***」は設定しないでください。また、IP アドレス「192.168.1.***」の他装置と通信できません。レコーダー内部の管理用に使用しています。

(2)(ソフトウェア)キーボード 設定する項目に「数字」、「ピリオド」を入力します。「BS」は最後尾から一文字削除します。

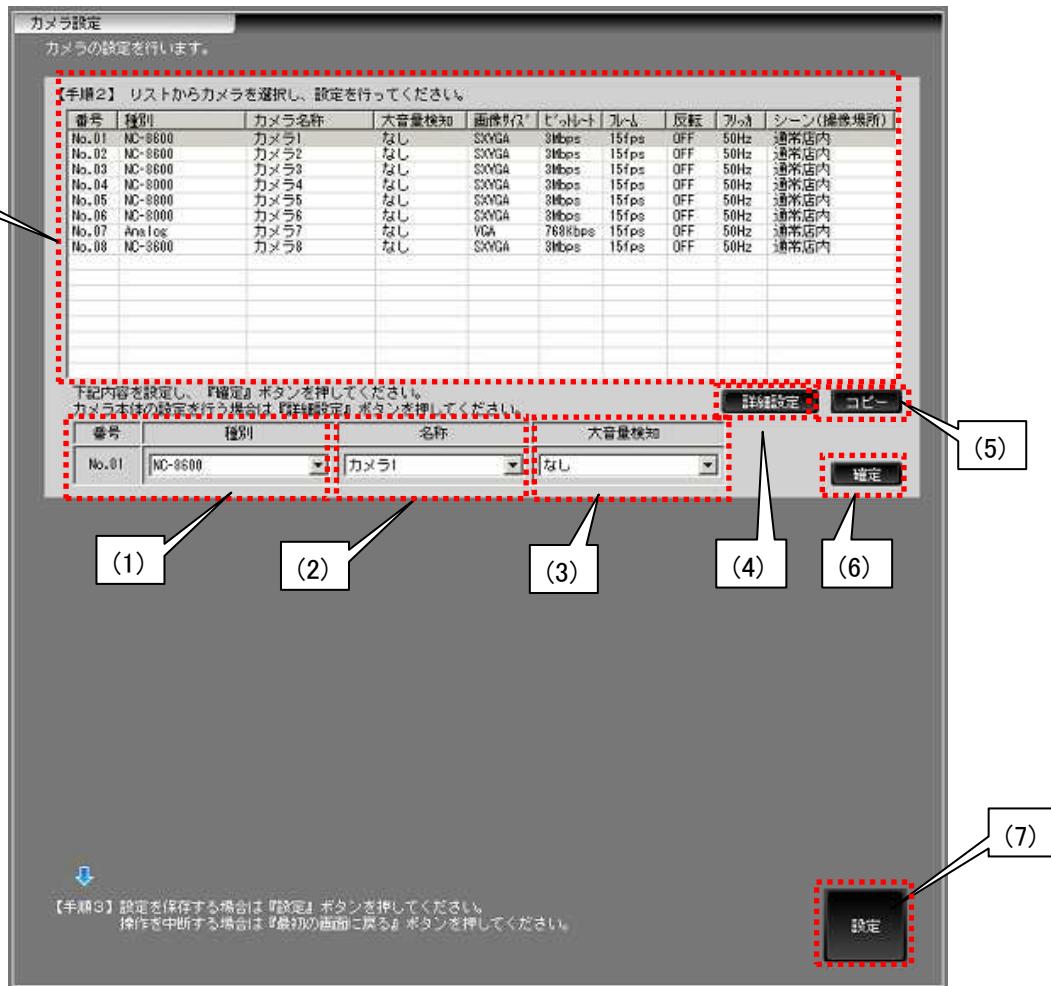
【手順 3】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

(3)『設定』ボタン 設定を保存します。

10.1.4. カメラ設定

本レコーダーに接続されている「MELOOK μ^+ カメラ」の設定を行います。

カメラ設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「カメラ設定」を選択します。

MELOOK μ^+ レコーダーで制御可能な 8 台の割当状態を表示します。

画面表示時には、「No.1」が選択状態となっています。

【手順 2】リストからカメラを選択し、設定を行ってください。

(1) カメラ種別設定

MELOOK μ^+ カメラのカメラ種別(固定/屋外固定/ドーム/旋回)を選択します。

本レコーダーに接続可能なカメラはあらかじめ登録済みです。

プルダウンメニューに無いカメラを追加登録する場合は、販売店にご相談ください。

➡ 未登録からカメラを登録した場合、次の項目が設定されます。

記録種別「ノーマル記録」

間欠記録「しない」

音声記録「する」

単画スキップ登録「OFF」

対応するモーションディテクト設定を全て「連動カメラなし」

➡ 登録カメラを未登録にした場合、割付けられている設定項目は無効になります。

(2) カメラ名称設定

本レコーダーで制御可能な8台のカメラの割当状態を表示します。
カメラリストからカメラを選択すると、選択したカメラの設定が可能となります。

(3) 大音量検知設定

大音量検知は、カメラ内蔵のマイクで検知した音声が設定された閾値以上の音量の場合に、
アラームを発報する機能です。選択したカメラで以下の設定が可能です。

大音量検知:『なし』、『0(感度大)』、『1』、『2』、『3』、『4』、『5』、『6』、『7(感度小)』

- ➡ 内蔵マイクが無いカメラを選択した場合には、無効表示となります。
- ❗ 大音量検知機能を使用する際は、設置環境に合わせた感度設定が必要となります。
意図した通りに動作することを確認の上、ご利用ください。
- ❗ 音の種類や長さによっては、検知しないことや誤検知する場合があります。
- ❗ 感度小(感度6または7)に設定した場合、組み合わせるカメラによっては、検知しない場合があります。

(4) 『詳細設定』ボタン

カメラ詳細設定画面を表示します。カメラ詳細設定では「DETAIL レベル」と「ライブ画質設定」が可能です。
「DETAIL レベル」の設定範囲は、「レベル -20 (画質がソフト) ~ レベル 20 (画質がシャープ)」です。
「ライブ画質設定」は、「標準」(3fps)、「画質優先」(1fps)、「動き優先」(5fps)から選択が可能です。

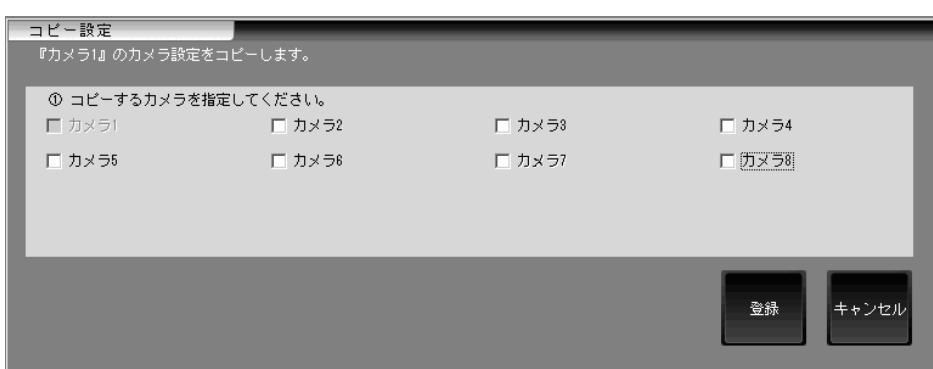
- ➡ 「ライブ画質設定」は、9画表示時の、表示総レートが91fps以上となるときのみ有効となります。



カメラ詳細設定画面

(5) 『コピー』ボタン

カメラリストで選択されているカメラの設定を、別のカメラにコピーします。
コピー先の設定は、「コピー設定画面」にて行います。



コピー設定画面

(6) 『確定』ボタン

『確定』ボタンを押すと、「カメラ種別設定」、「カメラ名称設定」、「大音量検知設定」で変更した内容を
カメラリストに反映します。

【手順3】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

(7) 『設定』ボタン

変更した内容を反映します。

10.1.5. 映像表示設定

カメラの自動切替えに関する設定や、分割画面表示の設定ができます。

『カメラの自動切替』ボタンを押したときに、自動切替えするカメラ番号の設定を行います。

分割画面表示の分割数毎に、分割画面内の表示の有無やカメラ毎の表示位置の設定を行います。

参考 ⇨ 「9.4.6 画面制御パネル」70ページを参照してください。

映像表示設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「映像表示設定」を選択します。

【手順 2】自動切替え時に表示するカメラを指定します。

- (1) 単画面表示切換え設定 表示する(スキップしない)カメラはチェックボックスに“✓”を入れ、表示しない(スキップする)カメラは“✓”をはずします。
画面上には登録されているカメラ名称が表示されます。
「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録」と表示され、無効表示となります。

【手順 3】画面の分割数を指定します。

- (2)分割画面指定 「4分割」「9分割」から選択します。

【手順 4】分割画面のページ内容を指定します。

- (3)登録カメラ表示部 「分割画面指定」で選択されている分割画面の各ページに設定されているカメラを表示します。表示されるページは「○」、表示されないページは「×」で表します。

- (4)選択ページ表示 「分割画面指定」で選択されているページ番号を表示します。

- (5)表示位置確認 割当てたカメラ番号の映像がどこに表示されるかを示します。
分割画面指定が変更される度に表示は変更されます。

参考 ▶ 「9.4.6 画面制御パネル」70 ページを参照してください。

【手順 5】「分割画面指定」で選択されているカメラの割付を指定します。

- (6)ページ設定 【ページ表示】 「分割画面指定」で選択されているカメラ割付を表示します。
「チェックあり」 : 表示します。
「チェック無し」 : 表示しません。

- 【カメラ指定】 選択ページに表示するカメラを指定します。
表示は設定されているカメラ名称とし、「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録(番号)」で表示されます。

- (7)『確定』ボタン 「ページ設定」で設定されている内容を「登録カメラ」表示部に反映します。
同一のカメラが設定されている場合は、エラーメッセージを表示します。

【手順 6】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

- (8)『設定』ボタン 設定を保存します。

☞ 本説明で表示しているのは 4 分割の場合ですが、他の分割画面を指定する場合には、手順 3 から手順 5 を繰り返し、最後に『設定』ボタンを押下します。

︕ 「映像表示設定」画面中の、「未割付」とは指定の表示位置にカメラが割り付けられていない事を示します。
「カメラ未登録」とは、カメラが登録されていない事を示します。

︕ 「ページ設定」で「チェック無し」(表示無し)を指定し『確定』ボタンを押すと、そのページ以降がすべて「チェック無し」(表示無し)となり、「登録カメラ」表示部が×表示(表示されない)となります。

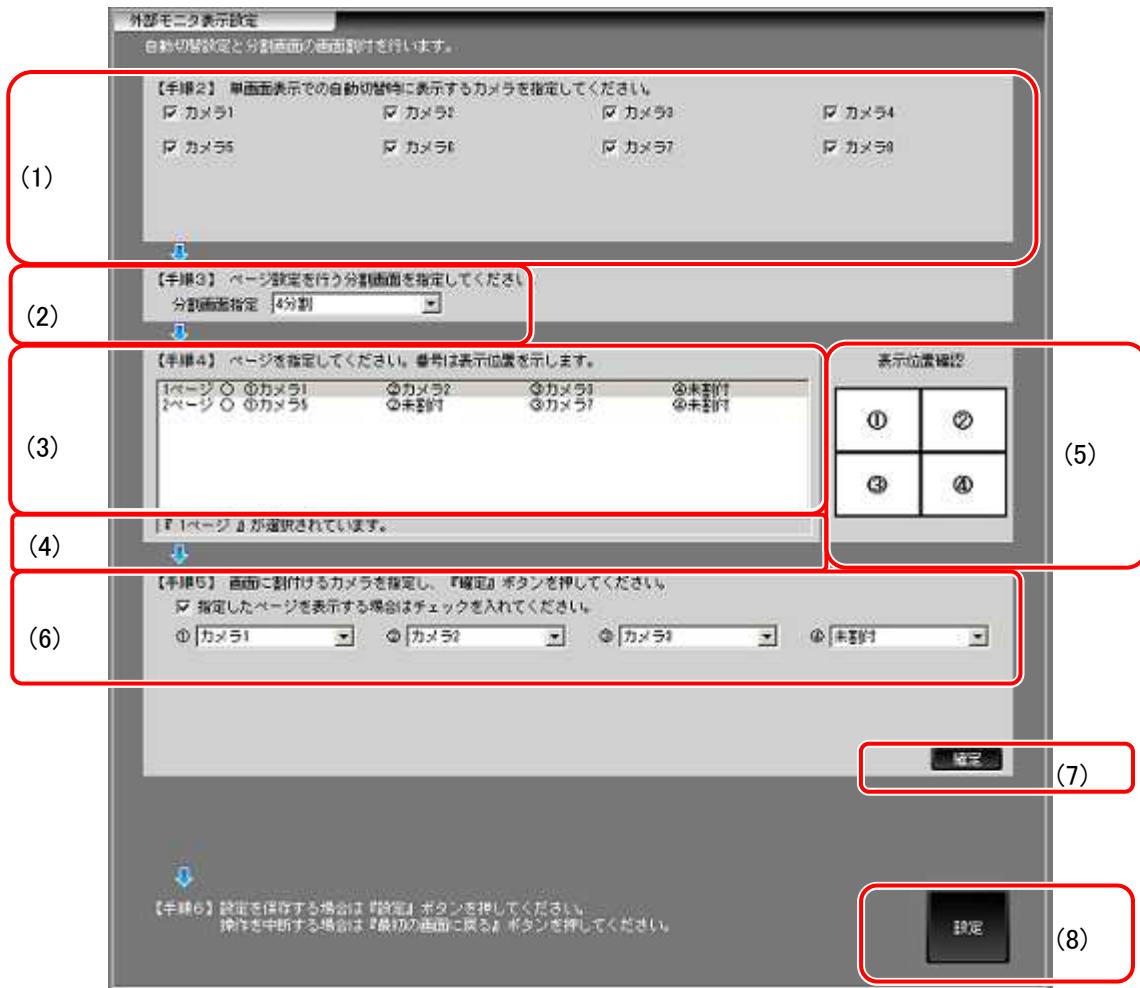
︕ 単画面表示状態から「単画切替」を行ったとき、切替え途中の画面が見えることがあります、異常ではありません。

10.1.5.1. 外部モニタ表示設定

外部モニタについて、カメラの自動切替えに関する設定や、分割画面表示の設定ができます。

分割画面表示の分割数毎に、分割画面内の表示の有無やカメラ毎の表示位置の設定を行います。

外部モニタ表示設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「外部モニタ表示設定」を選択します。

【手順 2】自動切替え時に表示するカメラを指定します。

- (1) 単画面表示切換え設定 表示する(スキップしない)カメラはチェックボックスに“✓”を入れ、表示しない(スキップする)カメラは“✓”をはずします。
画面上には登録されているカメラ名称が表示されます。
「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録」と表示され、無効表示となります。

【手順 3】画面の分割数を指定します。

- (2) 分割画面指定 「4分割」となります。

【手順 4】分割画面のページ内容を指定します。

- (3)登録カメラ表示部 4 分割画面の各ページに設定されているカメラを表示します。
表示されるページは「○」、表示されないページは「×」で表します。
- (4)選択ページ表示 「4 分割画面」で選択されているページ番号を表示します。
- (5)表示位置確認 割当てたカメラ番号の映像がどこに表示されるかを示します。
分割画面指定が変更される度に表示は変更されます。

【手順 5】「分割画面指定」で選択されているカメラの割付を指定します。

- (6)ページ設定 【ページ表示】 「分割画面指定」で選択されているカメラ割付を表示します。
「チェックあり」 : 表示します。
「チェック無し」 : 表示しません。
- 【カメラ指定】 選択ページに表示するカメラを指定します。
表示は設定されているカメラ名称とし、「カメラ未登録」の場合は「カメラ未登録(番号)」で表示されます。
- (7)『確定』ボタン 「ページ設定」で設定されている内容を「登録カメラ」表示部に反映します。
同一のカメラが設定されている場合は、エラーメッセージを表示します。

【手順 6】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

- (8)『設定』ボタン 設定を保存します。

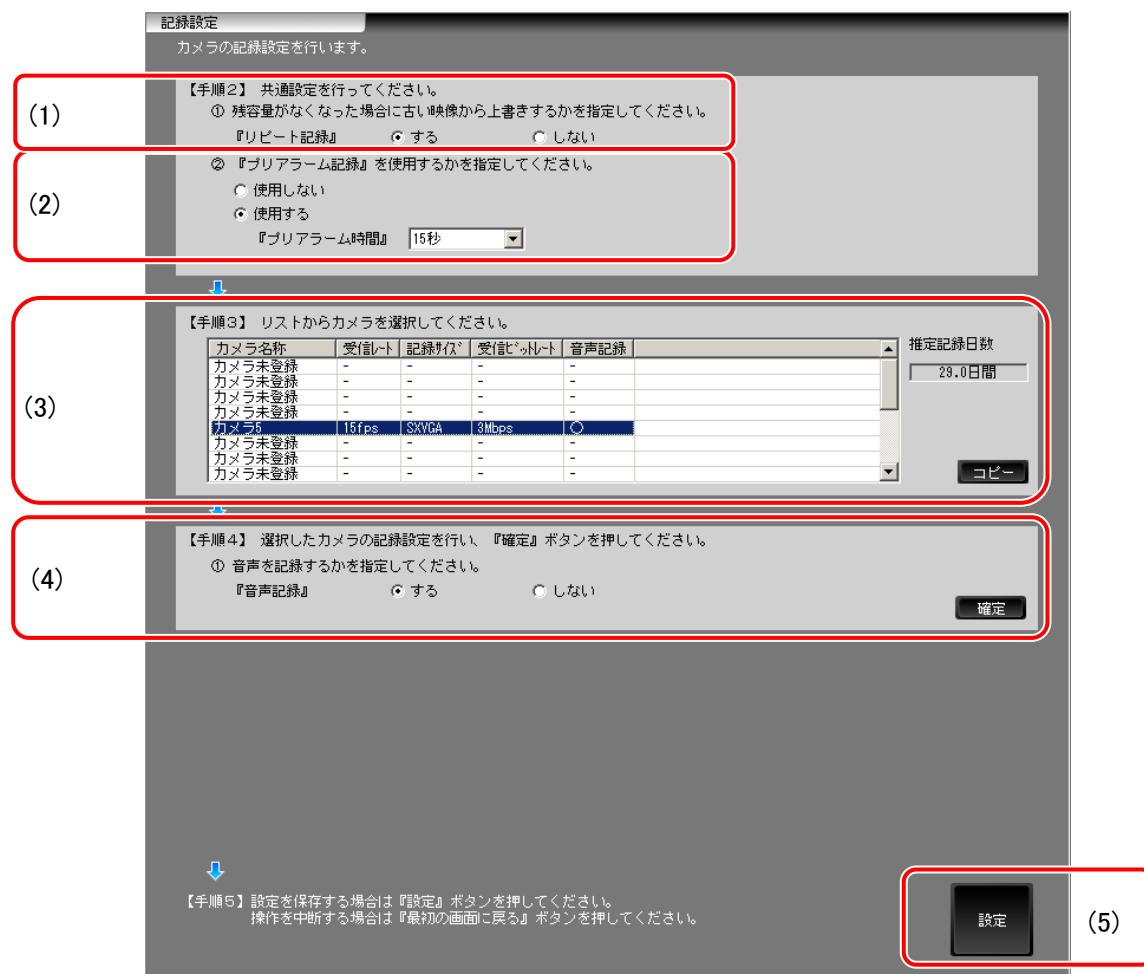
- ① 「外部モニタ表示設定」画面中の、「未割付」とは指定の表示位置にカメラが割り付けられていない事を示します。
「カメラ未登録」とは、カメラが登録されていない事を示します。
- ② 「ページ設定」で「チェック無し」(表示無し)を指定し『確定』ボタンを押すと、そのページ以降がすべて「チェック無し」(表示無し)となり、「登録カメラ」表示部が×表示(OFF)となります。
- ③ ローカルモニタで 4 分割表示時は、外部モニタでの表示レートは 1fps となります。
- ④ ローカルモニタで 9 分割表示時は、外部モニタの分割表示は単画のみとなります。その際の外部モニタの表示レートは、ローカルモニタの総出力レートが 75fps 以下の場合は、カメラ送信レートになります。ローカルモニタの総出力レートが 75fps を超えると、外部モニタの表示レートは 1fps となります。
- ⑤ 外部モニタは、SXVGA(4:3)、WXGA(16:9)の 2 種類のモニタから選択できますが、WXGA モニタを用いた場合、上下をカットした 16:9 の映像が表示されます。

10.1.6. 記録設定

カメラ映像の記録に関する設定を行います。

接続されているカメラのリピート記録の有無、プリアラーム記録の有無の共通項目を設定し、カメラ毎に、記録種別や記録サイズなどの詳細設定、音声記録の有無の設定を行います。

記録設定画面



【手順1】「設定項目を指定」画面で「記録設定」を選択します。

【手順2】「リピート記録」、「プリアラーム記録」の設定をします。

(1)リピート記録設定

マスターデバイスの容量がなくなった場合に記録を停止するか、記録順の古いデータを上書きするかを指定します。

「する」：記録順の古いデータから上書きします。

「しない」：記録を停止します。

(2)プリアラーム記録設定

プリアラーム記録(アラーム入力時より設定時間遅った時点から記録を開始する機能)を設定します。

「使用しない」 : プリアラーム記録を行いません。

「使用する」 : プリアラーム記録を行います。

① プリアラーム記録を使用する場合は、プリアラーム時間を
[5秒][10秒][15秒][30秒]のいずれかに設定します。

① プリアラーム記録を使用する場合は、ちょっと前再生の開始時間が変わります。

参考 ▶ 「9.4.9.映像再生パネル」76 ページを参照してください。

① プリアラーム記録は、設定後に最初に入るアラームが、記録開始からプリアラーム時間経過後のアラームを対象にします。記録開始と同時にアラームが入力した場合などは、プリアラーム記録を行いません。

【手順 3】本レコーダーで現在設定されているカメラの記録設定情報を表示します。

(3)カメラリスト

【カメラ名称】 設定されているカメラ名称を表示します。

【受信レート】 設定されているカメラの配信レートを表示します。

【記録サイズ】 設定されているカメラの配信画像サイズを表示します。

【受信ビットレート】 設定されているカメラの配信ビットレートを表示します。

【音声記録】 音声記録の有無を表示します。

「○」 : 音声記録を行います。

「×」 : 音声記録を行いません。

【推定記録日数】 HDD の容量と各カメラの最大記録設定レートから、記録時間の目安を日数で表示します。

① スケジュール設定は反映されません。

【手順4】【手順3】で選択したカメラ毎の記録設定を行います。

(4)選択カメラ設定 「カメラリスト」で選択しているカメラの記録設定を行います。
「カメラリスト」の選択を変更した場合は、選択したカメラの設定を表示します。

【音声記録】 音声記録を設定します。
「する」 …音声記録を行います。
「しない」 …音声記録を行いません。

【『確定』ボタン】 上記変更内容を「カメラリスト」に反映します。

【手順5】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

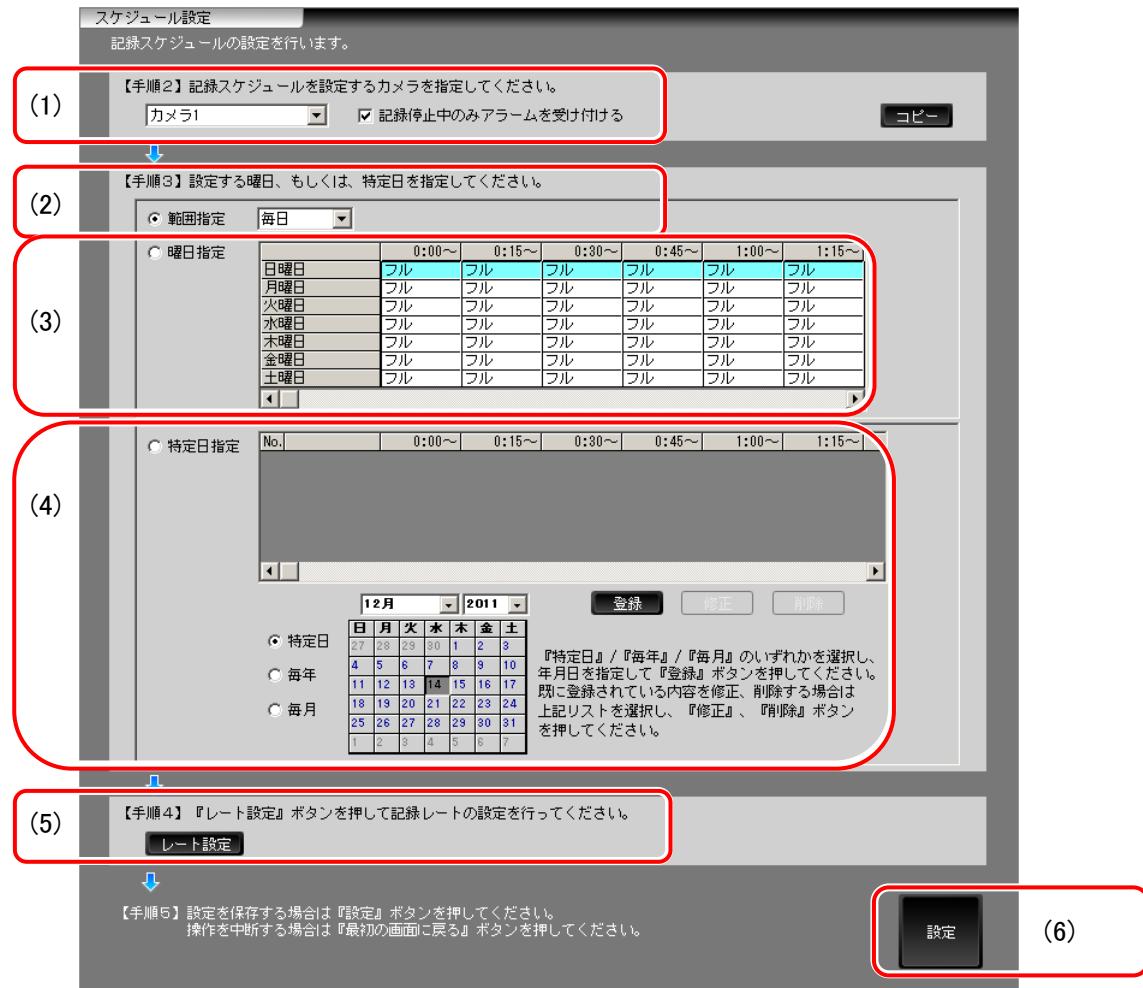
(5)『設定』ボタン 変更した設定内容を保存します。

10.1.7. スケジュール設定

カメラの映像記録のスケジュール(任意曜日、時間もしくは特定日指定など)を設定します。

カメラの映像を記録するスケジュールを細かく設定することにより、必要な時間帯のみの記録も可能です。

スケジュール設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「記録スケジュール」を選択します。

【手順 2】スケジュール記録を設定するカメラを選択します。

(1)カメラ選択

通常記録を行うカメラの中から選択可能です。

『記録停止中のみアラームを受け付ける』にチェックを入れるとスケジュール記録中はアラームを無視します。

【手順 3】【手順 2】で選択したカメラの記録スケジュールを設定します。

(2)範囲指定

記録レートを設定する範囲を指定します。

「毎日」「月-金」「土-日」から選択できます。

(3)曜日指定

曜日毎に設定されている記録レート(「記録停止」「間欠」「フル」)を表示します。

(4)特定日指定

特定日のスケジュール記録に設定されている記録レート(「記録停止」「間欠」「フル」)を表示します。

選択した特定日の設定値を『特定日設定』に反映します。

「毎年」設定の場合は「毎年〇月〇日」のように表記します。

「毎月」設定の場合は「毎月〇日」のように表記します。

「特定日」設定の場合は「〇年〇月〇日」のように表記します。

特定日の追加・修正・削除を行います。

最大 20 件の設定が可能です。

① 設定範囲の西暦は 2011 年～2037 年となります。

【特定日/毎年/毎月】 カレンダーで指定した年月日が『特定日』『毎年』
「毎月」のどの設定かを指定します。

【カレンダー】 年月日を指定します。

【『登録』ボタン】 設定した特定日設定を追加します。

特定日登録最大数に達している場合は、ボタン操作可能となります。既に同じ指定日がある場合は、ボタンが無効表示となり、設定できません。

② 追加した特定日の記録レートは、最大記録レートが初期値となります。

【『修正』ボタン】 「特定日リスト」で選択中の設定を変更します。

未選択中(登録がない場合)はボタンが無効表示となります。変更した特定日の記録レートは変更前のままとなります。

【『削除』ボタン】 「特定日リスト」で選択中の設定を削除します。

未選択中(登録がない場合)はボタンが無効表示となります。

【手順 4】「レート設定」を実施します。

(5)『レート設定』ボタン

レート設定画面を表示します。

参考  「10.1.8.レート設定」99 ページを参照してください。

【手順 5】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

(6)『設定』ボタン

設定された内容を保存します。

10.1.8. レート設定

記録レートの設定を行います。(スケジュール設定画面内にある【手順 4】の『レート設定』ボタンを押すと以下の画面に移ります。)



(1)設定カメラ表示

設定中カメラの名称と設定している曜日、もしくは特定日を表示します。

(2)設定時刻指定

設定する時刻を 15 分単位で指定できます。

(3)記録レート設定

「設定時刻指定」で選択した期間の記録レート(「記録停止」「間欠」「フル」)を変更します。

『設定』ボタンを押すと変更したレートが「設定時刻指定」に反映されます。指定できる記録レートはカメラの登録台数、カメラの種類に応じて異なります。

レート設定画面表示時に「記録停止」を選択状態とします。

(4)『登録』ボタン

変更した内容を反映し、レート設定画面が非表示になり、「スケジュール設定画面」に戻ります。ただし、「スケジュール設定」画面の『設定』ボタンを押すまでは登録されません。

(5)『キャンセル』ボタン

変更した内容を破棄し、レート設定画面を非表示にし「スケジュール設定」画面に戻ります。

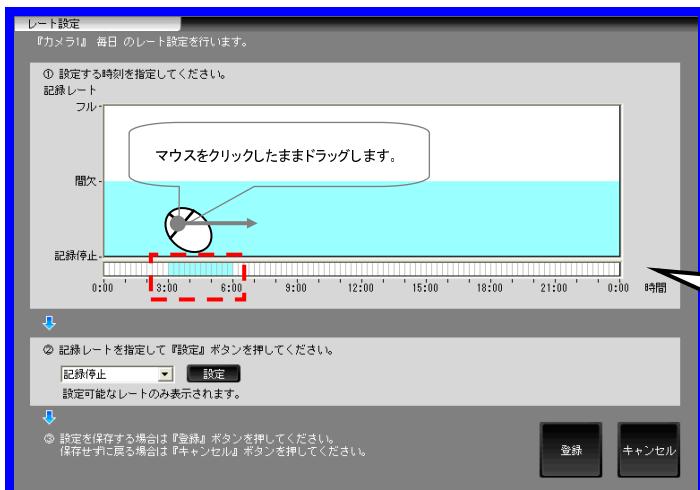
➡ 記録レートの設定手順を次ページに示します。

レート設定手順

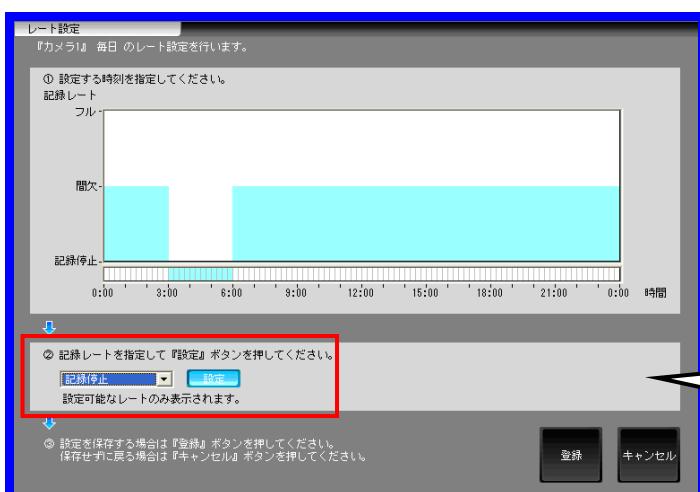
(例:毎日のカメラ記録スケジュールを〇〇時から〇〇時まで〇〇fpsに変更する場合)



手順 1: 指定する時刻の開始点を
マウスの左をクリックし
指定します。



手順 2: 手順 1 で指定した開始点
からマウスのドラッグ操作
により、指定する時刻の
終了点まで移動しマウス
の左クリックをはずします。



手順 3: ボタンから記録レートを
選択し、設定ボタンを押し
ます。上記の手順2で指定
した時刻の範囲に記録
レートが設定されます。

10.1.9. アラーム設定

アラームの解除、登録情報リストの表示、連動カメラの設定、動作設定等を実施します。

アラーム連動できるカメラは4台までとなります。

アラーム設定画面

アラーム設定

アラーム発生時の連動設定を行います。

【手順1】アラーム設定を選択します。

(1) ① アラームが発生してから解除するまでの時間を指定してください。
自動解除時間 [10秒]

(2) ② アラーム発生／解除時の連動映像表示の動作を選択してください。
連動映像表示 [連動する(発生時のみ)]

↓

【手順2】リストからアラームを選択してください。

(3) アラーム種別 番号 名称 連動カメラ1 連動カメラ2 連動カメラ3 連動カメラ4 一円検知

アラーム種別	番号	名称	連動カメラ1	連動カメラ2	連動カメラ3	連動カメラ4	一円検知
接点	01	アラーム1					×
接点	02	アラーム2					×
接点	03	アラーム3					×
接点	04	アラーム4					×
接点	05	アラーム5					×
接点	06	アラーム6					×
接点	07	アラーム7					×
接点	08	アラーム8					×

(4) ① アラーム名称を選択してください。
アラーム名称 [アラーム1]

↓

【手順3】選択したアラームに連動するカメラの設定を行ってください。

(5) 連動カメラ アラーム発生時 アラーム解除時

連動カメラ	アラーム発生時	アラーム解除時
カメラ1	カメラ制御	記録レート
	制御なし	フル
		制御なし

(6) [登録] [修正] [削除]

上記内容を設定し、『登録』ボタンで登録してください。
既に登録されている内容を修正、削除する場合は下記リストから
カメラを選択し、『修正』ボタン、『削除』ボタンを押してください。

(7)

(8) 『一円検知』 指定する 指定しない

↓

【手順4】設定を保存する場合は『設定』ボタンを押してください。
操作を中断する場合は『最初の画面に戻る』ボタンを押してください。

(9) [設定]

【手順1】「設定項目を指定」画面で「アラーム設定」を選択します。

【手順2】アラーム発生から解除するまでの時間を選択します。

(1)アラーム自動解除時間 「10秒」「30秒」から選択することができます。

(2)アラーム連動映像表示 「連動しない」「連動する(発生時のみ)」「連動する(発生時)、解除時は元の映像表示に戻る」から選択することができます。

【手順3】アラームを選択しアラーム名称を設定し、リスト表示します。

(3)アラーム登録情報リスト 画面表示時にリストの先頭が選択状態となります。

表示するアラームの順序は「接点 01~08」(固定)を表示し、モーションディテクト(動き検知機能)のあるカメラをカメラ番号順に表示します。

	<p>【アラーム種別】 アラームの種別を表示します。 「接点」、「”カメラ名称” 動き検知」のいずれかを表示します。</p> <p>【番号】 アラーム番号を表示します。 「接点」の場合は 01～08、「動き検知」「大音量」の場合はカメラの設定値により異なる。</p> <p>【名称】 あらかじめ登録されているアラーム名称を表示します。</p> <p>【連動カメラ】 アラームに連動するカメラ(1～4 台)の名称を表示します。</p> <p>【一万円検知】 一万円検知に指定されているかを表示します。 「〇」: 指定する 「×」: 指定しない 「－」: アラーム種別が接点以外を選択した場合</p>
(4)アラーム名称指定	「アラーム登録情報リスト」で選択されているアラームの名称を指定します。 選択候補はあらかじめ登録されているアラーム名称から選択します。
	<p>➡ 同一名称を複数のアラームに設定することが可能です。</p>
【手順 4】選択したアラームに連動するカメラの設定を行います。	
(5)アラーム連動	【連動カメラ】 連動できるカメラを指定します。
カメラ連動動作設定	【アラーム発生時カメラ制御】アラーム発生時のカメラ制御を指定します。 「制御なし」「プリセット 2」～「プリセット 16」から選択します。
	<p>① 旋回カメラ NC-6500 は「プリセット 10」まで、 SONY 製 ER-550 は「プリセット 16」まで選択 可能です。旋回カメラ以外は「制御なし」が 選択されます。</p>
【アラーム発生時記録レート】アラーム発生時の記録レートを指定します。 「フル」「IDR のみ」から選択します。	
【アラーム解除時カメラ制御】アラーム解除時のカメラ制御を指定します。 「制御なし」「プリセット 1」から選択できます。	
(6)『登録』『修正』『削除』ボタン	<p>「連動カメラ連動動作設定」で設定されている内容を、「アラーム登録情報リスト」「連動カメラ詳細リスト」に反映します。</p> <p>【『登録』ボタン】 (1)～(4)で設定した内容が「連動カメラ詳細リスト」に追加されます。既に 4 台登録されている場合、もしくは同一カメラが既に登録されている場合は追加できません。</p> <p>【『修正』ボタン】 「連動カメラ詳細リスト」で選択されている連動カメラの設定を更新します。</p> <p>【『削除』ボタン】 「連動カメラ詳細リスト」で選択されている連動カメラが削除されます。</p>

(7)連動力カメラ詳細リスト 「アラーム登録情報リスト」で選択しているアラームに登録されているカメラの詳細情報を表示します。リストを選択すると「連動力カメラ詳細リスト」に設定内容を反映させます。

(8)一円検知 アラーム種別が接点の場合に表示します。
「指定する」「指定しない」から選択できます。

【手順 5】設定を保存する場合は、『設定』ボタンを押してください。

(9)『設定』ボタン 変更した内容を設定します。

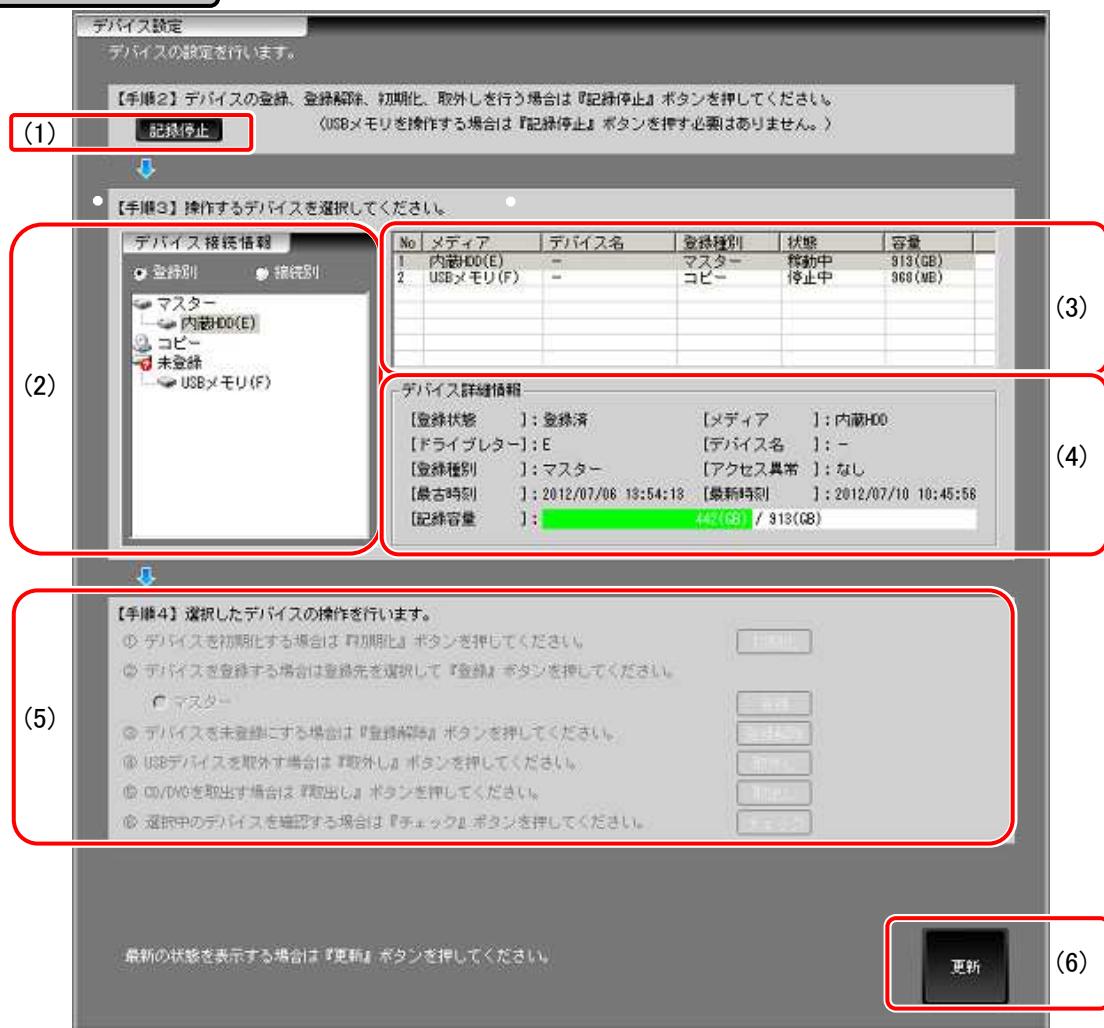
- ① ! モーションディテクト機能は、画面の中で動く物がある場合に検知する機能です。接続するカメラ側での設定となりますので、販売店にご相談ください。
- ② ! モーションディテクト設定している場合、ズーム機能等のカメラ制御を行うと、ホームに戻るまで自動的に記録を行います。またカメラ制御使用後はホームボタンでホームへ戻してください。(カメラ制御操作終了時点から 30 秒後には無操作でも戻ります)
- ③ ! モーションディテクト検知時に映像記録を行う場合、モーションディテクトの検知条件によっては異常検知してから最大 0.8 秒の時間、映像記録が遅れることがあります。プリアラーム記録と併用することをお勧め致します。

参考 ▶ プリアラーム記録は「10.1.6 記録設定」94 ページを参照してください。

10.1.10. デバイス設定

画面表示時にデバイス情報を取得し、デバイスの登録状態を設定します。

デバイス設定画面



増設 HDD ユニットの ID 設定やモード設定の確認の参考としてください。

【手順 1】「設定項目を指定」画面で「デバイス設定」を選択します。

【手順 2】「設定・登録」画面で現在記録しているデバイスの記録を停止します。

(1)「記録停止」ボタン 『記録停止』ボタンを押すと、確認メッセージが表示されます。

【はい】

記録中のデバイスを停止します。

① 記録停止の状態で『最初の画面に戻る』ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。

【いいえ】

記録を停止しません。

【手順 3】操作するデバイスを、「デバイス接続情報」もしくは「デバイス一覧リスト」から選択します。

(2)「デバイス接続情報」

接続しているデバイスの情報を表示します。

【登録別】

登録別に接続されている、デバイスを表示します。

【接続別】

接続別に登録されている、デバイスを表示します。

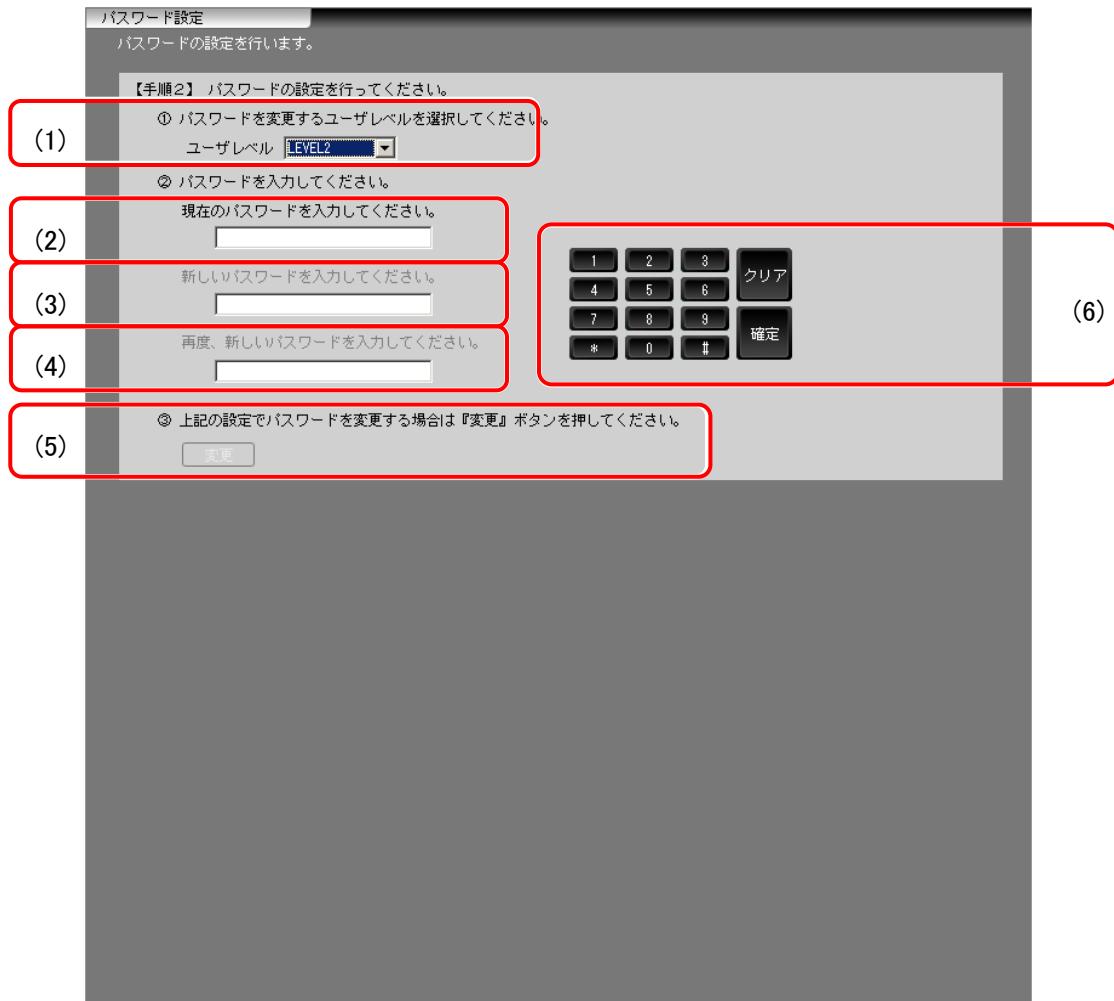
- (3)デバイス一覧リスト
接続されているデバイスの一覧をリスト表示します。
【No】 1 からの通し番号を表示します。
【メディア】 メディアの種類を表示します。
【デバイス名】 デバイス名を表示します。
【登録種別】 デバイスの登録種別を表示します。
【状態】 デバイスの状態を表示します。
【容量】 デバイスの容量を表示します。
- (4)デバイス詳細情報
デバイス接続情報またはデバイス一覧リストで選択したデバイスの詳細情報を表示します。
【登録状態】 デバイスが登録されている場合には「登録済」が表示されます。
未登録の場合には、「未登録」と表示されます。
【メディア】 登録されているメディアの種別が表示されます。
【ドライブレター】 ドライブレターを表示します。表示は“A”～“Z”となります。
【デバイス名】 デバイス名を表示します。
【登録種別】 メディアの登録種別が表示されます。
【アクセス異常】 メディアへのアクセスが異常の場合「あり」が表示されます。
【最古時刻】 記録の最古時刻が表示されます。
【最新時刻】 記録の最新時刻が表示されます。
【記録容量】 メディアの記録容量が表示されます。
① 記録の 2 巡目以降は、記録がフルの表示となります。
- 【手順 4】「デバイス接続情報」もしくは「デバイス一覧リスト」で選択したデバイスを操作します。
- (5)デバイス操作エリア
デバイスの操作を選択します。
① デバイスの操作内容は、選択したデバイスの接続・登録状態によって異なります。
【初期化】 デバイスを初期化します。
【登録】 デバイスを登録します。
① 増設 HDD ユニットを登録するときに、記録レート設定が、最大値を超えている場合は、記録レートを半分にする確認メッセージが表示されます。了解した場合は、記録設定及びスケジュール設定を確認してください。
【登録解除】 登録してあるデバイスの登録解除を行います。
① 増設 HDD ユニットをカスケード接続している場合、親側の増設 HDD ユニットを登録解除するときに、子側も登録解除する確認メッセージが表示されます。
【取外し】 USB デバイスを取外します。
① カスケード接続している場合、親側の増設 HDD ユニットを取外すときに、子側も取外す確認メッセージが表示されます。
【取出し】 CD/DVD を取出します。
【チェック】 選択しているデバイスがどれかを確認します。
- (6)『更新』ボタン
変更した内容を反映し、デバイスリストを取得し、「デバイス接続情報」「デバイス一覧リスト」「デバイス詳細情報」を更新・表示します。
① デバイスリストの取得に失敗した場合には、「デバイス接続情報」「デバイス一覧リスト」「デバイス詳細情報」は、表示されません。

10.1.11. パスワード設定

ユーザーレベルごとにパスワードを設定することができます。

工場出荷時設定から変更を行う場合などに使用します。

パスワード設定画面

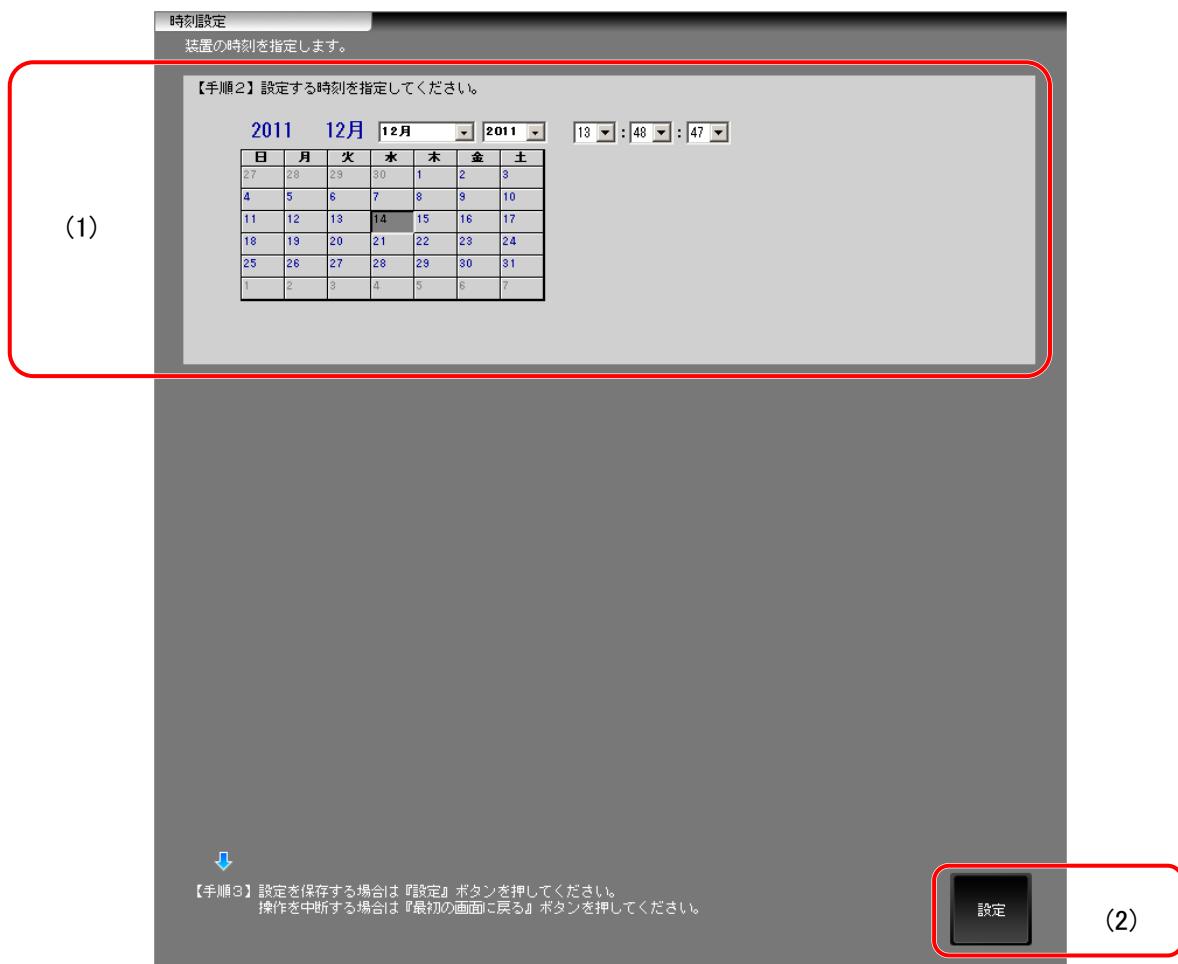


(2)現在パスワード	<p>「ユーザーレベル選択」で選択したユーザーレベルに設定されている現行のパスワードを、テンキーから入力します。</p> <p>入力文字は全て「*（半角アスタリスク）」で表示されます。</p> <p>最大8文字まで入力できます。</p> <p>『確定』ボタン押下で登録されているパスワードと照合されます。一致していれば、「現在パスワード入力」エリア、「新パスワード再入力」エリアを無効表示に「新パスワード入力」エリアが有効になります。</p> <p>一致していない場合は、入力されている全ての文字をクリアします。</p> <p>① 「LEVEL1(Web)」は、遠隔監視専用のパスワードです。同じパスワードを異なるレベルで登録した場合、低いレベルでログインします。</p>
(3)新パスワード	<p>変更するパスワードを入力します。</p> <p>入力文字は全て「*（半角アスタリスク）」で表示されます。</p> <p>最大8文字まで入力できます。</p> <p>① 『確定』ボタン押下で既に登録されているパスワードと重複しないかをチェックします。</p> <p>既に登録されているパスワードと重複している場合は、入力されている全ての文字がクリアされます。</p>
(4)新パスワード	<p>「新パスワード入力」エリアで入力したパスワードと同一のパスワードを入力します。</p> <p>再入力エリア 入力文字は全て「*（半角アスタリスク）」で表示されます。</p> <p>最大8文字まで入力できます。</p> <p>『確定』ボタン押下で「新パスワード入力」エリア、「新パスワード再入力」エリアの照合を行います。一致していない場合は、エラーメッセージを表示します。</p>
(5)『変更』ボタン	<p>設定した新パスワードに変更します。</p> <p>① 変更を反映する前に、確認メッセージを表示し、『はい』ボタンを選択した場合は変更した内容を反映します。『いいえ』ボタンを選択した場合は変更内容が反映されません。</p>
(6)テンキー	<p>「現在パスワード入力」エリア～「新パスワード再入力」エリアに文字を入力するために使用します。</p> <p>入力文字は「0～9」、「*」、「#」、</p> <p>『クリア』ボタン押下で一括消去、</p> <p>『確定』ボタン押下で入力したパスワードが確定されます。</p>

10.1.12. 時刻設定

本レコーダーの時刻設定をします。

時刻設定画面



【手順1】「設定項目を指定」画面で「時刻設定」を選択します。

【手順2】設定する時刻を設定します。

(1)時刻設定エリア

現在の日付と時刻を指定できます。

時刻指定画面表示時は現在時刻を表示します。

- (!) 時刻設定画面表示時にのみ更新されます。
設定できる範囲は、2011年1月1日00:00:00から2037年12月31日23:59:59までです。範囲外を設定した場合、エラーメッセージを表示します。

(2)『設定』ボタン

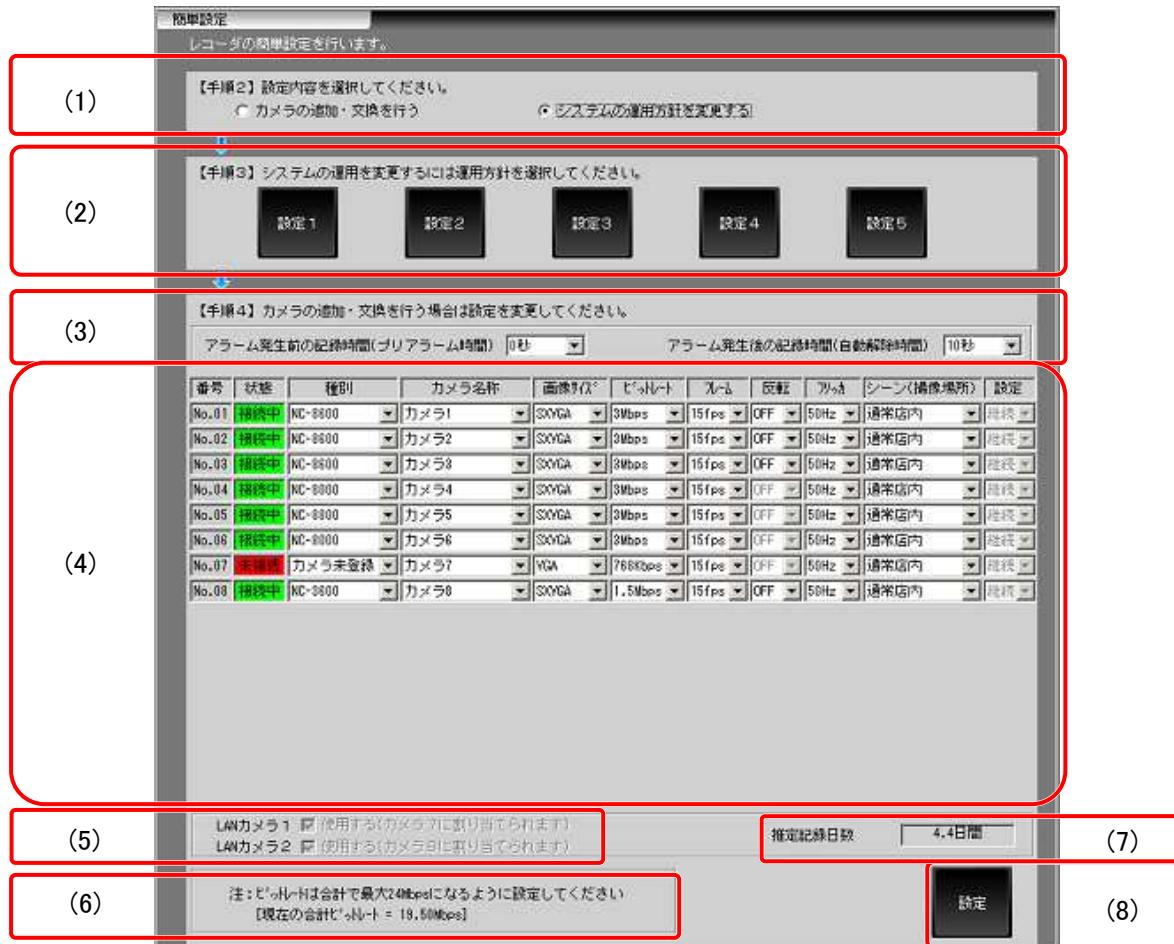
設定した時刻を保存します。

- (!) 設定した時刻は、本設定完了以降の動作に対して有効です。
すでに記録されているデータの記録時刻に対しては、反映されません。

10.1.13. 簡単設定

本レコーダーの簡単設定を行います。

簡単設定画面



【手順 1】「設定項目を指定」画面で「簡単設定」を選択します。

【手順 2】設定の内容を選択します。

(1) 設定内容選択エリア

本レコーダーの設定内容を指定します。

「システムの運用方針を変更する」 : 記録の方針を変更します。

「カメラの追加・交換を行う」 : カメラの追加・交換を行います。

【手順 3】運用方針を選択します。

(2) 運用方針選択エリア

本レコーダーの運用方針を指定します。

「設定 1」 : 1週間分の記録を保持します。

「設定 2」 : 2週間分の記録を保持します。

「設定 3」 : 接点アラーム入力やモーションディテクト入力の場合のみ記録を行います。

「設定 4」 : 画質を優先して記録を行います。

「設定 5」 : 記録時間を優先して記録を行います。

(!) 設定内容選択エリアで「システムの運用方針を変更する」とした場合のみ選択可能となります。

【手順4】カメラの追加・交換を行います。

- (3)アラーム情報設定選択エリア 本レコーダーのアラーム設定を選択します。
プリアラーム時間：「0秒」「5秒」「10秒」「15秒」「30秒」から選択します。
自動解除時間：「10秒」「30秒」から選択します。
- (4)カメラ設定選択エリア カメラ設定を選択します。
番号：カメラのチャンネル番号を表示します。
状態：カメラの接続状態を表示します。
種別：接続カメラの種別を選択します。
① 「(N)」は音声なしです。NC-3800、NC-8800 は画面上では(N)がありませんが種別は音声なし(N)に分類されます。
② 「NC-3xxxA」「NC-8xxxA」接続の際は、それぞれ「NC-3xxx」「NC-8xxx」を選択します。
③ 「Analog」カメラの接続は SNT-EX101E が必要です。
- カメラ名称：カメラの名称を選択します。
画像サイズ：「SXVGA」「VGA」から選択します。
ビットレート：画像サイズが「SXVGA」の場合は、「768Kbps」「1Mbps」「1.5Mbps」「2Mbps」「3Mbps」から選択します。
画像サイズが「VGA」の場合は、「384Kbps」「512Kbps」「768Kbps」「1Mbps」「1.5Mbps」「2Mbps」「3Mbps」から選択します。
- フレーム反転：「5fps」「10fps」「15fps」から選択します。
：「ON」「OFF」から選択します。
④ ドームカメラのみ有効となります。
- フレッカ：「50Hz」「60Hz」「OFF」から選択します。
シーン(撮像場所)：「通常店内」「逆光強い環境」「屋外」「暗い屋内」「ATM」「駅ホーム」「USER2」「USER3」から選択します。
- 設定：カメラの「継続」「交換」「新規」「削除」を選択します。
⑤ 既に設定されているカメラに関しては、「交換」「削除」若しくは「継続」が選択可能です。
⑥ 未登録カメラに関しては、「新規」若しくは「継続」が選択可能です。
「新規」を選択した場合、既に設定されたカメラ設定は初期値に戻ります。
「継続」を設定した場合、既に設定したカメラ設定が継続されます。
⑦ 「交換」に関しては、現在設定されている内容で設定します。
⑧ 「削除」に関しては、現在の登録カメラを未登録カメラとして再登録します。
⑨ 同軸カメラ⇒LAN カメラの「交換」の場合は、交換過程で現在設定されている内容が初期値に戻ります。新たに設定をしてください。

➡ 同軸カメラ ⇄ LAN カメラの「交換」手順

- ①【簡単設定画面】の(1)【手順 2】[カメラの追加・交換を行う]を選択
- ②【簡単設定画面】の(4)「設定」から[交換]を選択
- ③【簡単設定画面】の(8)「設定」後、(4)「状態」が[未接続]になります。
- ④【簡単設定画面】の(4)「設定」から[新規]を選択
- ⑤【簡単設定画面】の(5)LAN カメラのチェックを変更
- ⑥【簡単設定画面】の(8)「設定」後、交換した No. の同軸カメラ、または LAN カメラが接続されます。

(5) LAN カメラ設定エリア

LAN カメラを設定するエリアです。

※同軸カメラを接続する場合はチェック無し

※LAN カメラを接続する場合はチェック有り

- ①「番号」No.07、「番号」No.08 の「状態」が未接続の時のみ設定できます。
- ②「LAN カメラ 1」、「LAN カメラ 2」にチェックが入ったままの状態では、対応 No. の同軸カメラが接続されません。

➡ 同軸カメラ ⇄ LAN カメラに変更する手順

- ①【簡単設定画面】の(1)【手順 2】[カメラの追加・交換を行う]を選択
 - ②【簡単設定画面】の(4)「設定」から[削除]を選択
 - ③【簡単設定画面】の(8)「設定」後、(4)の「状態」が[未接続]になります
 - ④【簡単設定画面】の(4)「設定」新規を選択
 - ⑤【簡単設定画面】の(5)LAN カメラのチェックを変更
 - ⑥【簡単設定画面】の(8)「設定」後、対応 No. の同軸カメラ、または LAN カメラが接続されます。
- ① 同軸カメラと LAN カメラの同じ No.(07 と 07, 08 と 08) の同時使用はできません。
また、同時に同じ No. への接続はしないで下さい、異常動作の原因となります。

(6) 警告表示エリア

合計ビットレートに関する警告文を表示します。また、現在の合計ビットレートを表示します。

① ビットレートは合計で最大 24Mbps になるように設定してください。

(7) 推定記録日数表示エリア

推定記録日数を表示します。

(8)『設定』ボタン

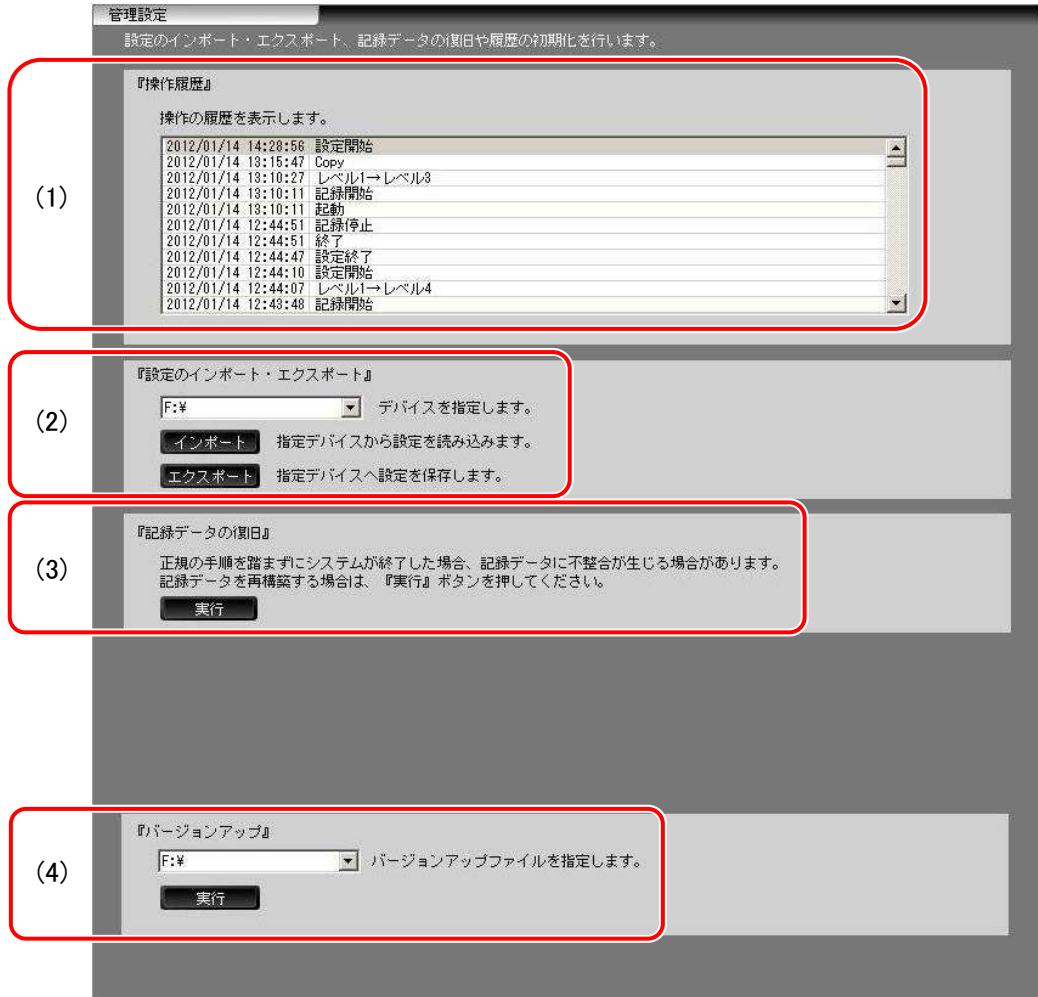
設定した内容を保存します。

- ① 接続されているカメラが簡単設定の結果、「未接続」状態となった場合は再度簡単設定を実施してください。
- ② 簡単設定を実施した場合は、運用に入る前に一度本機の電源を落とし、再起動してください。

10.1.14. 管理設定

設定データをUSBメモリに保存する場合や、USBメモリから設定データを入力する場合に使用します。

管理設定画面



(1)操作履歴表示エリア
(2)インポート/エクスポート

操作履歴を表示します。
USBメモリへのインポート/エクスポートを行います。

➡ USBメモリを接続していない場合は使用できません。

❗ 「管理設定画面」を表示中にUSBメモリを接続しても自動では認識しません。別の画面へ表示した後に再度「管理設定画面」を表示してください。

【デバイス指定】

インポート/エクスポートを行うUSBメモリを指定します。

『インポート』ボタン

USBメモリに保存されている設定ファイルやロゴ画像ファイルを本レコーダーにコピーします。
表示されたダイアログで読み込みフォルダを指定します。

- 指定フォルダに一部のファイルのみ存在する場合でもインポートすることができます。
 - ロゴ画像は幅 100pixel 、高さ 100pixel の JPEG ファイルのみ対象となります。上記サイズ以外の JPEG ファイルをインポートした場合は正しく表示されない場合があります。
 - インポートが正常に終了した場合は再起動します。
- 『エクスポート』ボタン 本レコーダー内の設定ファイルや動作ログファイルを USB メモリにコピーします。
エクスポート完了後には、USB メモリの取外しの確認メッセージが表示されますので、取外しを実施する場合は『はい』ボタンを、実施しない場合は『いいえ』ボタンを選択してください。
- 保存場所は指定ドライブの「NR-8100A_YYMMDDHHMMSS_backup」フォルダとなります。
- 例) 2013/12/14 13:04:05 に H ドライブへエクスポートした場合
保存フォルダは「H:\NR-8100A_131214130405_backup」となります。
- エクスポート完了後の USB メモリ取外しが失敗した場合は、「デバイス設定」画面から、コピーデバイスの『削除』および未登録デバイスの『取外し』を行ってください。
- (3)記録データの復旧 記録データを再構築します。
電源障害などで正常終了しなかったとき、次回起動時に自動実行される復旧処理と同じ処理を実行します。
- 再生途中で停止したり、記録データに不整合が生じていると思われる動作不安定な場合に行ってください。
 - アクセス異常(HDD 故障)となった HDD への「記録データ復旧」が正常終了となる場合がありますが、実施してもアクセス異常の状態は変わりません。
 - リピート記録 OFF により「ディスクフル」で記録停止している状態から、「記録データ復旧」を実施すると復旧処理が失敗する場合がありますが、異常ではありません。
 - インポート機能により追加した「カメラ名称ファイル(NameInfo.ini)」は削除対象とはなりません。
- (4)バージョンアップ レコーダー本体のバージョンアップを行います。

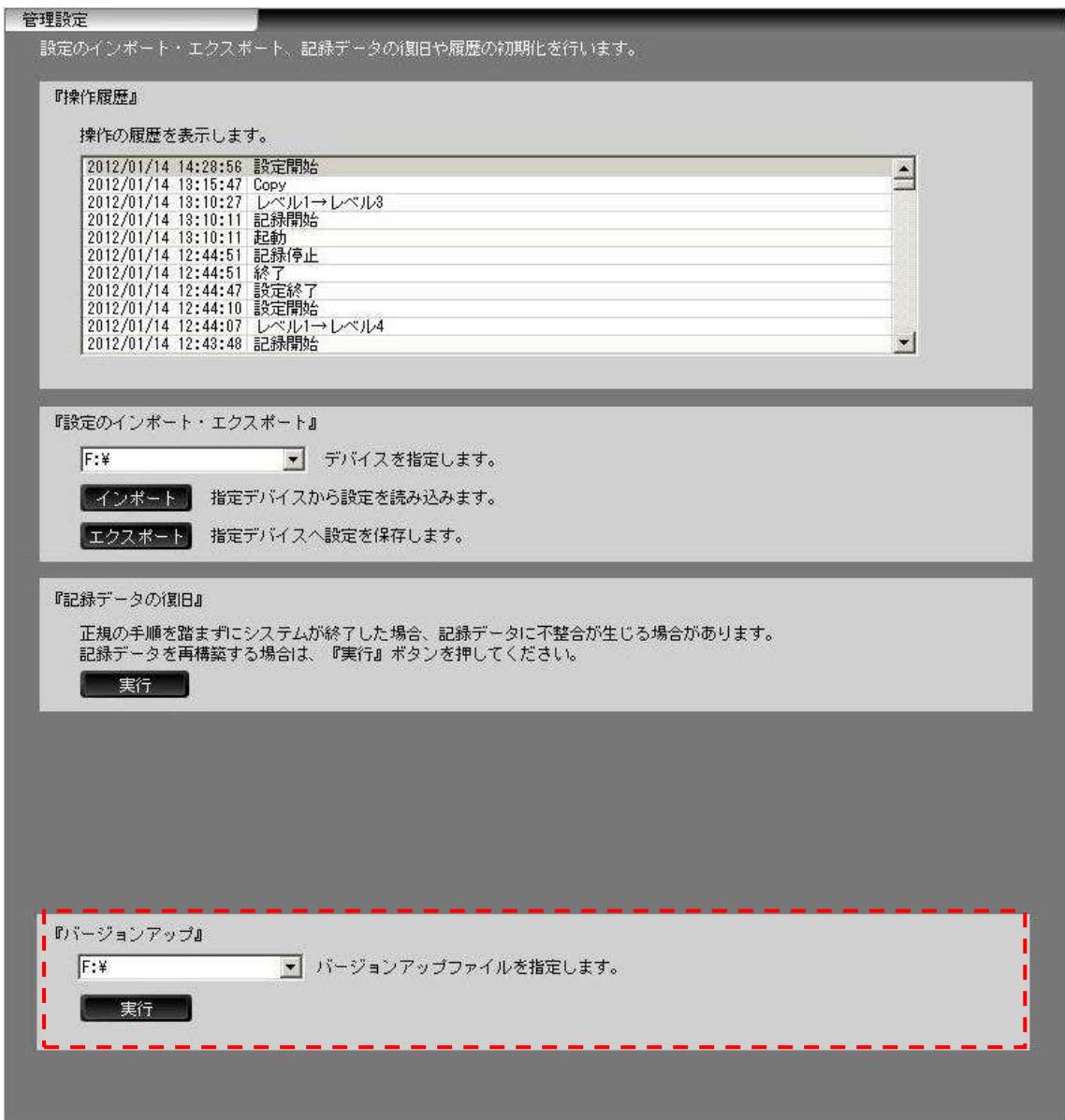
10.1.14.1. バージョンアップ

レコーダー本体のバージョンアップを行います。

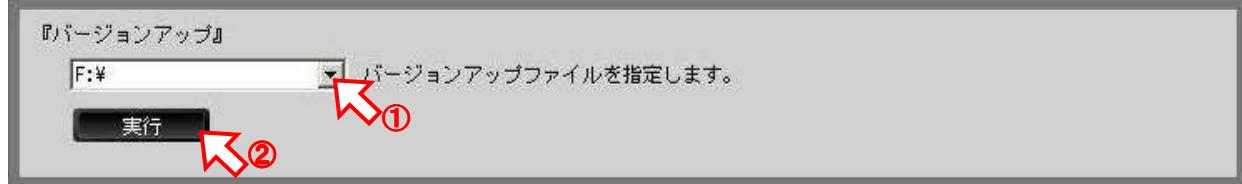
(1)バージョンアップファイル(*.rec)を、USBメモリ、または、CD-R/DVD-Rのルートディレクトリにコピーしてください。

そのUSBメモリ、または、CD-R/DVD-Rを挿入したドライブをレコーダーに接続してください。

(2)ユーザーレベル3で設定画面の管理設定を開きます。

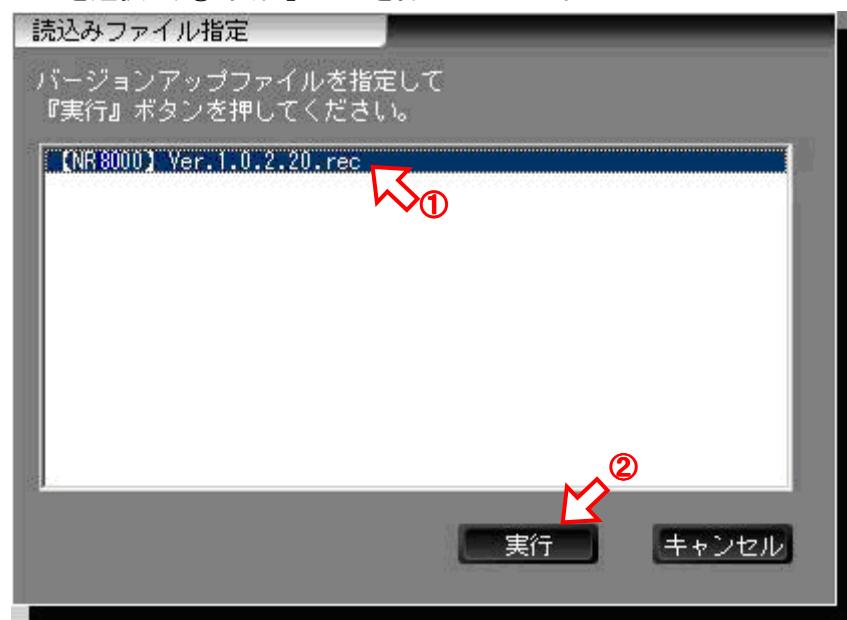


①「バージョンアップ」欄のプルダウンから、手順(1)で接続したドライブを選択し、②「実行」ボタンを押します。

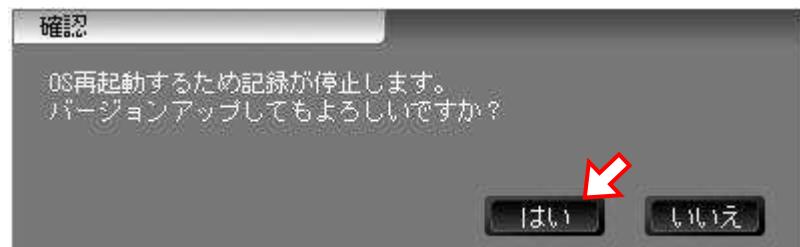


ファイルダイアログが表示され、ルートディレクトリにある *.rec ファイルがリスト表示されます。

①バージョンアップファイルを選択し、②「実行」ボタンを押してください。



下記ダイアログが表示されますので、「はい」ボタンを押してください。



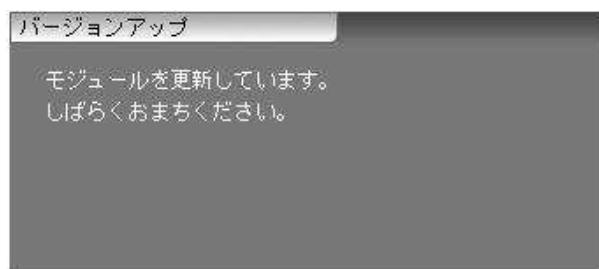
(3)設定画面のデバイス設定を開きます。

- ① 接続した USB メモリ、または、DVD ドライブを選択し、②「登録解除」ボタンを押してください。
- その後で、USB メモリ、または、DVD ドライブを、レコーダーから取外してください。
- ③「最初の画面に戻る」ボタンを押すと、レコーダーが再起動します。

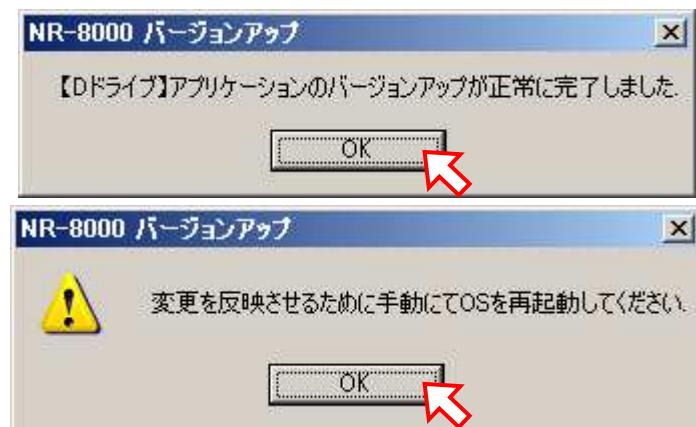


- ① 「登録解除」で操作が不可能になった場合は、本体前面パネルの HDD ランプが消灯していることを確認したうえで、レコーダーの電源プラグをコンセントから抜き、30 秒以上の間隔をおいて再度電源プラグをコンセントに挿してください。バージョンアップ手順は正常に進みます。

(4) 再起動(1回目)すると、アプリケーションのバージョンアップが行われます。

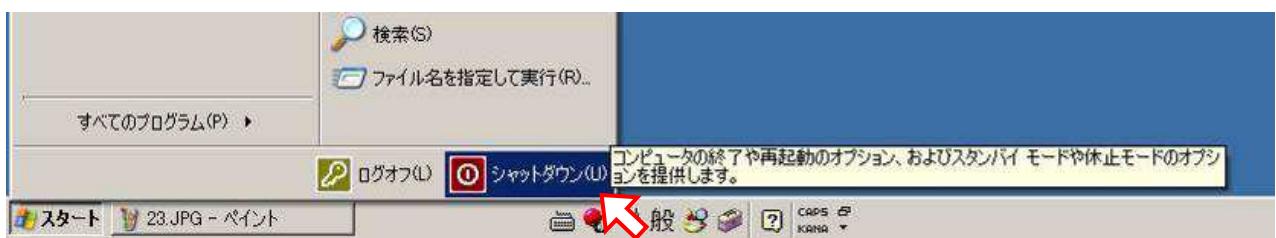


バージョンアップが完了すると、以下のダイアログが表示されますので、それぞれ「OK」ボタンを押します。



① 5分経過しても上記のダイアログが表示されない場合は、次に進んでください。

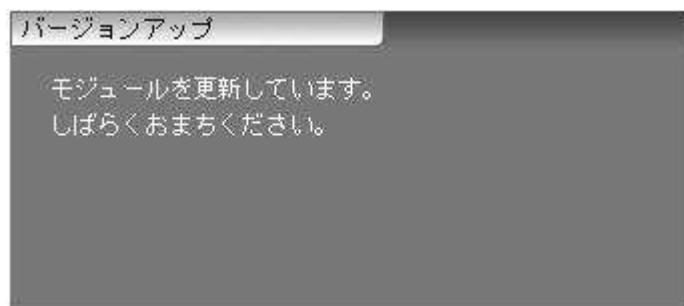
マウスを画面の左下に移動させるとタスクバーが表示されますので、「スタート」ボタンより「シャットダウン」を選択してください。



① プルダウンより「再起動」を選択し、②「OK」ボタンを押して、再起動します。



(5) 再起動(2回目)すると、システムファイルのバージョンアップが行われます。



バージョンアップが完了すると、以下のダイアログが表示されますので、それぞれ「OK」ボタンを押すと、自動で再起動します。



(6) 再起動(3回目)でバージョンアップ完了です。

①(5)の次に(4)に戻ることがありますが、最終的にバージョンアップは正常に完了しますので、画面の指示に従って進めてください。

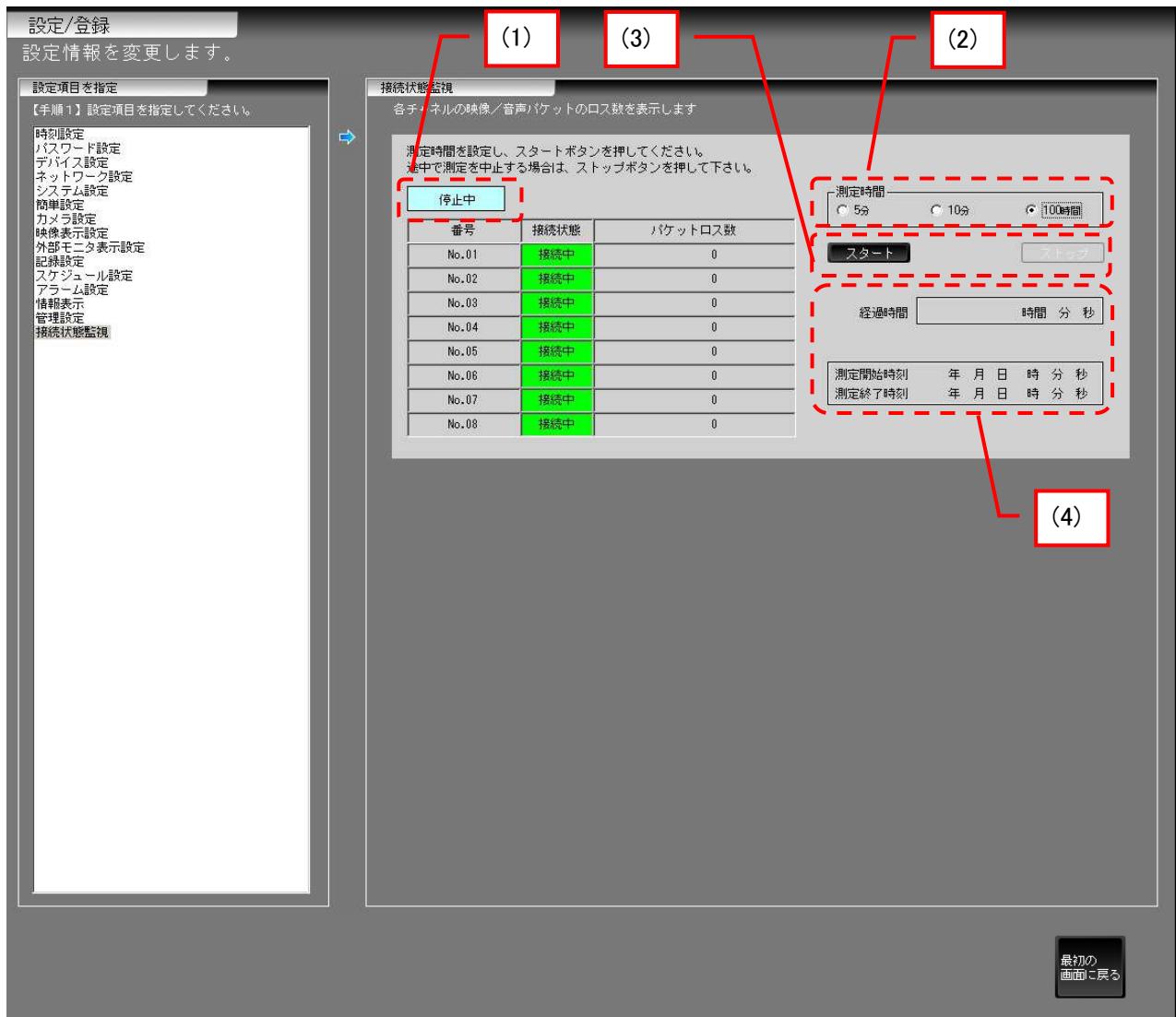
②バージョンアップ中にレコーダーが無応答となり、次の手順に進まなくなった場合には、以下の方法でレコーダーを再起動してください。

①マウスを左下に移動させて、タスクバーを表示させ、スタートメニューから再起動を選択する。

② ①が不可能な場合は、前面パネルの HDD ランプが消灯していることを確認したうえで、レコーダーの電源プラグをコンセントから抜き、30 秒以上の間隔をおいて再度電源プラグをコンセントに挿してください。

10.1.15. 接続状態監視

各カメラからの映像/音声パケットのフレームロス数を示します。



(1)測定状態表示

測定中は『測定中』、測定停止中は『停止中』と表示されます。

(2)測定時間

測定時間(『5分』/『10分』/『100時間』)を選択します。

(3)『スタート』 / 『ストップ』ボタン

『スタート』ボタン押下で測定が開始します。

『ストップ』ボタン押下で測定が終了します(測定時間以内に終了させる場合)。

(4)測定時刻情報表示

経過時間、測定開始時刻、測定終了時刻が表示されます。

10.2. 拡張用機器の接続

10.2.1. ネットワークカメラの接続

MELOOK μ + カメラ(NC-8000/8000A、NC-8600/8600A、NC-8800/8800A)、
MELOOK μ II カメラ(NC-3000/3000A、NC-3600/3600A、NC-3800/3800A)、
NC-6500、SONY 製カメラ SNC-ER550 以外のカメラを接続することはできません。

10.2.2. 増設 HDD ユニットの接続

増設 HDD ユニットは、下図のとおりに接続してください。

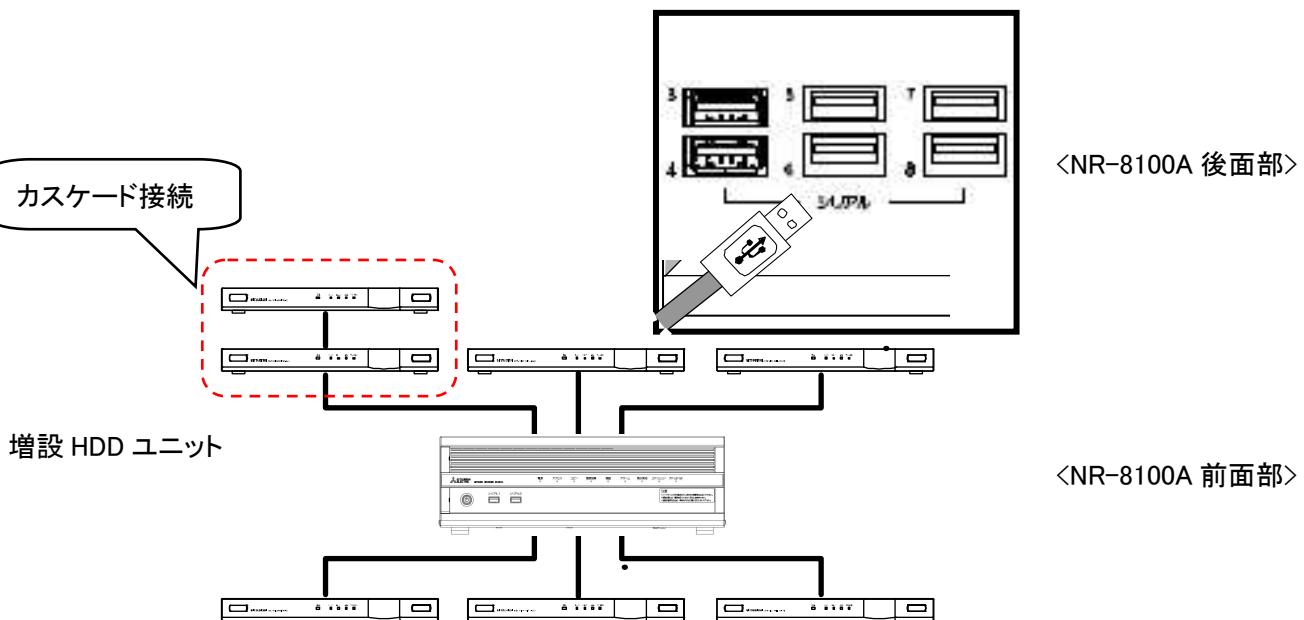
- ① 増設 HDD ユニットをデバイス登録する際は、内蔵 HDD 設定後に実施してください。
 - ② 増設 HDD ユニットは、DX-ZD6-1022、TM102B3-2T02 以外は接続できません。
- 増設 HDD ユニット接続の際は、販売店にご相談ください。
- ① 接続を行う時には、必ず本体の電源を切ってから実施してください。
 - ② 増設 HDD ユニットの ID 番号は、重複しないように設定してください。

参考 増設 HDD ユニットの設定方法は、「10.1.10.デバイス設定」及び、

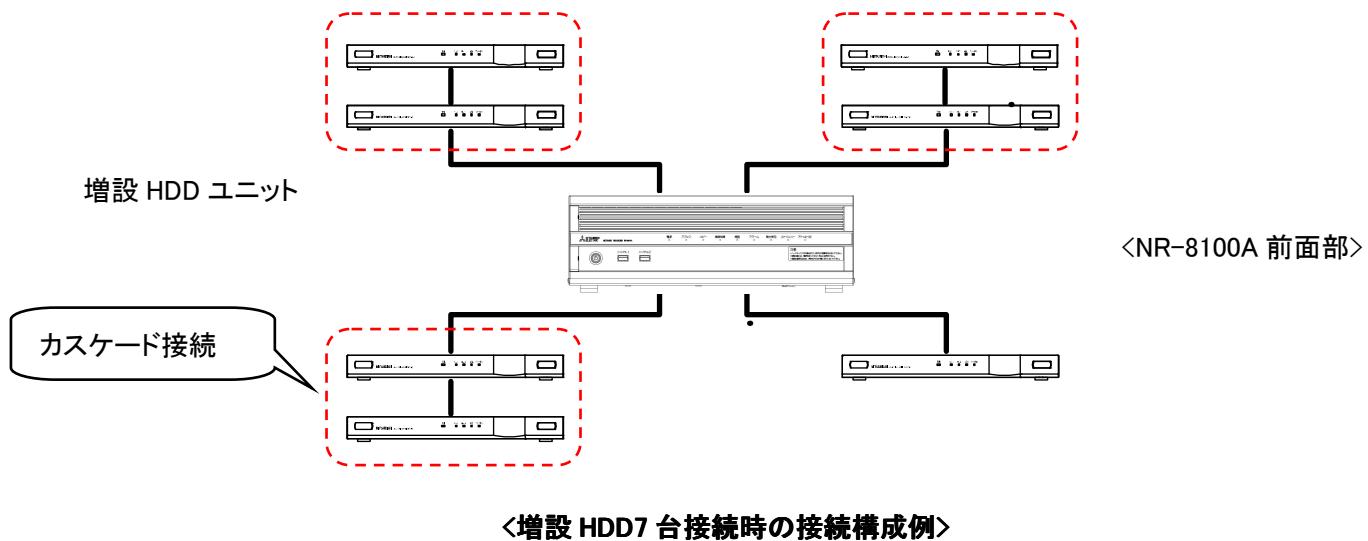
増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照してください。

(1)接続例(7 台の場合)

下図のように、増設 HDD ユニットを縦続接続することが可能です。(最大 7 台まで)



接続例 1

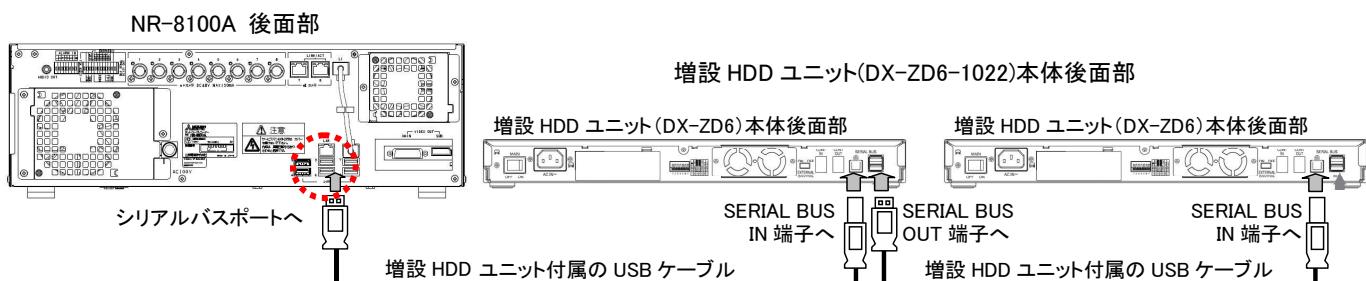


増設 HDD ユニットをシリアルバス(USB)ケーブルを使用して、本レコーダー後面部の USB コネクタに接続してください。増設 HDD ユニットは、最大 7 台、14TB まで増設できます。

下図のように、増設 HDD ユニットを 2 段目まで縦続接続することが可能です。

(レコーダーへの接続は最大 7 台まで)

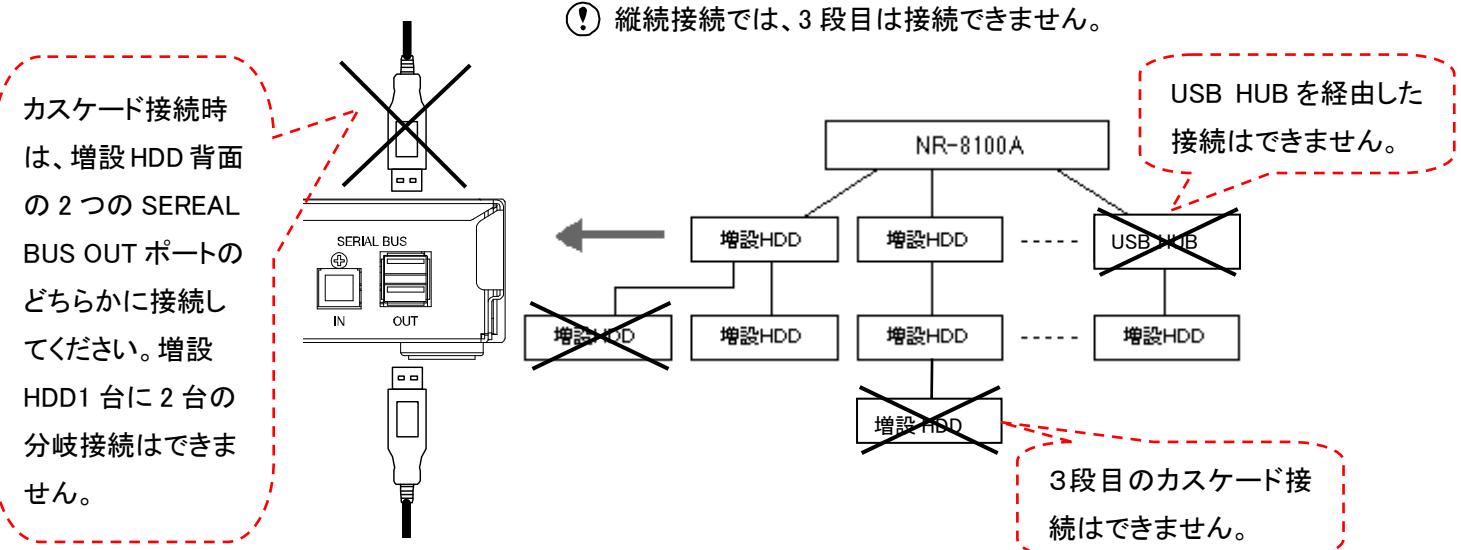
① 接続の途中に、USB HUB を接続しないでください。



<レコーダー本体と増設 HDD との接続(カスケード接続時、DX-ZD6-1022 の場合)>

① 接続時は、下図を守ってください。 ① USB の接続はどちらか、上下一方のみしか接続できません。

① 縦続接続では、3 段目は接続できません。



(2)各増設 HDD ユニットの運用モード(DX-ZD6-1022 のみ)

接続する増設 HDD ユニットの台数や運用に合わせ、増設 HDD ユニットの動作モードの変更が必要です。

設定できる、運用モードは下記のとおりです。

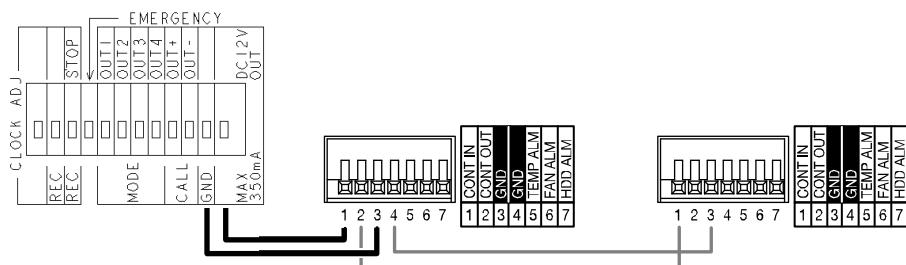
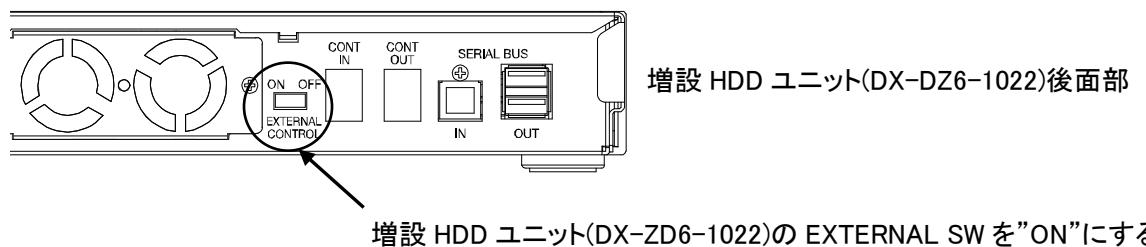
【ミラーリング】 ユニット内 HDD2 台に同じデータを記録します。容量は、HDD1 台分(約1TB)となります。

【スパニング】 ユニット内の HDD2 台を見かけ上 1 台に結合し、1 台の HDD としてデータを記録します。

参考 増設 HDD ユニット(DX-ZD6-1022)の運用モードの設定詳細は、増設 HDD ユニットの取扱説明書を参照してください。

(3)本レコーダーと増設 HDD ユニットの電源を連動させる(DX-ZD6-1022 のみ)

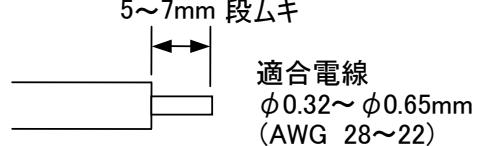
増設 HDD ユニットの EXTERNAL CONTROL SW を“ON”にして、本体後面部の I/O 端子を、下図のように接続してください。



〈レコーダー本体と増設 HDD の電源連動による接続〉

作業に必要なもの

- リード線(Φ0.32mm~0.62mm、AWG 28~22)
- +/-ドライバー



〈接続線の加工〉

① 本レコーダーと増設 HDD ユニットを連動させるためには、同系統の電源をとってください。

② 安定した電源供給を行う為、レコーダー及び増設 HDD ユニットの電源を無停電電源装置(UPS)からとってください。

10.2.3. 増設 HDD の取り外し

マスター記録のデバイスとして登録されている増設 HDD を登録解除し、取り外すまでの手順を説明します。

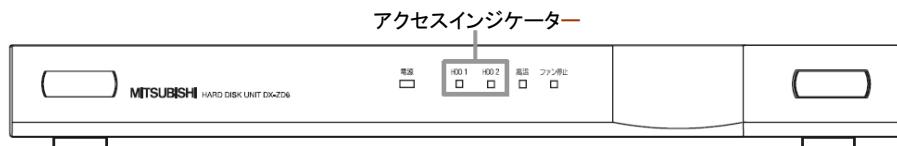
(1) デバイス設定画面での取り外し対象の増設 HDD を確認する

- ① ユーザ切替 Level にてレベル 3 ユーザへ移行し、「デバイス設定画面」を表示します。
- ② デバイス接続情報ツリーまたはリストから、登録解除対象の増設 HDD を確認し、選択します。



〈登録解除・取り外し対象デバイスの選択〉

- ③ 登録解除・取り外しする増設 HDD が正しいかを確認するため、「チェック」ボタンを押し※1、増設 HDD 前面のアクセスインジケーターが(2 秒間)点灯する※2 増設 HDD ユニットを確認します。



〈チェックによるアクセスインジケーターの点灯確認(DX-ZD6-1022 のみ)〉

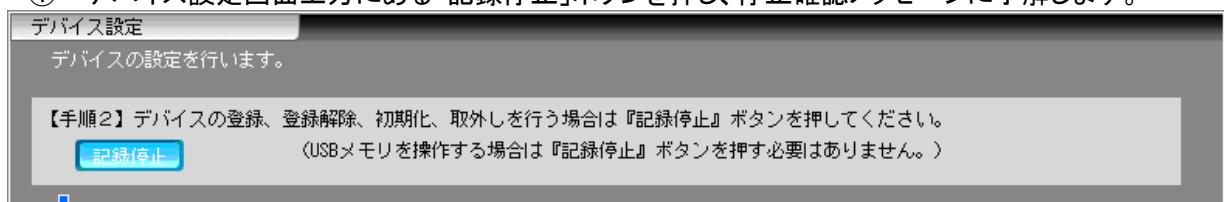
※1 デバイスが「アクセス異常」状態の場合は、「チェック」ボタンは押せません。

※2 運用モードがスパニングモードの場合は HDD1 側の LED が、ミラーモードの場合は HDD1 と HDD2 の両 LED が点灯します。

アクセスインジケーターの確認が出来るのは DX-ZD6-1022 のみ。

(2) 登録解除

- ① デバイス設定画面上方にある「記録停止」ボタンを押し、停止確認メッセージに了解します。

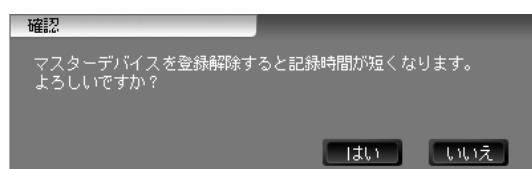


〈記録停止画面〉

- ② 登録解除する増設 HDD を再度選択し、「登録解除」ボタンを押します。

(増設 HDD が階層に接続されているような場合に、上位デバイスを登録解除すると確認メッセージが表示されますが、了解する場合は「はい」を押してください。)

登録解除完了後、当該デバイスは登録状態が「未登録」で「停止中」のデバイス表示となります。



〈登録解除確認画面〉

【手順3】操作するデバイスを選択してください。

デバイス接続情報

● 登録別 ● 接続別

- マスター
 - 内蔵HDD(E)
 - 増設HDD(G)
 - 増設HDD(H)
- コピー
 - USBメモリ(I)
- 未登録
 - 増設HDD(F)

No	メディア	デバイス名	登録種別	状態	容量
1	内蔵HDD(E)	-	マスター	稼動中	913(GB)
2	増設HDD(G)	HDD UNIT ID02M	マスター	稼動中	448(GB)
3	増設HDD(H)	HDD UNIT ID03M	マスター	稼動中	448(GB)
4	増設HDD(F)	HDD UNIT ID01M	マスター	停止中	448(GB)
5	USBメモリ(I)	-	コピー	停止中	968(MB)

デバイス詳細情報

【登録状態】: 未登録

【メディア】: 増設HDD

【ドライブレター】: F

【デバイス名】: HDD UNIT ID01M

【登録種別】: マスター

【アクセス異常】: なし

【最古時刻】: -

【最新時刻】: -

【記録容量】: 0(byte) / 448(GB)

〈登録解除後の増設 HDD〉

(3) 取り外し

- ① 取り外し対象のデバイスが選択された状態で、「取り外し」ボタンを押します。

(増設 HDD が階層的に接続されているような場合は、上位デバイスを取り外す確認メッセージが表示されるため、続行する場合は「はい」を押してください。)

「取り外し」ボタン押下後、当該デバイスはデバイス接続情報ツリーとリストから表示が消えます。

【手順3】操作するデバイスを選択してください。

デバイス接続情報

● 登録別 ● 接続別

- マスター
 - 内蔵HDD(E)
 - 増設HDD(G)
 - 増設HDD(H)
- コピー
 - USBメモリ(I)
- 未登録

No	メディア	デバイス名	登録種別	状態	容量
1	内蔵HDD(E)	-	マスター	稼動中	913(GB)
2	増設HDD(G)	HDD UNIT ID02M	マスター	稼動中	448(GB)
3	増設HDD(H)	HDD UNIT ID03M	マスター	稼動中	448(GB)
4	USBメモリ(I)	-	コピー	稼動中	968(MB)

デバイス詳細情報

【登録状態】: 登録済

【メディア】: 内蔵HDD

【ドライブレター】: E

【デバイス名】: -

【登録種別】: マスター

【アクセス異常】: なし

【最古時刻】: 2012/08/01 19:02:18

【最新時刻】: 2012/08/08 11:03:37

【記録容量】: 152(GB) / 913(GB)

〈取り外し後のデバイス設定表示〉

- ② 設定画面右下の『最初の画面に戻る』ボタンを押すとプログラムが再起動し、ライブ画面表示後、記録が再開します。

引き続き、増設 HDD とレコーダーの接続を外すため、一旦レコーダーの電源を OFF します。



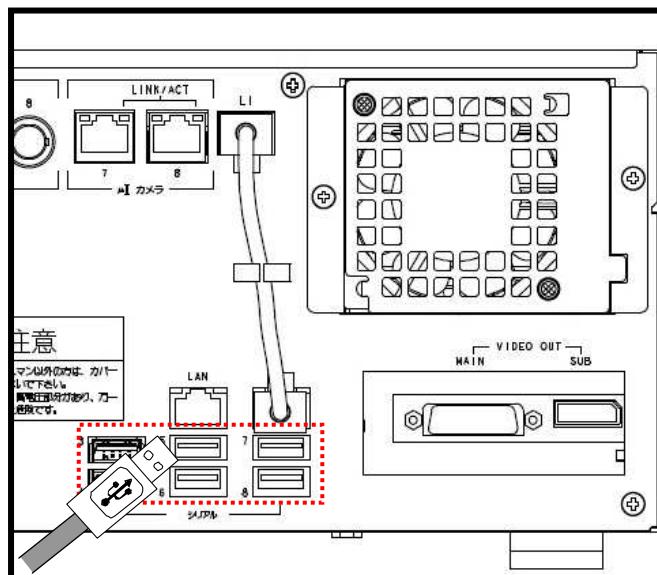
電源運動用のリード線を取り外す場合は、必ずレコーダーと増設 HDD の電源を OFF にした状態で行ってください。

(4) 電源 OFF

レコーダー本体前面の電源ボタンを押してパスワードを入力し、電源を OFF します。

(5) USB ケーブルの取り外し

当該増設 HDD と接続された USB ケーブルをレコーダー本体背面のシリアルバスポートから取り外します。



NR-8100A 本体後面部
シリアルポート

〈USB ケーブルの取り外し〉

(6) 電源運動用リード線抜き(DX-ZD6-1022 のみ)

当該増設 HDD と接続された電源運動用リード線を 2 本(12V, GND)外します。

レコーダー本体後面と直接接続されている場合はレコーダー後面より、他の増設 HDD 背面に接続されている場合は増設 HDD 背面より外してください。

(7) 運用再開

増設 HDD 取り外し後は、必要に応じて、レコーダー本体の電源を ON にして運用を再開してください。

10.2.4. 延長アダプタとの接続構成

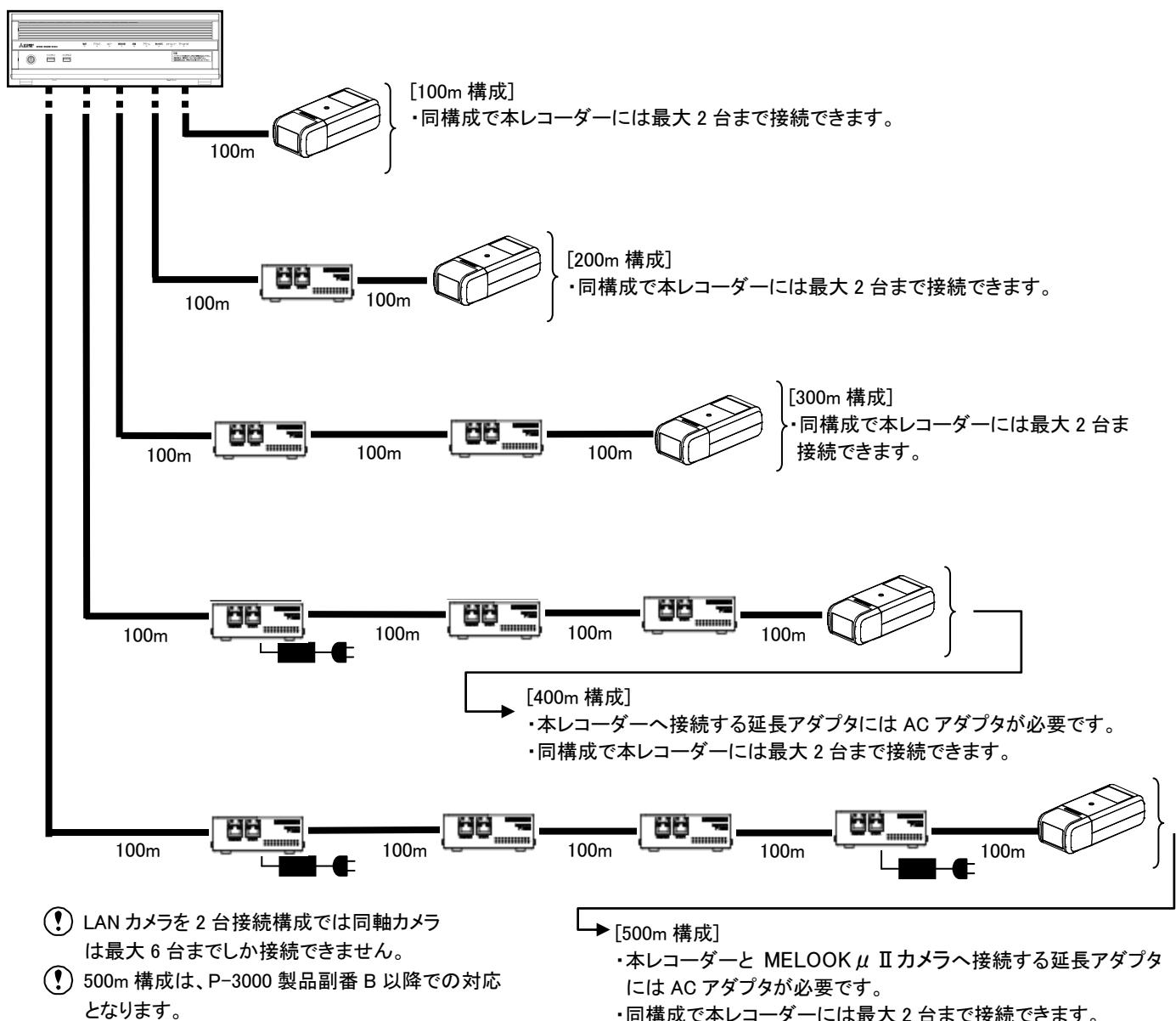
延長アダプタは以下の組合せで使用してください。

		ネットワークカメラ	
		NC-3000/3600/3800	NC-3000A/3600A/3800A
レコーダー	NR-8000	P-3000	P-3000A
	NR-8100A	P-3000	P-3000A(10M)/P-3100A(100M)

※P-3100A は、P-3000 および P-3000A との混在で使用はできません。

(1) カメラ組合せ構成

MELOOK μ II カメラを接続するとき(LAN カメラの最大接続数は 2 台)。



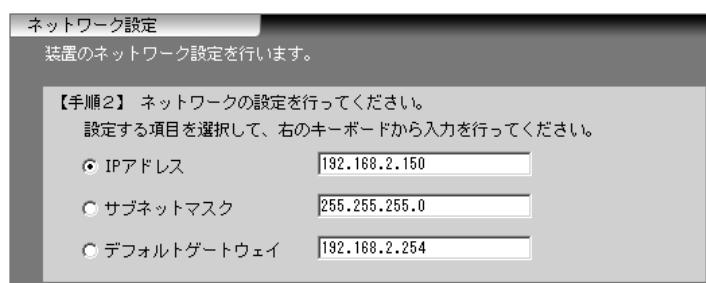
10.2.5. 狹帯域配信の設定・操作について

レコーダー側にて遠隔配信の設定を行います。

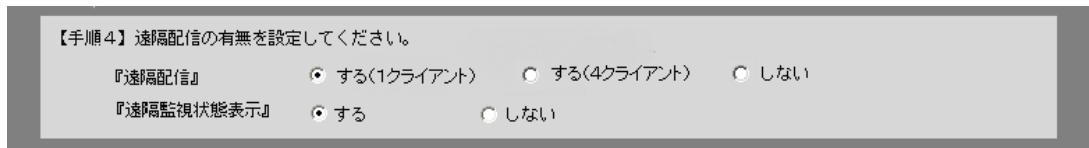
クライアント PC またはスマートフォンからブラウザを使って接続します。

① レコーダーとクライアント PC またはスマートフォンが、予めネットワーク接続されている必要があります。

① レコーダーの「設定/登録」画面から、「ネットワーク設定」にて、レコーダーIP アドレス他を設定します。



② レコーダーの「設定/登録」画面から、「システム設定」にて、遠隔配信を「する」に設定します。



③ クライアント PC またはスマートフォンにてブラウザを起動し、以下の URL を入力します。

<http://レコーダーIP アドレス/Web/login.html>

入力する URL によって、ブラウザでの画像取得周期が変更されます。

http://レコーダーIP アドレス/Web/login_hi.html …… 1 回 / 1 秒

<http://レコーダーIP アドレス/Web/login.html> …… 1 回 / 2 秒

http://レコーダーIP アドレス/Web/login_low.html …… 1 回 / 5 秒

※動作確認済みブラウザ:Internet Explorer 8, GALAXY S4 ブラウザ 1.0

④ レコーダーに接続後、ブラウザ画面にカメラ番号がリンク表示されるので、表示したいカメラの番号をクリックすると映像が表示されます。

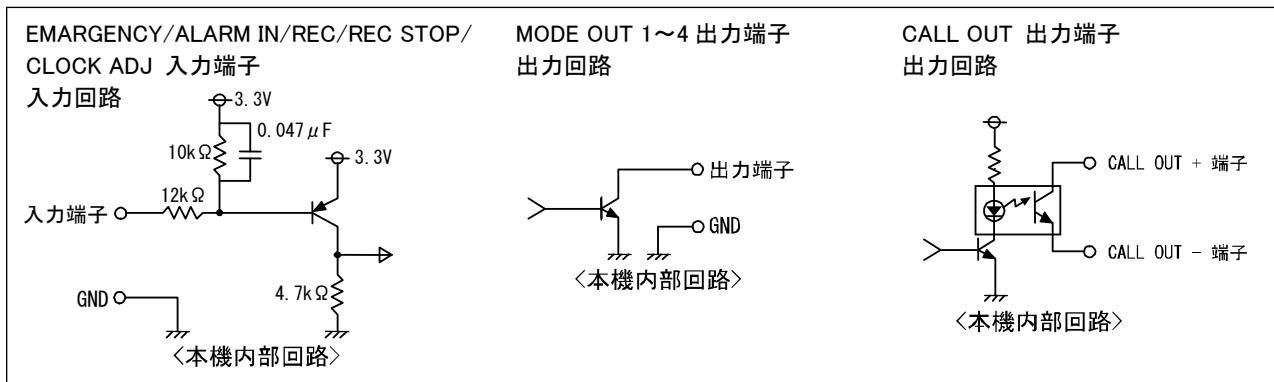
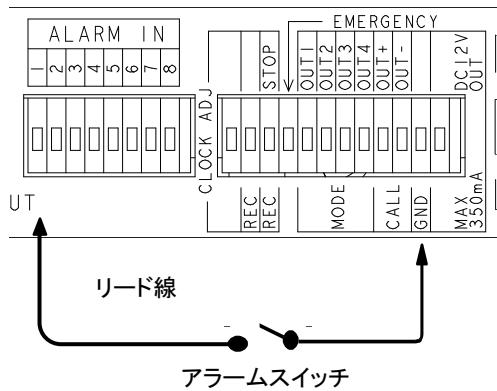
- ① 接続直後は、カメラ映像は表示されません。
- ① カメラ番号リンク表示は、固定的に 16 台分表示されます。
- ① 接続されていないカメラ番号を選択した場合、映像は表示されません。
- ① 接続後、カメラケーブルを抜いた場合は、レコーダーが最後に受信したカメラ映像が表示されます。
- ① 同時接続は、遠隔監視アプリケーションと併せて 5 台まで可能です。
- ① 全方位カメラ(M3007-P/PV, M3027-PVE)には対応していません。

10.3. センサーなどアラーム機器

10.3.1. アラーム端子とI/O端子

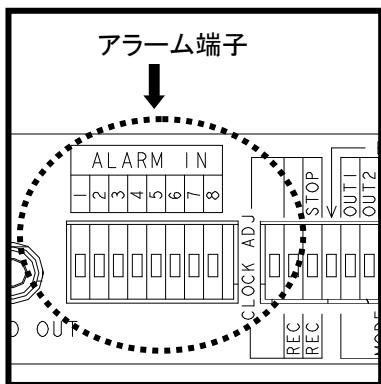
アラーム端子とI/O端子の接続に関し説明します。

参考 アラームセンサーの接続: 下図はアラームセンサー1(ALARM IN 1)に対応した、アラーム信号の場合の接続例です。リード線の接続は「8.2.8.アラーム端子またはI/O端子の接続(アラーム機能を使用するとき)」30ページを参照してください。



MODE OUT 1~4	動作時 非動作時	:'L'レベル電圧出力 :オープン	最大許容印加電流 7mA DC 最大許容印加電圧+24V DC
CALL OUT+/- (フォトカプラ出力)	動作時 非動作時	:ショート :オープン	最大許容印加電流 7mA DC 最大許容印加電圧+24V DC
ALARM IN	動作時 非動作時	:GND 端子に短絡または'L'レベル電圧印加 :オープン	
CLOCK ADJ	同上		
REC	同上		
REC STOP	同上		
EMERGENCY	同上		

10.3.1.1. アラーム端子



本レコーダーに接続されている外部アラーム機器のアラーム信号を入力すると、アラームに連動した設定ができます。

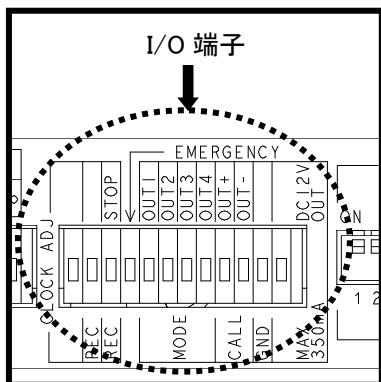
- 接続した MELOOK μ^+ カメラ毎に、アラーム信号入力時の記録設定を行うことができます。

参考 詳細は「10.1.6.記録設定」94 ページを参照してください。

- 「アラーム設定」でアラーム種別毎の、連動カメラ、プリセット制御の設定を行なうことができます。

参考 詳細は「10.1.9.アラーム設定」101 ページを参照してください。

10.3.1.2. I/O 端子



(1)CLOCK ADJ : 時刻合わせのための入力端子です。この端子に信号が入力されると「システム設定」の設定時刻で設定した時刻にリセットされます。

(2)REC : 本信号が入力されている場合、接続された全ての MELOOK μ^+ カメラの映像記録が可能となります。

(3)REC STOP : 本信号が入力されている場合、接続された全ての MELOOK μ^+ カメラの映像記録ができません。

(4)EMERGENCY : 本信号が入力されている場合、接続された全ての MELOOK μ^+ カメラの映像記録を最大記録レートで開始します。

(5)MODE OUT : MODE OUT 端子に接続しているデバイスに、本レコーダーの動作モードを出力します。

動作モードの種類は下記となります。

MODE OUT 1: 記録中

MODE OUT 2: 再生中

MODE OUT 3: 緊急記録中

MODE OUT 4: アラームホールド中

(6)CALL OUT

: CALL OUT 端子に接続されているデバイスに、

機器の故障発生 時警告信号を出力します。

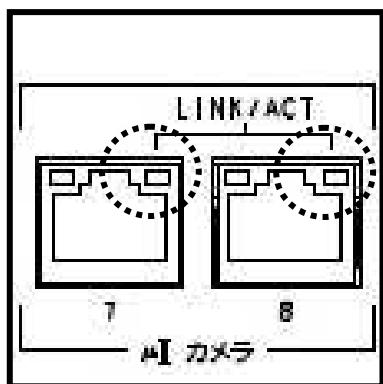
参考 ▶ 詳細は「9.4.5.2.機器の故障リスト」64 ページを参照してください。

(7)GND

: GND 端子

(8)MAX 350mA DC12V OUT :DC12V の電源端子、定格最大電流 350mA

10.3.2. LAN カメラリンク LED



LAN カメラとのデータ送受信時に対応 No が点滅します。
No.7～8 がカメラ対応 No になります。

10.4. 記録時間表

1ch 当りの記録ビットレートによる内蔵 HDD の記録時間を下表に示します。

➡ 内蔵 HDD には、映像/音声データだけでなく、ログデータ、管理情報等も保存されます。

➡ 記録するカメラの画像サイズが SXVGA の場合は、384kbps、512kbps は設定できません。

1) 通常記録の場合(マスター構成)

ch 数	1ch 当りの記録ビットレート													
	384kbps		512kbps		768kbps		1,024kbps		1,536kbps		2,048kbps		3,072kbps	
8	25 日	7 時間	19 日	16 時間	13 日	15 時間	10 日	10 時間	7 日	2 時間	5 日	8 時間	3 日	14 時間
4	50 日	15 時間	39 日	9 時間	27 日	6 時間	20 日	20 時間	14 日	4 時間	10 日	17 時間	7 日	5 時間
2	101 日	7 時間	78 日	19 時間	54 日	13 時間	41 日	17 時間	28 日	8 時間	21 日	11 時間	14 日	11 時間

11.簡易ビューワについて

本レコーダーでコピーを実行するとコピーしたフォルダ内にコピー画像データと共に本アプリケーションが自動的にコピーされます。

本アプリケーションを使用してコピーした画像データを再生表示させることができます。

本章は、コピーされた画像データを再生表示するためのビューワアプリケーション(以下、簡易ビューワと記載します)の取扱い方法について記述しています。

11.1. ご使用前に

11.1.1. コンピュータ要件

下記の要件を満足するコンピュータを使用してください。

(1)OS	Microsoft Windows 7 SP1 32bit Microsoft Windows 8.1 64bit Microsoft Windows 10 64bit
(2)CPU	Intel 社製 Core i7 以上
(3)HDD	空き容量 20GB 以上
(4)メインメモリ	4GB 以上
(5)ビデオ	フル HD サイズ:1920x1080 以上

!
①上記の性能より低いPCでの再生は単画・4画面表示を推奨します。

11.1.2. 制約条件

- (1)本アプリケーションは、コピーされた画像データの画像情報を一旦メモリ上に展開して再生制御を実施する為、長期間記録されたデータを再生表示しようとした場合、再生開始までに数分から数十分かかることがあります、異常ではありません。
- (2)通常の再生間隔は、記録間隔と同様の速度で再生されますが、あくまでも目安であり、再現性を保障するものではありません。動作環境に依存し、所望の再生速度が出ない場合がありますが、異常ではありません。
- (3)音声付画像データを再生する場合、画像表示が抜ける場合があります。
- (4)画面サイズ(大)[1088×816 pixel]で再生させる場合、SXGA以上の対応モニタを使用してください。
- (5)パケットライティング用のソフトウェアがインストールされているコンピュータの場合、メディアが認識できずに再生できない場合があります。また、メディアが取出せなくなる可能性もあります。パケットライティング用のソフトウェアがインストールされていないコンピュータで再生するようにしてください。もし、メディアが取出せなくなってしまった場合には、OSを再起動してから取出すようにしてください。
- (6)音声は映像とずれることがありますが異常ではありませんので予めご了承ください。
- (7)画面のDPI設定を「大きなサイズ(120 DPI)」に設定すると、一部の文字が画面に表示できません。
「通常のサイズ(96 DPI)」でご使用ください。
- (8)Windows 8.1 64bitでも適用されているアップデートにより簡易ビューワが動作しないケースが確認されています。また、動作しないケースであっても、以下に示す手順で動作する場合があることが確認されています。

(9) Windows8.1 64bit で簡易ビューワが動作しない場合の対処例

①デスクトップを開き右下の言語バーから日本語 Microsoft IME 以外の IME(例. 英語 US キーボード等)に変更します。



②言語バーに日本語 Microsoft IME 以外の IME が表示されない場合は、コントロールパネルから言語を追加してください。また、詳細設定で、「アプリウインドウ毎に異なる入力方式を設定する」のチェックを外してください。



③ 簡易ビューワは、Microsoft Windows Vista 非対応です。

(10) Windows10 64bit で簡易ビューアを動作させる為の手順

Windows10 64bit で簡易ビューアを使用する際は、言語設定に「英語」を追加変更する必要があります。既に追加変更済みの場合は不要です。未実施の場合は、下記の手順に従って「英語」を追加してください。

- ①画面左下にあるウインドウアイコンを右クリックして右クリックメニューを開き、「コントロールパネル」を左クリックしてください。



- ②コントロールパネルで「言語の追加」を左クリックしてください。



③「言語の設定の変更」画面で「言語の追加」を左クリックしてください。



④「言語の追加」画面で、「英語」を左クリックで選択し、右下の「開く」ボタンを押してください。



⑤英語の一覧の中で、「英語(米国)」を左クリックで選択してから、右下の「追加」ボタンを押してください。



⑥言語の選択肢に「英語(米国)」が追加されたことを確認後、ウィンドウ右上の「×」ボタンを押してウィンドウを閉じてください。



⑦言語設定を「日本語」から「英語」に変更します。画面右下の日時表示横にある「J」のアイコンを左クリック後、表示された選択肢から「英語(米国)」を左クリックします。「J」のアイコンが「ENG」に切り替わり、英語状態に変更されます。言語設定が既に「英語」の場合は切替不要です。



⑧「11.2.2.起動する」140 ページの手順を実行します。

①簡易ビューウを起動して「再生を開始する」ボタンを押した際、「Windows セキュリティの重要な警告」ウィンドウが開いた場合は、「プライベートネットワーク(ホームネットワークや社内ネットワークなど)(R)」にチェックをつけ、「パブリックネットワーク(空港、喫茶店など)(非推奨)(U)」のチェックを外した状態にしてから「アクセスを許可する(A)」ボタンを押して、警告ウィンドウを消去してください。



①日本語状態で「再生を開始する」ボタンを押すと「…動作を停止しました」と表示されます。「プログラムの終了(C)」ボタンを押してメッセージを消去します。この状態になった場合は、英語モードに変更しても簡易ビューワを起動できない状態に陥っているので、一度PCを再起動し、英語モードに切り替えてから再度簡易ビューワを起動してください。



②運用上の都合によりPCの再起動を行うことができない状態にあるときは、以下の手順で動作中のプロセスを停止することで簡易ビューワを起動できるようになります。

【手順1】「Ctrl」「Alt」「Delete」ボタンを同時に押し、全面青色の画面表示に切り替わったら、表示されているメニューの中から「タスクマネージャー」を左クリックしてください。

【手順2】「タスクマネージャー」ウィンドウが表示されたら、「プロセス」タブを左クリックし、動作中のSWプロセス一覧を表示してください。

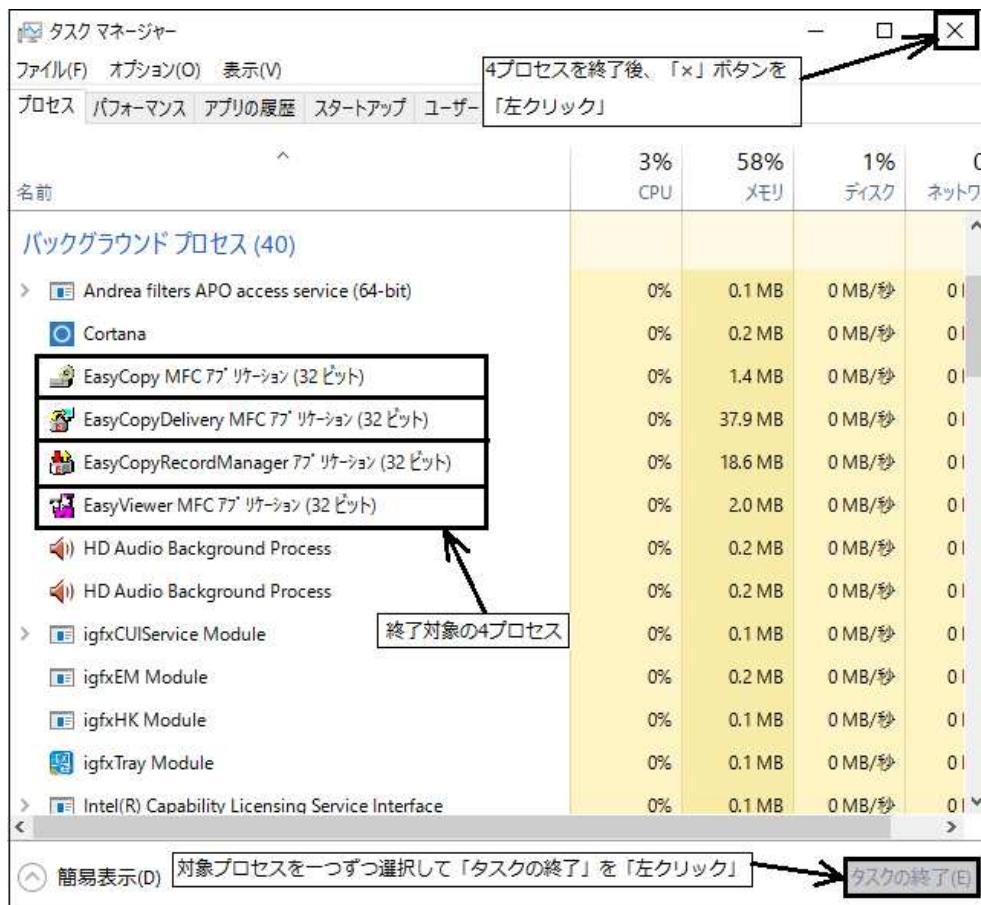
【手順3】「バックグラウンドプロセス」の一群の中にある、以下の4つのプロセスを順に選択し、「タスクの終了(E)」ボタンを押して、プロセスを終了してください。

- 1) EasyCopy MFC アプリケーション(32ビット)
- 2) EasyCopyDelivery MFC アプリケーション(32ビット)

3) EasyCopyRecordManager アプリケーション(32 ビット)

4) EasyViewer MFC アプリケーション(32 ビット)

【手順 4】4 つのプロセスを終了させた後、「タスクマネージャー」ウィンドウ右上の「×」ボタンを押して、タスクマネージャーを閉じてください。



【手順 5】日本語状態から英語状態に切り替え後、改めて簡易ビューワを起動します。

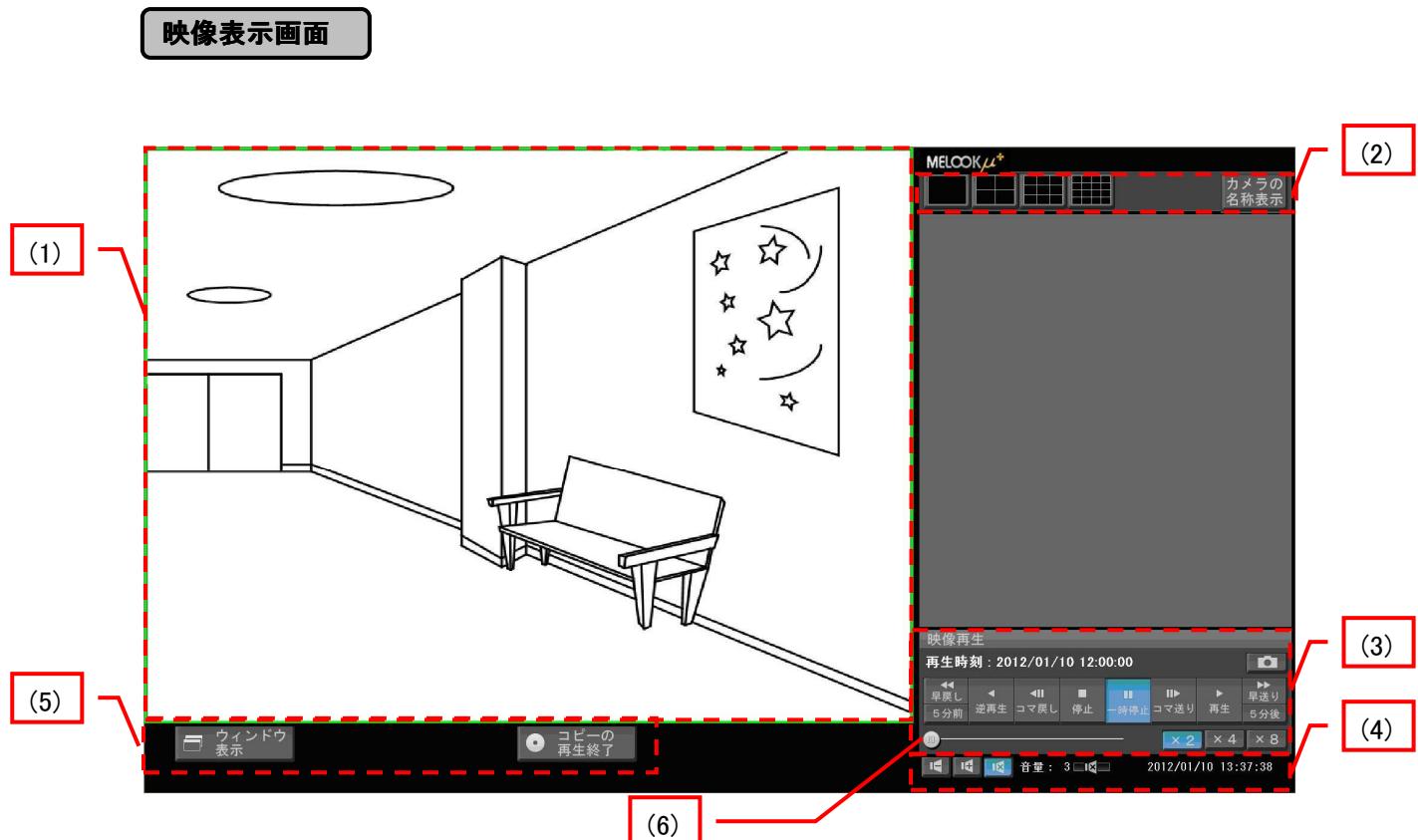
①上記以外のプロセスを終了させると、PC の動作が不安定になる恐れがあるので、上記以外のプロセスを終了させることがないよう、注意して操作してください。

②言語設定が「英語」の時は、日本語入力ができなくなりますので、簡易ビューワ使用後は、言語設定を「日本語」に再変更してください。

11.2. 各種操作

11.2.1. 映像表示画面について

以下に、映像表示画面の各ボタンについて説明します。



(1)ビューワ映像表示パネル

記録映像を表示します。

サイズ: 1280 × 960

① カメラ名称は、EasyVier.exe を起動したフォルダにある記録情報に従います。従って、そのフォルダと異なるフォルダに記録された記録映像を再生している場合は、カメラ名称は記録時と一致しません。

(2)ビューワ画面制御パネル

ビューワ映像表示パネルの動作を制御します。

各ボタンを押すことにより、ビューワ映像表示パネルを各カメラの単画面、4分割画面に切替えることができます。

(3)ビューワ再生制御パネル

記録映像の再生制御を行います。

- ・ 5 分前…現在再生中の時刻から 5 分前の再生動作を行う
- ・ 早戻し再生…指定速度で逆方向再生を行う
- ・ 逆再生…逆方向再生を行う
- ・ コマ戻し…逆方向に 1 IDR フレームのみ進む
- ・ 停止…記録映像の先頭に戻る
- ・ 一時停止…再生を一時停止する
- ・ コマ送り…順方向に 1 フレームのみ進む
- ・ 再生…順方向再生を行う
- ・ 早送り再生…指定速度で順方向再生を行う
- ・ 5 分後…現在再生中の時刻から 5 分後の再生動作を行う

① 記録映像の先頭に追いついた場合、再生を停止します。

記録映像の最後尾に到達した場合、再生を停止します。

② 再生速度は目安です。実速度は PC の性能、ドライブの性能等に依存します。

(4)ビューワ音声制御・時刻表示パネル

音量制御、現在時刻情報を表示します。

(5)ビューワ制御切替パネル

表示サイズの変更を行います。

② フルHDサイズ ⇄ ウィンドウサイズ

その他、再生の終了を行います。

再生開始位置の指定に用います。

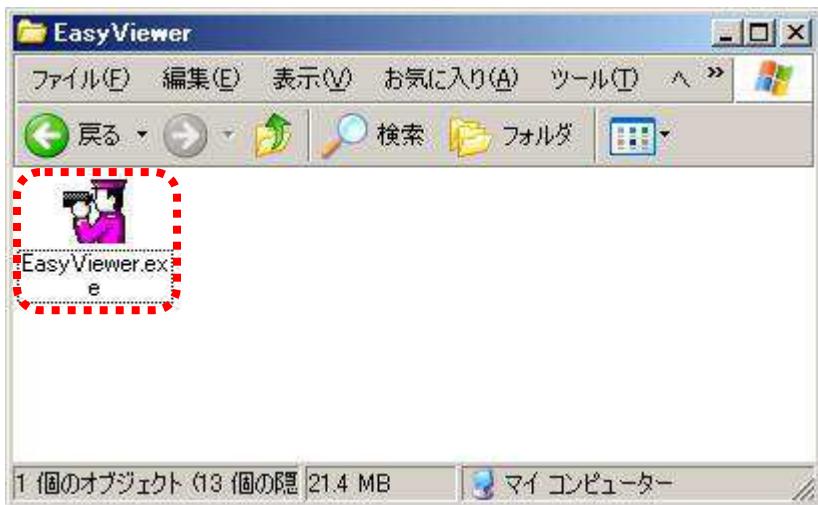
- ・ マウス左ボタンクリック…指定位置にポインタが移動し、一時停止する
- ・ ドラッグ&ドロップ…指定位置にポインタが移動し、一時停止する

(6)再生開始位置スケーラ

11.2.2. 起動する

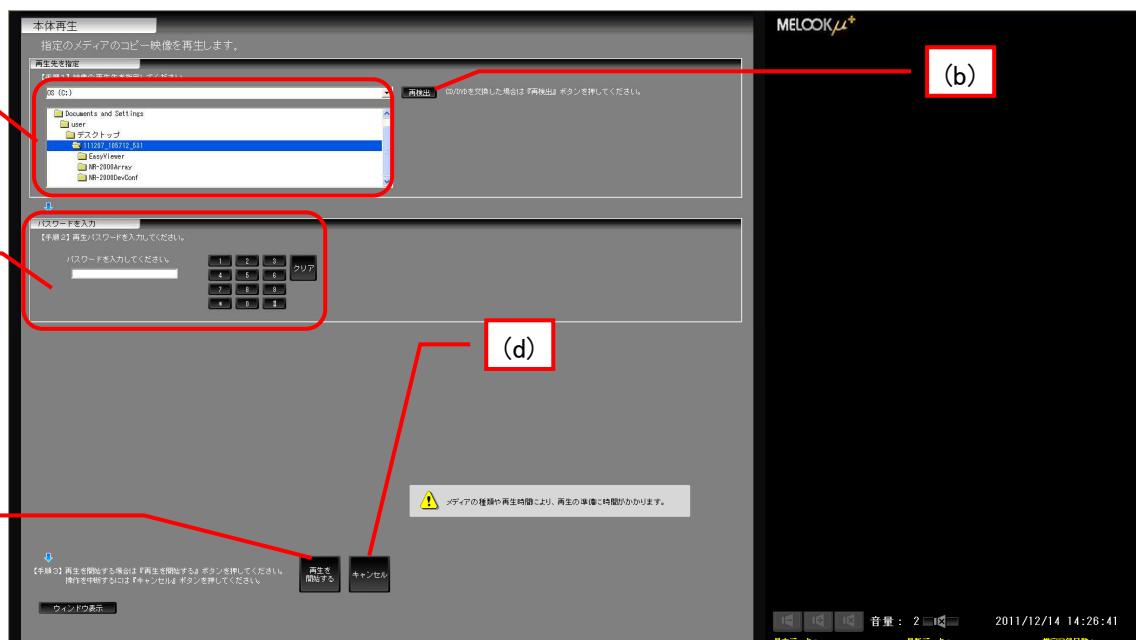
(1)「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エクスプローラ」を選択してください。
エクスプローラが起動します。

(2)再生したい映像のコピー先のフォルダの下にある「EasyViewer」フォルダに移動してください。



(3)フォルダ内の「EasyViewer.exe」をダブルクリックしてください(上図)。

パスワード入力画面を表示します。



(a)再生先フォルダ情報

再生先のデバイスの内容を確認します。

再生先のフォルダを選択してください。

(b)『再検出』ボタン

USB メモリ、CD-R/DVD-R を入れ替えた場合などに再生デバイスを再検出します。

- (c)『再生を開始する』ボタン 再生処理を開始します。
- (d)『キャンセル』ボタン 本体の再生処理、または再生準備中処理を中断して元の画面に戻ります。
- (e)パスワード入力エリア ① 再生準備中の中断は、中断が完了するまで時間がかかる場合があります。
- 再生に使用するパスワードを入力します。
- 入力文字はすべて「*」(半角アスタリスク)で表示されます。
- パスワードは最大 8 文字まで入力可能です。

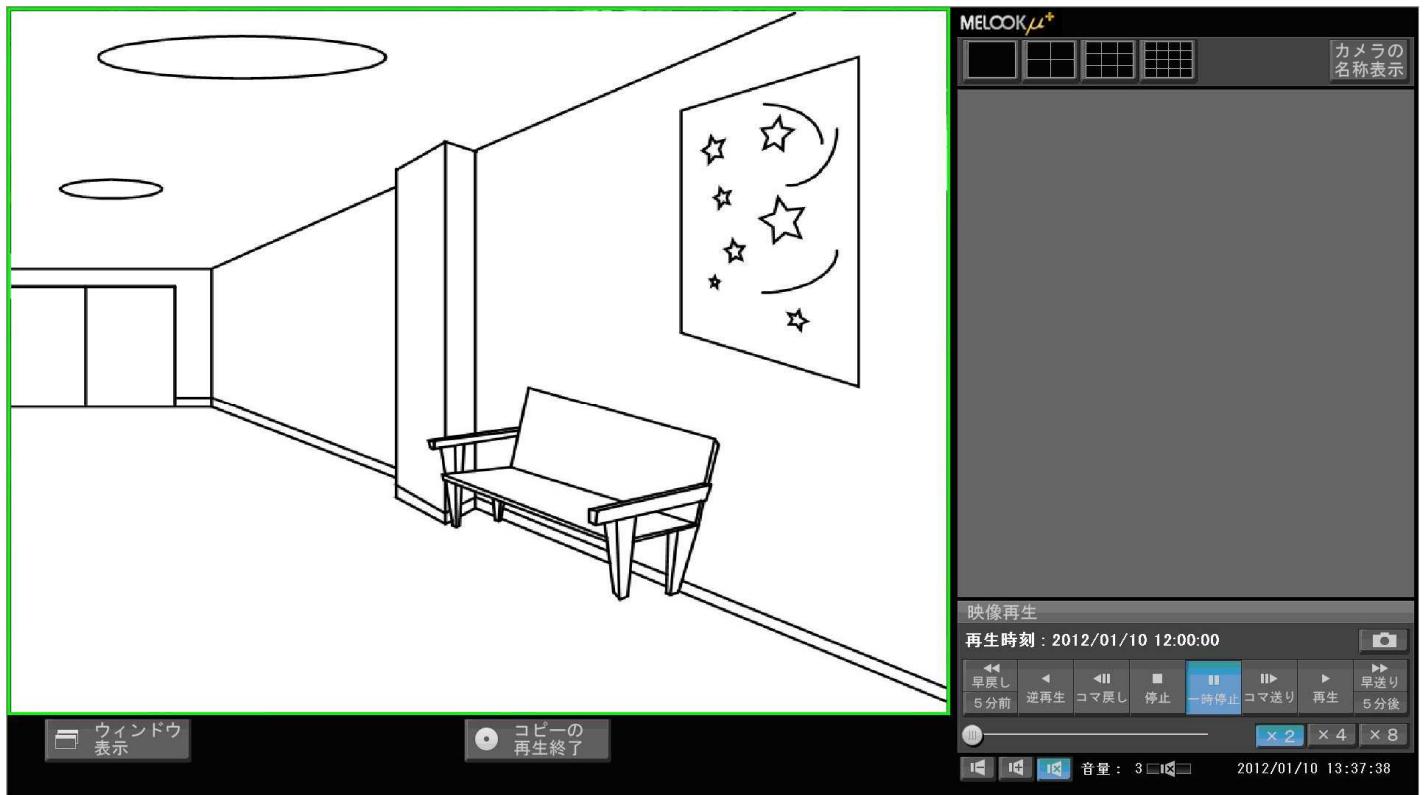
(4)「9.2.5.録画画像をコピーする」で設定した、パスワードを入力し、『再生を開始する』ボタンを押下してください(上図)。

パスワード認証に成功するとコピーされた画像データの読み込みを開始します。

そのまましばらくお待ちください。

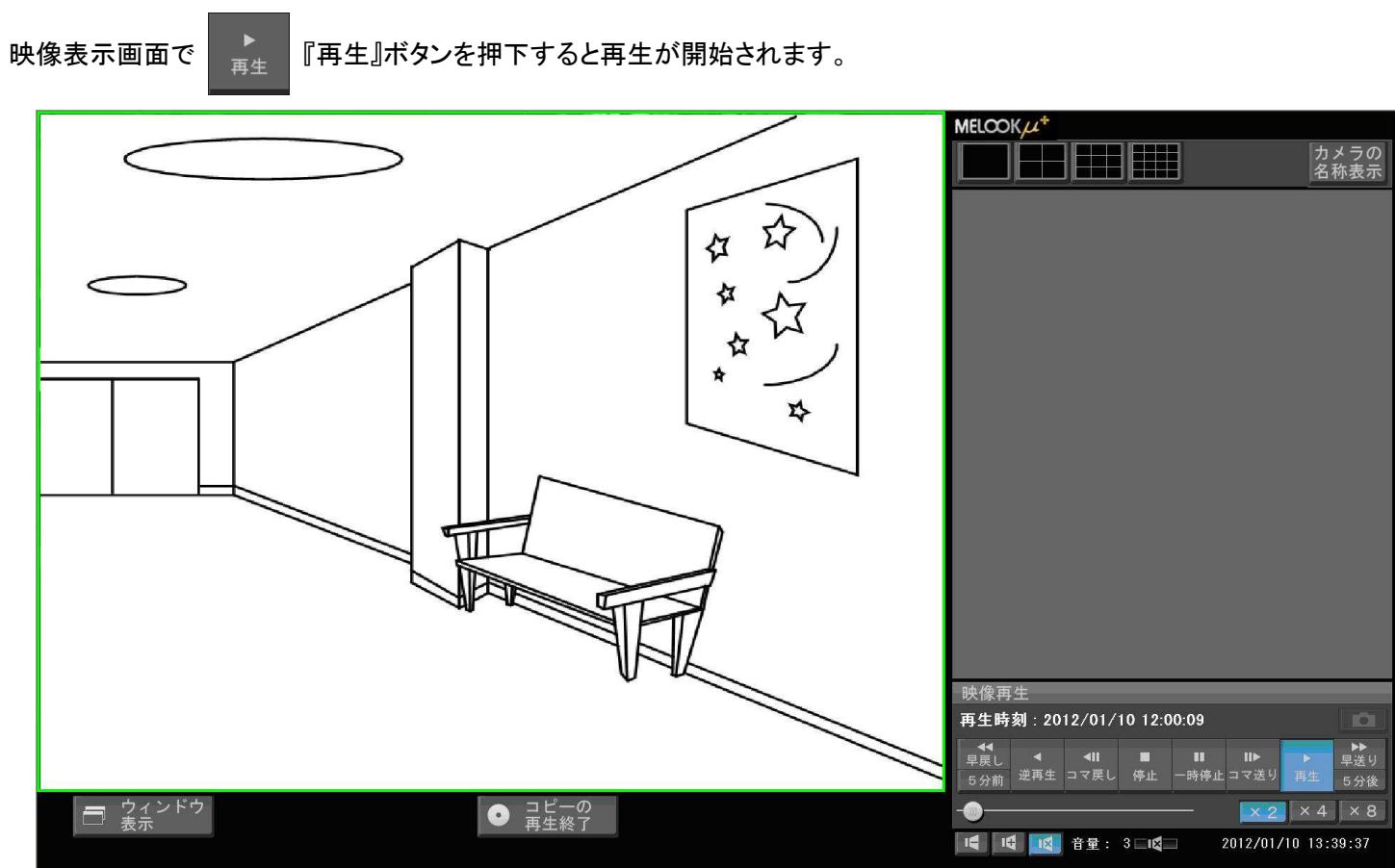
- ① 記録時間や保存メディアの種類によっては、数分から數十分かかることがあります
が、異常ではありません。
- ② DVD-R 4.7GB のコピーデータの読み込みに約 5 分かかります。
- ③ 保存時に設定したパスワードは忘れないように注意してください。

(5)コピーされた画像データの先頭画像を表示します。



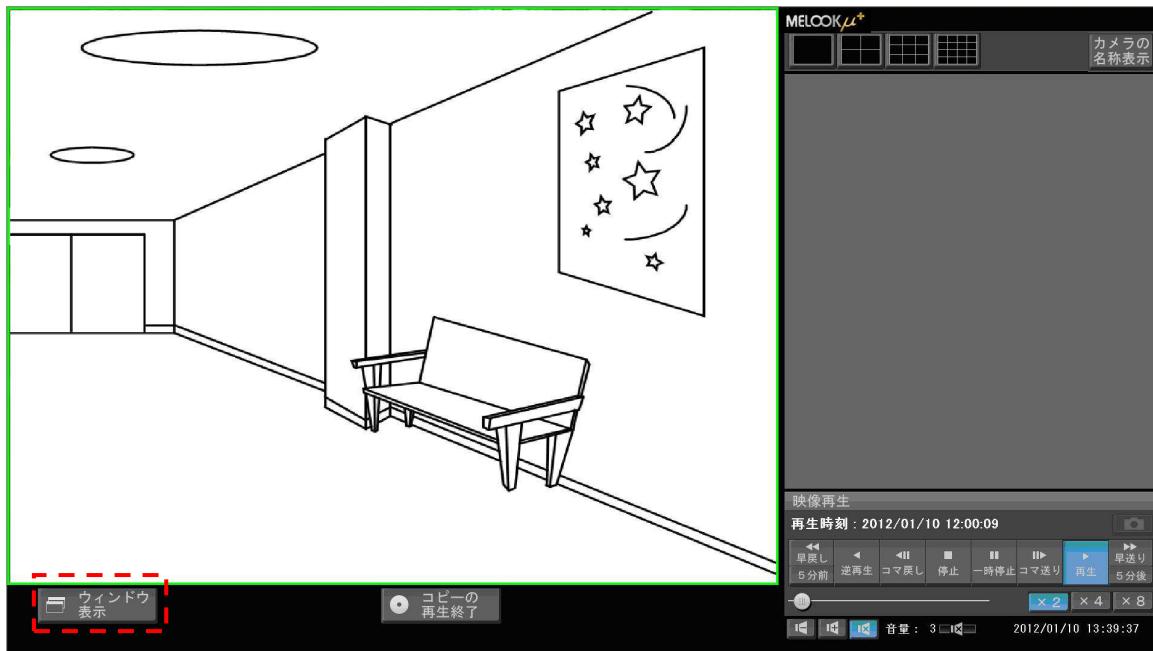
映像表示画面

11.2.3. コピー画像を再生する

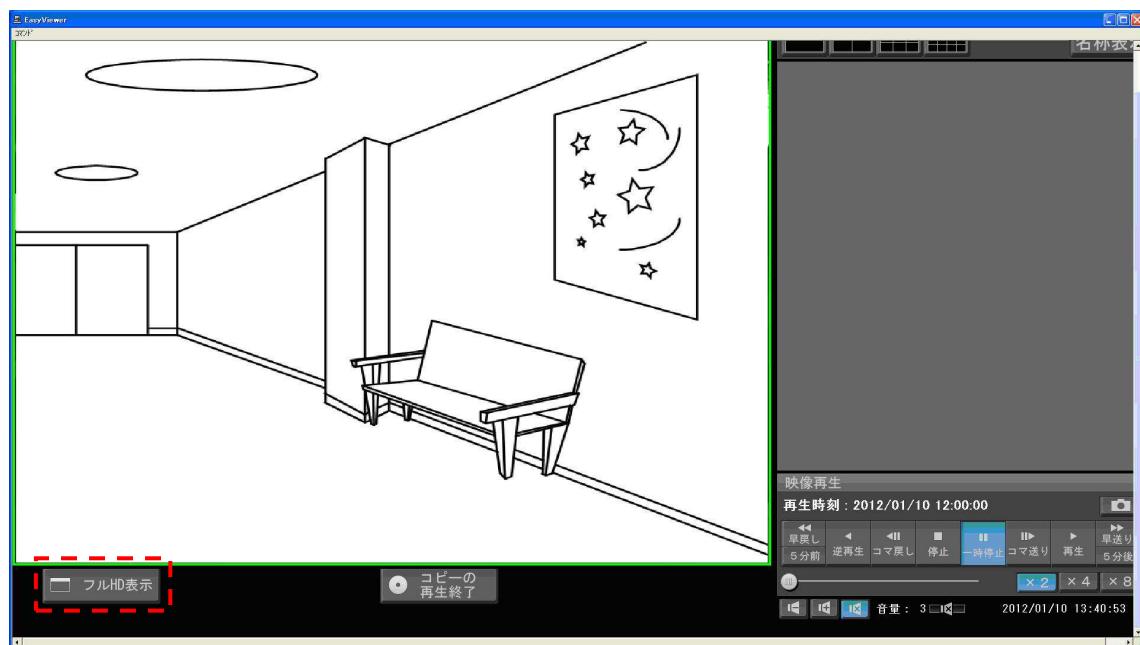


11.2.4. 表示サイズを変更する

『ウィンドウ表示』ボタン、または『フル HD 表示』ボタンを押下することでビューワの表示サイズを変更します。



フル HD 表示時



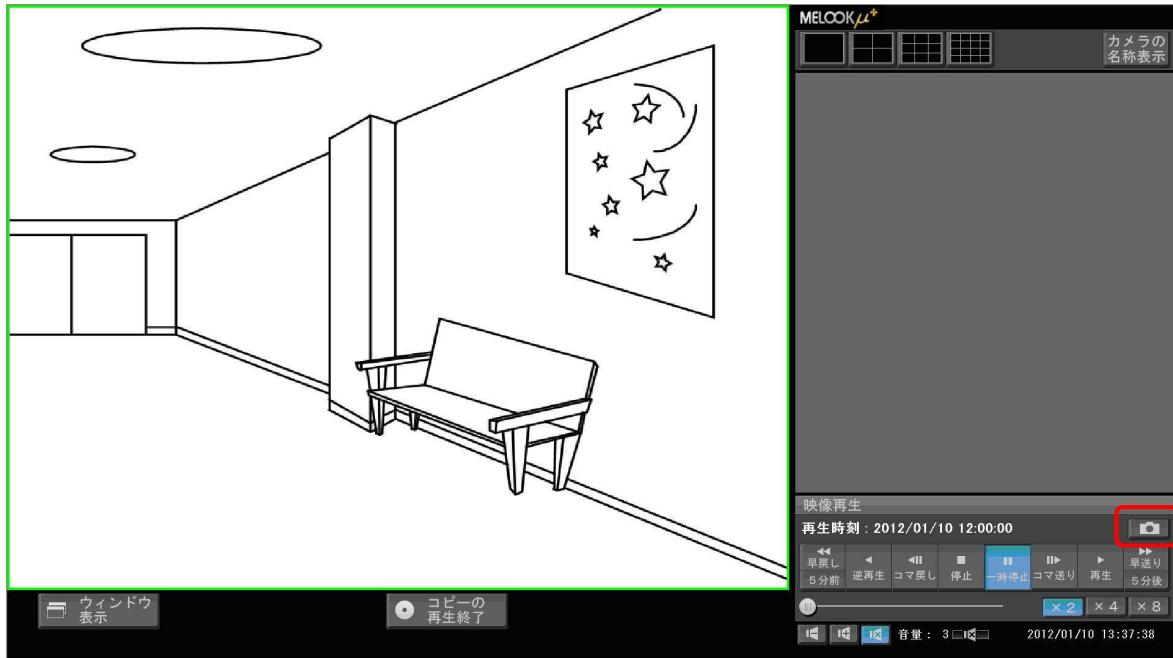
ウィンドウ表示時

① 1920×1080(フル HD)以上のモニタを使用してください。

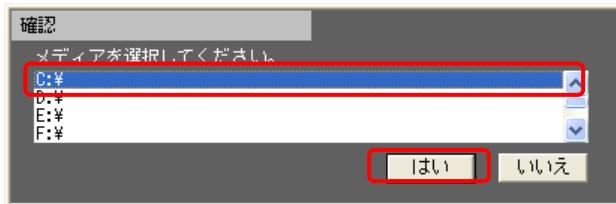
11.2.5. 再生画像を静止画保存する

(1)一時停止状態で  『キャプチャ』ボタンを押下します。キャプチャする画像は一時停止状態の

映像にて確認してください。



(2)ファイル名を入力する画面を表示します。保存先ドライブを指定して『保存』ボタンを押下してください。



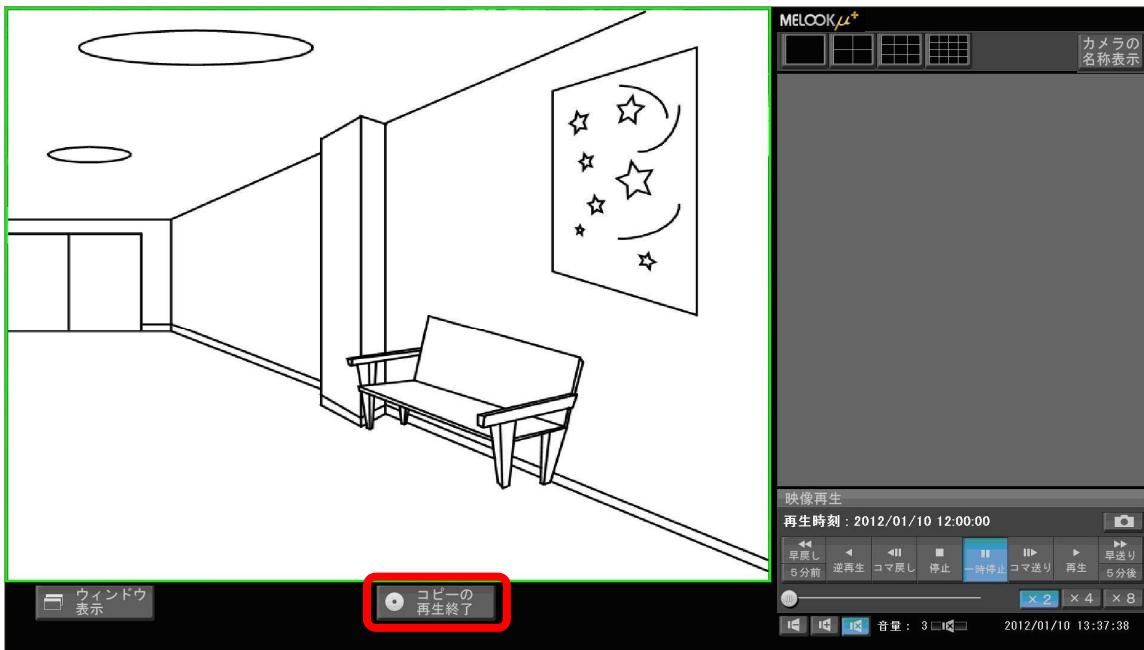
ファイル保存画面

① 保存されるファイルの種類は JPEG 形式です。

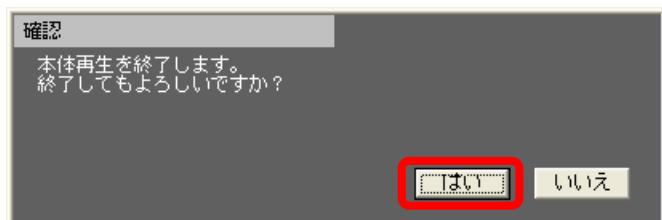
② 単画表示のみ可能です。

11.2.6. 終了する

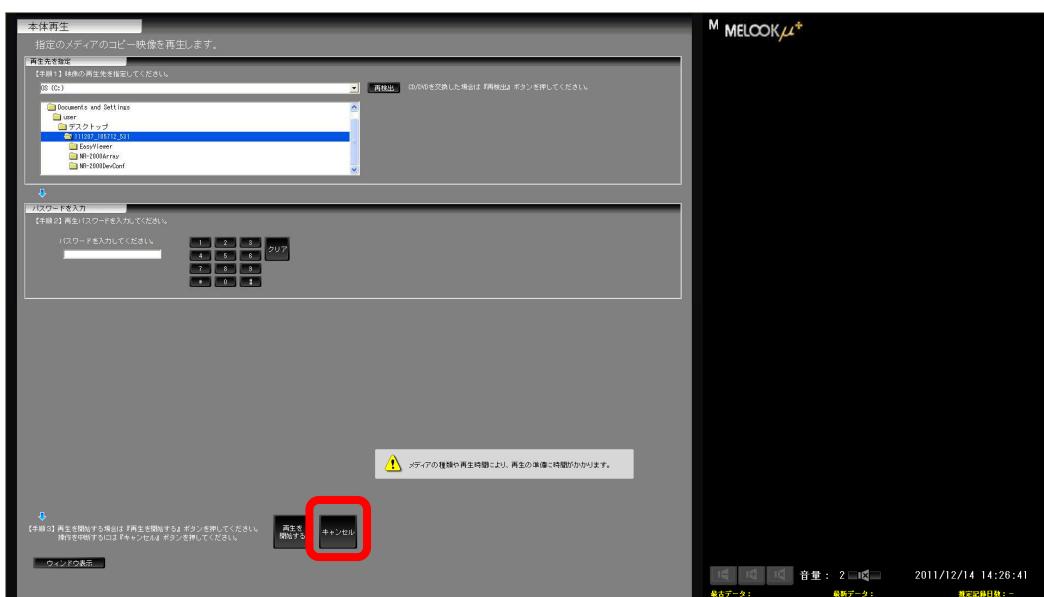
(1)ビューワー上の『コピーの再生終了』ボタンを押下し終了します。



(2)終了確認のメッセージを表示します。『はい』ボタンを押下して終了してください。



(3)設定画面の『キャンセル』ボタンを押下して終了してください。



12. 遠隔監視機能

本レコーダーの遠隔監視機能により、遠隔地からのライブ映像参照や記録映像の再生が可能です。

12.1. ご使用前に

12.1.1. コンピュータ要件

- ① ご使用になるネットワークについては、情報セキュリティーの点で IP-VPN を推奨します。
インターネットをご利用になる場合は、ルーターでの暗号化が必要です。
- ② 遠隔監視用 LAN は、レコーダーへのアクセスが遠隔監視用 PC からのみ可能となるように、他のネットワークと分離してください。また、遠隔監視用 PC からレコーダーに、遠隔監視用途以外の接続(ファイル共有等)が発生しないよう設定してください。

遠隔監視機能を使用するコンピュータ(遠隔監視用 PC)として、下記の要件を満足するコンピュータを使用してください。

(1) OS	Microsoft Windows XP SP3 32bit
	Microsoft Windows Vista 32bit
	Microsoft Windows 7 32bit
	Microsoft Windows 8.1 64bit
	Microsoft Windows 10 64bit
(2) CPU	Intel 社製 Core i7 以上
(3)HDD	空き容量 20GB 以上
(4) メインメモリ	4G 以上
(5) ビデオ	フル HD サイズ:1920x1080 以上
(6) ネットワーク	100Mbps 以上

- ① 上記仕様の全てのコンピュータで正常動作を保証するものではありません。
- ② 遠隔監視用 PC で UAC(ユーザーアカウント制御)機能を使用している場合は、無効に設定する必要があります。
- ③ 遠隔監視用 PC ログイン時のパスワード設定等により、ご使用環境に応じたセキュリティー保護を実施ください。

12.1.2. その他の機器の要件

下記の要件を満足する機器を使用してください。

(1)HUB	・スイッチング容量 200Mbps/port 以上 ・フローコントロール ・MDI/MDI-X 自動切替え
④ NEC 製:QX-S408B/S416B/S424B	にて動作確認を行っています。
(2)ルーター	・LAN 側接続速度は 100Mbps 以上 ・NAT 変換/IP マスカレード機能を有する

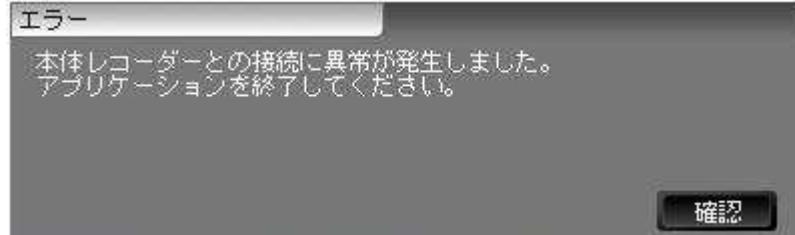
④ YAMAHA 製:RT107e にて動作確認を行っています。

- ④ 他の PC 等からレコーダーにアクセスできないよう、上記ネットワーク機器を設定してください。
- ④ 遠隔監視用のネットワークを他のネットワーク(事務用ネットワーク等)と共有する場合は、VLAN 等を用いて通信が分離できるように、上記ネットワーク機器を設定してください。

12.1.3. ご注意事項

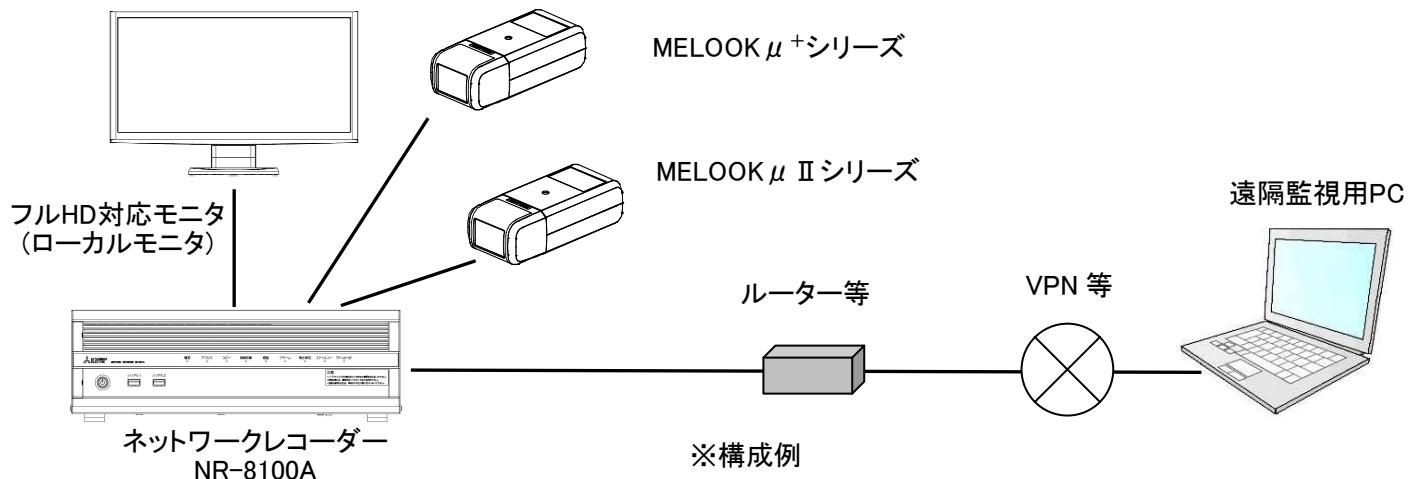
本レコーダーの遠隔配信機能に関する注意事項を以下に記載します。

- (1)遠隔監視用 PC とレコーダー本体でそれぞれ再生は可能ですが、同時再生はできません。また、レコーダー本体のコピー機能と遠隔監視用 PC での再生機能の同時使用はできません。
- (2)複数の遠隔監視用 PC から接続制御、レコーダーと遠隔監視用 PC の同時再生制御に関しては、先取り優先とします。
- (3)記録レート以上でライブ表示することはできません。
- (4)カメラ制御とレコーダー本体との競合制御は後取り優先となります。
- (5)部分拡大機能、自動スキャン機能、ライブ中再生機能はありません。
- (6)遠隔監視用 PC 側は、Administrator 権限でログインする必要があります。
- (7)ライブ表示中にレコーダーにてアラームが発生しても、レコーダーと同様のアラーム連動は機能しません。
- (8)ソフトウェア VPN は、保証対象外です。
- (9)アラーム検索機能は、ソートのみで時刻、発生箇所、種別を指定した絞込み機能はありません。
- (10)遠隔監視用 PC での映像品質・遅延時間は、レコーダーとの接続に使用するネットワークの回線品質に依存します。条件により映像が停止したように見えたり、早送りのように見えたりする場合があります。
遅延時間は概ね 3 秒以上となります。
- (11)遠隔監視用 PC での監視中に本レコーダーを再起動した場合など、通信に障害が発生した場合には、以下の画面が表示されます。一旦、遠隔監視用アプリケーションを終了し、再度起動し直してください。



- (12)遠隔監視用アプリケーションが起動できない場合は、一旦遠隔監視用 PC の OS 再起動をしてください。
- (13)レコーダーの登録 HDD 無し、又は機器異常の際は、遠隔 PC 側でのライブ映像表示が不可になります。
- (14)遠隔監視用アプリケーションを終了し再度起動する場合は、終了後 10 秒程度時間を置いてから再起動ください。
- (15)遠隔監視 PC からレコーダーに接続時、通信異常判定中のカメラがあった場合、遠隔監視のライブ映像が表示されないことがあります。そのままの状態で 2 分以上待つか、再生・停止ボタンを押してください。

12.1.4. 遠隔配信構成図



12.2. インストールする

(0)インストール前の事前準備としてPCの設定の確認/変更をしてください。

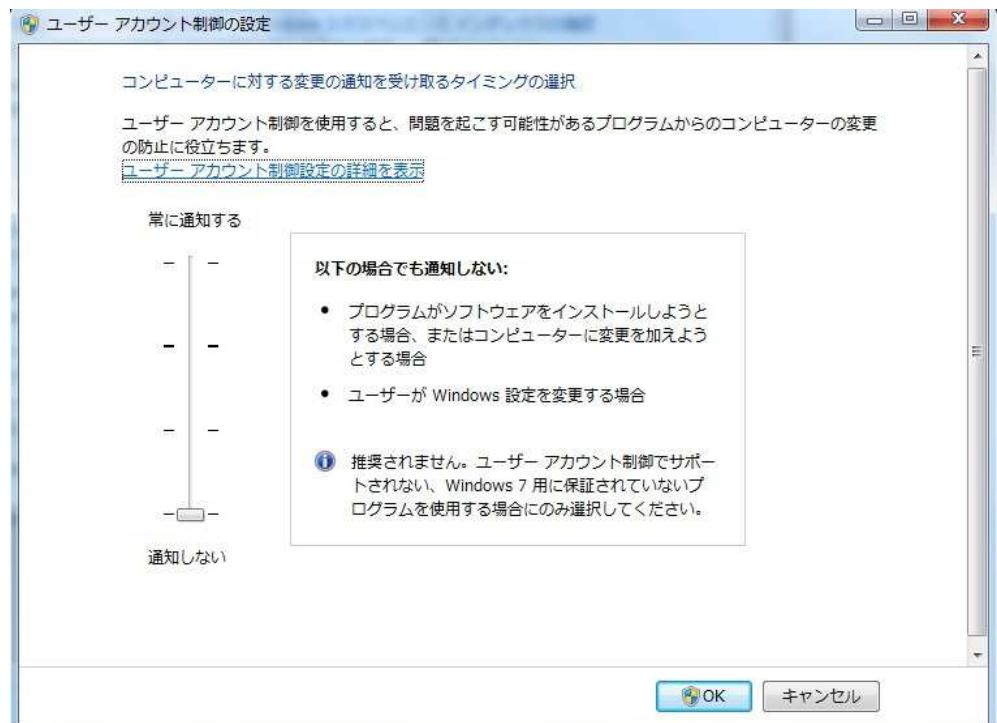
① インストールを開始する前に「10.1.2(3) システム設定」の遠隔配信の有無を「する」に設定してください。

参考 ▶ 詳細は「10.1.2.システム設定」83 ページを参照してください。

① 遠隔監視用PCの権限をコントロールパネルのユーザー アカウントにて Administrators に変更してください。

またシステム管理者がいる場合はシステム管理者に問い合わせて下さい。

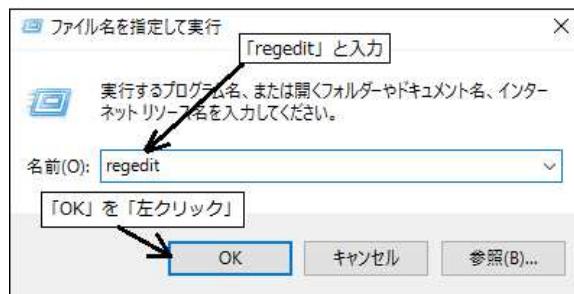
① Windows Vista 32bit、Windows7 32bit、Windows8.1 64bit、Windows10 64bit については別途ユーザー アカウント制御の設定で『通知しない』に設定してください。



- ① Windows10 64bit は遠隔アプリをインストールする際、レジストリの追加が必要となる場合があります。
インストール時に「エラー 2709 オフライン参加完了情報が見つかりませんでした。」が表示されますので、
インストール前に以下手順に従って、レジストリ情報の有無確認/登録をしてください。
- ② レジストリの編集を行うため、失敗時に備えてシステムの復元ポイントを作成ください。
- ①「スタート」ボタンを右クリックして、メニューから「ファイル名を指定して実行(R)」を左クリックしてください。

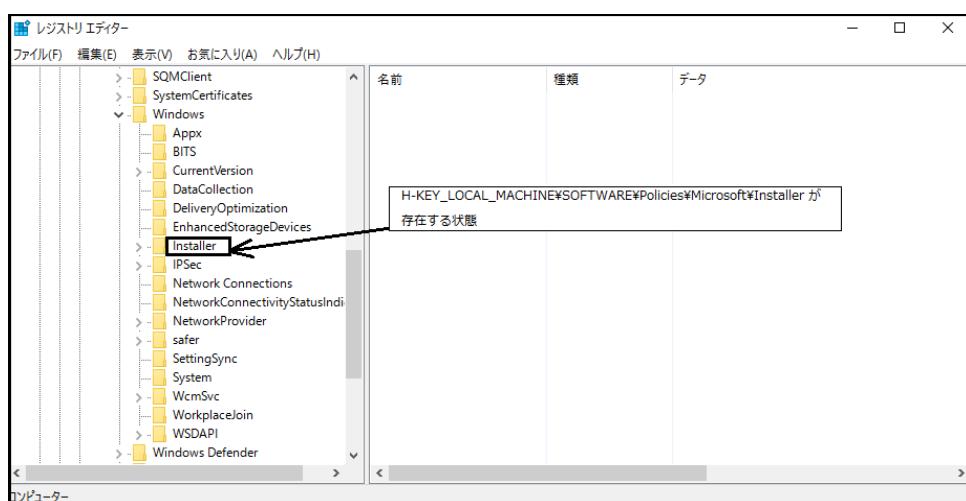


- ②「ファイル名を指定して実行」ウィンドウで「名前」欄に「regedit」と入力し、「OK」ボタンを左クリックしてレジストリエディターを起動してください。



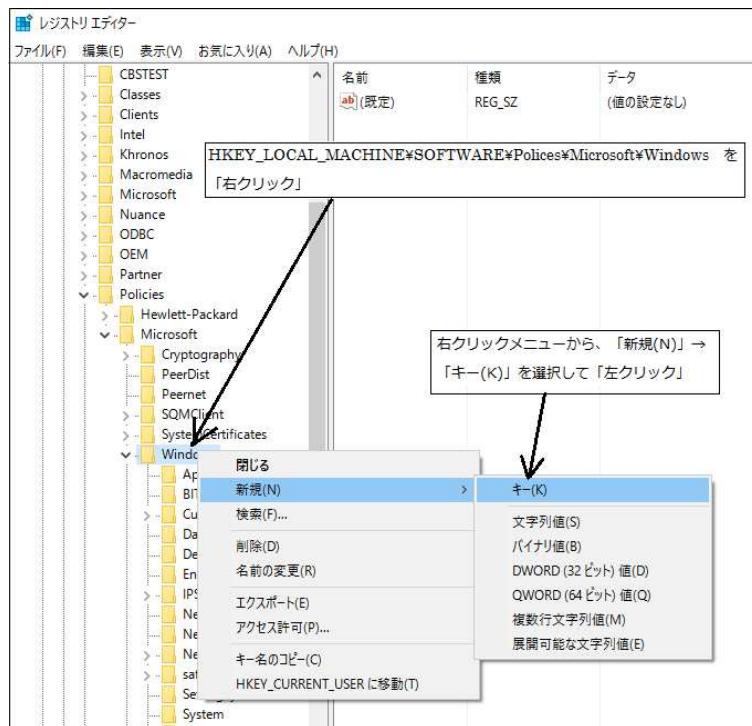
- ③レジストリエディターが起動したら、レジストリを上流からたどり、以下キーが存在するかを確認してください。

HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Microsoft\Windows\Installer

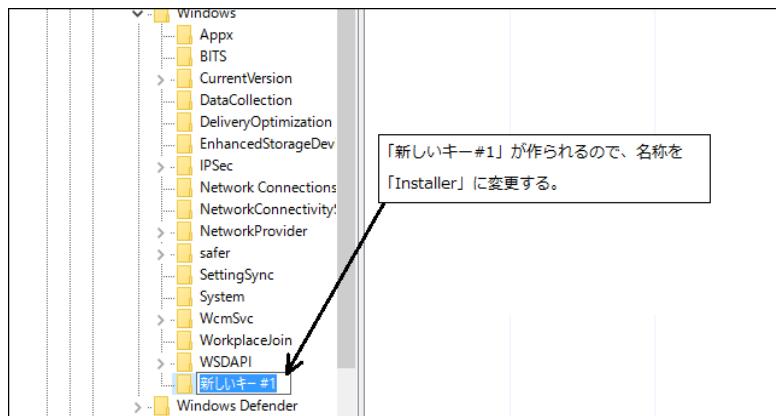


上記の「Installer」キーが存在する場合は、④以降の手順を実行する必要はありません。(1)から手順に従って、遠隔アプリのダウンロードとインストールを行ってください。上記の「Installer」キーが存在しないときは、④以降の手順でレジストリを追加し、その後に(1)から手順に従ってダウンロードとインストールを進めてください。

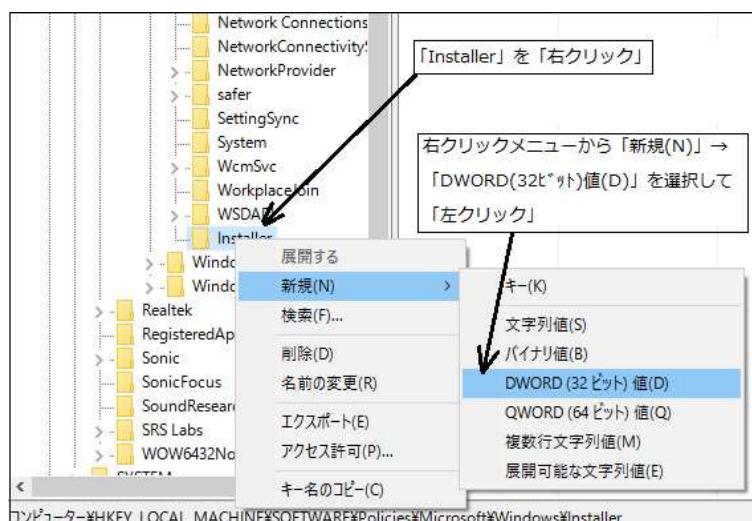
④「HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Policies\Microsoft」の下にある「Windows」を右クリックし、右クリックメニューから「新規(N)」→「キー(K)」を選択して左クリックしてください。



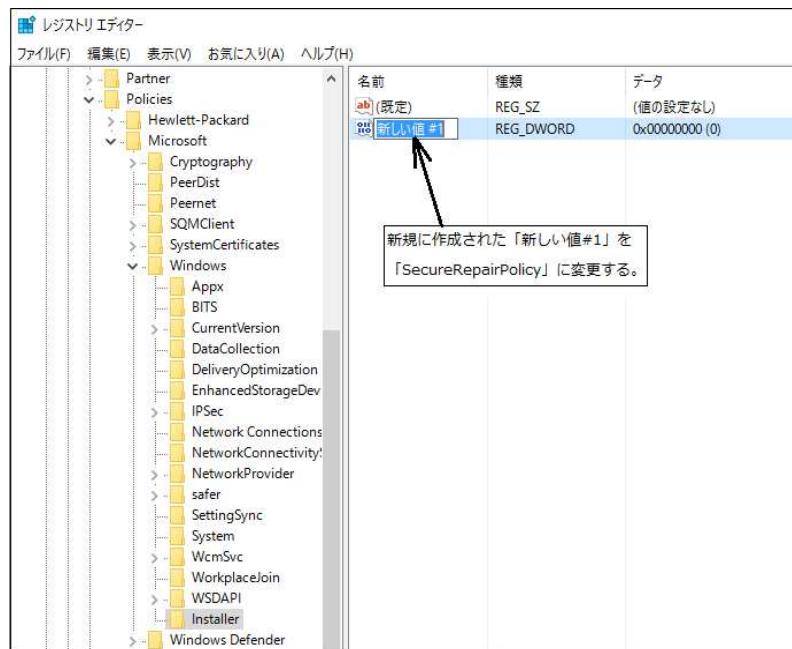
⑤「新しいキー#1」が追加されるので、名称を「新しいキー#1」から「Installer」に変更してください。



⑥「Installer」を右クリックし、右クリックメニューから「新規(N)」→「DWORD(32ビット)値(D)」を選択して「左クリック」します。



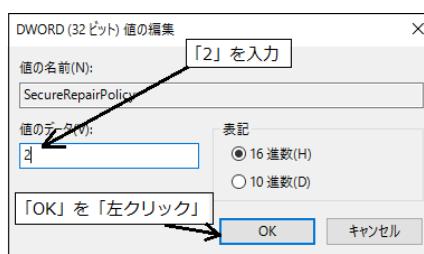
⑦「新しい値#1」が作成されるので、「新しい値#1」を「SecureRepairPolicy」に変更します。



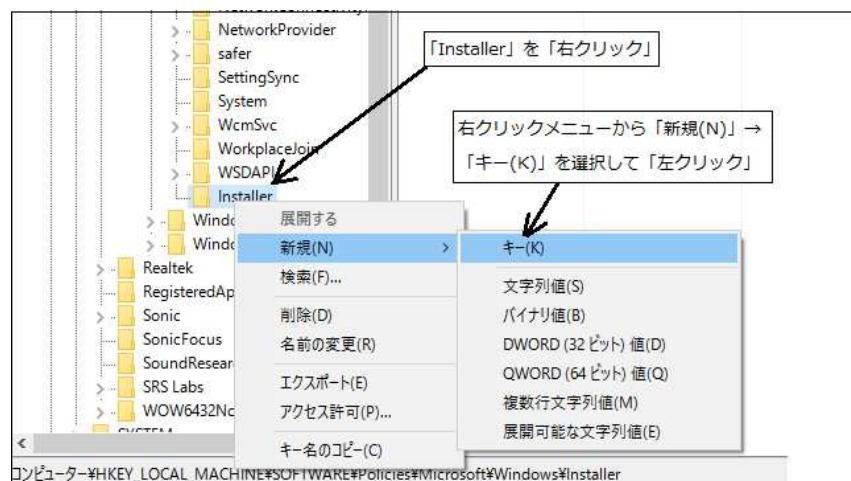
⑧「SecureRepairPolicy」を右クリックし、右クリックメニューから「修正(M)...」を選択して左クリックします。



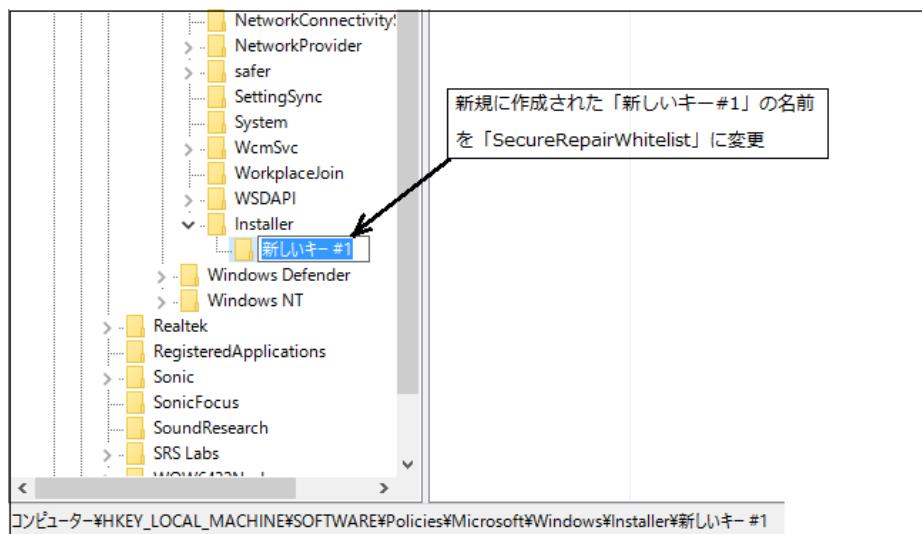
⑨DWORD 値の「値のデータ」に「2」を入力し、「OK」を左クリックします。



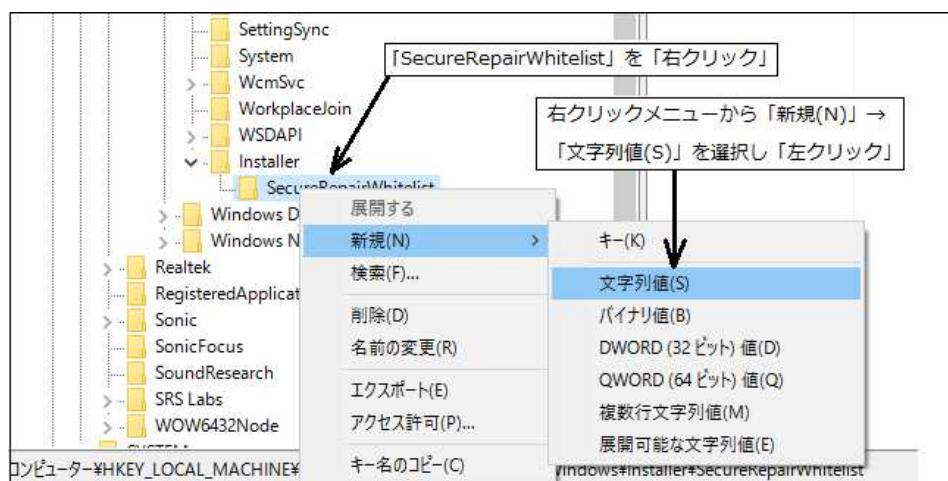
⑩「Installer」を右クリックし、右クリックメニューから「新規(N)」→「キー(K)」を選択して左クリックします。



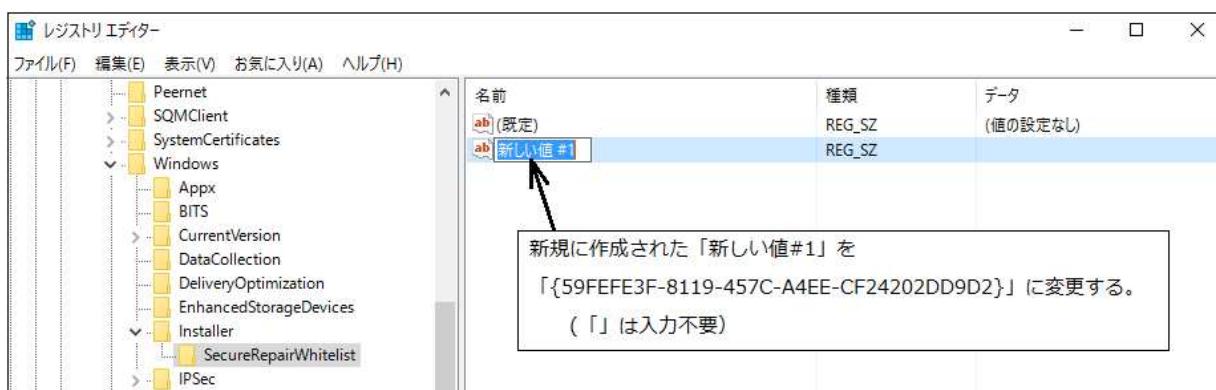
⑪「Installer」の下に「新しいキー#1」が作成されるので、「新しいキー#1」を「SecureRepairWhitelist」に変更します。



⑫「SecureRepairWhitelist」を右クリックし、右クリックメニューから「新規(N)」→「文字列値(S)」を選択して左クリックします。



⑬新規に作成された「新しい値#1」を「{59FEFE3F-8119-457C-A4EE-CF24202DD9D2}」に変更します
(「」を含めて入力します。「」は入力不要です)。



⑭「レジストリエディター」ウィンドウの右上にある「×」ボタンを左クリックして、ウィンドウを閉じます。

(1)遠隔監視用アプリケーションのインストーラ(MELOOK μ+.exe)を、MELOOK μ+本体からダウンロードします。

- ① μ II の遠隔アプリをダウンロードしたPCで、μ+のダウンロードを行うと、ダウンロード画面のアイコンが遠隔PC上のキャッシュ(インターネット一時ファイル)上に残っているため、キャッシュにある μ II のアイコンが表示されます。
- ② μ II の遠隔アプリをダウンロードしたPCで、μ+のダウンロードを行う場合は、Internet Explorer 上にて、「ツール→インターネットオプション→閲覧の履歴(削除)→インターネット一時ファイル(ファイルの削除)→! Internet Explorer の一時ファイルをすべて削除しますか?(はい(Y))」を実行してください。
なお、遠隔PC上のキャッシュ上に μ II のファイルが残っていても誤動作はありません。
- ③ 遠隔監視用PCでWEBブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し、Enterキーを押してください。

http://[MELOOK μ+本体のIPアドレス]/download

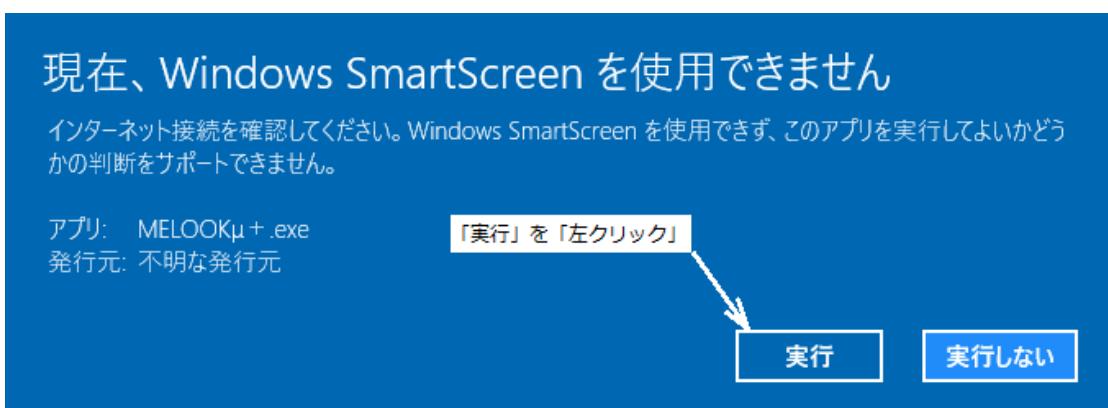
下記画面が表示されますので、「ダウンロード」をクリックすると、遠隔監視用アプリケーションのインストーラがダウンロードできます。



- ④ ダウンロード後に「MELOOK μ+.exe」の発行元を確認できませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。表示された際は「実行」ボタンを押してください。



- ⑤ Windows8.1 64bit、Windows10 64bit の場合、上記の表示で「実行」ボタンを押すと、「現在、Windows SmartScreenを使用できません インターネット接続を確認してください。Windows SmartScreenを使用できず、このアプリを実行してよいかどうかの判断をサポートできません。」と表示されることがあります。表示された際は「実行」ボタンを押してください。



(2) 以下のセットアップウィザード画面が表示されますので、「次へ(N)」を押してください。



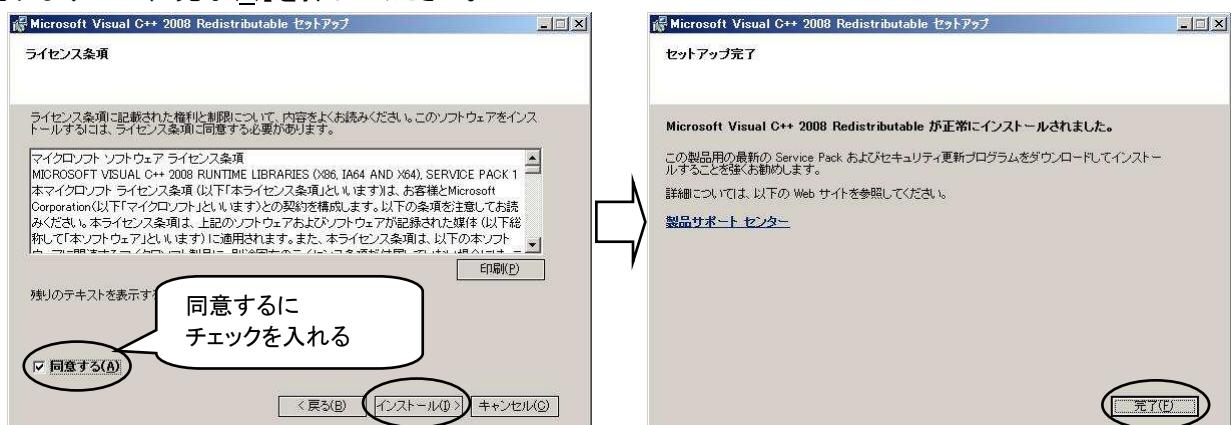
(3) 以下の画面が表示されますので、「インストール(I)」を押してください。



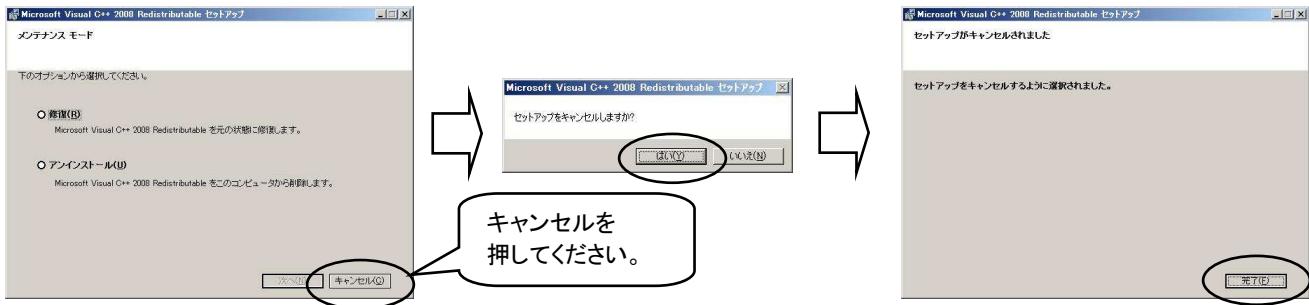
(4) 続いて、Microsoft Visual C++ 2008 のランタイムライブラリのインストール画面が表示されますので、「次へ(N)」を押してください。



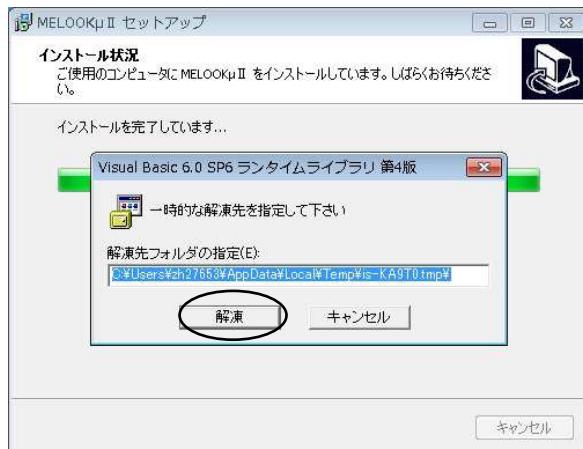
(5) 続いて、Microsoft Visual C++ 2008 のランタイムライブラリのインストール画面が表示されますので、「同意する(A)」にチェックを入れた後、「インストール(I)」を押してください。インストールが終了しますと、セットアップ完了の画面が表示されますので、「完了(F)」を押してください。



- ① 既に Visual C++ 2008 のランタイムライブラリがインストールされている場合は、以下のような画面が表示されることがあります。ここでは、「キャンセル(C)」を押してください。
 その後、表示される”セットアップをキャンセルしますか？”の画面において、「はい(Y)」を押してください。
 ”セットアップがキャンセルされました”の画面で「完了(F)」を押すことで、次の(6)の画面に移ります。



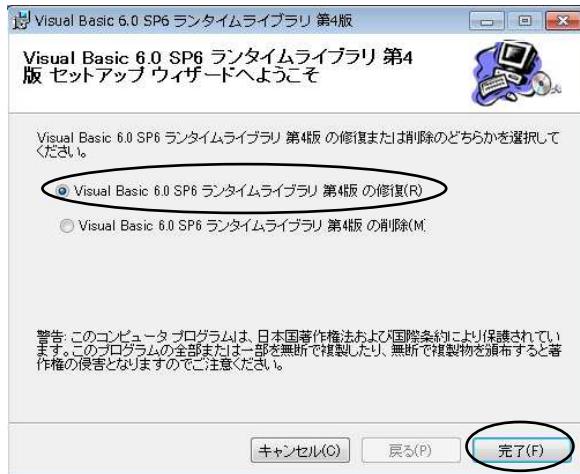
- (6) 続いて、Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ 第4版の解凍ウィンドウが開くので、「解凍」を押してください。



- (7) 解凍後、Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ 第4版セットアップウィザードが表示されるので、画面に従い、「次へ(N)」を押してください。



- ① 既に Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ 第 4 版がインストールされている場合は、以下のような画面が表示されることがあります。ここでは、Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ第 4 版の修復(R)が選択されていることを確認し、「完了(F)」を押してください。



- (8) Visual Basic 6.0 SP6 ランタイムライブラリ 第 4 版のインストールが完了したら、「閉じる」を押してください。

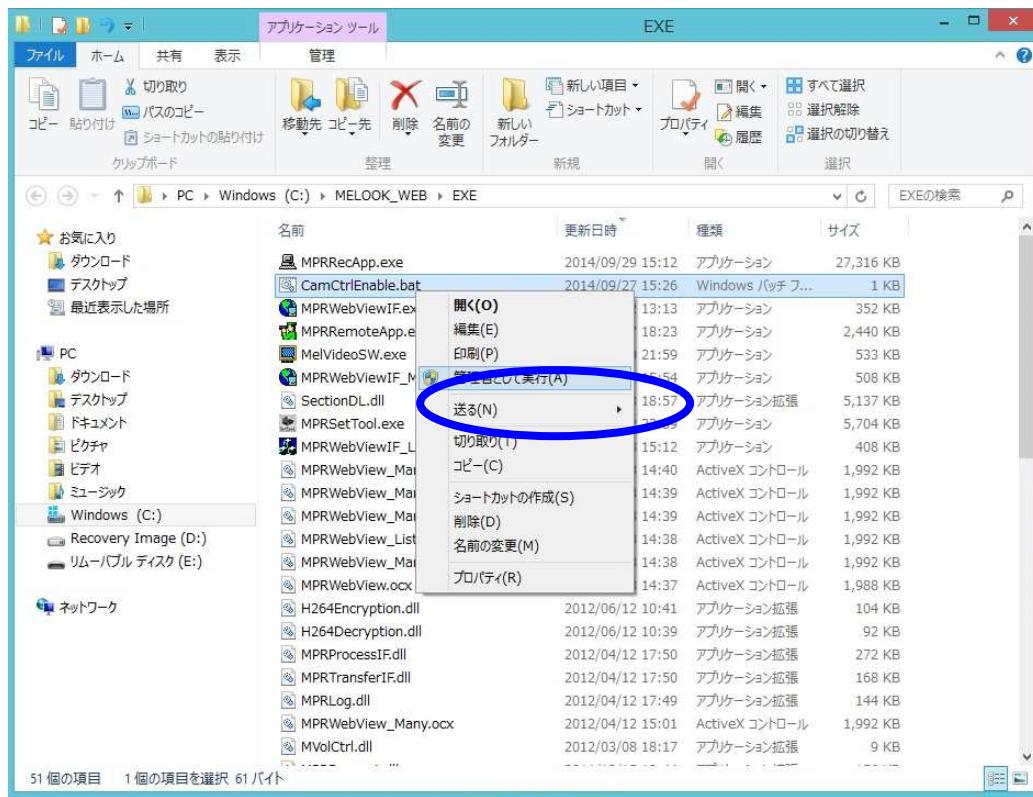


- (9) 以下の MELOOK μ II セットアップ ウィザードの完了画面が表示されますので、すぐに再起動(Y)を選択し、「完了(F)」を押してください。

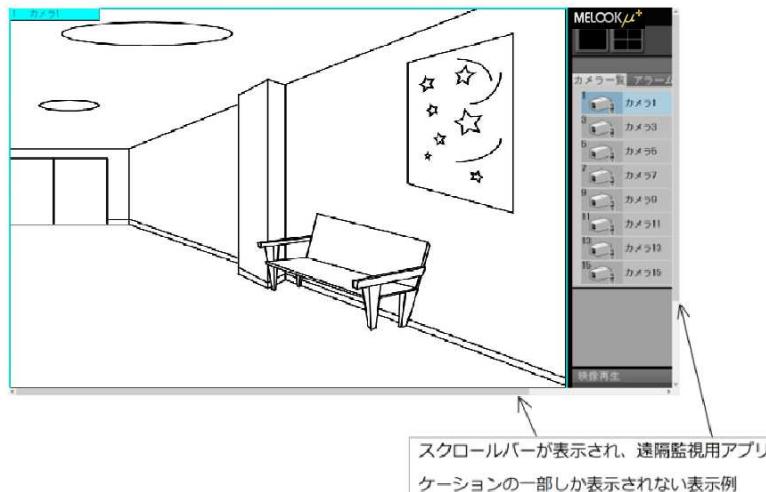
Windows8.1 64bit、Windows10 64bit 以外は、これで遠隔監視用アプリケーションのインストールは完了です。



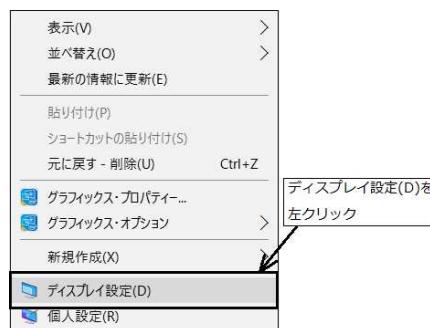
(10) Windows8.1 64bit、Windows10 64bit の場合は、(9)の後、C:\MELOOK_WEB\EXE\CamCtrlEnable.bat を右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行(A)」を選択して実行してください。



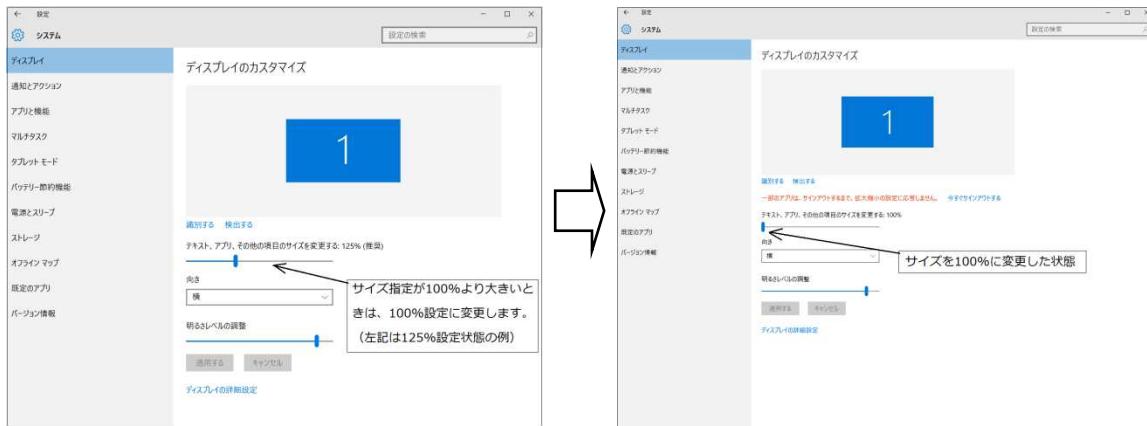
(11) Full HD 表示可能なモニタを使用時に遠隔監視用アプリケーションの表示がモニタ内に収まらず、スクロールバーが表示される場合は、以下の手順に従ってディスプレイ設定を変更してください。



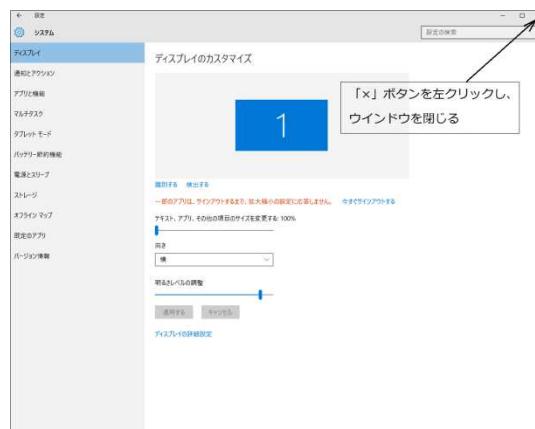
①PC デスクトップ画面をマウスで右クリックし、図 2.1.2 のように表示された右クリックメニューから「ディスプレイ設定(D)」を選択して左クリックします。



②「ディスプレイのカスタマイズ」で「テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する:」の設定状態を確認し、100%より大きいときは100%に変更します。



③「ディスプレイのカスタマイズ」ウィンドウ右上の「×」ボタンを左クリックし、ウィンドウを閉じます。



④一度サインアウト／サインインを行ってから改めて遠隔監視用アプリケーションを起動し、遠隔監視用アプリケーション全体が表示されることを確認します。

12.3. 起動する

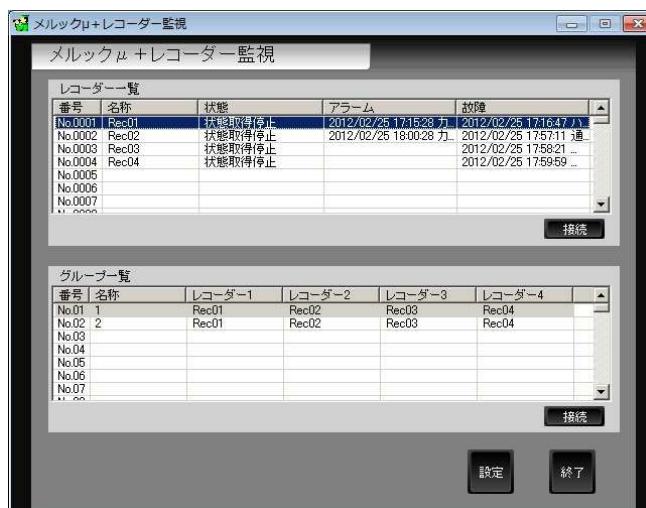
12.3.1. レコーダーの登録

(1) デスクトップ上のアイコン「MELOOK μ +」をダブルクリックし、遠隔監視アプリケーションを起動します。



! Windows8.1 64bit、Windows10 64bit の場合は、デスクトップを起動し、デスクトップ上のアイコン「MELOOK μ +」をダブルクリックし、遠隔監視アプリケーションを起動します。

(2) レコーダー監視画面が表示されます。



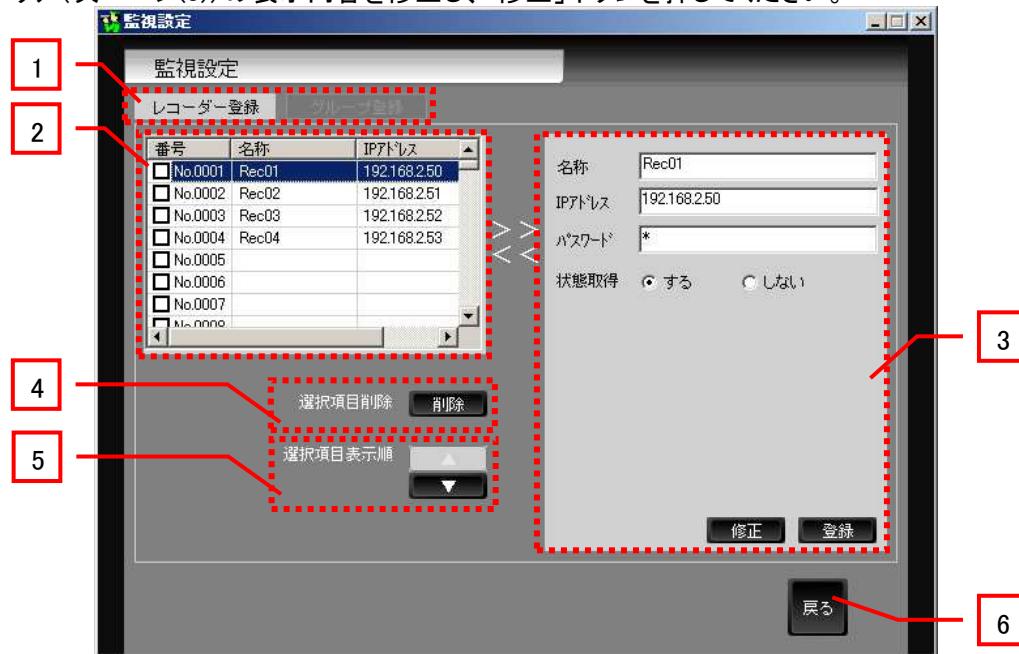
(3) レコーダー監視画面にて「設定」ボタンを押してください。



(4) レコーダー監視設定画面に切り替わります(次ページ)。

(5) 新規に登録する場合は、レコーダー情報設定エリア(次ページ(3))に必要事項を入力し、「登録」ボタンを押してください。

(6) 登録内容を修正する場合は、登録レコーダー情報リスト(次ページ(2))より修正したいレコーダーを選択し、レコーダー情報設定エリア(次ページ(3))の表示内容を修正し、「修正」ボタンを押してください。



【レコーダー監視設定画面(レコーダー登録) 画面説明】

- (1) 『設定切替』ボタン
【『レコーダー登録』ボタン】本ボタンを押すとレコーダー登録画面(本画面)を表示します。
【『グループ登録』ボタン】本ボタンを押すとグループ登録画面を表示します。
- (2) 登録レコーダー情報リスト
登録されているレコーダーの情報を表示します。
本リストを選択すると選択されたレコーダーの登録情報がレコーダー情報設定エリア(3)に表示されます。
【番号カラム】登録番号を表示します。No.0001～No.0255まで表示されます。
【名称カラム】登録レコーダーの名称を表示します。
【IPアドレスカラム】登録レコーダーのIPアドレスを表示します。
【状態取得カラム】登録レコーダーの状態取得情報を表示します。(○:する、×:しない)
レコーダーの情報を入力し、登録、または修正します。
- (3) レコーダー情報設定エリア
【名称入力】登録レコーダーの名称を入力します。
※最大8文字まで登録できます。8文字以上入力した場合は、8文字まで読み取り、それ以上は破棄されます。キーボードからの文字入力(OSのペースト機能は使用しないでください)で行ってください。
ペーストで入力してしまった場合、再度キーボードから入力をお願いします。
【IPアドレス入力】登録レコーダーのIPアドレスを入力します。
※最大半角15文字まで登録できます。半角15文字以上入力した場合は、半角15文字まで読み取り、それ以上は破棄されます。
【パスワード入力】登録レコーダーのログインパスワードを入力します。
※最大半角8文字まで登録できます。半角8文字以上入力した場合は、半角8文字まで読み取り、それ以上は破棄されます。登録できる文字は、0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,#,*です。なお、表示は全て「*」と表示されます。
【状態取得入力】登録レコーダーの状態を取得するかどうかを選択します。
① 状態取得は定期的に通信が発生します。ネットワーク状態によってはエラーが表示されます。
- (4) 『削除』ボタン
【『修正』ボタン】本ボタンを押すと修正内容をレコーダー情報に反映します。
- (5) 『▲』『▼』ボタン
【『登録』ボタン】本ボタンを押すと新規にレコーダーを追加登録します。
※レコーダー情報リストで最上位(最若番)の空リストに追加されます。空リストが無い場合(登録台数255台)は本ボタンは無効表示になります。新規に追加したい場合は、登録済みのレコーダーを削除してください。
- (6) 『戻る』ボタン
本ボタンを押すと登録レコーダー情報リストのチェックボックスが付いているレコーダーを削除します。
なお、登録レコーダー情報リストは前詰め表示になります。
本ボタンを押すと登録レコーダー情報リストにおいて、選択リストの表示順がUP(『▲』)、DOWN(『▼』)します。
レコーダー監視設定画面を閉じ、レコーダー監視画面に戻ります。
編集中のデータは、破棄されます。

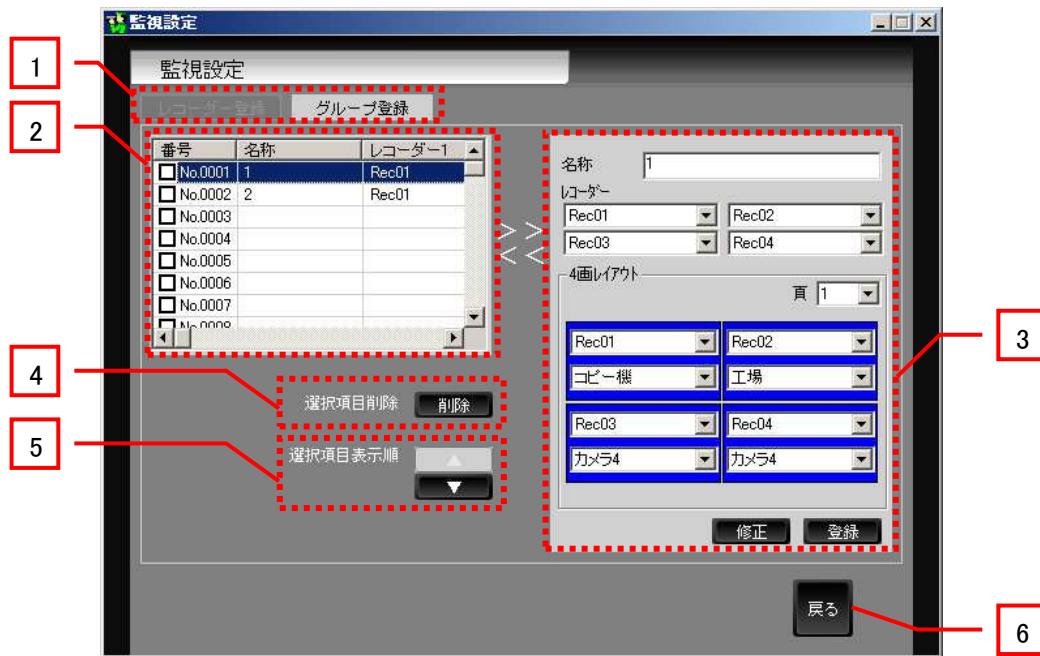
12.3.2. グループの登録

- ① 既にレコーダーが登録されている必要があります。レコーダーの登録を行っていない場合は、最初にレコーダーの登録を行ってください。
- ② 「グループ登録」ではレコーダーの設定を状態取得により得た情報を用いています。状態取得を使用しない場合でも、「する」に設定後、レコーダー監視を1巡後にグループ登録を行ってください。

- (1) レコーダー監視設定画面で「グループ登録」ボタンを押してください。



- (2) レコーダー監視設定画面(グループ登録)に切り替わります(次ページ)。
- (3) 新規に登録する場合は、グループ情報設定エリア(次ページ(3))に必要事項を入力し、「登録」ボタンを押してください。
- (4) 登録内容を修正する場合は、登録グループ情報リスト(次ページ(2))より修正したいグループを選択し、グループ情報設定エリア(次ページ(3))の表示内容を修正し、「修正」ボタンを押してください。



【レコーダー監視設定画面(グループ登録) 画面説明】

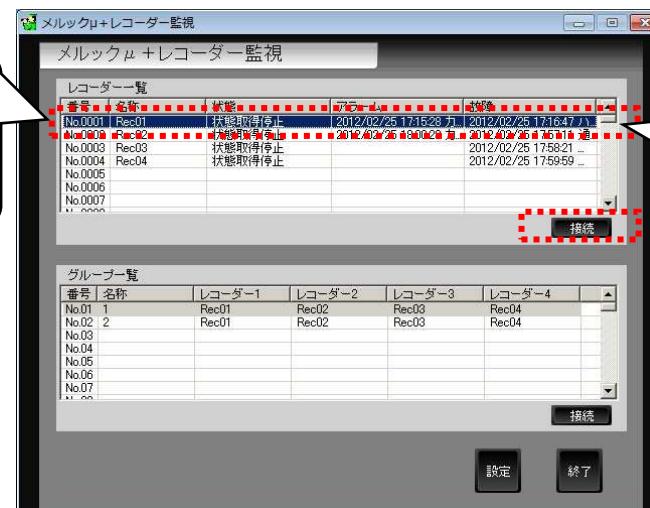
- (1) 設定切替
【『レコーダー登録』ボタン】本ボタンを押すとレコーダー登録画面を表示します。
【『グループ登録』ボタン】本ボタンを押すとグループ登録画面(本画面)を表示します。
- (2) 登録グループ
情報リスト
登録されているグループの情報を表示します。
本リストを選択すると選択されたグループの登録情報がグループ情報設定エリア(3)に表示されます。
【番号カラム】登録番号を表示します。No.0001～No.0064まで表示されます。
【名称カラム】登録グループの名称を表示します。
【レコーダーXカラム】X台目に登録されているレコーダー名称を表示します。※Xは、1～4。
※登録されていない場合は、空白表示となります。
【ページY-Zカラム】4画面レイアウトのページYのZ位置に登録されているレコーダー名称及びカメラ名称を表示します(「(レコーダー名称)-(カメラ名称)」)。※Yは、1～4。Zは、1～4で左上:1、右上:2、左下:3、右下:4。
※最大17文字まで表示できます。17文字以上の場合は、17文字まで読み取り、それ以上は破棄されます。
なお、登録が無い場合は、「-」と表示されます。
- (3) グループ情報
設定エリア
グループの情報を入力し、登録、または修正します。
【名称入力】登録グループの名称を入力します。
※最大8文字まで登録できます。8文字以上入力した場合は、8文字まで読み取り、それ以上は破棄されます。
【レコーダー入力】グループ登録するレコーダーをプルダウンメニューから選択します。
※プルダウンメニューに表示されるレコーダーは、登録済みのレコーダーです。
【4画レイアウト入力-ページ入力】ページ番号を選択します。選択できる範囲は、1～4です。
【4画レイアウト入力-映像入力】4画の出力映像を選択します。
※出力映像は、登録レコーダープルダウンメニュー(上段)とカメラプルダウンメニュー(下段)より選択します。カメラプルダウンメニューに表示されるカメラは、選択されたレコーダーに登録されているカメラです。
- (4) 【『削除』ボタン】
【レコーダー登録】本ボタンを押すと修正内容をグループ情報に反映します。
【登録】本ボタンを押すと新規にグループを追加登録します。
※登録グループ情報リストで最上位(最若番)の空リストに追加されます。空リストが無い場合(登録数64個)は、本ボタンは無効表示になります。新規に追加したい場合は、登録済みのグループを削除してください。
- (5) 【『▲』『▼』ボタン】
【登録】本ボタンを押すと登録グループ情報リストにおいて、選択リストの表示順がUP(『▲』)、DOWN(『▼』)します。
- (6) 『戻る』ボタン
レコーダー監視設定画面を閉じ、レコーダー監視画面に戻ります。
編集中のデータは、破棄されます。

12.3.3. 起動する

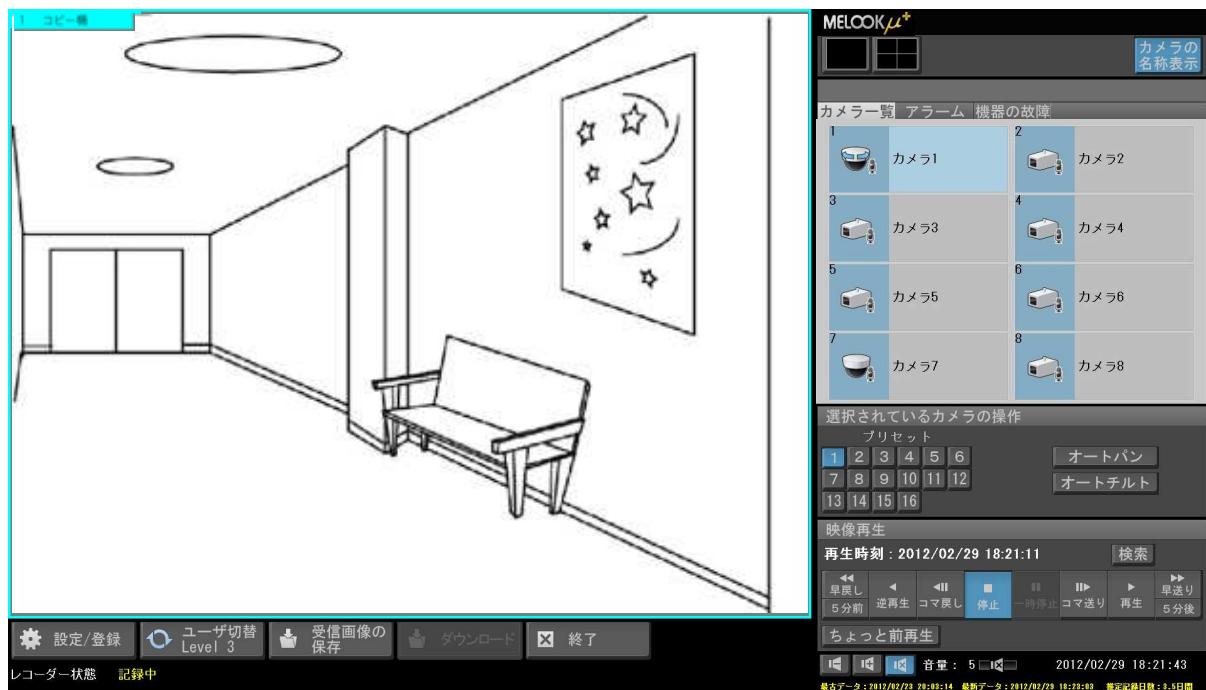
(1) デスクトップ上のアイコン「MELOOK μ +」をダブルクリックし、多地点遠隔監視アプリケーションを起動します。



(2) レコーダー監視画面にて接続するレコーダーをレコーダー一覧(上段)から選択し、「接続」ボタンを押してください。



(3) 多地点遠隔監視アプリケーションが起動し、最も若い番号のカメラ映像が表示されます。



① 「本体レコーダーとの接続に異常が発生しました。アプリケーションを終了してください。」と表示された場合一旦、「終了」ボタン押下でアプリケーションを終了してください。

12.3.4. 画面分割数を切り替える



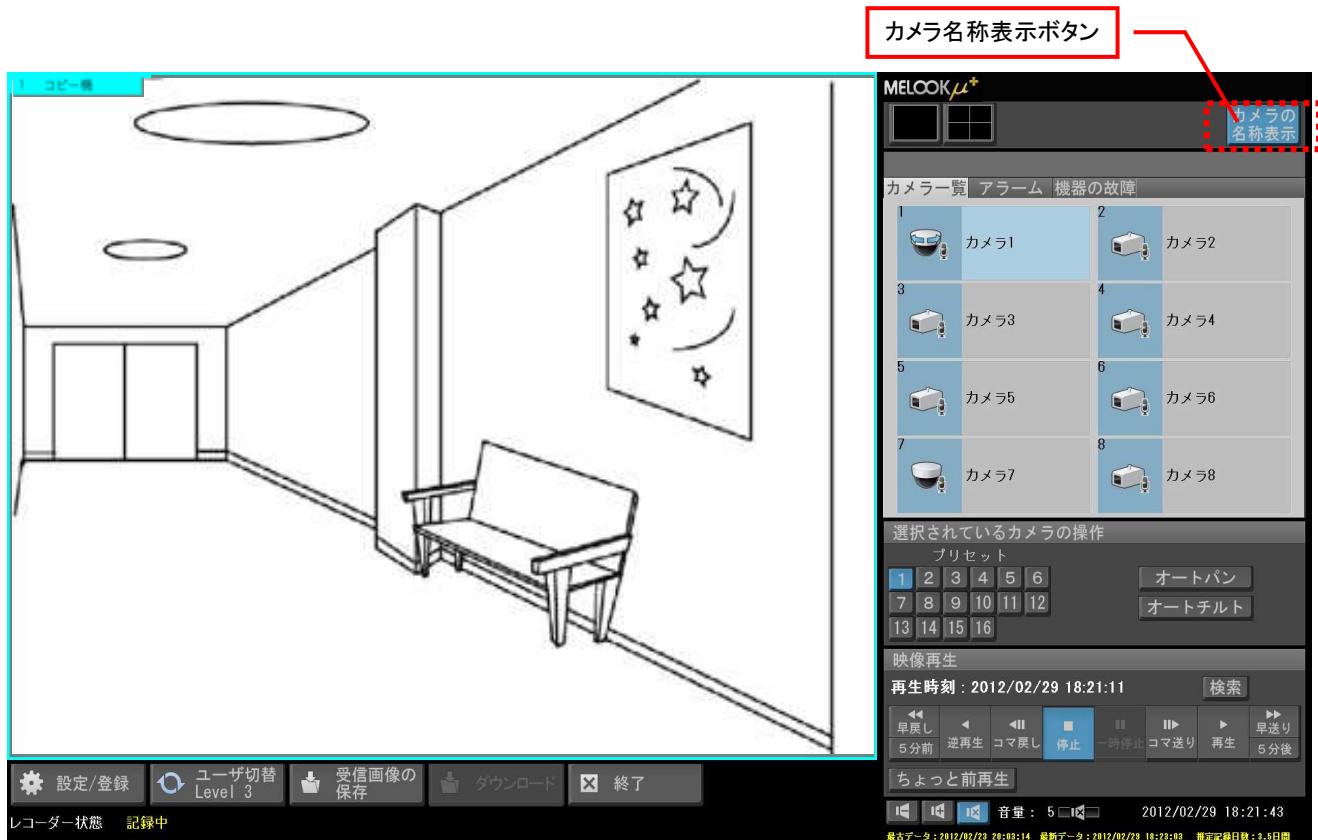
(1) 単画で見たい場合は、「単画切替」ボタンを押してください。

➡ 分割画表示中において本ボタンを押した場合は、映像表示パネル上でフォーカス(選択枠あり)されているカメラの単画表示を行います。既に単画表示されている場合は、ページ切替えを実施します。ページ切替えは接続カメラの若番から順次切替わります。

(2) 4画で見たい場合は、「4画切替」ボタンを押してください。

➡ 本ボタンを押すと4分割の先頭ページを表示します。既に4分割画表示されている場合は、ページ切替えを行います。

12.3.5. カメラ名称を表示する



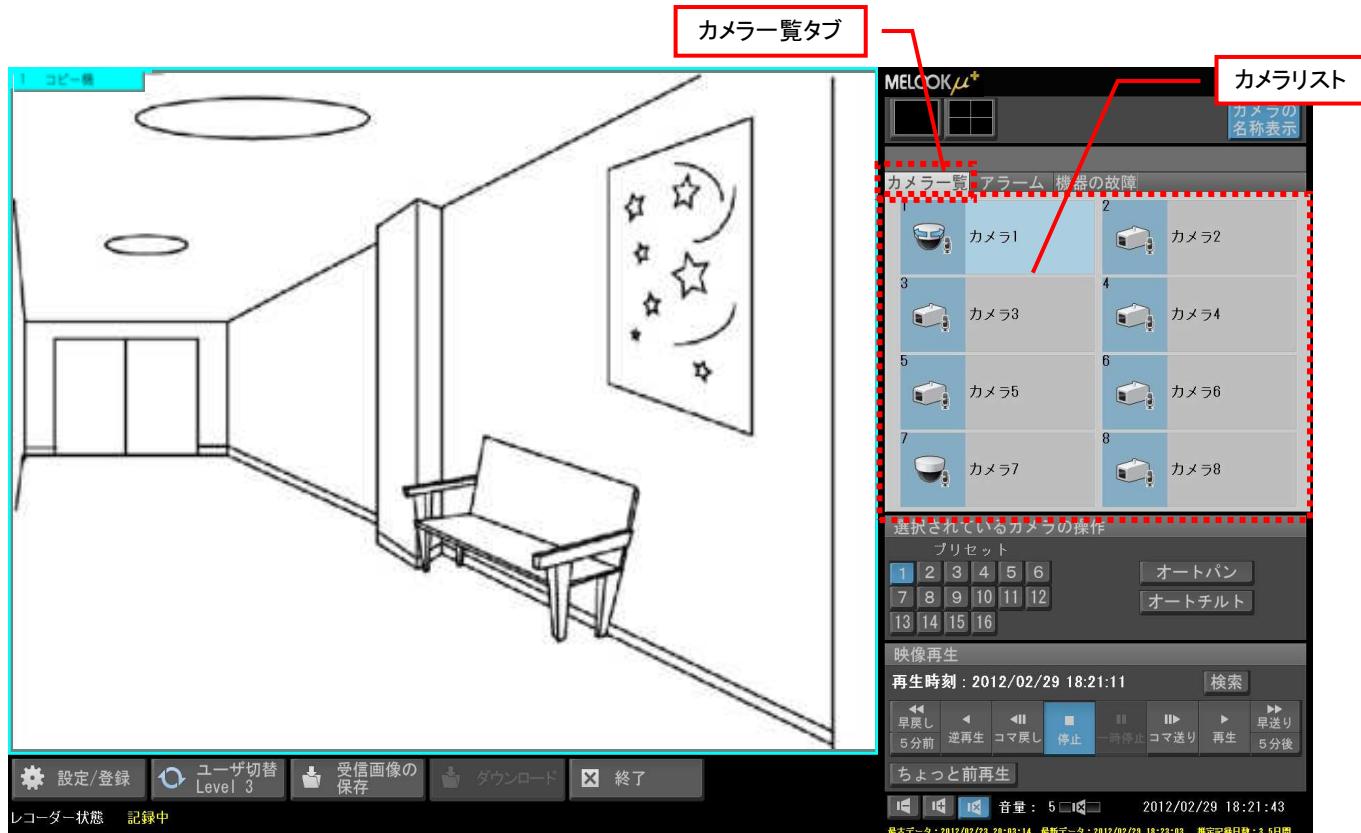
(1) 「カメラ名称表示」ボタンを押してください。

➡ カメラ名称が表示されていない状態で本ボタンを押すと、各カメラ映像の左上に名称が表示されます。

既にカメラ名称を表示している場合は、各カメラ映像上に表示されているカメラ名称が消えます。

12.3.6. カメラを切り替える

① ユーザーレベル 1 の場合は、カメラを選択できません。



(1) 「カメラ一覧」タブを押してください。カメラリストが表示されます。

(2) 「カメラリスト」で見たいカメラを選択してください。

➡ 接続されたレコーダーに接続されたカメラ台数によってカメラリストの表記が変わります。

カメラが 1~4 台接続されている場合は、4 台分表示されます。

カメラが 5~8 台接続されている場合は、8 台分表示されます。

12.3.7. カメラを動かす

- ① ユーザーレベル 1 の場合、本パネルは非表示となります。
- ② 選択カメラが固定カメラの場合には、本パネルは非表示となります。



(1) 選択中カメラに対して動かしたいボタンを押してください。

➡ 『プリセット』ボタン

プリセット動作を指示します。NC-6500 は最大 10 点、ER-550 は最大 16 点です。

① プリセット選択時、オートパン、オートチルトは停止します。

② プリセット変更時は、選択中のプリセット動作の完了を確認してから実施ください。

➡ 『オートパン』ボタン

オートパン動作を指示します。オートパンは、指定プリセット位置間を旋回します。

➡ 『オートチルト』ボタン

オートチルト動作を指示します。オートチルトは、指定プリセット位置間を旋回します。

① オートパン、オートチルトを停止する場合には、再度『オートパン』ボタン、『オートチルト』ボタンを押してください。

② ER-550 にてオートパン、オートチルト動作を行う場合は、あらかじめ旋回カメラへ設定を行う必要があります。販売店にご相談ください。

③ NC-6500 ではオートチルト動作は未サポートです。

12.3.8. 記録映像・音声を再生する

- ① ユーザーレベル 1 の場合、本パネルは非表示となります。
- ① レコーダーで再生中は、再生できません。
- ① レコーダーでコピー中は、再生できません。
- ① 時刻表示は、レコーダーの時刻表示と異なります。



(1) 再生したいカメラをカメラリストより選択してください。

(2) 「検索」ボタンを押して再生開始する日時を設定してください。

➡ 『検索』ボタン

記録映像を検索する際の時刻指定は、YY(年)/MM(月)/DD(日) hh(時):mm(分):ss(秒) となります。それぞれ指定範囲は下表の通りです。

① 起動直後は現在時刻が設定されています。一度再生を実施すると再生停止時刻が設定されます。

時刻指定範囲

指定	範囲
年	2011～37 (西暦下 2 枠を指定、4 枠表示) ※西暦は 2011 年～2037 年が有効範囲となります。
月	01～12(2 枠表示)
日	01～31(2 枠表示) ※月指定、閏年に関係なく最大 31 まで指定が可能です。
時	00～23(2 枠表示)
分	00～59(2 枠表示)
秒	00～59(2 枠表示)

(3) 「再生」ボタンを押して、再生を開始してください。

④ 『再生』ボタン

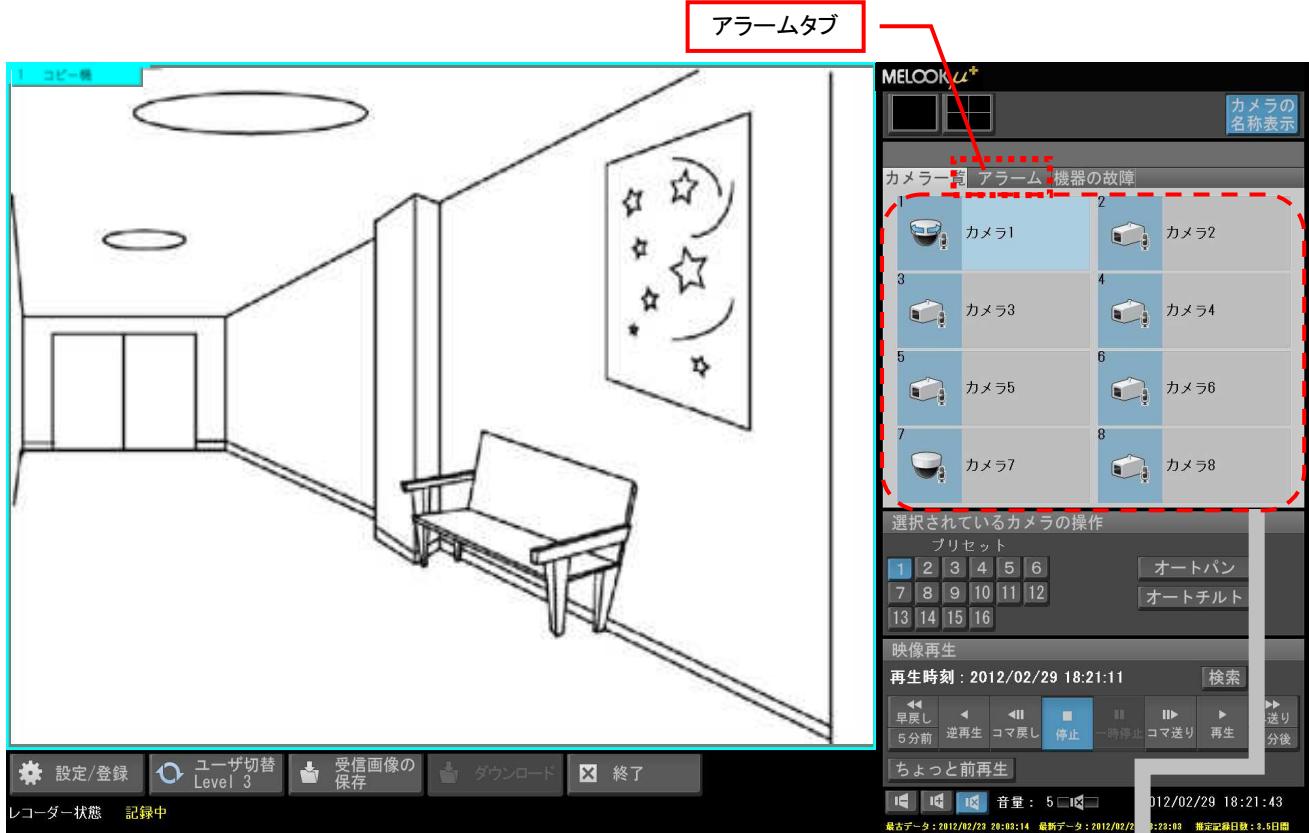
【5分前】	現在再生中の時刻から5分前の記録映像を再生します。
【早戻し】	2倍速で逆方向再生を行います。
【逆再生】	逆方向再生を行います。
【コマ戻し】	逆方向に1IDRフレームのみ進みます。
【停止】	再生を停止し、ライブ表示に切替わります。
【一時停止】	再生を一時停止します。
【コマ送り】	順方向に1フレームのみ進みます。
【再生】	順方向再生を行います。
【早送り】	2倍速で順方向再生を行います。
【5分後】	現在再生中の時刻から5分後の記録映像を再生します。
【ちょっと前再生】	プリアラーム記録を使用していない場合、ライブ画像表示中は現在時刻の8秒前、再生中は再生時刻の8秒前から再生(1倍速順再生)開始します。 プリアラーム記録を使用している場合、ライブ画像表示中は現在時刻からプリアラーム時間遅った時刻の8秒前、再生中は再生時刻の8秒前から再生(1倍速順再生)開始します。

参考 プリアラーム記録は「10.1.6 記録設定」94 ページを参照してください。

① ライブ中の『5分前』、『5分後』、『ちょっと前再生』の現在時刻は、遠隔監視用PCの現在時刻になります。
遠隔監視用PCとレコーダー本体に時刻差がある場合、期待した動作にならない場合がありますのでご注意ください。

12.3.9. アラームの発生状況を確認する

- ① ユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合は、アラームリストを確認することはできません。但し、アラームの発生中状態は確認できます(アラームタブが赤色点滅表示となり、本タブを押すまで継続します)。
- ② アラーム音が「あり」と設定されている場合には、アラームが発生した場合に、アラーム音が鳴動します。『アラーム』タブを押して停止してください。ユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合もアラーム音は、鳴動します。
(ユーザーレベル 3 でログインし、「アラーム」、「機器の故障」を確認してください。)



- (1) 「アラーム」タブを押してください。アラームリストが表示されます(最大 100 件/レコーダー)。

- ① リスト更新時は、発生日時の降順で、表示されます。
- ② 各項目名をクリックすると各表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- ③ アラームリストのセルの幅は自由に変更できます。

カメラ一覧 アラーム 機器の故障

発生日時	状態	発生場所
2011/12/21 15:36:00	発生	アラーム1
2011/12/21 15:35:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:23:03	発生	アラーム2
2011/12/21 15:23:02	発生	アラーム2
2011/12/21 15:21:38	発生	アラーム2
2011/12/21 15:02:22	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:14	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:13	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:10	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:08	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:06	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:03	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:01	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:54	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:51	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:49	発生	アラーム1

- ④ レコーダー本体で緊急記録が「解除」されても、直ぐリストに反映されない場合があります。

12.3.9.1. アラームを検索する

(1) 「検索...」ボタンを押してください。検索画面が表示されます。

発生日時	状態	発生場所
2011/12/21 15:36:00	発生	アラーム1
2011/12/21 15:35:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:23:03	発生	アラーム2
2011/12/21 15:23:02	発生	アラーム2
2011/12/21 15:21:38	発生	アラーム2
2011/12/21 15:02:22	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:14	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:13	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:10	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:08	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:06	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:03	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:01	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:54	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:51	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:49	発生	アラーム1

(2) 検索キーをチェック☑し、検索条件を設定してください。

検索条件

開始時刻:	2012年	01月	02日	12時	34分	56秒
終了時刻:	2012年	01月	03日	12時	34分	56秒
発生場所:	アラーム1					

(3) 「検索」ボタンを押してください。検索条件に合致したアラームリストが表示されます。

➡ 全ての検索条件に合致したアラームが表示されます。合致したアラームがない場合、何も表示されません。

検索条件に合致したアラームリスト

発生日時	状態	発生場所
2011/12/21 15:36:00	発生	アラーム1
2011/12/21 15:35:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:23:03	発生	アラーム2
2011/12/21 15:23:02	発生	アラーム2
2011/12/21 15:21:38	発生	アラーム2
2011/12/21 15:02:22	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:14	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:13	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:10	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:08	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:06	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:03	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:01	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:54	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:51	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:49	発生	アラーム1

12.3.9.2. アラーム発生時の状況を確認する

(1) 状況を確認したいアラームをアラームリストより選択してください。



発生日時	状態	発生場所
2011/12/21 15:36:00	発生	アラーム1
2011/12/21 15:35:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:23:03	発生	アラーム2
2011/12/21 15:23:02	発生	アラーム2
2011/12/21 15:21:38	発生	アラーム2
2011/12/21 15:02:22	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:14	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:13	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:10	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:08	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:06	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:03	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:01	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:54	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:51	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:49	発生	アラーム1

(2) 「再生」ボタンを押してください。

- 選択したアラームをアラームリスト上でダブルクリックすることでも再生できます。
- アラームの発生時刻から再生を開始します。プリアラーム記録を使用している場合は、アラーム発生した時刻よりプリアラーム時間遡った時刻から再生が開始されます。

参考 プリアラーム記録は「10.1.6 記録設定」94 ページを参照してください。



発生日時	状態	発生場所
2011/12/21 15:36:00	発生	アラーム1
2011/12/21 15:35:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:23:03	発生	アラーム2
2011/12/21 15:23:02	発生	アラーム2
2011/12/21 15:21:38	発生	アラーム2
2011/12/21 15:02:22	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:14	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:13	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:10	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:08	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:06	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:03	発生	アラーム1
2011/12/21 15:02:01	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:58	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:54	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:51	発生	アラーム1
2011/12/21 15:01:49	発生	アラーム1

① アラームリストから再生した場合、アラームの解除時間以降は、通常の再生となります。

② 記録停止中に発生したアラーム記録と緊急記録の再生時の動作は以下となります。

- アラーム記録: 操作エラーを出力し、アラーム連動カメラへ画面切替えを行い、ライブ表示します。
- 緊急記録: 最新時刻にて一時停止します。

12.3.10. 機器故障の状況を確認する

- ! 機器故障発生中は、機器の故障タブが点灯となり、本タブを押すまで継続します。
- ! アラーム音が「あり」と設定されている場合には、機器故障が発生した場合に、アラーム音が鳴動します。『機器の故障』タブを押して停止してください。ユーザーレベル1、ユーザーレベル2の場合もアラーム音は、鳴動します。
(ユーザーレベル3でログインし、「アラーム」、「機器の故障」を確認してください。)



(1) 「機器の故障」タブを押してください。機器故障リストが表示されます(最大5件/レコーダー)。

- ➡ リスト更新時は、発生日時の降順で、表示されます。
- ➡ 各項目名をクリックすると各表示が項目ごとに自動的にソート(昇順/降順)されます。
- ➡ 機器故障リストのセルの幅は自由に変更できます。

機器故障の項目

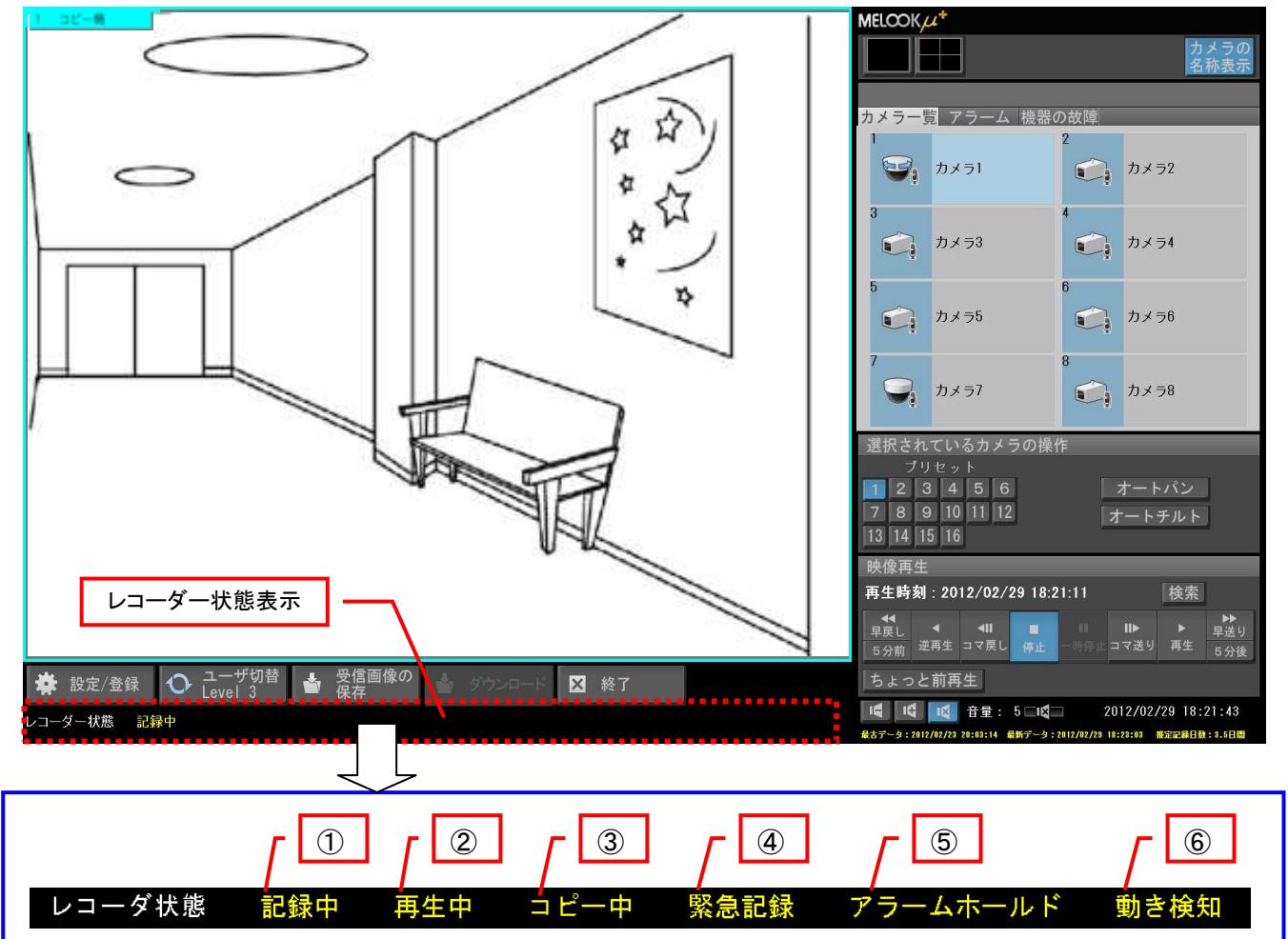
発生場所	故障内容	備考
カメラXX (XXは番号)	通信異常	カメラ、アダプタとの接続異常が考えられます。
HDD	ハードディスク異常	HDDの故障が考えられます。
M/B	M/B異常	FAN故障が考えられます。
プロセス	ステータスチェック異常	本レコーダーの動作異常が発生した可能性があります。

発生日時	状態	発生場所	故障内容
2011/12/10 23:13:01	復旧	カメラ8	通信異常
2011/12/10 23:13:01	復旧	カメラ7	通信異常
2011/12/10 23:12:25	発生	カメラ8	通信異常
2011/12/10 23:12:25	発生	カメラ7	通信異常
2011/12/10 23:09:58	復旧	カメラ4	通信異常

- ! レコーダーへの映像信号入力断を検出した場合は「通信異常」として扱います。
- ! 故障リストの内容は、レコーダー本体に保存されているため、カメラを交換しても消えません。
- ! 機器故障状態が「復旧」しても、直ぐリストに反映されない場合があります。
時間をおいてご確認ください。

12.3.11. 接続先レコーダーの状態を確認する

(1) 接続先のレコーダー状態は、画面下部の「レコーダー状態表示」エリアを参照してください。



①記録状態表示

接続先レコーダーの記録状態を表示します。
点灯時、レコーダー記録中を表します。

②再生状態表示

接続先レコーダーの再生状態を表示します。
点灯時、レコーダー再生中を表します。

③コピー状態表示

接続先レコーダーのコピー状態を表示します。
点灯時、レコーダーのコピー中を表します。

④緊急記録状態表示

接続先レコーダーの緊急記録状態を表示します。
点灯時、レコーダー緊急記録中を表します。

⑤アラームホールド

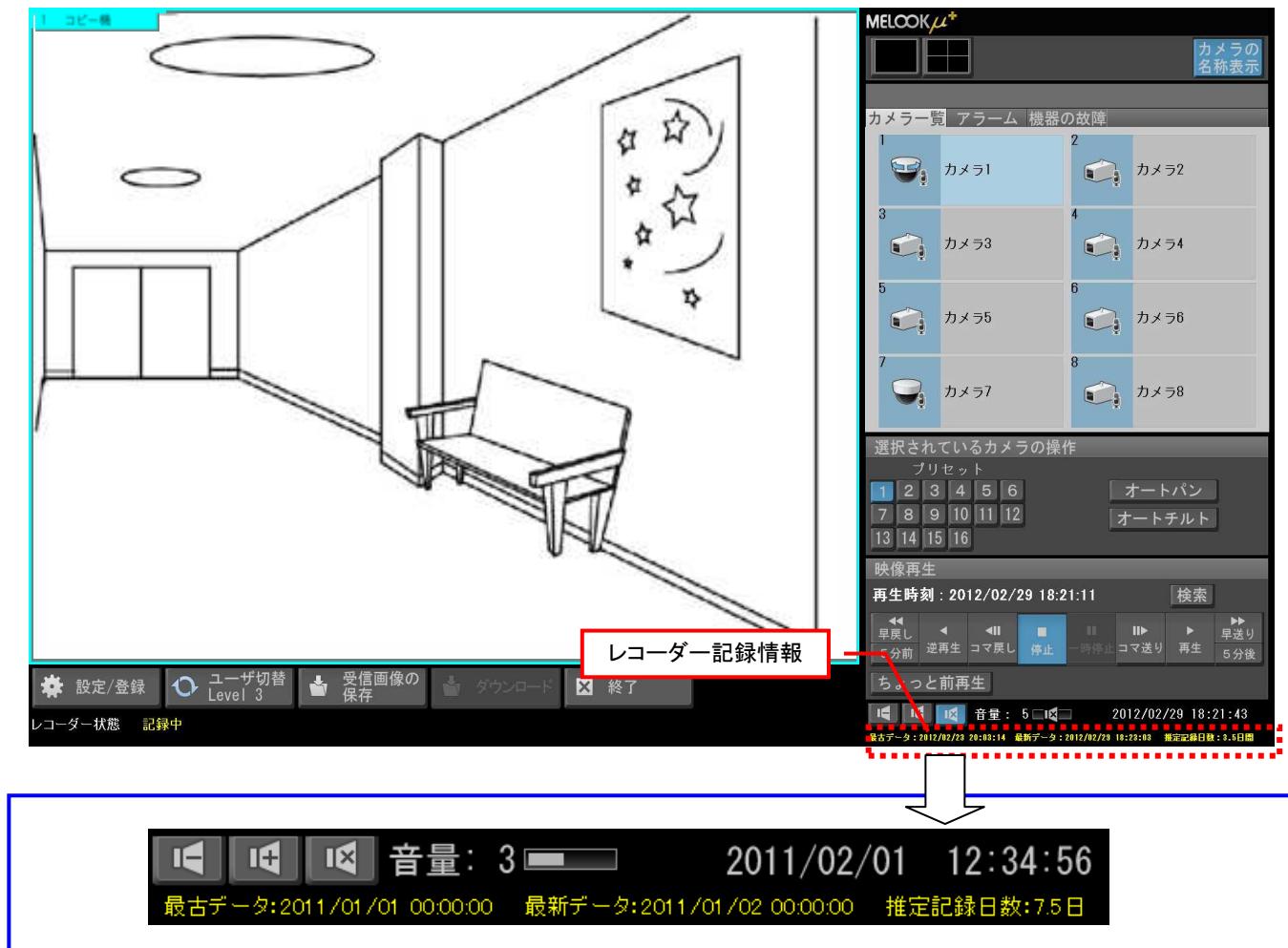
接続先レコーダーのアラームホールド状態を表示します(未サポート)
点灯時、レコーダーのアラームホールド中を表します。

⑥動き検知状態表示

接続先レコーダーの動き検知状態を表す。
点灯時、レコーダーの動き検知を表します。

⌚ カメラ側のモーションディテクト機能による動きの検知状態を示すものです。

- (2) 接続先のレコーダー記録状態は、画面右下部の「レコーダー記録情報表示」エリアを参照してください。最古記録日時、最新記録日時及び推定記録日数を確認することができます。



12.3.12. 受信音量を調整する

(1) 「ボリュームコントロール」ボタンで調整してください。



12.3.13. 各種設定(受信データ量やアラーム音)を行う

! ユーザーレベル1、ユーザーレベル2の場合、設定変更はできません。

(1) 「設定／登録」ボタンを押してください。設定画面が表示されます。



(2) 設定したい項目を設定し、「設定」ボタンを押してください。

➡ 受信ビットレート設定

「はやい」…フルレートに設定します。

「おそい」…間欠レートに設定します。音声は再生されません。

配信間隔は1～10秒の範囲内において、1秒間隔で設定可能です。

! 実際の受信ビットレートは、ネットワークの状況により設定通りとならない場合があります。

➡ アラーム音設定

「あり」…アラーム、機器故障発生時、アラーム音を鳴動する。

「なし」…アラーム、機器故障発生時、アラーム音を鳴動しない。



(3) 「最初の画面に戻る」ボタンを押してください。

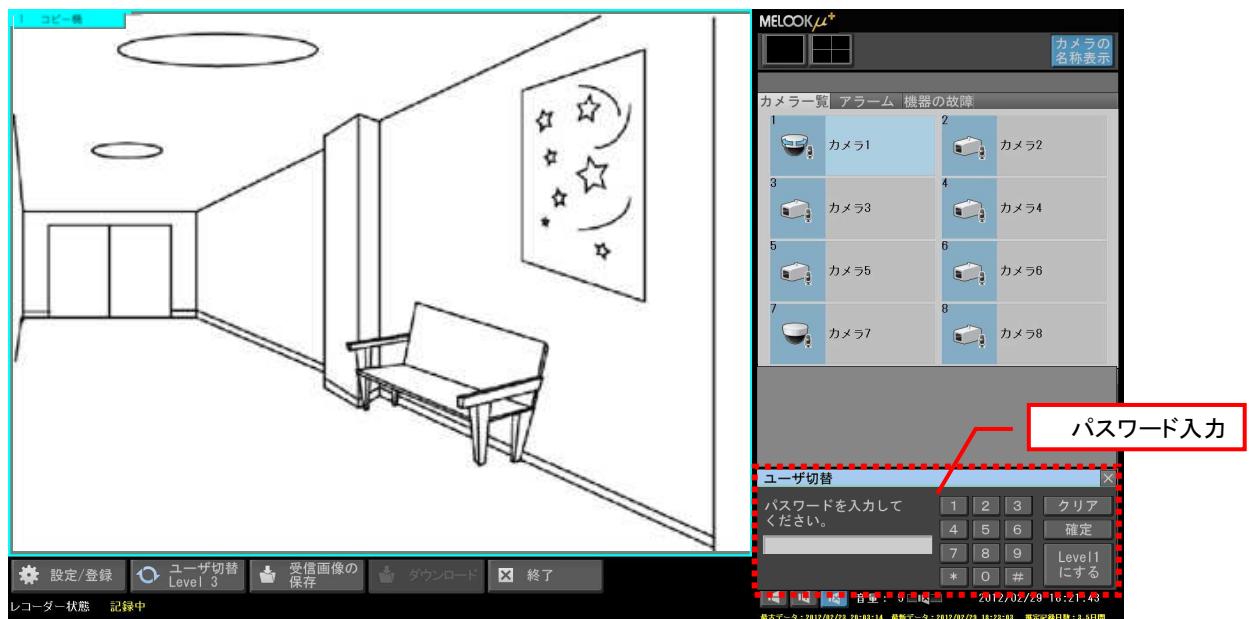
! 設定した内容を有効にするには、必ず『最初の画面に戻る』ボタンを押下して、設定を終了させてください。

12.3.14. ユーザレベルを切り替える

(1) 「ユーザ切替」ボタンを押してください。パスワード入力画面が表示されます。



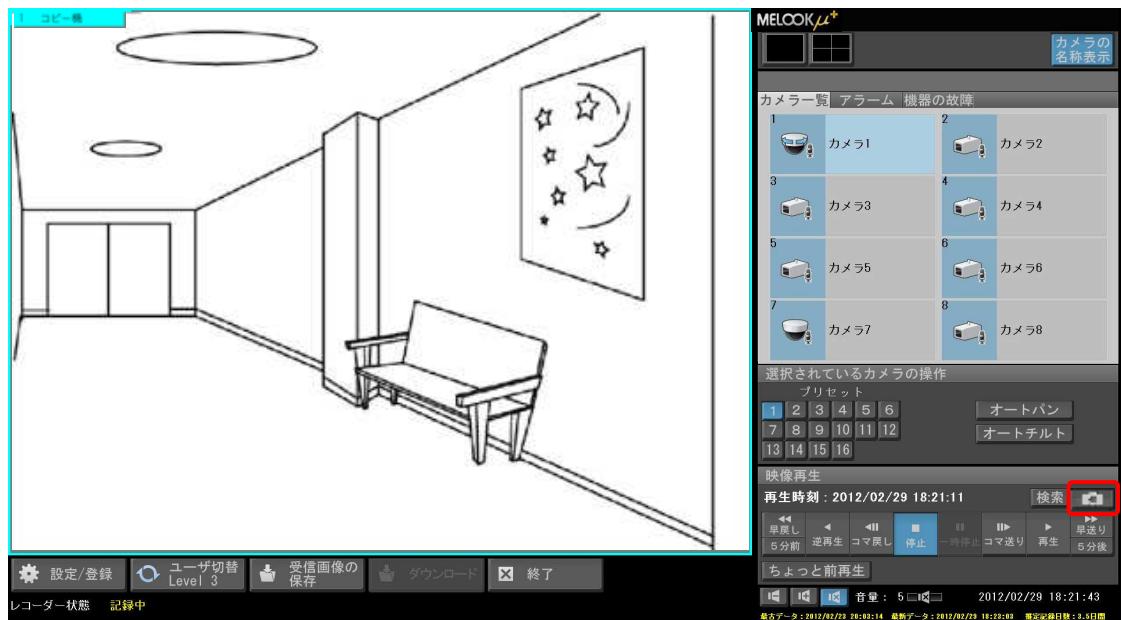
(2) パスワードを入力してください。入力後、「確定」ボタンを押してください。



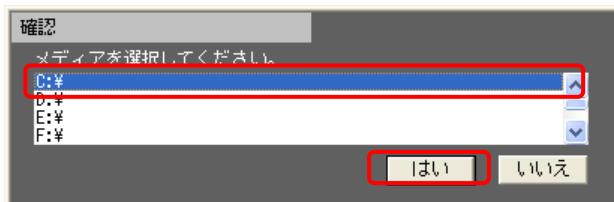
(3) パスワード認証に成功するとユーザレベルが切り替わります。

12.3.15. 静止画保存する

(1)再生映像の一時停止 もしくはライブ映像 で  『キャプチャ』ボタンを押下します。



(2)ファイル名を入力する画面を表示します。保存先ドライブを指定して『保存』ボタンを押下してください。



ファイル保存画面

- ① 保存されるファイルの種類は JPEG 形式です。
- ② 単画表示のみ可能です。

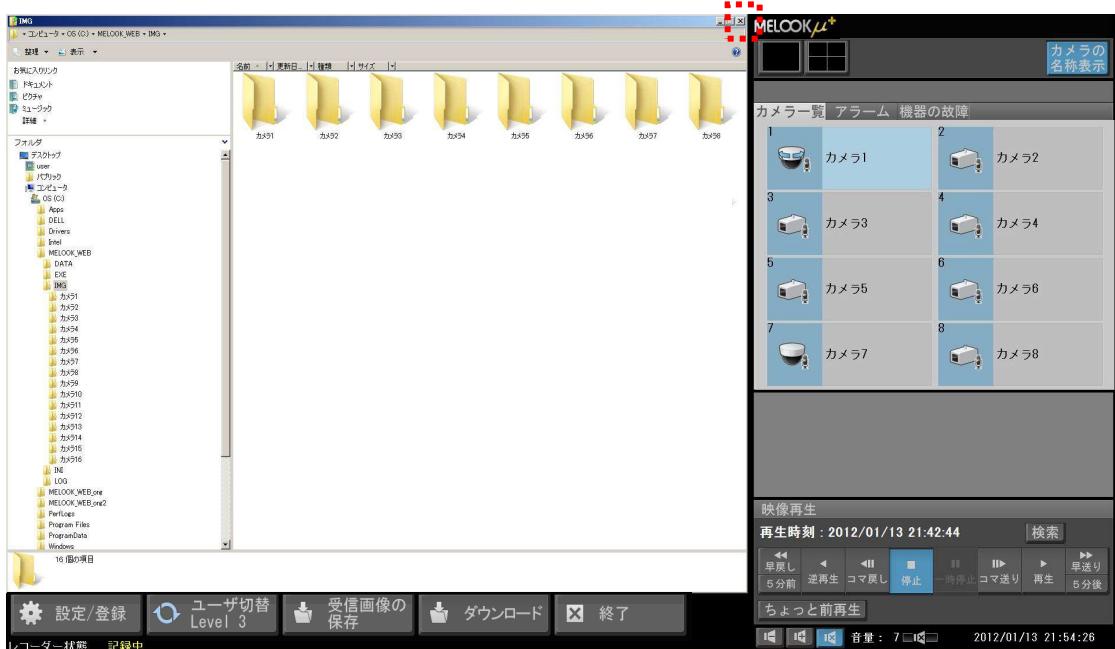
12.3.16. 受信画像を保存する

! ユーザーレベル1、ユーザーレベル2の場合、本機能は、使用できません。

- (1) 映像の再生中に「受信画像の保存」ボタンを押してください。接続先レコーダーから受信した画像を保存したフォルダを表示します。



- (2) 内容を確認したら「×」ボタンを押して元の画面に戻ってください。



- ⌚ 受信画像の表示を行うと、タスクバーが表示される場合があります。「タスクバーを自動的に隠す」設定を行うと、タスクバーを表示させないようにすることができます。
- エクスプローラーが表示されている状態で、通常メイン画面を操作(クリック)すると、エクスプローラーが裏側に隠れます。再度表示する場合は、『受信画像の保存』ボタンを押してください。
- ⌚ Windows8.1 64bit、Windows10 64bitの場合、再度表示する場合は、キーボードから「Alt」キーと「Tab」キーを同時に押して、エクスプローラーを最前面に表示してください。
- ⌚ 表示状態は、エクスプローラーの設定に依存します。
- ⌚ 『受信画像の保存』ボタンの連続押下により、複数のウィンドウを開かないようご注意ください。

12.3.17. レコーダーに記録されている映像をダウンロードする

① ユーザーレベル1、ユーザーレベル2の場合、本機能は、使用できません。

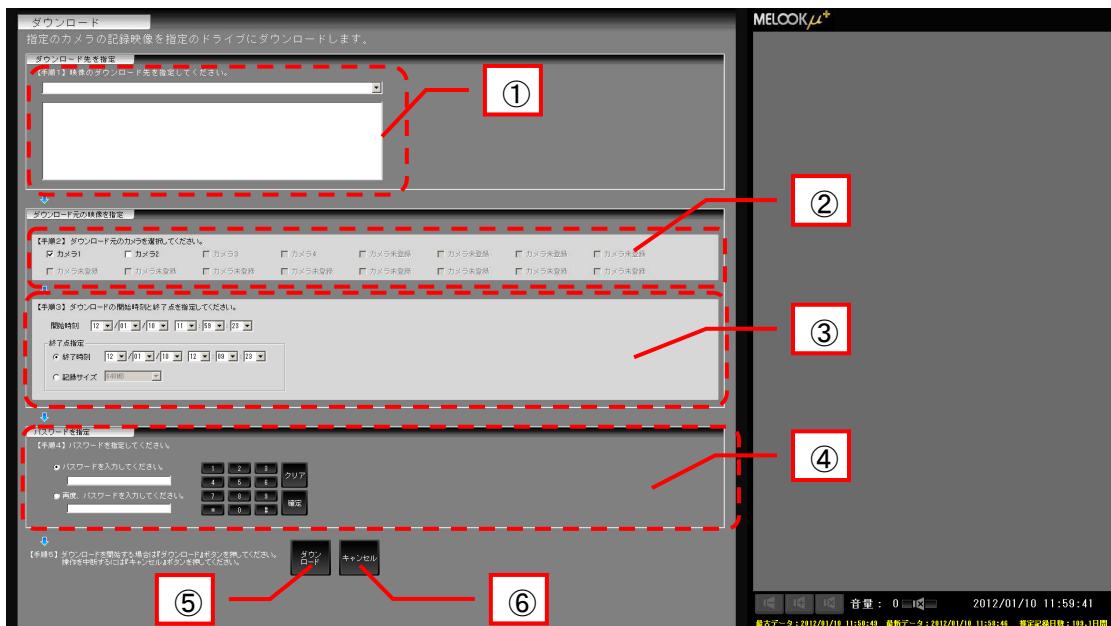
(1) 「ダウンロード」ボタンを押してください。ダウンロード設定画面が表示されます。



(2) 各種設定を行い、「ダウンロード」ボタンを押してダウンロードを開始してください。

① ダウンロード中は音声が途切れことがあります。

② ダウンロード終了時刻は書込んだ最後のデータの時刻を表示しています。指定された終了時刻とは一致しない場合があります。



① ダウンロード先のフォルダを選択します。

② ダウンロード元のカメラを選択します。

③ アラームリストから遷移した場合は、連動したカメラが選択されています。

- ③ ダウンロードする範囲の開始点を「開始時刻」で指定します(区間ダウンロード)。
- ④ ダウンロードする範囲の終了点を「終了点時刻」または「記録サイズ」で指定します。
- ⑤ 簡易ビューワの起動に使用するパスワードを設定します。
- ⑥ 選択したデバイスにダウンロード可能な容量がない場合、『ダウンロード』ボタンを押下時に、確認メッセージが表示されます。
- ⑦ 簡易ビューワとはダウンロードした映像を再生するための専用アプリケーションです。
- 参考 ▶ 簡易ビューワの詳細は、「11 簡易ビューワについて」131 ページを参照してください。

12.3.17.1. ダウンロードを中止する

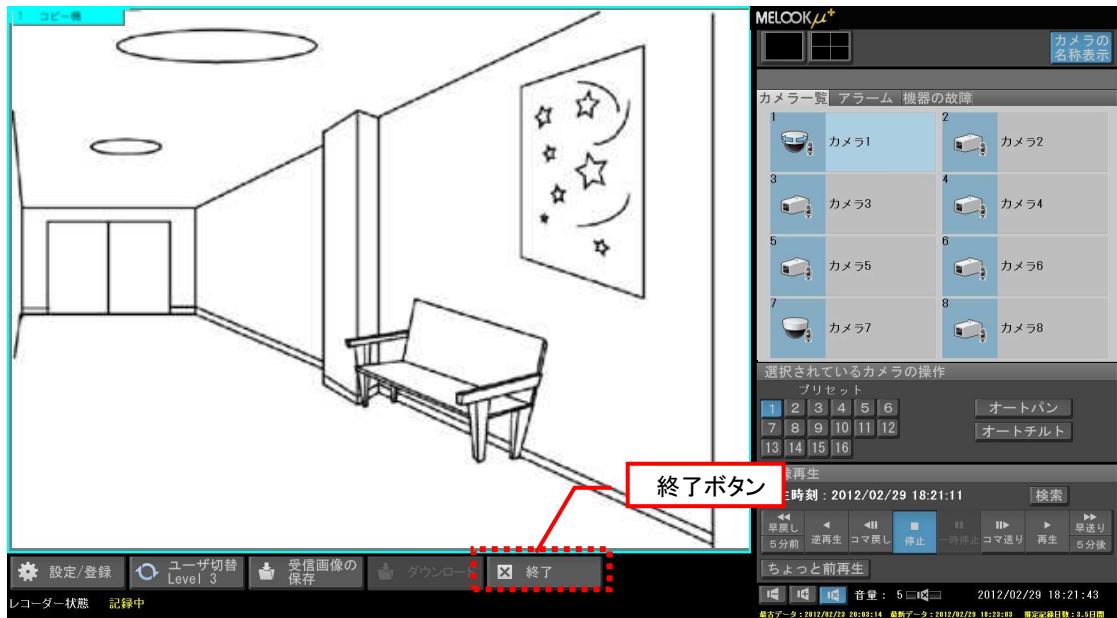
- ① ユーザーレベル 1、ユーザーレベル 2 の場合、本機能は、使用できません。

(1) 「ダウンロードキャンセル」ボタンを押してください。ダウンロードが中止します。



12.3.18. 遠隔監視アプリケーションを終了する

(1) 「終了」ボタンを押してください。



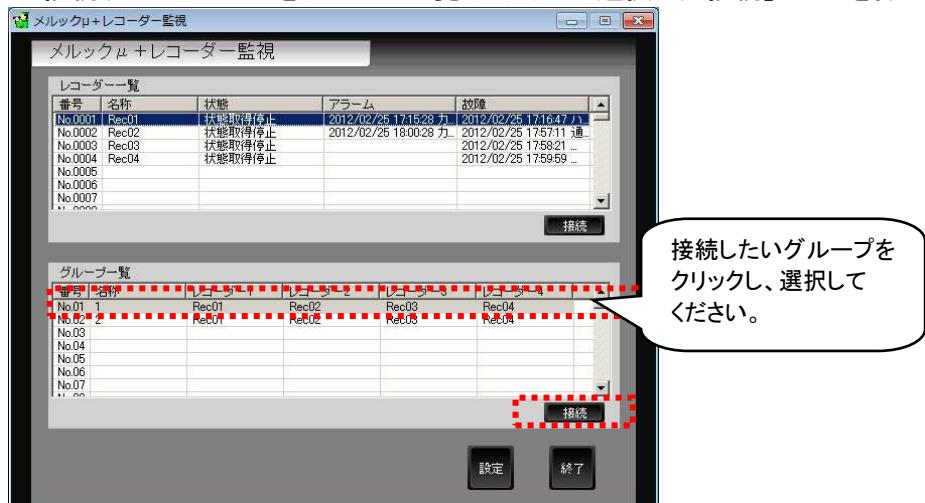
12.4. 複数台のレコーダーを遠隔監視する

- (!) ライブ映像(音声なし)のみによる監視を行います。記録映像の再生はできません。
- (!) カメラを動かすことはできません。

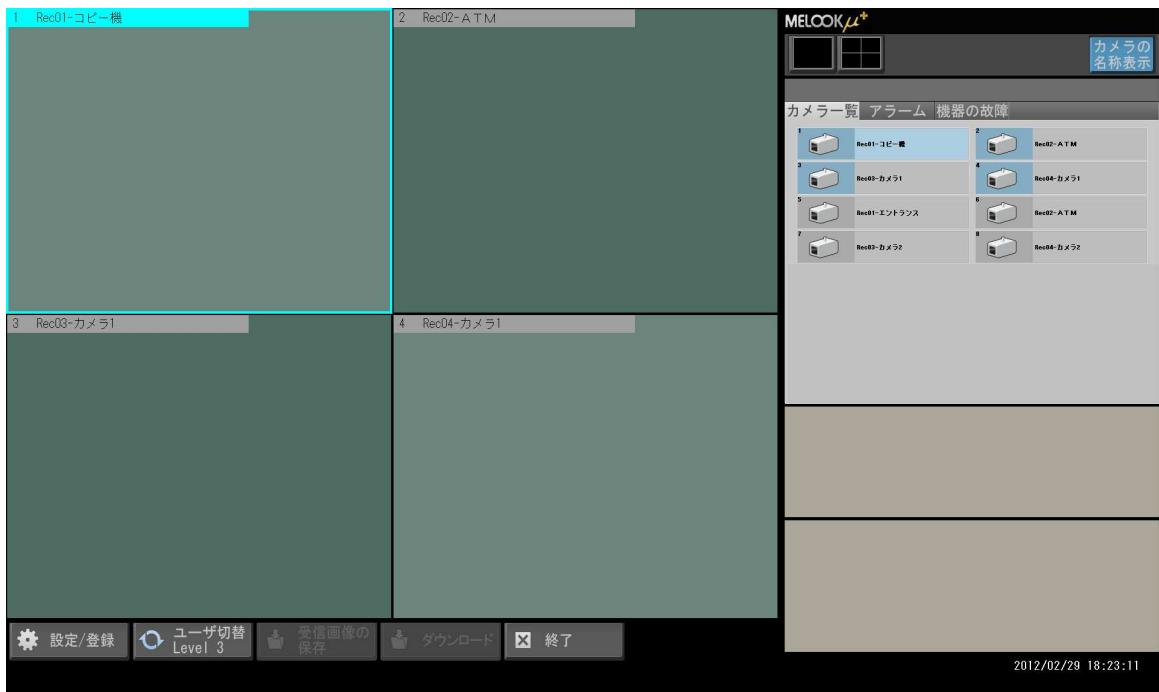
(1) デスクトップ上のアイコン「MELOOK μ +」をダブルクリックし、多地点遠隔監視アプリケーションを起動します。



(2) レコーダー監視画面にて接続するレコーダーをグループ一覧(下段)から選択し、「接続」ボタンを押してください。



(3) 多地点遠隔監視アプリケーションが起動し、登録した1ページ目のカメラ映像が表示されます。



- (!) 画面右上タイトルロゴ(MELOOK μ +)部分に、現在接続中のレコーダーと異なる表示(MELOOK μ II)が出る場合がありますが、異常ではありません。

12.4.1. 画面分割数を切り替える

12.3.4 章を参照してください。

12.4.2. カメラ名称を表示する

12.3.5 章を参照してください。

12.4.3. 記録映像・音声を再生する

12.3.8 章を参照してください。

12.4.4. アラームの発生状況を確認する

12.3.9 章を参照してください。

12.4.5. 機器故障の状況を確認する

12.3.10 章を参照してください。

12.4.6. 各種設定(受信データ量やアラーム音)を行う

① 複数台のレコーダー設定画面では音声設定はできません。設定変更しないでください。

12.3.13 章を参照してください。

12.4.7. ユーザレベルを切り替える

12.3.14 章を参照してください。

12.4.8. 遠隔監視アプリケーションを終了する

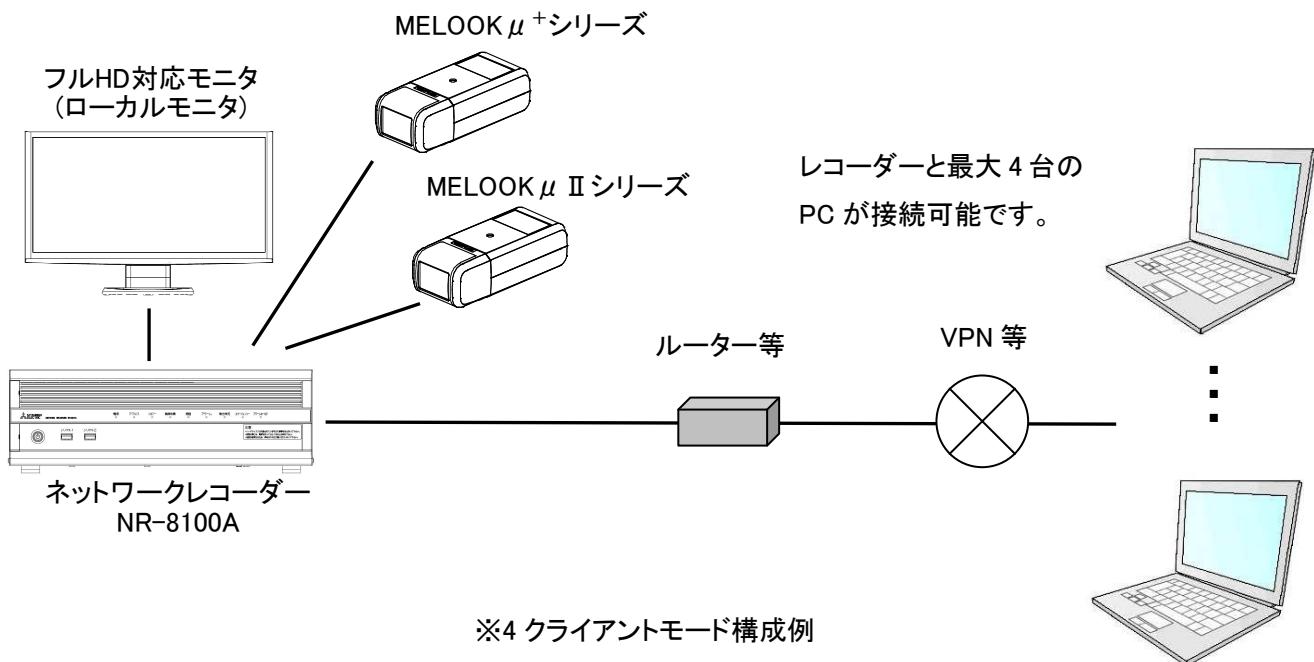
12.3.18 章を参照してください。

12.5. 4 クライアントモード

4 クライアントモードについて説明します。

12.5.1. 4 クライアントモードとは

4 クライアントモードとは、NR-8100A を複数(4 台まで)の遠隔監視用 PC を接続し、監視できる機能です。



12.5.2. 4 クライアントモードの制約事項

4 クライアントモードでの監視を行う場合、下記のような制約があります。

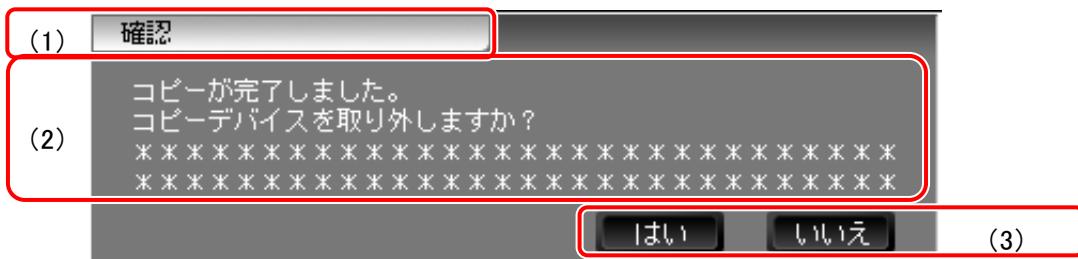
(1) ライブ表示及び記録再生は単画のみとなります。

※1 クライアントモードのみ、4 画表示が可能です。

(2) ネットワークレコーダー、複数のクライアントにて、記録再生、記録コピー、映像ダウンロードの同時起動はできません。

13. 確認メッセージ

各種設定を実行すると、下図の確認メッセージを表示します。



- (1)メッセージ表示部分 確認メッセージの時には「確認」、エラーメッセージの時には「エラー」と表示されます。
エラーメッセージが表示された時には「14.エラー」191ページを参照してください。
- (2)確認メッセージ 確認メッセージ、エラーメッセージに対応したメッセージを表示します。
表示されたメッセージを確認の上、『確認』ボタンを押してください。
- (3)確認ボタン 確認メッセージの内容を確認し『はい』ボタン、『いいえ』ボタンを押してください。

項目	メッセージ	説明・対応
コピー	指定したデバイスの残容量が足りません。 『無制限』指定でコピーを開始しますか？	コピー時に指定デバイスの残容量よりコピーサイズが多い場合に表示します。 『はい』 …コピーサイズを指定容量に変更しコピーを開始します。 『いいえ』 …コピー画面へ戻ります。
	コピー実行中です。 コピーを停止してもよろしいですか？	コピー実行中に『記録映像のコピー中止』ボタンを押した場合に表示します。 『はい』 …コピーを停止します。 『いいえ』 …コピーを続行します。
	コピーが完了しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ssです。	USBメモリにコピーを行い、コピーが完了した際に表示します。 『はい』 …USBメモリの取外しを行います。 『いいえ』 …USBメモリの取外しを行いません。
	コピーが完了しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ssです。	CD/DVDにコピーを行い、コピーが完了した際に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
	コピーを中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？	USBメモリへのコピーを中止した場合(コピー準備のみで実際にはコピーしなかった場合)に表示します。 『はい』 …USBメモリの取外しを行います。 『いいえ』 …USBメモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。	CD/DVDへのコピーが失敗した場合(コピー準備のみで実際にはコピーしなかった場合)に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
	コピーを中止しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ssです。	USBメモリへのコピーを中止した場合(実際にはコピーを行った場合)に表示します。 『はい』 …USBメモリの取外しを行います。 『いいえ』 …USBメモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ssです。	CD/DVDへのコピーが失敗した場合(実際にはコピーを行った場合)に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
	コピーを中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピーデータはありません。	USBメモリへのコピーを中止した場合(コピーを行わなかった場合)に表示します。 『はい』 …USBメモリの取外しを行います。 『いいえ』 …USBメモリの取外しを行いません。
	コピーを中止しました。 コピーデータはありません。	CD/DVDへのコピーを中止した場合(コピーを行わなかった場合)に表示します。 『確認』 …ダイアログを閉じます。
設定デバイ	コピー準備中です。	コピーの前準備をしている間表示します。
	映像記録を停止する必要があります。 停止してもよろしいですか？	記録データの復旧を実行時、デバイス設定変更時に表示します。 『はい』 …記録停止して処理を実行します。 『いいえ』 …設定画面へります。

項目	メッセージ	説明・対応
デバイス設定	デバイスを初期化すると記録映像が削除されます。 初期化してもよろしいですか？	デバイスの初期化時に表示します。 『はい』… デバイスの初期化を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	継続接続されている上位デバイスを登録解除するため、下位デバイスも登録解除されます。 よろしいですか？	デバイスの登録解除時に表示します。 『はい』… デバイス登録解除処理を実施します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	継続接続されている上位デバイスを取外すため、下位デバイスも取外されます。 よろしいですか？	デバイスの取外し時に表示します。 『はい』… デバイス取外し処理を実施します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	映像記録を停止すると再起動するまで記録を開始できません。 記録を停止してもよろしいですか？	デバイス設定画面およびカメラ設定画面の記録停止ボタン押下時に表示します。 『はい』… 記録を停止し、『元の画面に戻る』ボタン、項目選択エリアを無効にします。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	マスターデバイスを登録解除すると記録時間が短くなります。 よろしいですか？	マスターデバイス登録のHDDの登録解除時に表示します。 『はい』… デバイス取外し処理を実施します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
パスワード設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 入力したパスワードに変更してもよろしいですか？	パスワード変更時に表示します。 『はい』… 入力されたパスワードに変更します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
全ての画面	記録が停止しています。 記録を再開する場合は、設定画面の『情報表示』内にある『記録再開』ボタンを押してください。	記録停止中に10分間隔で表示します。 『確認』… 確認ダイアログを非表示にします。
ネットワーク設定	ネットワーク設定を変更すると本レコーダーが再起動されます。 設定を変更してもよろしいですか？	ネットワーク設定時に表示します。 『はい』… ネットワーク設定を実行します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
カメラ設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	映像記録を停止すると再起動するまで記録を開始できません。 記録を停止してもよろしいですか？	デバイス設定画面およびカメラ設定画面の記録停止ボタン押下時に表示します。 『はい』… 記録を停止し、『元の画面に戻る』ボタン、項目選択エリアを無効にします。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	カメラ設定を変更すると『記録設定』、『スケジュール設定』、『アラーム設定』、『映像表示設定』が自動で変更されます。 再度、確認してください。	カメラ設定画面で設定変更をした場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻ります。
	接続先が旋回カメラです(詳細設定不可)。 接続先を確認してください。	『詳細設定』ボタンを押下した際に接続先が旋回カメラである場合に表示します。 『確認』… カメラ設定画面へ戻ります。
	選択したカメラの登録を解除します。 よろしいですか？	登録していたカメラを未登録にする場合に表示します。 『はい』… カメラ種別を未登録に設定します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
記録設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。 設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。

項目	メッセージ	説明・対応
	記録設定を変更すると『スケジュール設定』が自動で変更されます。 再度、確認してください。	記録設定画面で設定変更した場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻ります。
(再生止制御保存)	静止画を保存しました。 コピーデバイスを取外しますか？	静止画保存が完了した場合に表示します。 『はい』… USB の取外しを行います。 『いいえ』… USB の取外しを行いません。
カメラ詳細設定画面	書き込みが完了しました。 再起動するため、接続を切断します。	カメラのバージョンアップが完了した場合に表示します。 『確認』… カメラが再起動します。
	ログの取得に成功しました。	カメラのログの取得に成功した場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻ります。
	ネットワーク機能を初期化します。 よろしいですか？	ネットワーク機能を初期化する場合に表示します。 『はい』… カメラのネットワーク機能を初期化します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。 カメラが初期化されると映像が表示されなくなりますが、簡単設定を実施することで、映像が表示されます。
	全シーン初期化を行います。 よろしいですか？	全シーンを初期化する場合に表示します。 『はい』… カメラの全シーンを初期化します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。 カメラが初期化されると映像が表示されなくなりますが、簡単設定を実施することで、映像が表示されます。
	再起動します。 よろしいですか？	カメラの再起動を実行する場合に表示します。 『はい』… カメラの再起動を実行します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	カメラのバージョンアップを行います。 バージョンアップ後はカメラが再起動されます。 実行してもよろしいですか？	カメラのバージョンアップにて『実行』ボタンを押下した場合に表示します。 『はい』… カメラのバージョンアップを実行します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	カメラのバージョンアップを行います。 実行してもよろしいですか？	カメラのバージョンアップにて『実行』ボタンを押下した場合に表示します。 『はい』… カメラのバージョンアップを実行します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	IP 部のログを取得します。 よろしいですか？	カメラの IP 部のログを取得する場合に表示します。 『はい』… カメラの IP 部のログを取得します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	カメラ部のログを取得します。 よろしいですか？	カメラのカメラ部のログを取得する場合に表示します。 『はい』… カメラのカメラ部のログを取得します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	設定を変更してもよろしいですか？	遠隔アプリケーションの設定を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を反映します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
遠隔設定画面	終了してもよろしいですか？	遠隔アプリケーションを終了する場合に表示します。 『はい』… 遠隔アプリケーションを終了します。 『いいえ』… 通常画面へ戻ります。
本体再生画面	本体再生を終了します。 終了してもよろしいですか？	本体再生終了ボタンを押下した場合に表示します。 『はい』… 本体再生を終了し、通常画面に戻ります。 『いいえ』… 本体再生画面へ戻ります。
	本体再生を中止します。 中止してもよろしいですか？	本体再生準備中にキャンセルボタンを押下した場合に表示します。 『はい』… 本体再生を中止し、本体再生画面に戻ります。 『いいえ』… 本体再生準備を継続します。
	本体再生準備を中止しました。	CD/DVD からの本体再生準備を中止した場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻ります。
	本体再生準備を中止しました。 再生データを取り出しますか？	USB メモリからの本体再生準備を中止した場合に表示します。 『はい』… デバイス取外し処理を実施します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	本体再生準備が完了しました。	CD/DVD からの本体再生準備が完了した場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻ります。
	本体再生準備が完了しました。 再生データを取り出しますか？	USB メモリからの本体再生準備が完了した場合に表示します。 『はい』… デバイス取外し処理を実施します。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
	本体再生準備中です。	本体再生の前準備をしている間表示します。

項目	メッセージ	説明・対応
簡単起動	システムの運用方針を決定します。 よろしいですか？	初回起動簡単設定にてシステムの運用方針を決定する場合に表示します。 『はい』… 選択した運用方針の設定を行う。 『いいえ』… 設定画面へ戻る。
	ビットレートの合計が 24Mbps を超えています。 合計値が 24Mbps になるように設定を変更してください。	ビットレートの合計値が 24Mbps を超えた場合に表示されます。 『確認』… 初回起動簡単設定画面へ戻ります。
システム	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
スケジュール	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
映像設定表示	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
外部モニタ	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
アラーム設定	変更した内容は『最初の画面に戻る』ボタンを押して再起動してから反映されます。設定を変更してもよろしいですか？	設定ファイルが更新される項目を変更した場合に表示します。 『はい』… 変更内容を保持し、再起動を行います。 『いいえ』… 設定画面へ戻ります。
簡易ビューワ	静止画を保存しました。	静止画保存が完了した場合に表示します。
	本体再生を終了します。 終了してもよろしいですか？	簡易ビューワを終了する場合に表示します。 『はい』… 簡易ビューワを終了します。 『いいえ』… 通常画面へ戻ります。

14. エラー発生時の対応について

14.1. エラーメッセージ

メッセージ	説明	対応
起動時		
前回設定で起動できません。 シャットダウンします。	バックアップ情報に差し替えてシステムの起動を試みましたが失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、システムをシャットダウンし、再度電源投入を試みてください。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
H/W エラーが発生しました。 アプリケーションが動作できません。	ハードウェア(FAN 異常、制御ボードなど)の異常を検知したため、システムの起動に失敗した場合に表示します。	メッセージ表示約 10 秒後にシステムの再起動を行います。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
アプリケーションエラーが発生しました。 アプリケーションが動作できません。	プログラムの初期化や動作異常を検知したため、システムの起動に失敗した場合に表示します。	メッセージ表示約 10 秒後にシステムの再起動を行います。 USB メモリなどが挿入されている場合、初回起動に失敗する場合があります。USB メモリを抜いた状態で起動を試みてください。 同様の症状が続くようでしたら、電源を切って、サービスまでお申し付けください。
終了時		
終了パスワードが一致していません。 正しいパスワードを入力してください。	終了パスワードが一致していなかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
コピー時		
パスワードを入力してください。	パスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードが一致していません。 パスワードを両方のテキストボックスに入力してください。	パスワードが一致していなかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力し直してください。
時刻指定が不正です。 もう一度設定してください。	コピーの開始時刻と終了時刻が逆転している場合に表示します。	開始時間、終了時間があってるか確認し、時刻指定を再入力してください。
コピーデバイスが登録されていないか メディアが挿入されていません。 コピーの準備をしてから再度実行してください。	コピーデバイスが1つも無い場合に表示します。	コピーデバイスを接続後、再度コピー設定してください。
指定したデバイスの残容量が足りません。	コピーデバイスの残容量が少ない場合に表示します。	時刻の範囲指定を見直しするか、コピーデバイスの不要なデータを消去する。もしくは新しいデバイスを指定してください。
コピーできません。 入力情報、遠隔配信を確認してください。	指定したカメラが記録していない、または遠隔配信再生中の為コピーできない等の状態の場合に表示します。	指定したカメラが間違っていないか、遠隔監視用 PC にて操作中でないかを確認し、再度コピーしてください。
コピーデバイスが初期化されていません。 コピーの準備をしてから再度実行してください。	CD/DVD が UDF 以外のフォーマットで初期化されている場合に表示します。	CD/DVD をフォーマットしてから再度実行してください。
コピーに失敗しました。 コピーデバイスを取外しますか？ コピー完了時刻は、YYYY/MM/DD hh:mm:ss です。	USB メモリへのコピー中に異常が発生した場合に表示します。	USB メモリの取外しを行う場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
コピーに失敗しました。 コピー完了時刻は、YYYY/MM/ DD hh:mm:ss です。	CD/DVD へのコピー中に異常が発生した場合に表示します。	『確認』ボタンを押し、再度コピー設定をしてください。

メッセージ	説明	対応
コピーに失敗しました。 コピーデバイスを取外しますか? コピーデータはありません。	USB メモリへのコピー中に異常が発生した場合(データをコピーしなかった場合)に表示します。	USB メモリの取外しを行う場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
コピーに失敗しました。 コピーデータはありません。	CD/DVD へのコピー中に異常が発生した場合(データをコピーしなかった場合)に表示します。	『確認』ボタンを押し、CD/DVD に異常がないか確認し、再度コピー設定してください。
コピー準備に失敗しました。	コピーの前準備に失敗した場合に表示します。	CD/DVD に異常がないか確認し、再度コピー設定してください。
コピーに失敗しました。 電源ボタンを押して再起動してください。	コピー中に異常が発生した場合に表示します。	電源ボタンを押して、再起動してください。
コピーの開始に失敗しました。	コピーの開始時に異常が発生した場合に表示します。	CD/DVD、USB メモリに異常がないか、また設定時刻などが正しいか確認してください。
スケジュール設定時		
既に登録されています。 異なる特定日を指定してください。	特定日追加で既に登録されている年月日を追加しようとした際に表示します。	『確認』ボタンを押して、年月日を確認後、再度設定してください。
指定年が範囲外です。 2011 年から 2037 年の間で指定してください。	時刻指定で 2011~2037 以外の年を指定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、指定年を 2011 年~2037 年の範囲内で設定してください。
指定日が選択されていません。 再度、設定してください。	カレンダーの日時を指定しない状態で設定した際に表示します。 『確定』… 設定画面へ戻る	『確認』ボタンを押して、年月日を指定してください。
過去日付は登録できません。 再度、設定してください。	特定日登録時に指定日が過去であるときに表示されます。	『確認』ボタンを押して、年月日を確認後、再度設定してください。
カメラが選択されていません。	設定のコピー元カメラが選択されてない場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、コピー元となるカメラを選択し直してください。
ネットワーク設定時		
ネットワーク設定が不正です。 もう一度入力してください。	IP アドレス、ポート番号として不正な値が入力された場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしてください。
ネットワークの設定ができませんでした。 接続状態を確認してから再度実行してください。	ネットワーク設定に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、設定画面へ戻ります。
カメラ設定時		
ネットワーク設定が不正です。 もう一度入力してください。	IP アドレス、ポート番号として不正な値が入力された場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしなおしてください。
カメラが接続されていません。 カメラを接続してから設定してください。	『詳細設定』ボタン押下時にメガピクセルカメラが未接続の場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしてください。
記録停止に失敗しました。 再度、確認してください。	記録停止に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、設定画面へ戻ります。
カメラの設定を見直してください。	カメラの設定や設定コピーなどで総ビットレートが 24Mbps を超えた場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしなおしてください。
カメラが選択されていません。	設定のコピー元カメラが選択されてない場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、コピー元となるカメラを選択し直してください。
映像表示設定時		
同一ページに同一カメラを割付けることはできません。 もう一度設定してください。	映像表示設定の分割画面でのページ設定において、同一ページに同一カメラを割り付けて、『設定』ボタンを押下した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、カメラ割付を再度設定してください。
外部モニタ表示設定時		
同一ページに同一カメラを割付けることはできません。 もう一度設定してください。	映像表示設定の分割画面でのページ設定において、同一ページに同一カメラを割り付けて、『設定』ボタンを押下した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、カメラ割付を再度設定してください。
記録設定時		
カメラが選択されていません。	設定のコピー元カメラが選択されてない場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、コピー元となるカメラを選択し直してください。

メッセージ	説明	対応
パスワード設定時		
パスワードが一致していません。 指定したレベルのパスワードを入力してください。	現在のパスワード入力で入力した値が現在のパスワードと異なる場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度パスワード入力してください。
入力したパスワードは既に使用されています。 異なるパスワードを入力してください。	入力したパスワードが別レベルのパスワードとして入力されている場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度パスワード入力してください。
パスワードの設定に失敗しました。 再度、実行してください。	パスワード設定に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードを入力してください。	パスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードが一致していません。 パスワードを両方のテキストボックスに入力してください。	パスワードが一致していなかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
アラーム設定時		
指定したカメラは既に登録されています。 再度、設定してください。	連動カメラに既に登録されているカメラを追加しようとした場合に表示します。 『確認』… 設定画面へ戻る。	『確認』ボタンを押して、カメラ設定確認し再度設定してください。
デバイス設定時		
デバイスの登録解除に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの登録解除に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
デバイスの登録に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの登録に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタン押して、再度設定してください。
デバイスの初期化に失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの初期化に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタン押して、再度設定してください。
デバイスの取外しに失敗しました。 再度、実行してください。	デバイスの取外しに失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
記録停止に失敗しました。 再度、確認してください。	記録停止に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、設定画面へ戻ります。
時刻設定時		
時刻の設定に失敗しました。 再度、実行してください。	時刻の設定に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
指定年が範囲外です。 2011 年から 2037 年の間で指定してください。	時刻指定で 2011～2037 以外の年を指定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、指定年を 2011 年～2037 年の範囲内で設定してください。
指定日が選択されていません。 再度、設定してください。	カレンダーの日時を指定しない状態で設定した際に表示します。	『確認』ボタンを押して、年月日を指定してください。
カメラ詳細設定時		
カメラへの登録に失敗しました。	カメラへのバージョンアップに失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定してください。
カメラの設定を見直してください。	総ビットレートが 24Mbps を超えた場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしなおしてください。
SXVGA 選択時でのマスキングエリアの最大値(50)を超えたので値を設定できません。	マスキング設定で現在の画像サイズが SXVGA かつマスキングエリアが 50 を超えた場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度設定をしなおしてください。
静止画保存時		
静止画保存用のデバイスが設定されていません。 静止画保存用の USB メモリを接続してください。	USB メモリが 1 つも無い場合に表示します。	USB メモリ接続後、再度静止画保存を行ってください。
静止画保存を中止しました。 コピーデバイスを取外しますか？	静止画保存を中止した場合に表示します。	USB メモリの取外しを行う場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
既に同一ファイルが存在します。上書きしますか？	指定したドライブに同一ファイルがある場合に表示します。	上書き保存する場合は『はい』ボタンを押します。 上書き保存しない場合は『いいえ』ボタンを押します。

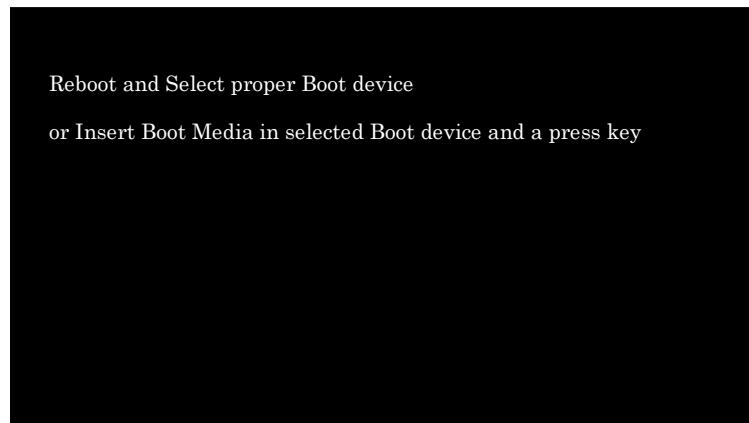
メッセージ	説明	対応
本体再生画面		
本体再生デバイスが登録されていないかメディアが挿入されていません。 本体再生の準備をしてから再度実行してください。	本体再生デバイスが 1 つも無い場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度実行してください。
再生先の指定を再度実行してください。	本体再生データが無い場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再度実行してください。
本体再生準備に失敗しました。 再生データを取り出しますか？	本体再生準備中に書き込みエラーなどの異常が発生した場合に表示します。	USB メモリの取外しを行う場合は『はい』ボタンを押します。 USB メモリの取外しを行わない場合は『いいえ』ボタンを押します。
本体再生準備に失敗しました。	本体再生準備中に書き込みエラーなどの異常が発生した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、CD/DVD に異常がないか確認し、再度実行してください。
本体再生準備に失敗しました。 電源ボタンを押して再起動してください。	本体再生準備中に異常が発生した場合に表示します。	電源ボタンを押して、再起動してください。
遠隔画面		
パスワードが入力されていません。	レコーダーへのログインパスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードもしくは接続先が違います。 再度入力してください。	レコーダーへのログインパスワードが誤り、もしくはレコーダーの IP アドレスが誤っている場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、IP アドレス、パスワードを確認してください。
	81 貢「10.1.2(3)システム設定」の遠隔配信の設定を「しない」にしている時に表示します。	81 貢「10.1.2(3)システム設定」遠隔配信の有無を「する」に設定してください。
記録映像の制御に失敗しました。	遠隔アプリケーションで再生制御が出来なかった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、再生開始時刻などを確認してください。
本体レコーダーとの接続に異常が発生しました。 アプリケーションを終了してください。	レコーダーとの接続が復旧出来なかった場合に表示します。	遠隔アプリケーションを一旦終了し、レコーダーの状態を確認後、再度遠隔アプリケーションを起動してください。
	レコーダー側で遠隔配信の設定を「しない」等の強制切断時に表示します。	他に接続しているユーザーがいないか確認して下さい。
IP アドレスが間違っています。	多重接続時による接続失敗時に表示します。	他に接続しているユーザーがいないか確認して下さい。
簡易ピューワ		
静止画保存用のデバイスが設定されていません。静止画保存用の USB メモリを接続してください。	USB メモリが 1 つも無い場合に表示します。	USB メモリ接続後、再度静止画保存を行ってください。
静止画の保存に失敗しました。 保存先を確認してください。	静止画の保存に失敗した場合に表示します。	USB メモリ接続後、再度静止画保存を行ってください。
既に同一ファイルが存在します。 上書きしますか？	指定したドライブに同一ファイルがある場合に表示します。	上書き保存する場合は『はい』ボタンを押します。 上書き保存しない場合は『いいえ』ボタンを押します。
パスワードを入力してください。	再生パスワードが未入力であった場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力してください。
パスワードが一致していません。 正しいパスワードを入力してください。	パスワードが誤っていた場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、パスワード入力し直してください。
再生準備に失敗しました。	再生の前準備に失敗した場合に表示します。	『確認』ボタンを押して、CD/DVD、USB メモリに異常がないか確認し、再度再生してください。

14.2. SSD、HDD の取扱いに関する注意

14.2.1. SSD が未接続で起動しない

SSD が故障した場合、以下の画面例のようなメッセージが表示された状態が継続し、レコーダーが起動することができません。

〈画面例 1〉



〈画面例 2〉



30 秒経過してもレコーダーが起動しない場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

14.2.2. ハードディスク故障時のレコーダー起動/終了動作

ハードディスクが故障した場合に、レコーダーの前面の電源ボタンを押してもレコーダーが起動しない、起動してもアプリケーション画面が表示されない場合があります。

電源ボタンを押してから、以下の画面のまま HDD アクセス LED が点灯 または 点滅する状態で 1 分以上画面が変化しない場合は、ハードディスクの故障が疑われますので、お買い上げの販売店にお問合せください。

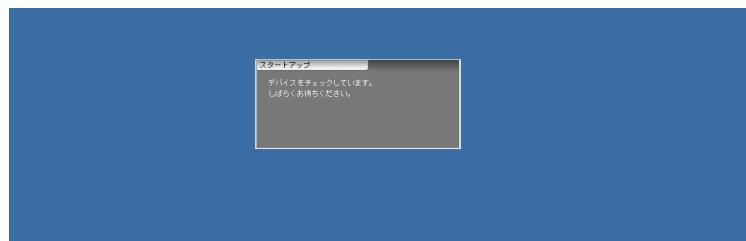
〈起動画面例 1〉

レコーダーの起動中に以下ののような画面(デスクトップ画面より青い画面)で処理が停止します。



〈起動画面例 2〉

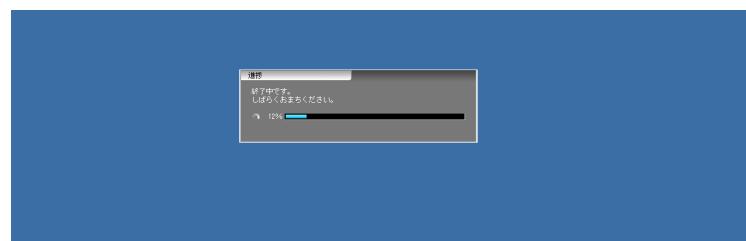
レコーダーのアプリケーションが起動し、「デバイスをチェックしています。」というメッセージを表示させたまま、処理が停止します。



また、レコーダーのアプリケーション終了時も処理が停止する場合があります。以下の画面のままで、1 分以上経過しても処理が進まない場合は、一旦電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、30 秒程度時間を空けた後で再度電源プラグをコンセントに挿してください。同様に HDD アクセス LED が点灯または点滅する状態で 3 分以上画面が変化しない場合は、ハードディスクの故障が疑われますので、お買い上げの販売店にお問合せください。

〈終了画面例〉

レコーダーのアプリケーション終了時に、「終了中です。」のメッセージを表示させたまま、終了処理が停止します。



14.2.3. 運用中のハードディスク故障

運用中にハードディスクが故障した場合、映像が正常に表示されない(点滅するなど)やマウス操作が出来なくなる場合があります。その場合、レコーダーの前面の電源ボタンを押し、終了処理を実行ください。終了できない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、終了させてください。

その後、30 秒程度時間を空けた後、前面の電源ボタンまたは電源プラグをコンセントに挿してください。電源を起動してから、14.2.2 と同様に HDD アクセス LED が点灯 または 点滅する状態で 1 分以上画面が変化しない場合、レコーダーアプリケーション起動後、機器故障リストにハードディスク異常が表示された場合は、ハードディスクの故障が疑われますので、お買い上げの販売店にお問合せください。

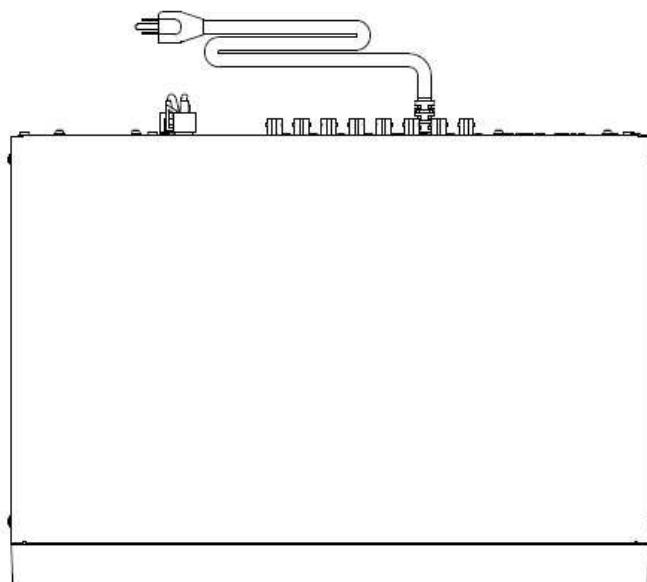
15. 故障かなと思ったら

下記の点をもう一度お確かめください。お確かめの結果、なお異常のある場合は、機種名、接続構成、現象および発生時の状況を記録し、電源を切ってからサービスをお申しつけください。

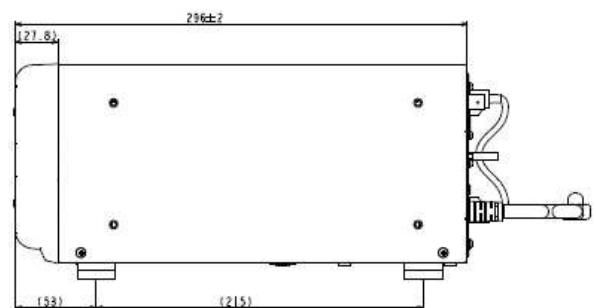
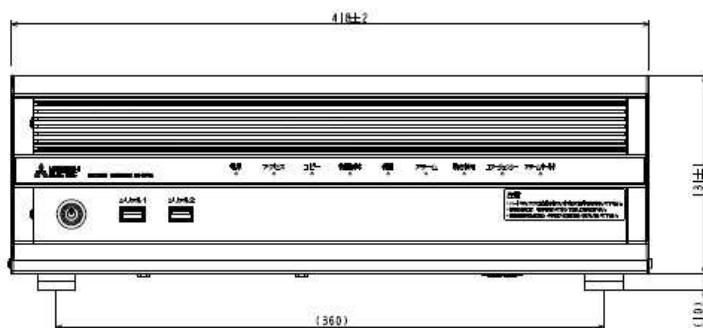
症状	ここをお調べください。	参照頁
電源が入らない。 (電源ランプが消灯)	AC 電源プラグがコンセントからはずれていませんか？	31、36 ページ
モニタに映像が出ない。	モニタやカメラが正しく接続されていますか？	28、31 ページ
	付属の LAN ケーブルは接続されていますか？	27 ページ
	選択されたカメラ番号にカメラ信号が入力されていますか？ 9 分割表示にして、確認してください。	38、48 ページ
	モニタの AC 電源コードは接続されていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
	モニタ接続ケーブルが正しく接続されていますか？	26、28 ページ
	モニタの電源は入っていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
	モニタの解像度は正しく設定されていますか？	モニタの取扱説明書を参照してください
	カメラを初期化した際、本レコーダーにて簡単設定を実施していますか？	109 ページ
	対応 No のカメラリンク LED が点滅していますか？	23 ページ
モニタの映像が不鮮明である。	接続ケーブルの接続不良はありませんか？	26、28 ページ
	カメラのピントは正しく調整されていますか？	カメラの取扱説明書を参照してください
記録ができない。	ライブ映像が表示されていますか？	38 ページ
	各ケーブルが正しく接続されていますか？	26、27、28 ページ
	記録設定は済んでいますか？	94、97、109 ページ
リピート記録ができない。	「記録設定画面」でリピート記録を「しない」に設定していませんか？	94 ページ
アラーム記録(プリアラーム記録)ができない。	記録容量がなくなっていますか？	81、94、104 ページ
	外部のセンサーなどが正しく接続されていますか？	30、128 ページ
	アラーム設定が済んでいますか？	101 ページ
再生ができない。	記録が設定されているカメラを選択して再生していますか？	40、48 ページ
本レコーダーを通してカメラが制御できない。	制御するカメラは正しく接続されていますか？	28、31、88、109 ページ
	各カメラの設定は済んでいますか？	カメラの取扱説明書を参照してください
簡単設定のとき、カメラが検出できない。	付属の LAN ケーブルは接続されていますか？	27 ページ
電源ランプは点灯しているが、モニタは黒画面のままである。	AC 電源プラグをコンセントから抜き、電源を落としてください。電源ランプが消灯してから 5 秒以上間隔をおいて、再度 AC 電源プラグを電源に挿して電源を入れ直してください。	36 ページ
遠隔監視用 PC からカメラが制御できない。	制御するカメラは正しく接続されていますか？	26、28、88、109 ページ
	遠隔監視用 PC の仕様、設定はありますか？	29、83、86、146 ページ

16. 外形図

NR-8100A の外形図を下図に示します。



(単位:mm)



17.お手入れのしかた

- (1) 本レコーダーの AC 電源プラグをコンセントから抜いてからお手入れをしてください。
- (2) ケースの清掃は乾いたやわらかい布(ネル布またはガーゼ)でからぶきしてください。
- (3) 汚れがひどいときは、水で十分うすめた石けん(中性洗剤)水を少しつけ、よく絞った布で拭きとった後、乾いた布で拭いてください。

18.用語集

Brouillard(ブルイヤール)

三菱電機が開発した、機器組込み用高性能暗号化アルゴリズム。映像データの暗号化などをリアルタイムに高速処理することができる。

DP

Display Port の略。液晶モニタ等のデジタル・ディスプレイ用の映像出力インターフェース。DP-HDMI 変換、DP-DVI-D 変換ケーブルで HDMI/DVI 入力のデジタル・ディスプレイに接続可能。

DVI-I

Digital Visual Interface-Integrated の略。同一コネクタでデジタル信号とアナログ信号の両方を扱うことができる規格。DVI-VGA 変換コネクタでアナログ RGB モニタに接続可能。DVI-HDMI 変換も可能。なお、DVI-D はデジタル専用、DVI-A はアナログ専用。

H.264

動画圧縮方式。従来方式である MPEG-2 などの 2 倍以上の圧縮効率を実現できる。

HDD

Hard Disk Drive の略。磁性体を塗布した円盤を高速回転させ、磁気ヘッドを移動させることで、情報を記録し読み出す補助記憶装置。

IDR フレーム

Instantaneous Decoder Refresh フレームの略。H.264 の映像フレームを構成する 1 要素。静止画を構成可能な情報を持ち、このフレームから動画の 1 画面が生成される。H.264 を構成する P フレーム/B フレームは動きの差分情報であり、IDR フレームを基にして動画を構成する。

SSD

Solid State Drive の略。半導体素子で情報を記録し読み出す補助記憶装置。

SXVGA

画面解像度のこと。1280 × 960 サイズ。

USB(ユニバーサルシリアルバス)

プラグ&プレイに対応しているシリアル通信の規格で、一本のケーブルで構成され、PC の周辺機器の接続用として便利で、ハブを用いて、ポートを増やすことも可能。

VGA

画面解像度のこと。640 × 480 サイズ。

VPN

Virtual Private Network の略。公衆回線をあたかも専用回線であるかのように利用できるサービス。

WXGA

画面解像度のこと。1280 × 768 サイズ。

遠隔監視用 PC

監視制御やレコーダーに記録された映像の閲覧などを行う、ユーザ側のインターフェース装置。

緊急記録

本レコーダーに接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に記録を行う機能。

オートパン

カメラをこのモードに設定すると、自動的にあらかじめ設定された 2 点間を水平に回転する。この機能が使用できるかどうかは、接続したカメラの仕様による。

プリアラーム記録

プリアラーム記録設定を実施すると、アラーム信号入力以前の時刻から記録を開始することができる。

フル HD

画面解像度のこと。1920×1080 サイズ。

モーションディテクト

映像の中の動きを検知する機能のこと。動いているものがある時だけ記録開始の信号を送ることで記録容量を減らせる。「動き検知」とも呼ばれる。

19.アフターサービス

1 本保証書は、販売店が所定事項を記入後お渡ししますので、お受け取りの際は「保証期間」、「販売会社」をご確認の上、大切に保管してください。

2 無償修理規定

(1) 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。

(2) 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。

- ① ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ② 火災、地震、水害、塩害、異常電圧、指定外の使用電源、その他天災地変などによる故障及び損傷。
- ③ 特殊環境(極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃など)による故障及び損傷。
- ④ 本書のご提示がない場合。
- ⑤ 本書の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ⑥ 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

(THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.)

3 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後7年です。

(性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品です。)

詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

4 定期交換部品

本レコーダーの機能維持のために、定期的なメンテナンスと消耗品の交換を推奨いたします。

＜定期交換部品と推奨交換周期＞

(1) 内蔵 HDD	3 年
(2) 電源 FAN	3 年
(3) 背面 FAN	3 年

詳しくはお求めの販売店にご相談ください。

【索引】

4	
『4 画面切替』ボタン	70
9	
『9 画面切替』ボタン	70
A	
AC 電源コード	24
ALARM IN 端子	24
C	
CALL OUT+/CALL OUT- 端子	24
CLOCK ADJ 端子	24
D	
DC 12V OUT 端子	24
E	
EMERGENCY 端子	24
G	
GND 端子	24
I	
I/O 端子	24
L	
LAN ケーブルの接続	29
M	
MODE OUT 端子	24
R	
REC STOP 端子	24
REC 端子	24
S	
SSD、HDD の取扱いに関する注意	195

あ	
アクセスランプ	23
アフターサービス	202
アラーム検索	69
アラーム設定	101
アラーム端子	129
アラーム端子と I/O 端子	128
アラーム端子または I/O 端子の接続	30
アラームホールドランプ	23
アラームランプ	23
アラームリスト	67
安全のために必ずお守りください	6
い	
一万円検知	103
う	
動き検知ランプ	23
え	
映像再生パネル	76
映像表示設定	90
映像表示パネル	48
エマージェンシーランプ	23
エラー発生時の対応について	191
遠隔監視機能	146
お	
応用操作	79
お手入れのしかた	200
音声用ミニジャック(AUDIO OUT) 端子	24
音声用ミニジャック(AUDIO OUT) の接続	30
音量制御・時刻表示パネル	72
か	
外形図	199
外部モニタ端子	24
外部モニタ表示設定	92

各機器の接続のしかた	27
各種設定について	79
拡張用機器の接続	120
確認メッセージ	187
各部の名称と働き	23, 26
カメラ制御パネル	73
カメラ接続状態	82
カメラ設定	88
『カメラの自動切替』ボタン	70
『カメラの名称表示』ボタン	70
画面制御パネル	70
画面説明	47
画面の表示を変更する	38
簡易ビューワについて	131
簡単設定	109
管理設定	112, 114, 119

き

機器故障ランプ	23
機器の故障リスト	63, 64
基本操作	31
基本的な操作	36
記録映像のコピー	54
記録映像のコピー中止	56
記録映像をコピーする	43
記録映像を再生する	40
『記録再開』ボタン	82
記録時間表	130
記録時間表	123, 126, 127
記録設定	94

こ

故障かなと思ったら	198
ご注意	11
コピー画像を再生する	142
『コピーの本体再生』ボタン	49
コピーランプ	23

さ	
再生画像を静止画保存する	144, 179
再生時刻表示	77
再生速度指定ボタン	76
『再生』ボタン	76

し

時刻設定	108
システム設定	83
仕様	15, 23, 26
使用許諾	18
情報表示	81
情報表示パネル	61
シリアル端子	23, 24

す

据付のしかた	25
スケジュール設定	97
『スライドバー検索』ボタン	76

せ

『静止画保存』ボタン	77
製品構成	14
設定/登録	50
『設定／登録』ボタン	49
設定とその他の操作パネル	49
『全画面切替』ボタン	70
センサーなどアラーム機器	128
全体構成	26

そ

操作エラーリスト	66
----------	----

た

大音量検知設定	89
『単画面切替』ボタン	70

ち	『ちょっと前再生』ボタン	77
つ	通常(メイン)画面について	47
て	デバイス稼動状況	82
	デバイス設定	104
	電源の ON/OFF について	36
	電源ボタン	23
	電源ランプ	23
と	特長	12
ね	ネットワーク設定	86
は	初めてお使いになる場合	31
	パスワード設定	106
ふ	付属の LAN ケーブルの接続	27
	プリアラーム記録設定	95
	分割画面指定	91, 92
ほ	本体再生画面	57
ま	マウスの接続	29
	マスターデバイス情報	82

め	MELOOK μ II カメラからのケーブルの接続、延長アダプタからのケーブルの接続	28
も	モニタ OUT 端子	24
	モニタケーブルの接続	28
ゆ	ユーザー切替え	52
	ユーザー切替えをする	37
	ユーザーレベル	46
	『ユーザ切替』ボタン	49
よ	用語集	201
ら	『ライブ中再生』ボタン	77
	LAN 接続端子	24
り	リスト表示パネル	62
	リピート記録設定	94
れ	レート設定	99
ろ	ローカルモニタ端子	24
	『録画映像のコピー』ボタン	49
	録画ランプ	23

保証書

形名	NR-8100A	製造番号	
お客様	お客様	お客様	お客様
ご住所	〒	ご住所	ご住所
TEL		TEL	TEL
保証期間	年 月 日 から	※販売店住所・店名	保証期間
1年間	※	印 または サイン	1年間

様

この製品は厳密な品質管理のもとで製品検査に合格したもので、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合には、保証規定に基づきサービスセンターが修理いたしますので本書を提示してください。

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。



コミュニケーション・ネットワーク製作所

〒661-8661

兵庫県尼崎市塚口本町 8 丁目 1 番 1 号

お問い合わせ先:(0120)493-012

お問い合わせは、保証書に記載の販売店へどうぞ

受付時間: 平日 9:00~12:00、13:00~17:00